

平成 25 年度  
「食育」に関する  
市民アンケート調査  
報告書

平成 26 年 3 月  
松 戸 市



# 目 次

第1章 調査の概要	1
第2章 調査結果の分析	9
第1節 食育に関する意識・関心（問1－問5）	11
第2節 食に関する意識（問6－問15）	18
第3節 健康に関する意識（問16－問19）	29
第4節 環境問題への意識（問20－問24）	33
第5節 地域社会への意識（問25－問27）	40
第6節 生活のゆとり、農作業、食育政策に関する意識（問28－問34）	43
第7節 子どもの生活と食育に関する意識（問45－問62）	52
第8節 歯科の健康に関する意識（問64－問72）	77
第3章 質問と回答(単純集計結果)	97
第4章 自由記述	141
付録 調査票・関連資料	153



# 第1章 調査の概要



## 1. 調査の目的

松戸市では平成20年3月に松戸市食育推進計画を策定し、「食の大切さと郷土のすばらしさを知り、生涯を通じて健やかに生きる」ことができるよう食育を推進してきた。本調査にて、市民の食に関する意識や実態を知ることにより、計画の進行状況を把握し、第2次松戸市食育推進計画策定の基本資料とすることを目的とした。

## 2. 調査の方法

- (1) 調査地域・・・市内全域
- (2) 調査対象・・・市内在住の20歳以上の市民3,000人
- (3) 抽出方法・・・住民基本台帳による無作為抽出
- (4) 調査方法・・・配布、回収ともに郵送法
- (5) 調査期間・・・平成25年8月28日～9月30日

## 3. 調査項目

項目	内容
食育に関する意識・関心	食育の言葉の認知、関心度、ボランティア活動、バランスのとれた食事の意識、伝統行事の実施、冷凍食品の利用状況
食に関する意識	食品購入時の意識、産地チェック、食材購入場所、安全性の基礎知識、子どもの食育の場
健康に関する意識	メタボリックシンドロームの言葉の認知、定期的な運動の有無
環境問題への意識	ゴミの排出量、買い物袋の持参、生ゴミ処理機の使用の有無
地域社会への意識	地域活動への参加
生活のゆとり、農作業、食育政策に関する意識	農作業体験、市に期待する施策
子どもの生活と食育に関する意識	食事内容、食生活、子ども部屋の有無、子どもの基本属性、規制、就寝時刻と起床時刻、家事への参加状況、外食の頻度、学校給食への意見、食育の重要性
基本属性	性別、年齢、居住地域、職業、家族構成、学歴、収入
歯科の健康に関する意識	現在の歯の本数、入れ歯の有無、口腔内の健康状態、歯科治療の状況、食事の満足度、噛みにくい食品

## 4. 回収結果

(1) 調査票送付数	3, 000人
(2) 回収数	1, 104人
(3) 回収率	36.8%

## 5. 集計にあたって

- (1) 集計は小数第2位を四捨五入して算出した。したがって回収率を合計しても100%ちょうどにはならないことがある。
- (2) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を分母nとして算出した。したがって、複数回答の設問は、全ての比率を合計すると100%を超えることがある。
- (3) n (Number of Cases) は比率算出の分母であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。
- (4) 本文やグラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化している。
- (5) クロス結果の帯グラフや表について、設問に対する「無回答」がある場合にはこれを表示しないため、分母nは設問により異なる。また、性別の合計件数・年齢別の合計件数は「無回答」を表示していないため、全体の件数と一致しないことがある。
- (6) 性別・年齢別の表について、設問の各選択肢における年代間の最大回答数を網掛け、各年代の最大回答数を斜体太字にて示している。
- (7) 集計は、①単純集計、②回答者の属性とクロス結果を行なった。高齢化社会を意識して世代別の集計で今回新たに、70歳以上の独居の項目を追加した。「70歳以上独居」はサンプルサイズが小さい点に留意する必要があるため、「70歳以上」全体と大きな差異が見られない場合には示していない。
- (8) 前々回(平成19年度実施)、前回(平成22年度実施)の調査結果と比較することで、市民の食育への関心や傾向を検討している。また、国の調査(内閣府が平成22年3月に公開した「食育の現状と意識に関する調査」、n=2,936)と設問項目が一致するものに関しては、比較検討している。



## 6. 調査研究体制

調査研究チーム代表・総括：大江 靖雄（千葉大学大学院園芸学研究科）

調査票設計：栗原 伸一・大江 靖雄・霜浦 森平（千葉大学大学院園芸学研究科）  
後藤田 宏也（日本大学松戸歯学部）

調査票発送、回収、入力、データベース作成：霜浦 森平・大江 靖雄・栗原 伸一  
（千葉大学大学院園芸学研究科）

調査データ解析：大江 靖雄・霜浦 森平・栗原 伸一（千葉大学大学院園芸学研究科）

歯科データ解析：後藤田 宏也（日本大学松戸歯学部）

## 7. 回答者の基本属性

【性別】 (n=1101)

性別は、「普段食材購入者・料理担当者」に調査票記入を依頼したため、女性が8割と大半を占めている。前回・前々回と変化はなし。

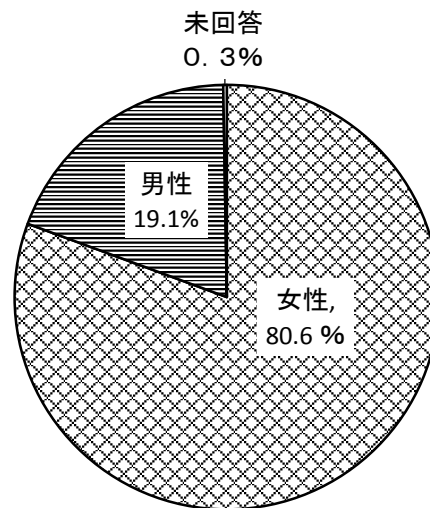


図 1-1

【年齢】 (n=1102)

年齢は、20歳代で9.6%と割合が低いものの、30歳代から70歳代までほぼ15%から2割を占めており、世代間での極端な偏りは見られないが、前回と比べて60歳以上が増加した。

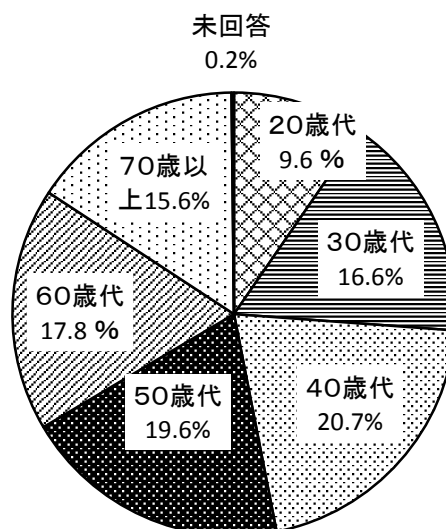


図 1-2

【配偶者の有無】 (n=1099)

配偶者の有無は、4分の3が配偶者を有しており、変化はなし。

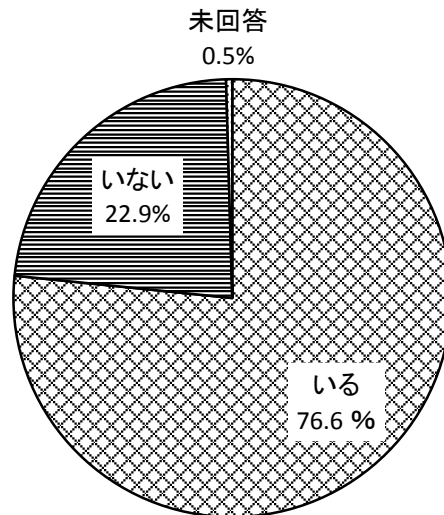


図 1-3

【職業】 (n=1096)

職業は、専業主婦（主夫）が33.8%で最も多く、次いでパート・アルバイトが23.6%、会社員が19.6%となっている。

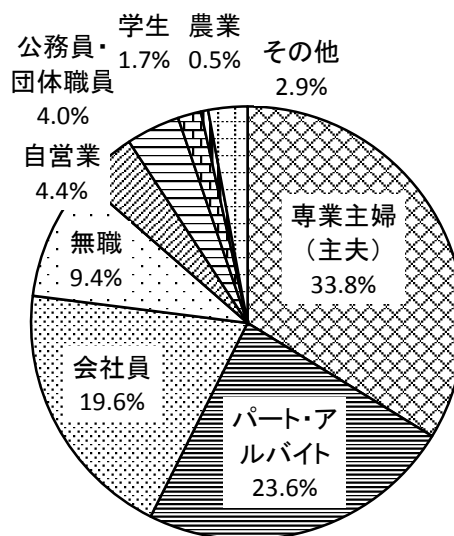


図 1-4

【同居世代数】 (n=1080)

同居世代は、二世世代家族が5割半ばを占めている。次いで夫婦のみが31.8%、一人暮らしが9.3%の順で、三世世代家族以上は6%程度と少ない。

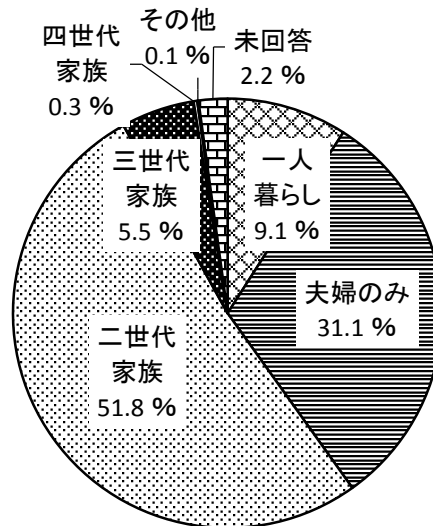


図 1-5

【出身地】 (n=1101)

出身地では、千葉県外がほぼ7割と最も多く、松戸市出身者は2割に満たない。

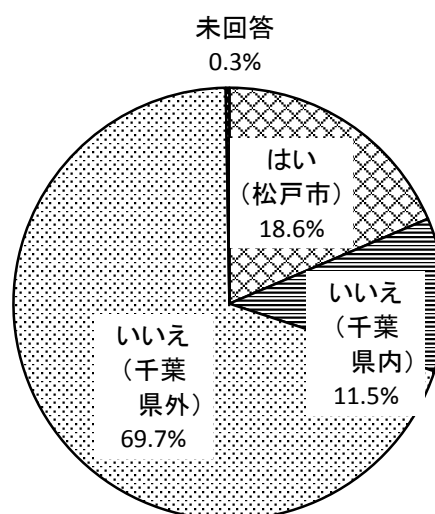


図 1-6

## 第2章 調査結果の分析

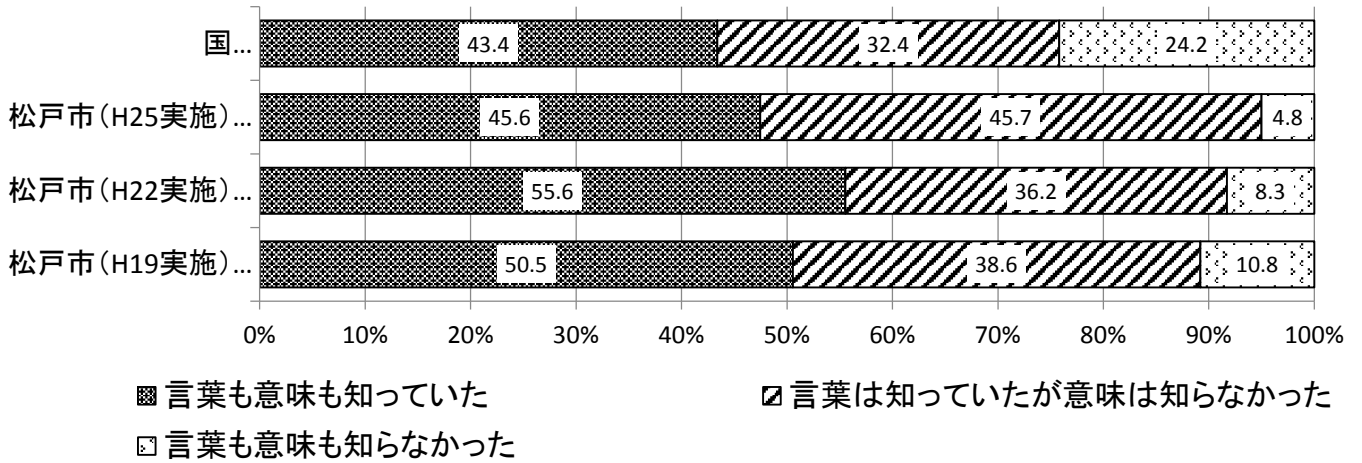


第1節 食育に関する意識

問1 あなたは「食育」という言葉の意味を知っていますか？（ア～エのうち、該当するもの1つに○）

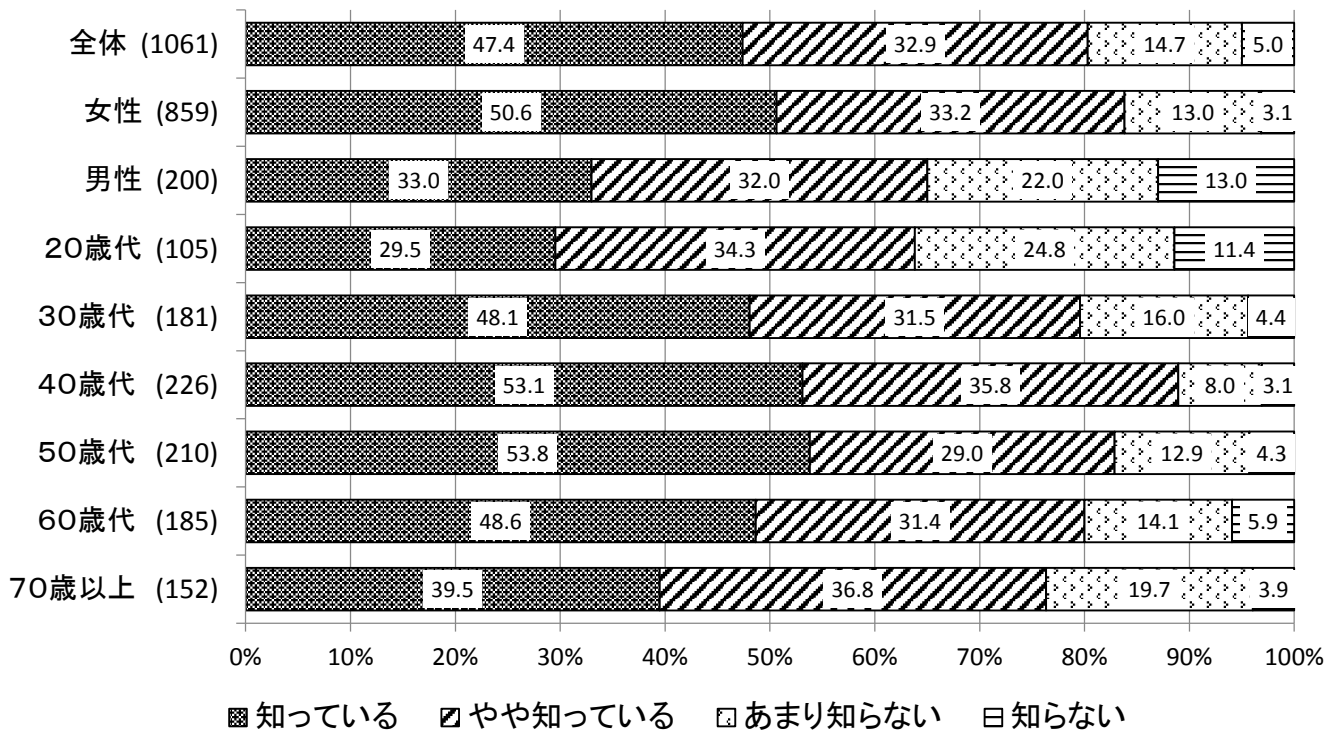
食育に対する認識はやや低下気味である。

図2-1-1



性別では、男性と女性の言葉の認識の程度に大きな差がみられる。年代別では、20代で認識が最も低く、その後50代までは世代が上がるごとに、認識が上昇するが、60代以降認識が低下する。このことから、20代および高齢者世代の食育に対する認識を高めることが、重要といえる。

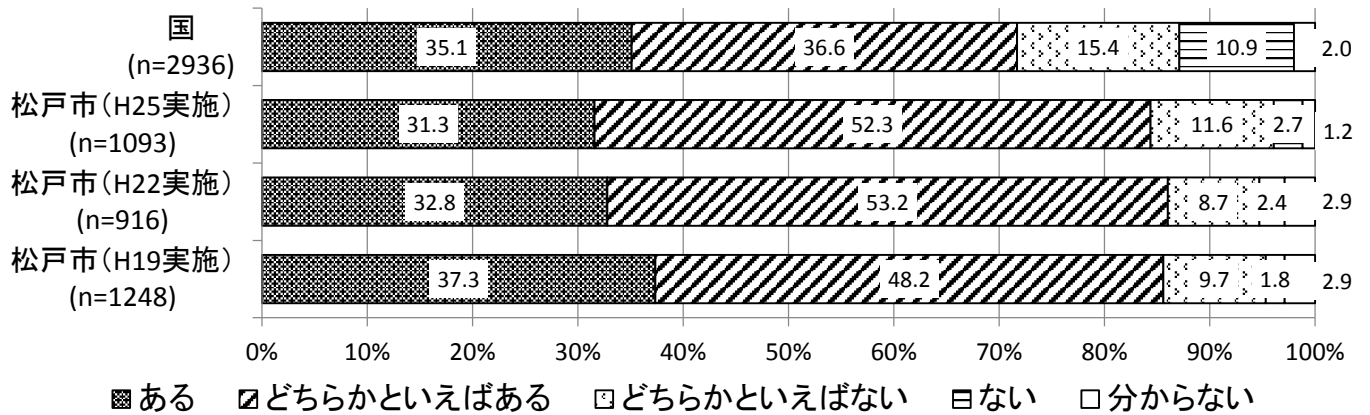
図2-1-2



問2 あなたはこうした「食育」に関心がありますか？(1つに○)

食育への関心は前回調査と比べて、大きく変化はしていないが、ごくわずかであるが関心が低下している。

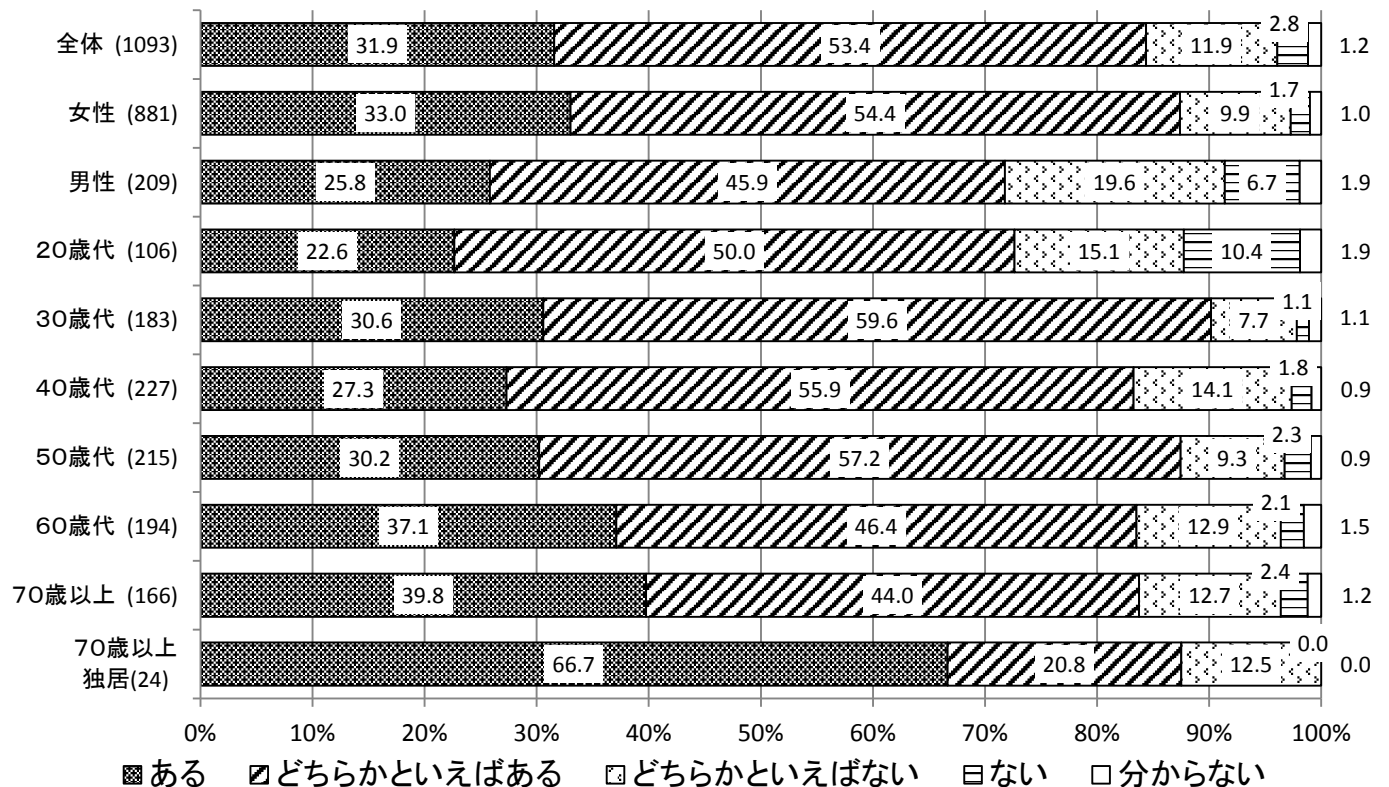
図2-2-1



性別では、女性で関心が高く、男性で低く、食育に関する認識と同様な傾向である。

年齢別では、20代で最も低く、ついで40代で低い。高齢者では高くなっている。特に70歳以上のひとり暮らしの高齢者では関心があるとの回答は3分の2を占めている。

図2-2-2

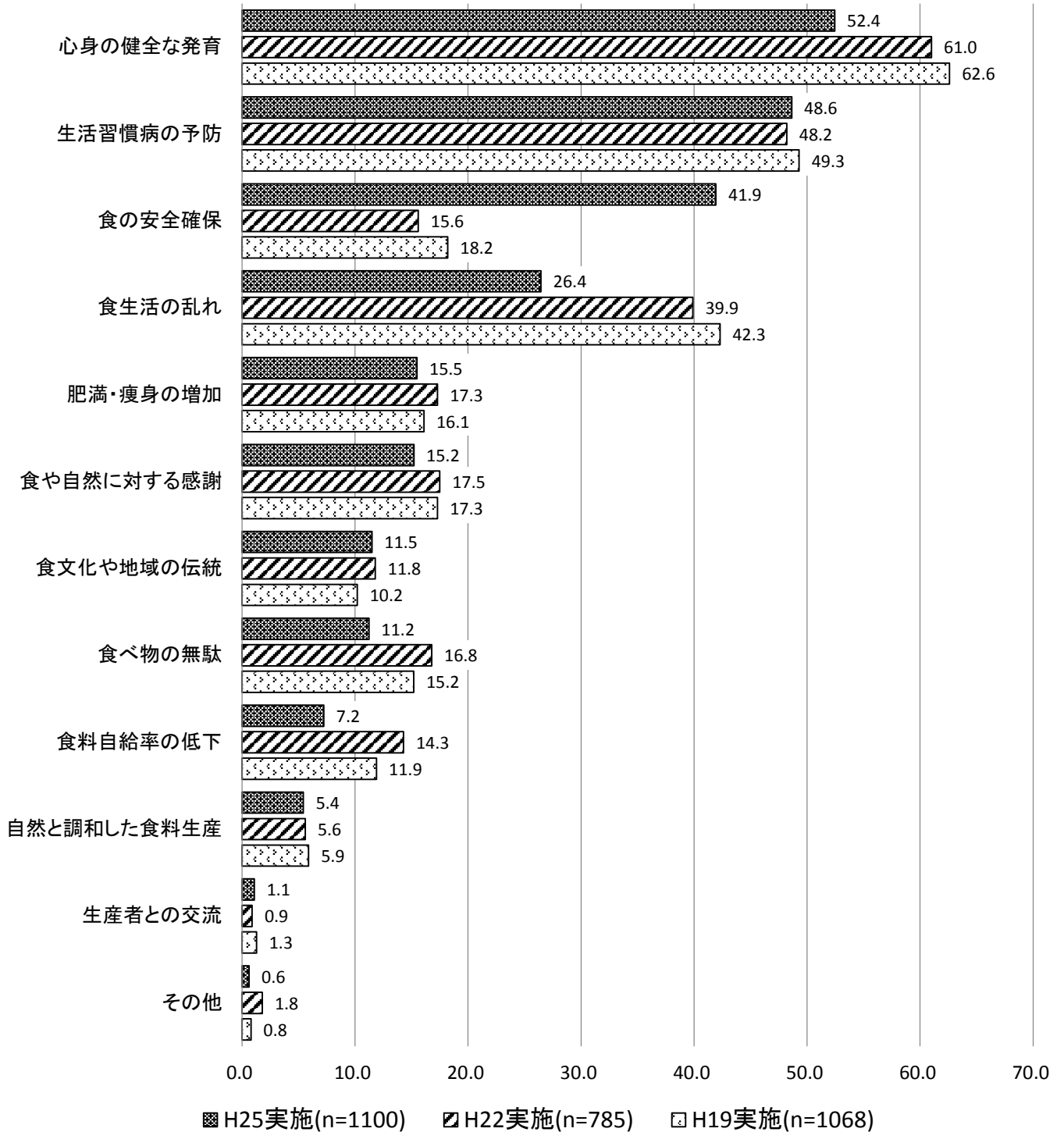




問3 「ア」、「イ」と答えた方にお聞きします。食育に関心がある理由は何ですか？(3つまで○)

今回の調査では、「食の安全確保」への関心が特に高くなっている。放射能の問題が反映されているとみることができる。

図2-3-1



「食の安全確保」に関して、性別では、女性で高く、世代別では、世代が高くなるほど関心が高くなる傾向がある。

表 1-1

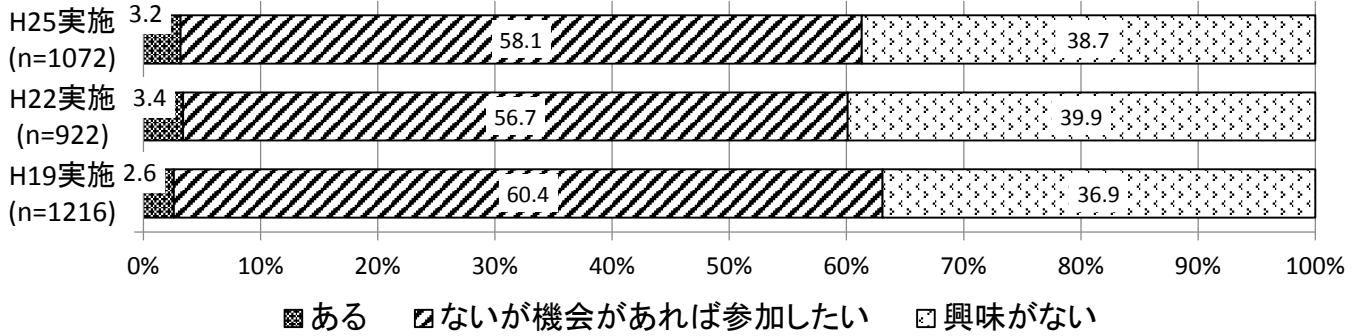
(%)

	全体 (人)	心身の 健全な発 育	食生活の 乱れ	肥満・ 瘦身の増 加	生活習 慣病の予 防	食の安 全確保	食文化 や地域の 伝統	食料自 給率の低 下	生産者 との交流	生産 自然と調 和した食 料	食べ物 の無駄	謝 食や自然 に対する感 謝	その他
全体	1100	52.6	26.5	15.5	48.8	42.1	11.5	7.3	1.1	5.5	11.3	15.3	0.6
女性	771	65.5	32.2	17.1	58.6	52.0	12.7	8.3	1.3	5.7	12.3	18.4	0.6
男性	148	49.3	29.1	25.7	56.8	41.2	19.6	10.8	1.4	10.8	19.6	16.9	1.4
20歳代	76	<b>53.9</b>	43.4	28.9	48.7	31.6	21.1	14.5	0.0	2.6	27.6	19.7	1.3
30歳代	164	<b>75.6</b>	31.1	18.3	47.6	47.0	19.5	6.1	0.6	3.0	11.0	25.0	1.8
40歳代	187	<b>76.5</b>	35.8	18.2	47.1	39.0	17.1	6.4	0.5	6.4	15.0	21.4	1.6
50歳代	188	66.0	30.3	19.7	<b>62.2</b>	51.1	15.4	7.4	1.6	5.9	8.5	15.4	0.0
60歳代	164	52.4	25.6	18.9	70.1	<b>59.8</b>	4.3	11.0	2.4	9.1	15.9	14.0	0.0
70歳以上	140	42.9	29.3	11.4	72.1	<b>67.1</b>	7.9	10.7	2.1	10.7	10.7	13.6	0.0
70歳以上 (独居)	21	42.9	38.1	9.5	<b>81.0</b>	61.9	4.8	9.5	0.0	23.8	0.0	14.3	0.0

問4 食育に関するボランティアに参加したことがありますか？(1つに○)

食育に関するボランティア経験については「ある」が 3.2%、「経験はないが機会があれば参加したい」は 58.1%と、参加への意欲は低くないが、前回と比べてほぼ変化していない。

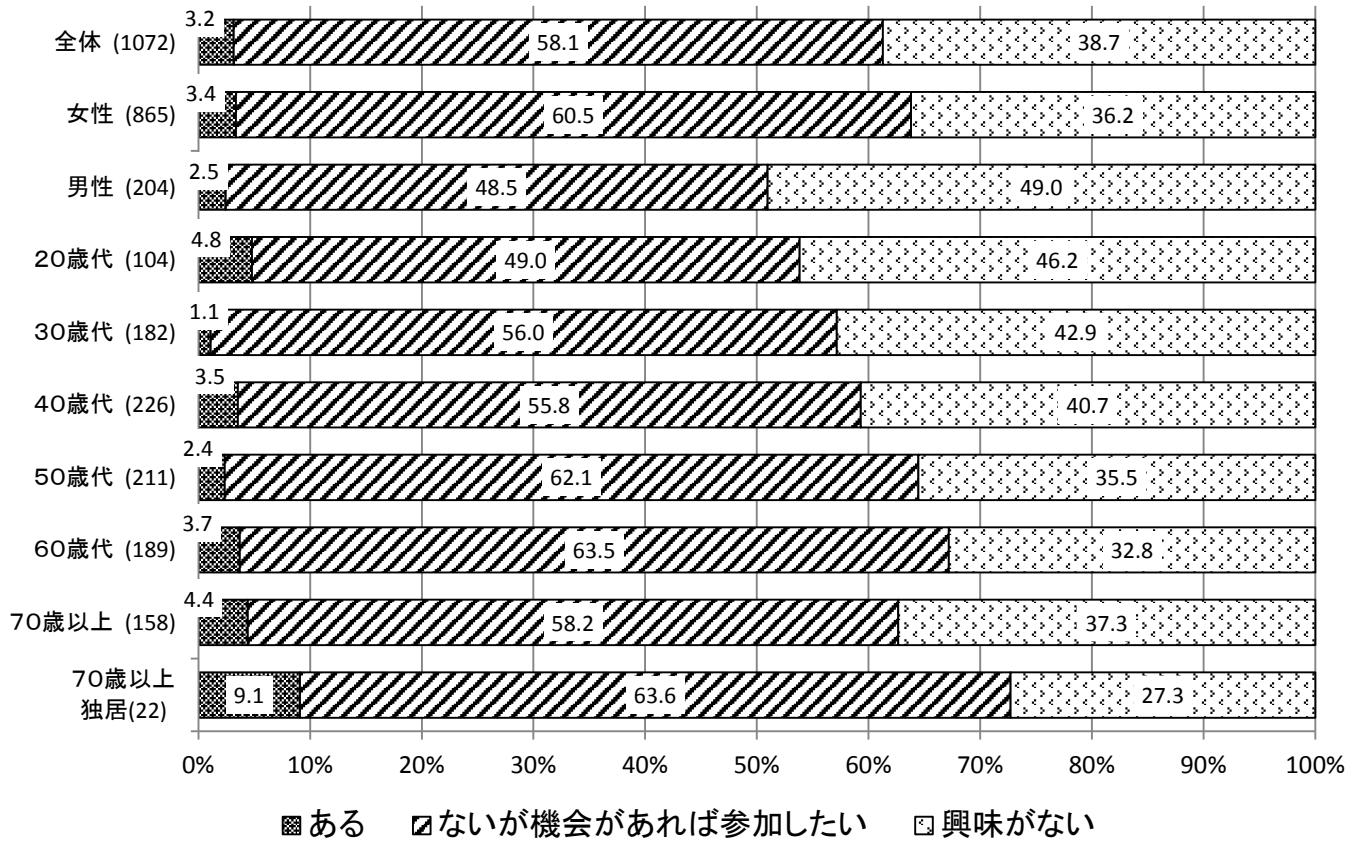
図2-4-1



食育ボランティアへの参加意欲は、性別では女性で高く、世代別では、60代まで世代を追うごとに高くなっている。

参加経験では、20代が最も高く(4.8%)、次いで70代以上で高く(4.4%)、特に70代以上のひとり暮らしの高齢者ではさらに高くなっている。

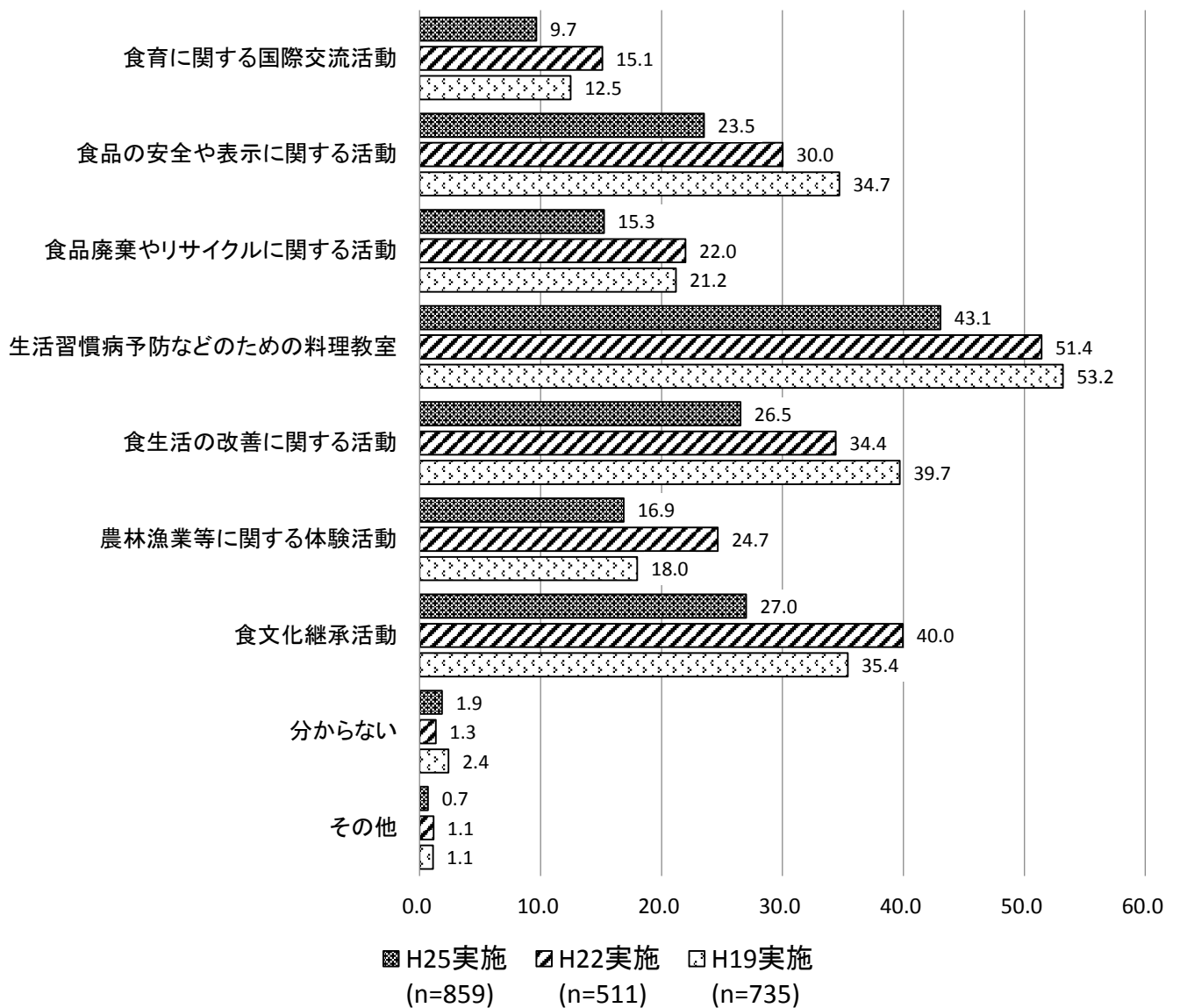
図2-4-2



問5 「ア」、「イ」と答えた方にお聞きします。どのような活動に参加したことがありますか？  
あるいは参加してみたいですか？(3つまで○)

食育ボランティアへの参加経験あるいは参加希望活動については、順位では大きな変化はない。

図2-5-1



性別でみた参加意向のあるボランティア活動は、男性と女性で違いがみられる。具体的には男性では、食生活の改善に関する活動、農林漁業等に関する体験活動で意向が高く、女性では生活習慣病予防などのための料理教室で高い。

世代別にみると、20代・30代では、食文化継承活動と農林漁業等に関する体験活動で参加意向の割合が高い。生活習慣病予防などのための料理教室への参加意向は、世代が上がるほど高くなる傾向がみられる。

表 1-2

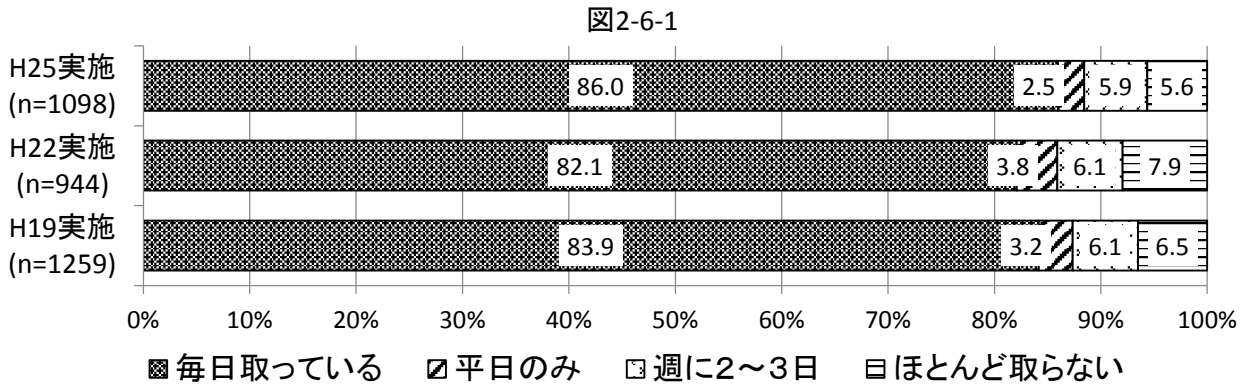
(%)

	全体 (人)	食文化継承活動	農林漁業等に関する 体験活動	食生活の改善に関する 活動	生活習慣病予防などの ための料理教室など	食品廃棄やリサイクル に関する活動	食品の安全や表示に 関する活動	食育に関する国際交 流活動	その他	分からない
全体	859	27.0	16.9	26.5	43.1	15.3	23.5	9.7	0.7	1.9
女性	541	35.9	20.3	34.2	59.7	19.6	32.3	13.1	1.1	2.8
男性	103	36.9	33.0	41.7	44.7	24.3	26.2	11.7	0.0	1.0
20歳代	55	45.5	32.7	40.0	<b>47.3</b>	25.5	20.0	21.8	0.0	1.8
30歳代	103	<b>52.4</b>	35.9	36.9	<b>52.4</b>	22.3	27.2	16.5	0.0	1.9
40歳代	133	39.8	29.3	33.1	<b>48.9</b>	16.5	23.3	19.5	0.0	2.3
50歳代	134	35.8	20.1	26.1	<b>56.0</b>	17.9	25.4	13.4	2.2	3.7
60歳代	122	26.2	15.6	35.2	<b>67.2</b>	20.5	37.7	5.7	0.8	3.3
70歳以上	97	20.6	4.1	47.4	<b>69.1</b>	23.7	53.6	3.1	2.1	1.0
70歳以上 (独居)	16	31.3	6.3	31.3	<b>81.3</b>	25.0	43.8	6.3	0.0	0.0

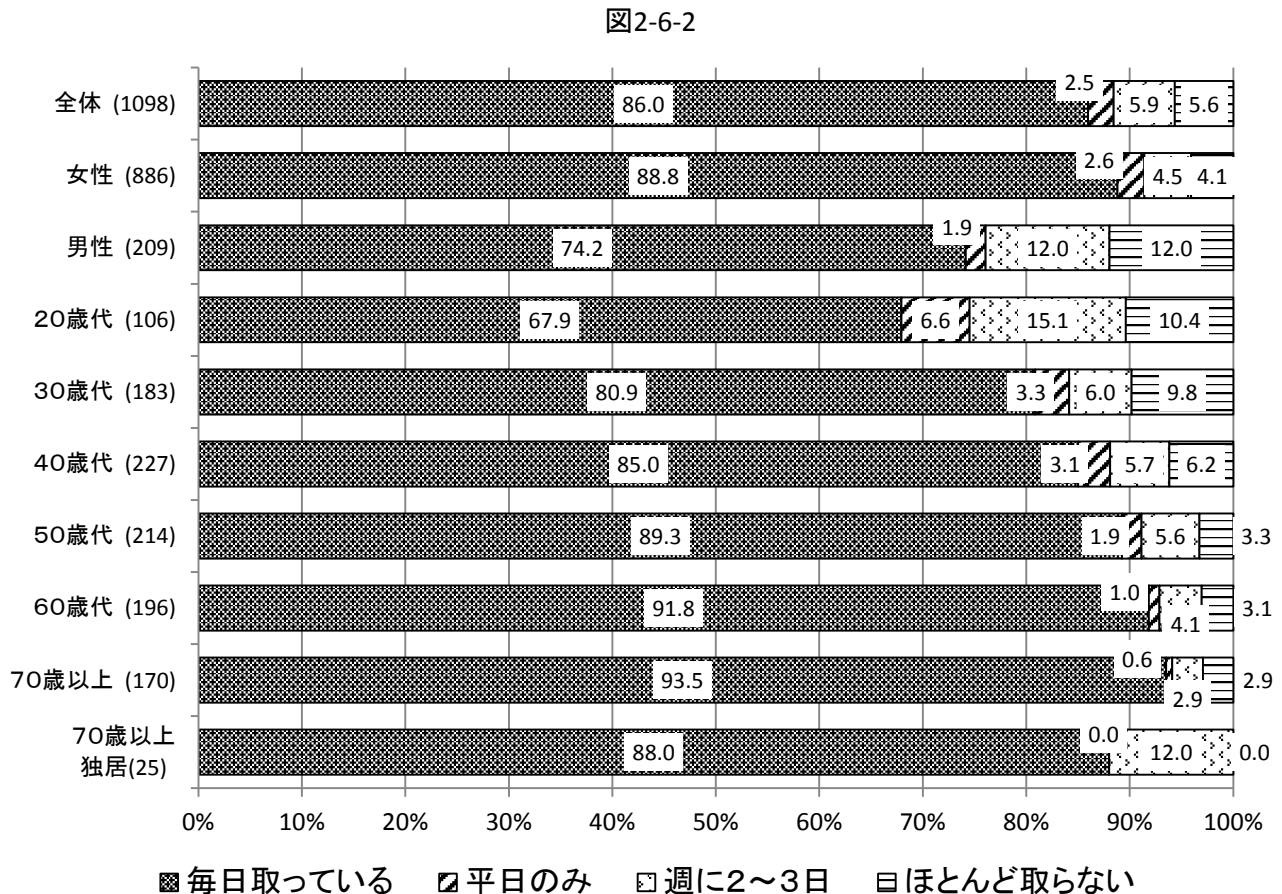
第2節 食に関する意識

問6 あなたは朝食をどの程度の頻度で取っていますか？(1つに○)

朝食を毎日取っている割合は、86.0%で、これまでの調査で最も高く、ほとんど取らない割合が最も低くなっている。



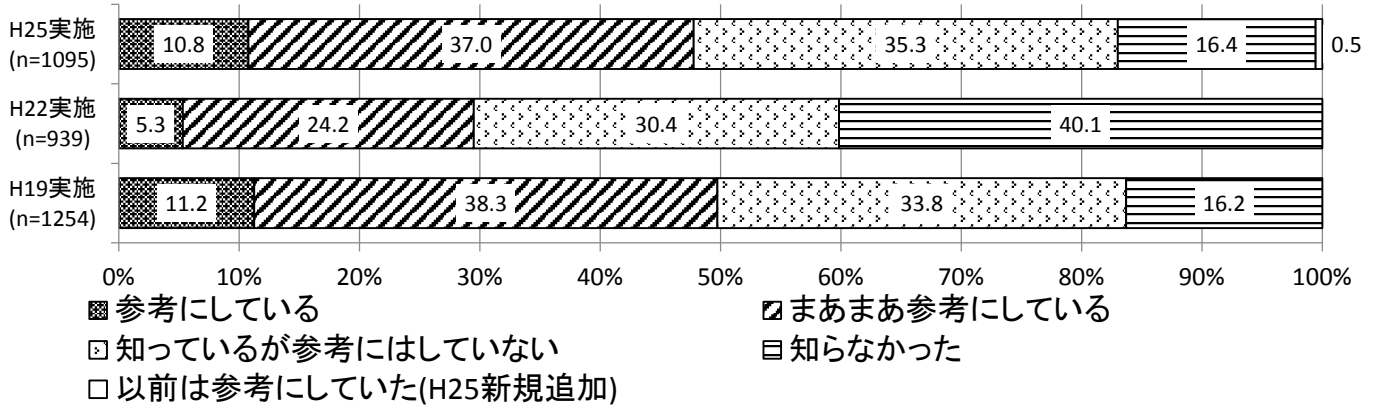
朝食を毎日取っている割合は、性別と世代間の違いが大きい。具体的には性別では女性で高く、世代別では20代で低く世代が上がるほど高くなっている。しかし、70代以上のひとり暮らしの高齢者では朝食を毎日取っていない回答者が1割以上いる。



問7 このアンケートの表紙にある食事バランスガイドを参考に食生活を送っていますか？(1つに○)

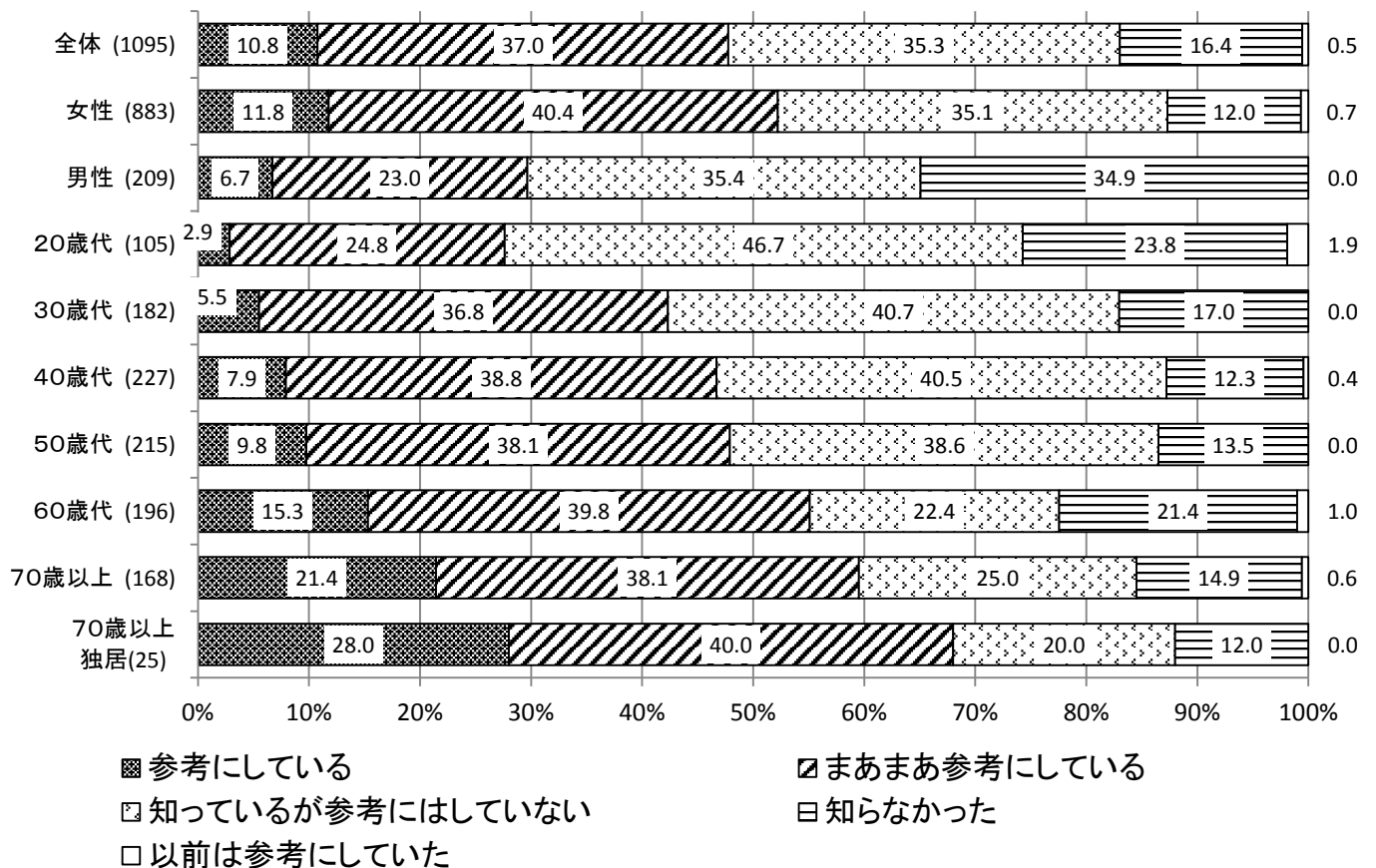
食事バランスガイドの参考割合は、平成19年度とほぼ同水準に回復してきている。具体的にいえば、ほぼ回答者の半数が参考にしている。

図2-7-1



食事バランスガイドの参考割合は、性別と世代別で大きな違いがみられる。つまり、女性では半数以上が参考にしているのに対して、男性ではおよそ3割にとどまっている。世代別では、20代は、3割に達しないが、世代が上がるほどその割合が高くなっている。特に70代以上のひとり暮らしの回答者では、その割合は3割近くに達している。

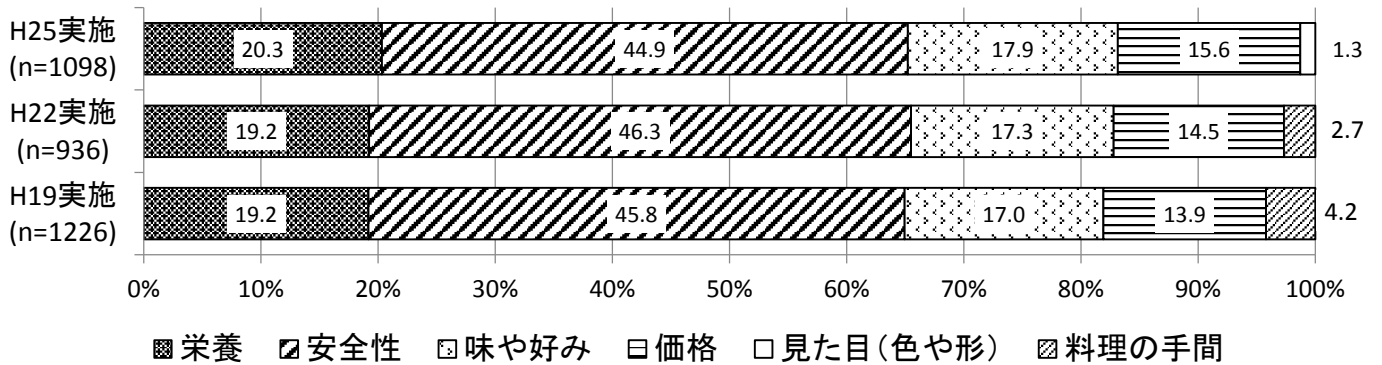
図2-7-2



問8 普段、食品を購入するときに、もっとも気をつけていることは何ですか？(1つに○)

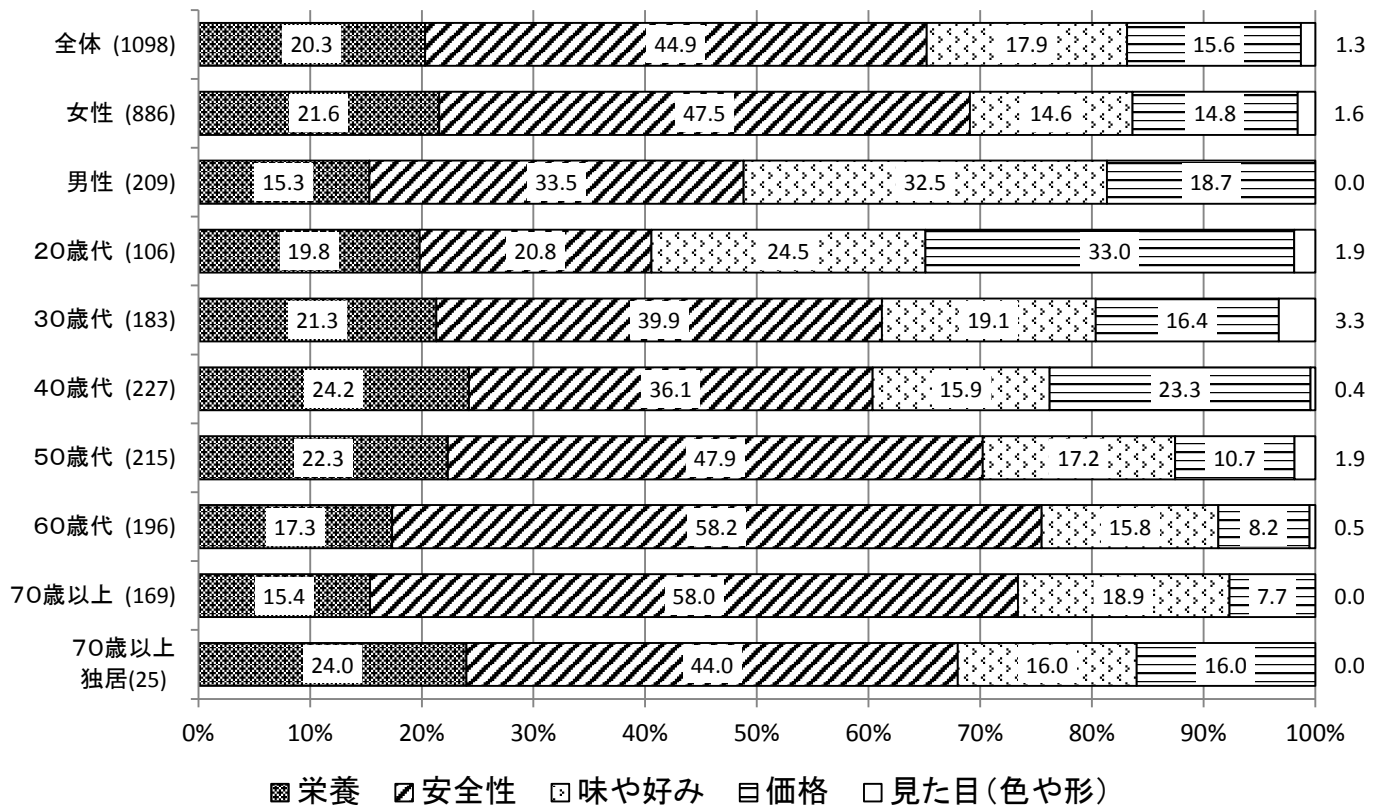
前回と比べて大きな変化はみられない。

図2-8-1



性別でみると、男性に比べて女性で安全性に関して割合が高い。世代別では、世代が上がるほど安全性に関して割合が高い傾向がみられる。しかし、70代以上のひとり暮らしでは安全性に関する割合が低下し、栄養面を重視するという回答が同世代と比べて増加している。

図2-8-2

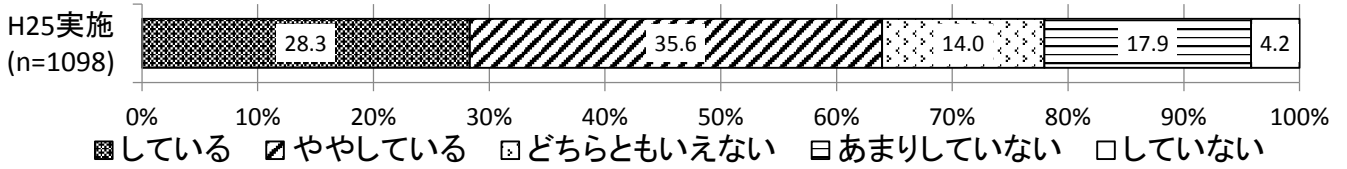




問9 食品に放射性物質が含有されているかどうかを心配していますか？(1つに○)

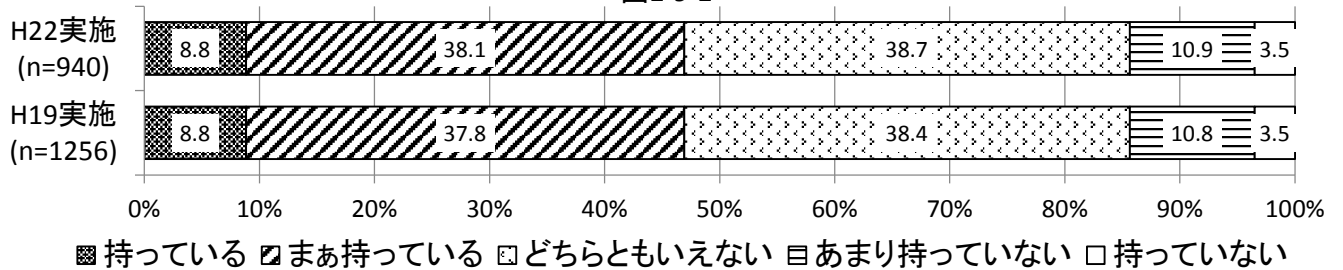
原発事故後のため、食品の放射性物質含有への不安は、3分の2近くで表明されている。

図2-9-1



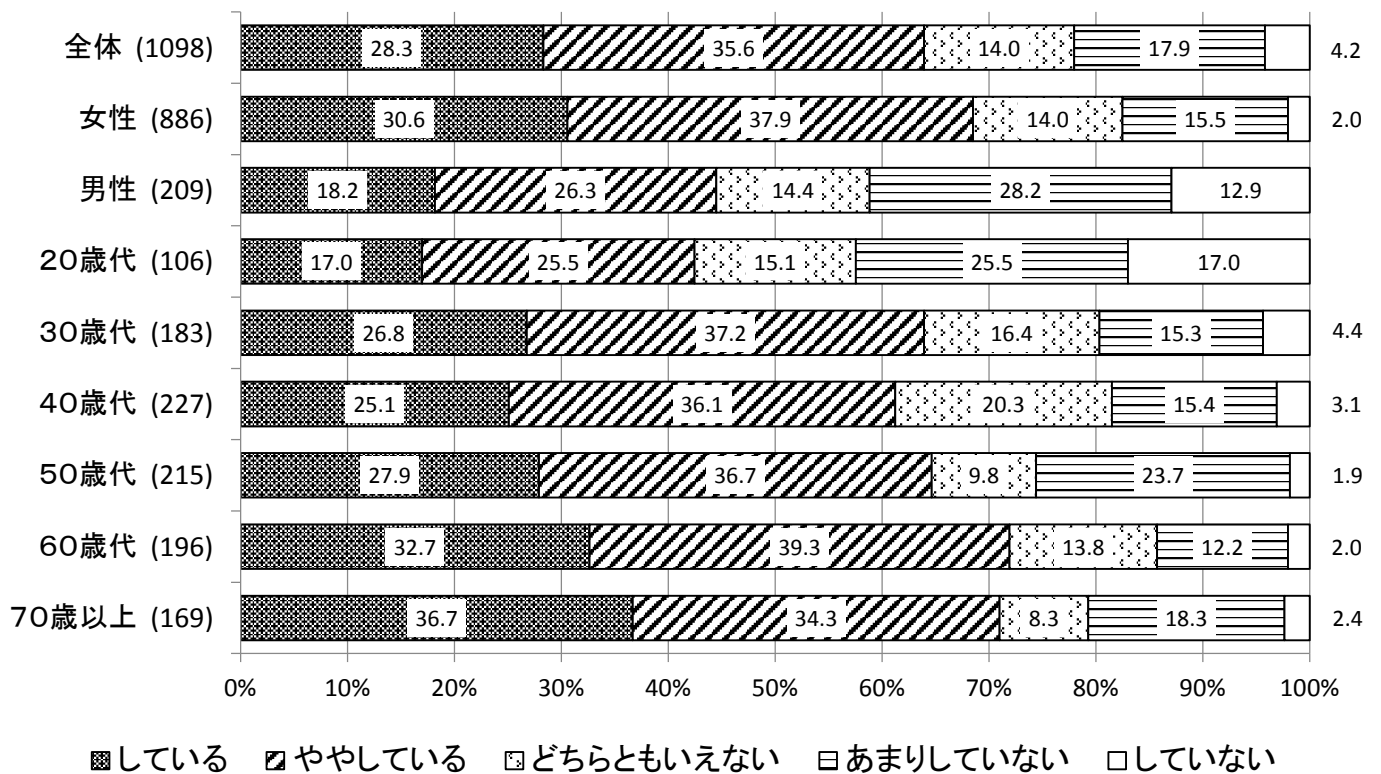
参考: 食品の安全性に関する基礎知識を持っているか？(H19,22)

図2-9-2



性別で見ると、女性で放射性物質含有への不安が7割近くに達しているのに対して、男性では4割を超える程度と大きな差がある。世代別では、世代が上がるほど不安を抱く割合が高くなっている。

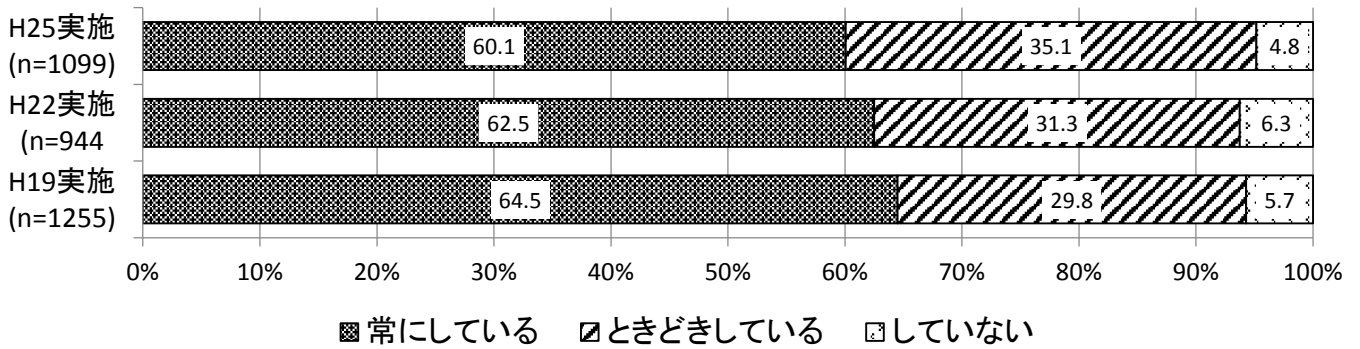
図2-9-3



問10 野菜や肉などの生鮮食品の購入時に産地はチェックしていますか？(1つに○)

産地チェックの割合は、「常にしている」、「ときどきしている」を合わせて95%となっており、大きく変化していない。

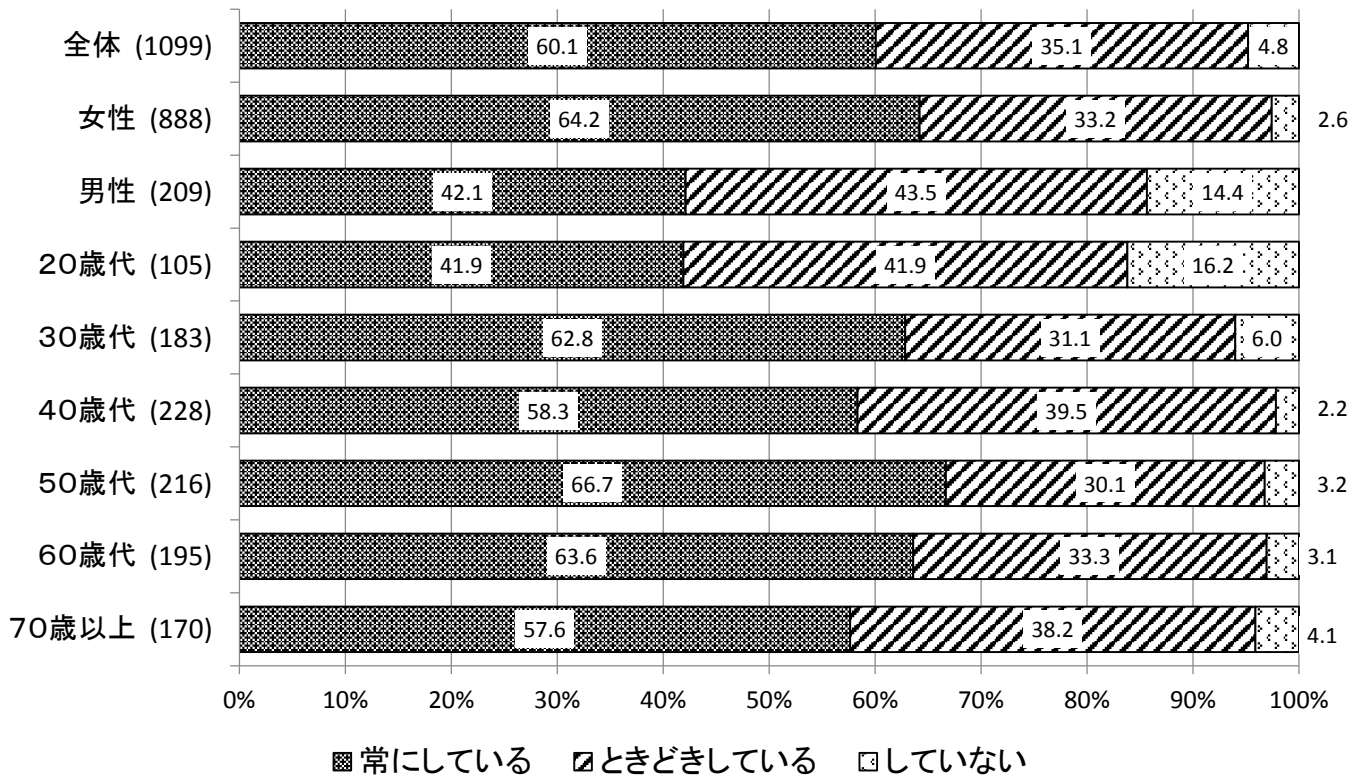
図2-10-1



産地チェックの割合は、女性では 97.4%が行っているのに対して、男性では 85.6%にとどまっております、男女差が大きい。

世代別では、20代では 83.8%で他世代と比べて最も低い割合になっている。

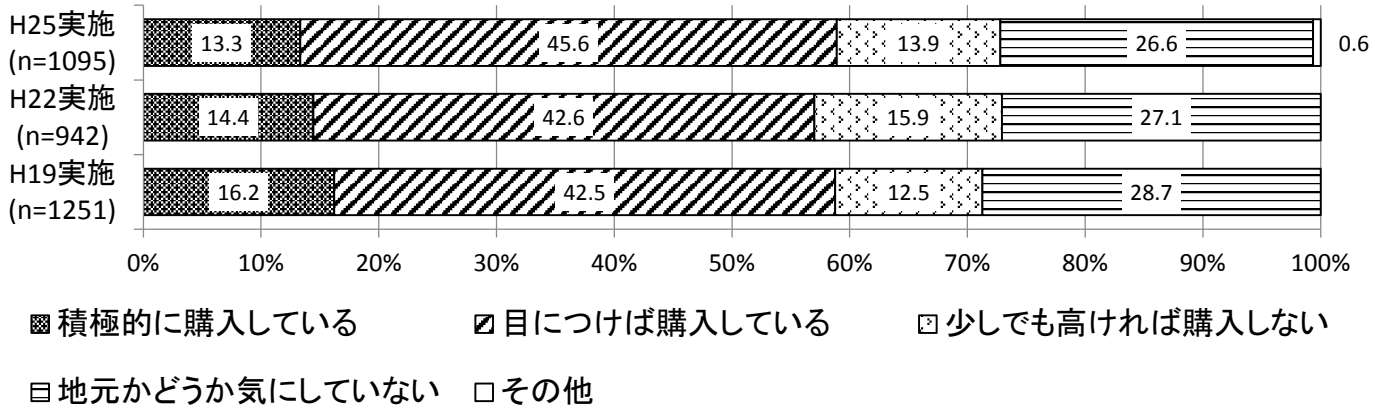
図2-10-2



問11 地元産(松戸産を含む千葉県産)の食材を購入していますか？(1つに○)

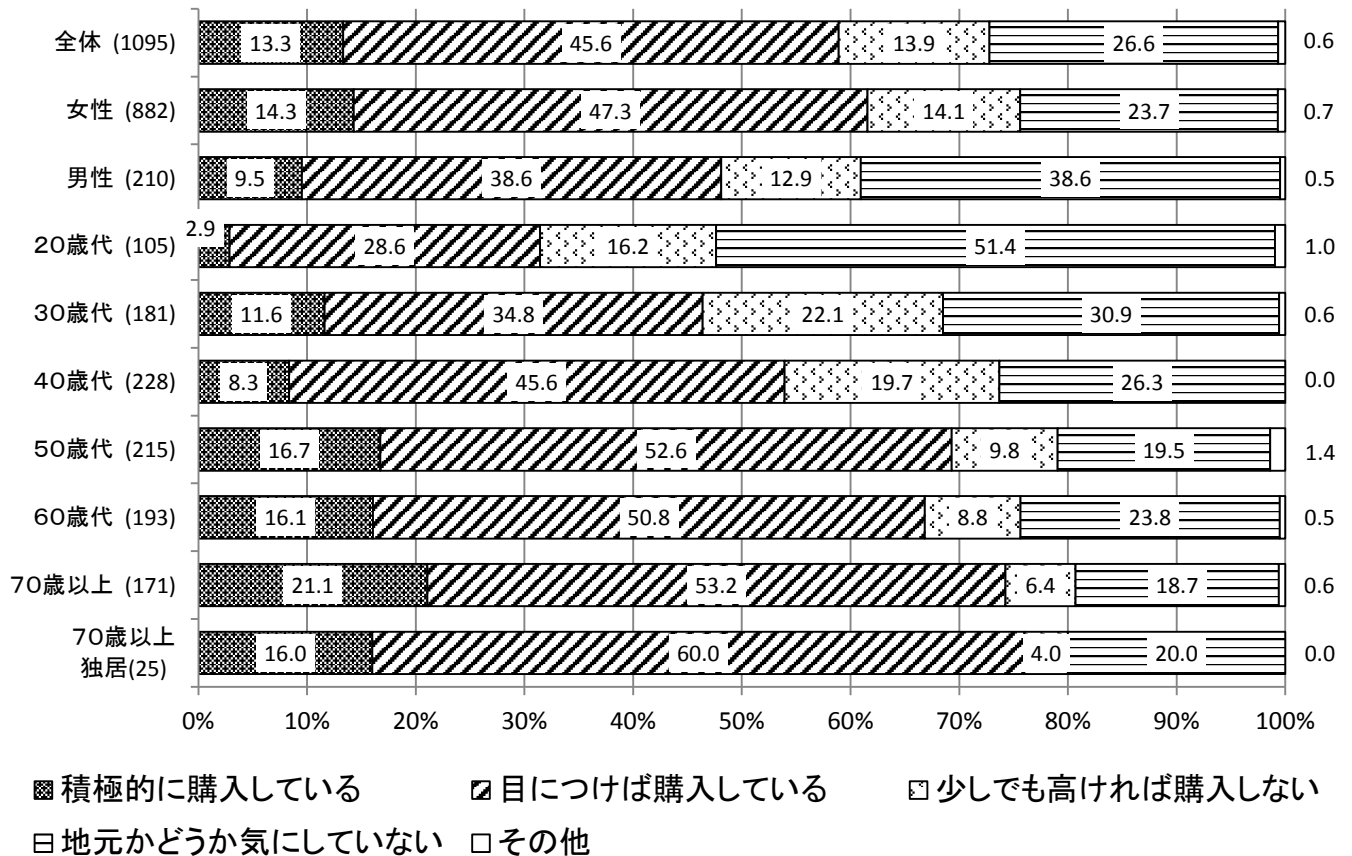
松戸産の食材購入に関しては、「目につけば購入」が最も高い割合で5割近い。これまでの調査結果の間での大きな違いはみられない。

図2-11-1



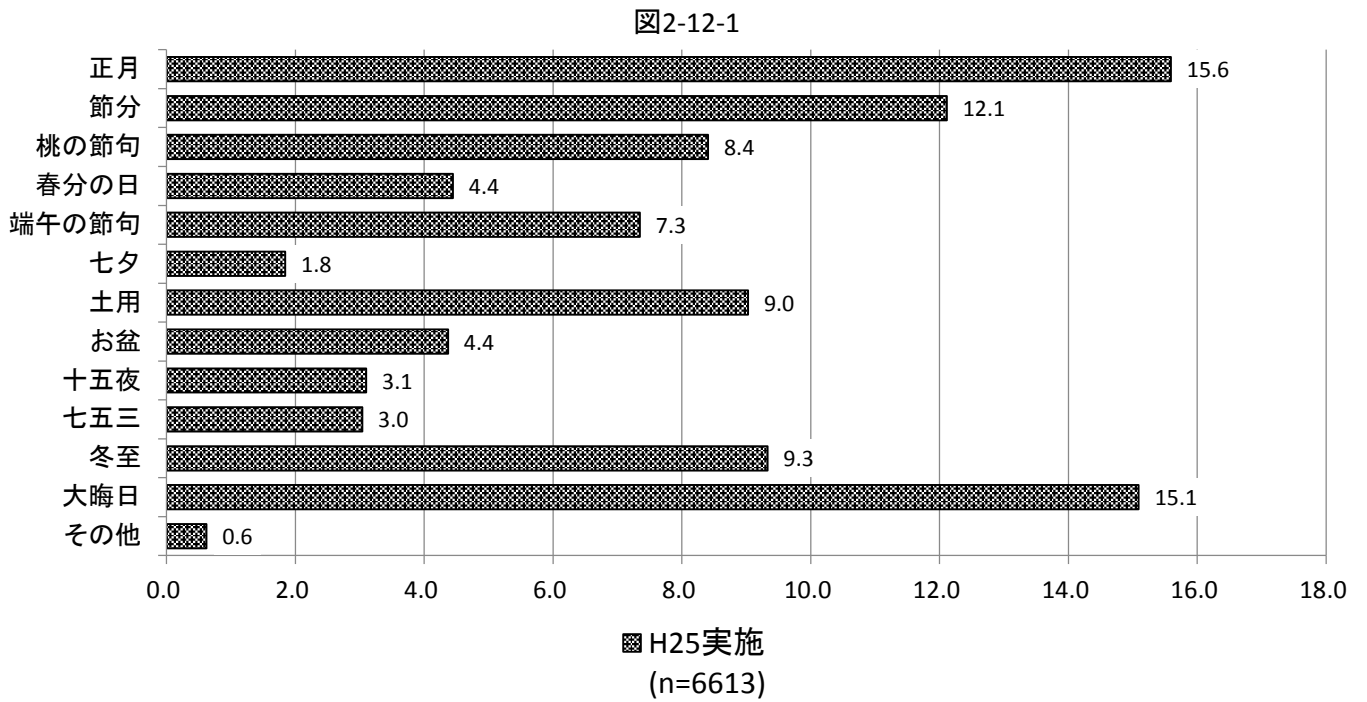
性別では、女性の場合約 3 分の2で「積極的に購入」、「目につけば購入」と回答しているのに対して、男性で両者の和は、5 割に達しない。世代別でみると、両者の和は 20 代で最も低いのに対して、世代が上がるほどに高くなる傾向がある。70 代以上のひとり暮らしでは「目につけば購入」が6割を占めている。

図2-11-2

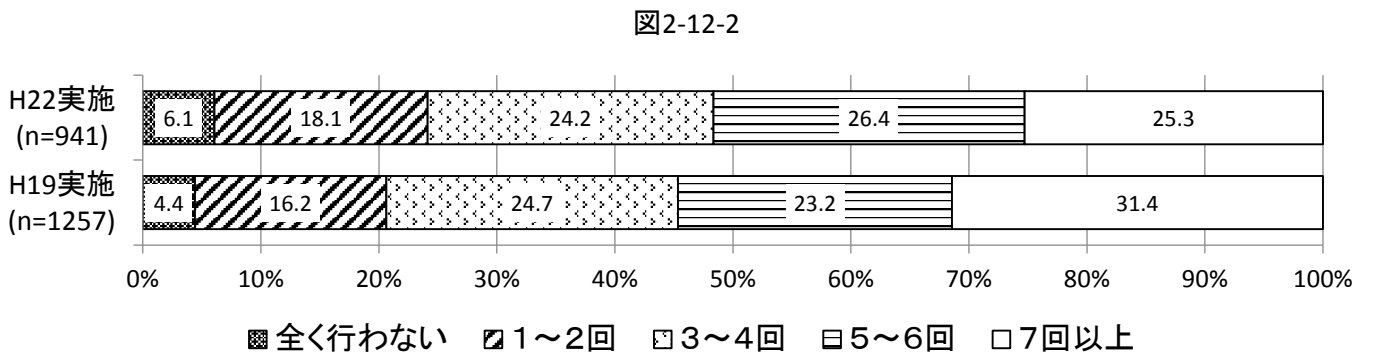


問12 以下の行事食を伴う伝統的な行事のうち、ご自宅で行っている行事全てに○をつけて下さい。

最も行われる3大行事食は、正月、大晦日、節分の時となっている。



参考:ご自宅で行事食を伴う伝統的な行事を年にどの程度行っていますか？(H19,H22)



性別での大きな差はみられない。また、世代別でも20代では正月と大晦日でやや割合が高いほかは大きな違いはない。このうち、70代以上のひとり暮らしではお盆と秋分の日（彼岸）の回答が最も高い。

表 1-3

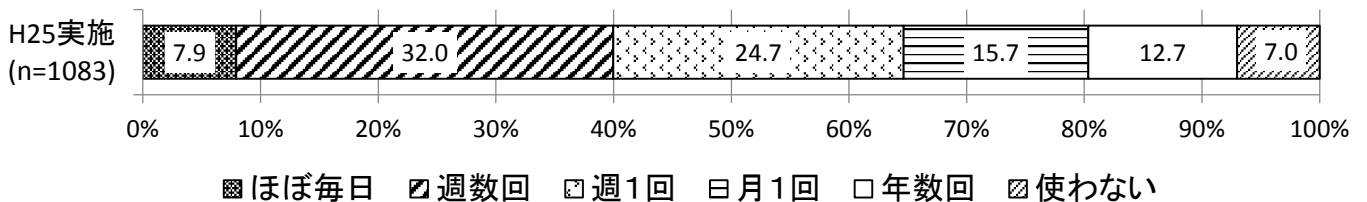
(%)

	全体 (人)	正月	節分	桃の節句	春分の日	端午の節句	七夕	土用	お盆	十五夜	秋分の日	七五三	冬至	大晦日
全体	1104	15.1	9.3	3.0	5.7	3.1	4.4	9.0	1.8	7.3	4.4	8.4	12.1	15.6
女性	890	14.6	9.6	3.2	5.7	3.2	4.1	8.8	1.8	7.6	4.4	9.0	12.2	15.1
男性	211	17.5	7.9	2.3	5.6	2.5	5.7	10.2	2.1	6.2	4.8	5.2	11.6	18.2
20歳代	106	<b>18.8</b>	7.6	3.1	2.7	3.3	3.1	8.8	3.1	5.5	1.4	7.8	15.3	<b>18.8</b>
30歳代	183	<b>15.5</b>	9.0	4.4	4.4	4.0	3.3	9.4	2.1	7.6	2.8	9.1	12.7	15.4
40歳代	229	<b>15.0</b>	9.1	4.0	4.5	3.9	3.6	8.6	2.3	8.0	2.8	9.8	13.1	14.8
50歳代	216	14.6	9.6	2.0	5.3	3.3	4.0	9.9	1.6	7.2	4.7	8.8	12.5	<b>15.6</b>
60歳代	196	14.8	9.8	2.7	7.5	2.3	5.5	8.7	1.0	6.9	6.8	6.9	10.5	<b>15.6</b>
70歳以上	172	14.1	10.0	2.1	8.2	1.8	6.1	8.4	1.6	7.8	6.6	7.4	10.1	<b>15.3</b>
70歳以上 (独居)	25	<b>18.1</b>	9.5	6.0	5.2	6.0	0.9	8.6	7.8	1.7	8.6	0.9	9.5	16.4

問13 あなたは冷凍食品をどの程度の頻度で利用していますか？(1つに○)

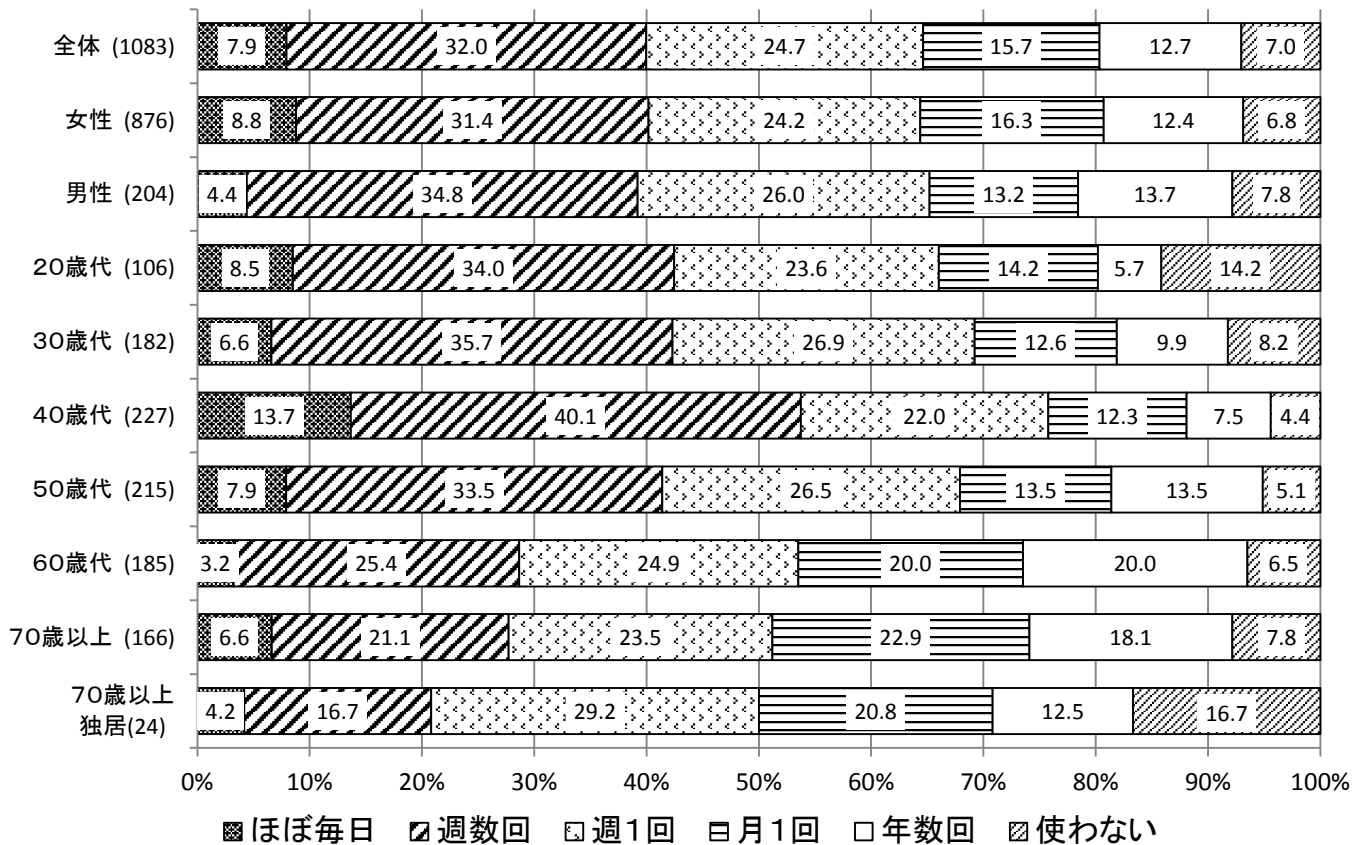
冷凍食品の利用頻度は、「週数回」から「週1回」の利用が最も一般的で両者合わせて56.7%となっている。

図2-13-1



性別では、毎日利用の割合が高いのは女性であるのに対して、「週数回」と「週1回」の利用は男性の割合が高い。世代別では、40代で最も利用割合が高く、60代と70代以上で相対的に低く、特に70代以上のひとり暮らしではその割合は低い。

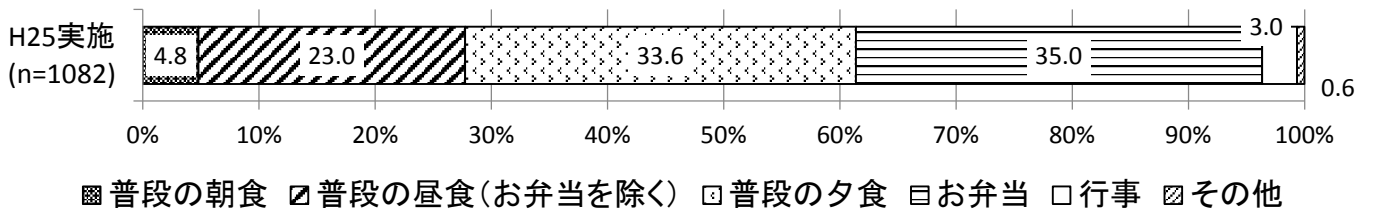
図2-13-2



問14 冷凍食品をどのような場面で利用していますか？(いくつでも○)

冷凍食品の利用頻度は、「弁当に利用」が最も多く35.0%で、次いで「夕食に利用」(33.6%)で、両者合わせて3分の2を超えている。

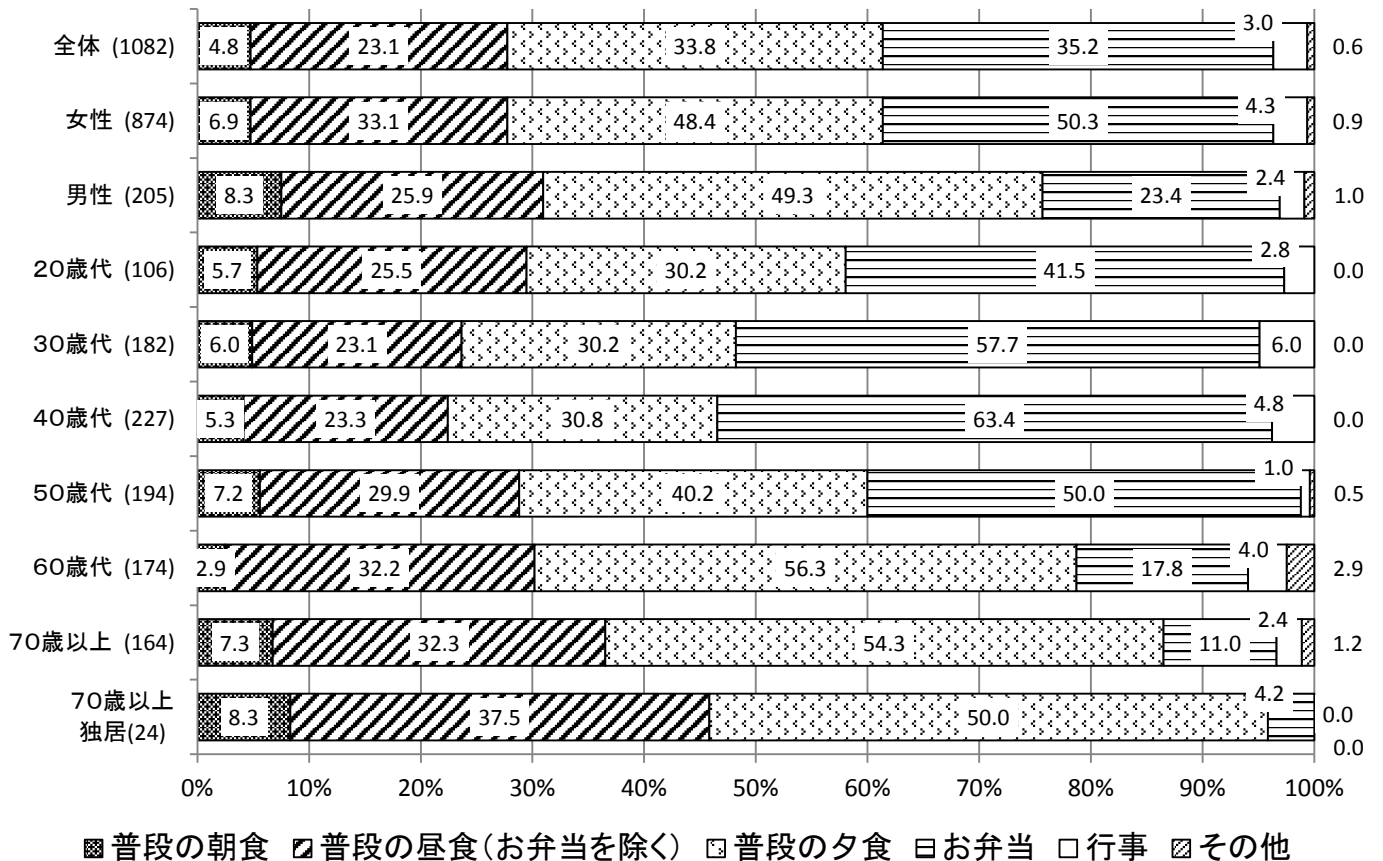
図2-14-1



性別で見ると、男性では夕食に利用する割合が5割近くに達しているのに対して、女性では弁当に利用が最も多く5割を超えており、男女でその利用の仕方が異なる点は興味深い。

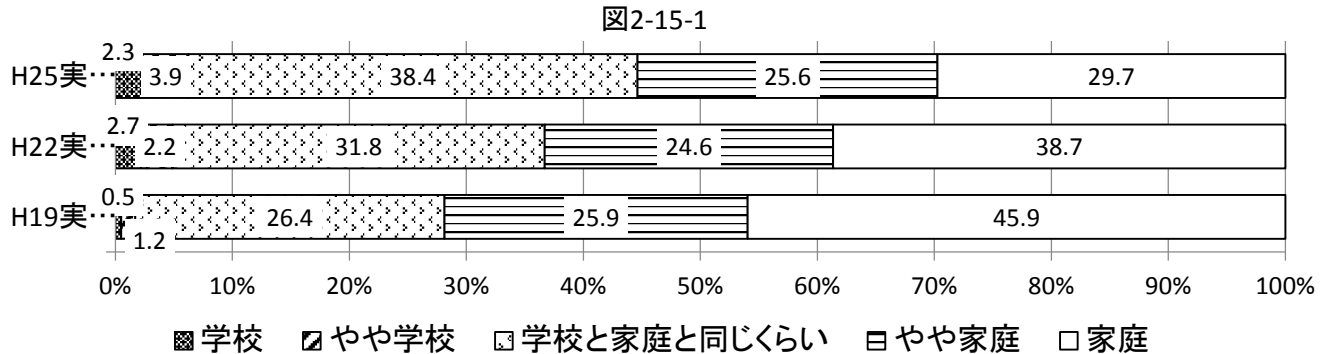
世代別にみると、60代と70代以上では半数以上が夕食に利用しており、70代以上のひとり暮らしでは昼食に利用する割合が高くなっている。30代から50代の層では弁当利用で半数を超えており、世代間の違いが明確となっている。回答者が家族の弁当を作成するか否かが違いをもたらしたと考えられる。

図2-14-2

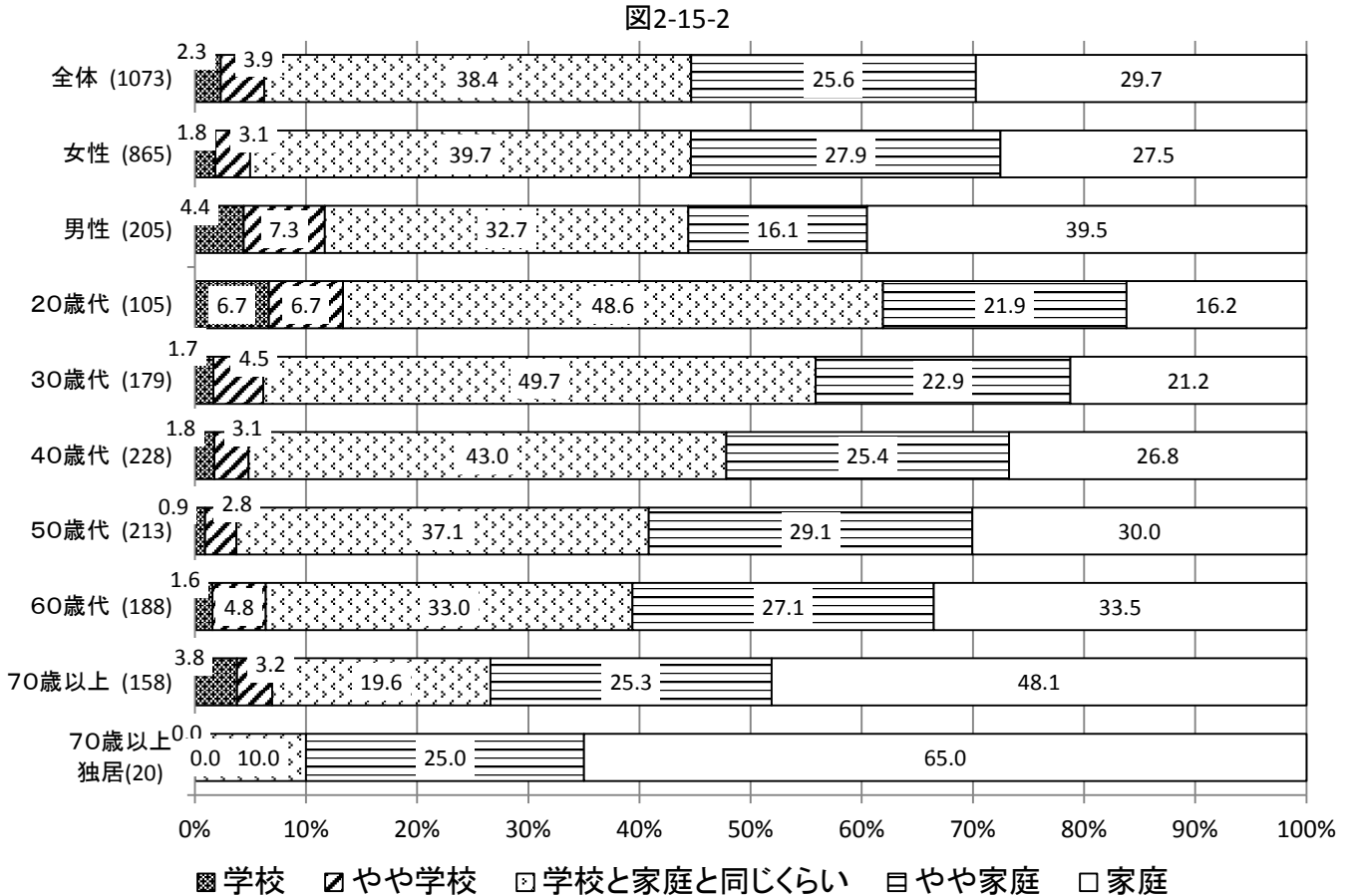


問15 子供達への食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要だと思いますか？(1つに○)

食育の場として、学校と家庭のどちらが重要かについては、過去の調査と比べて、「やや学校」の割合が4割近くに増加したのに対して、「家庭」の割合はおよそ3割へと減少したことから、学校での食育に対する期待が高まっている。



性別でみると女性では、「学校と家庭と同じくらい」が4割近くで最も多いのに対して、「やや家庭」の割合が高くなっているのに対して、男性では「家庭」がおよそ4割で最も割合が高い。世代別では、「学校と家庭と同じくらい」との回答割合が、若い世代ほど高いのに対して、「家庭」との回答割合は年齢が高くなるほど高くなっており対照的である。つまり、性別、世代別での意識の差が明確となっている。特に70代以上のひとり暮らしでは、「家庭」との回答が3分の2近くに達している。



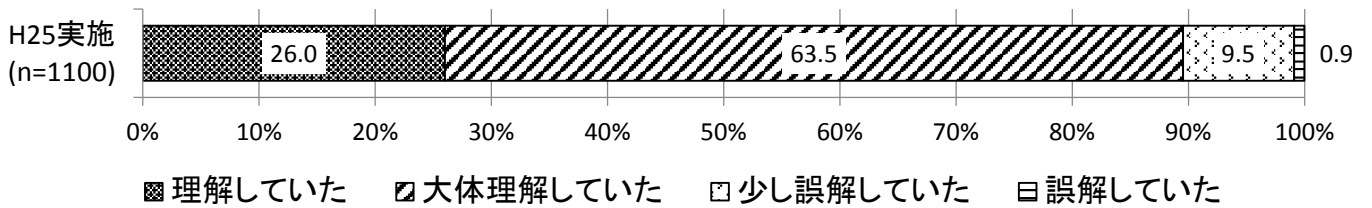


### 第3節 健康に関する意識

問16 あなたは、メタボリックシンドロームの意味を正確に理解していましたか？(1つに○)

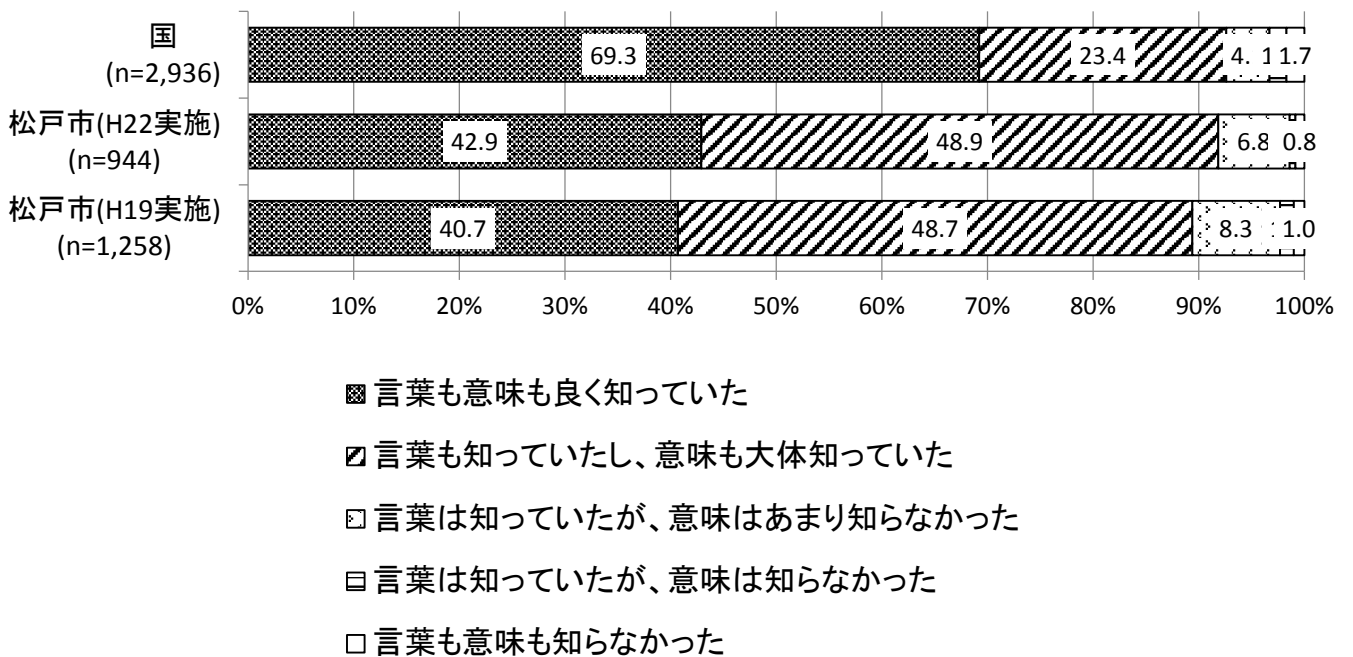
メタボリックシンドロームへの理解は、6割以上が大体理解しており、過去の調査と比べて理解が広がっているといえる。

図2-16-1



参考: あなたはメタボリックシンドロームという言葉や意味を知っていましたか？(H19,22)

図2-16-2



性別での理解の差はみられない。世代別では、「理解していた」との回答割合が世代が上がるほど高くなっており、70代以上のひとり暮らしでは最も高い。

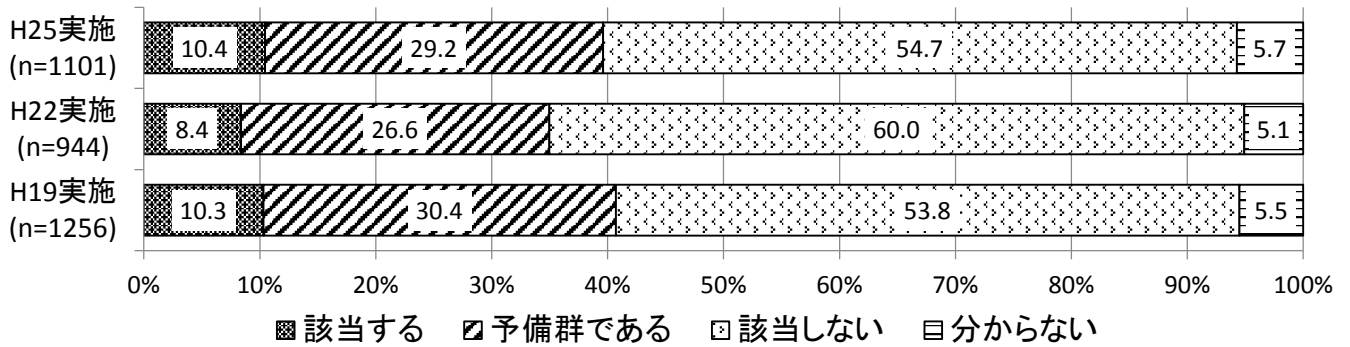
表 1-4 (％)

	全体 (人)	理解 していた	大体 理解 していた	少し 誤解 していた	誤 解 して いた
全体	1100	26.0	63.5	9.5	0.9
女性	886	26.2	63.7	9.5	0.7
男性	211	25.6	62.6	10.0	1.9
20歳代	106	23.6	<b>52.8</b>	19.8	3.8
30歳代	183	17.5	<b>65.6</b>	16.4	0.5
40歳代	229	22.7	<b>65.1</b>	10.9	1.3
50歳代	216	27.3	<b>68.1</b>	4.6	0.0
60歳代	194	32.5	<b>62.4</b>	4.6	0.5
70歳以上	170	32.4	<b>61.2</b>	5.9	0.6
70歳以上 (独居)	24	45.8	<b>54.2</b>	0.0	0.0

問17 あなたご自身はメタボリックシンドロームに該当すると思いますか？(1つに○)

メタボリックシンドロームに該当するかどうかについては、前々回（平成19年実施）と同様の結果となっており、「該当しない」が半数を超えている。

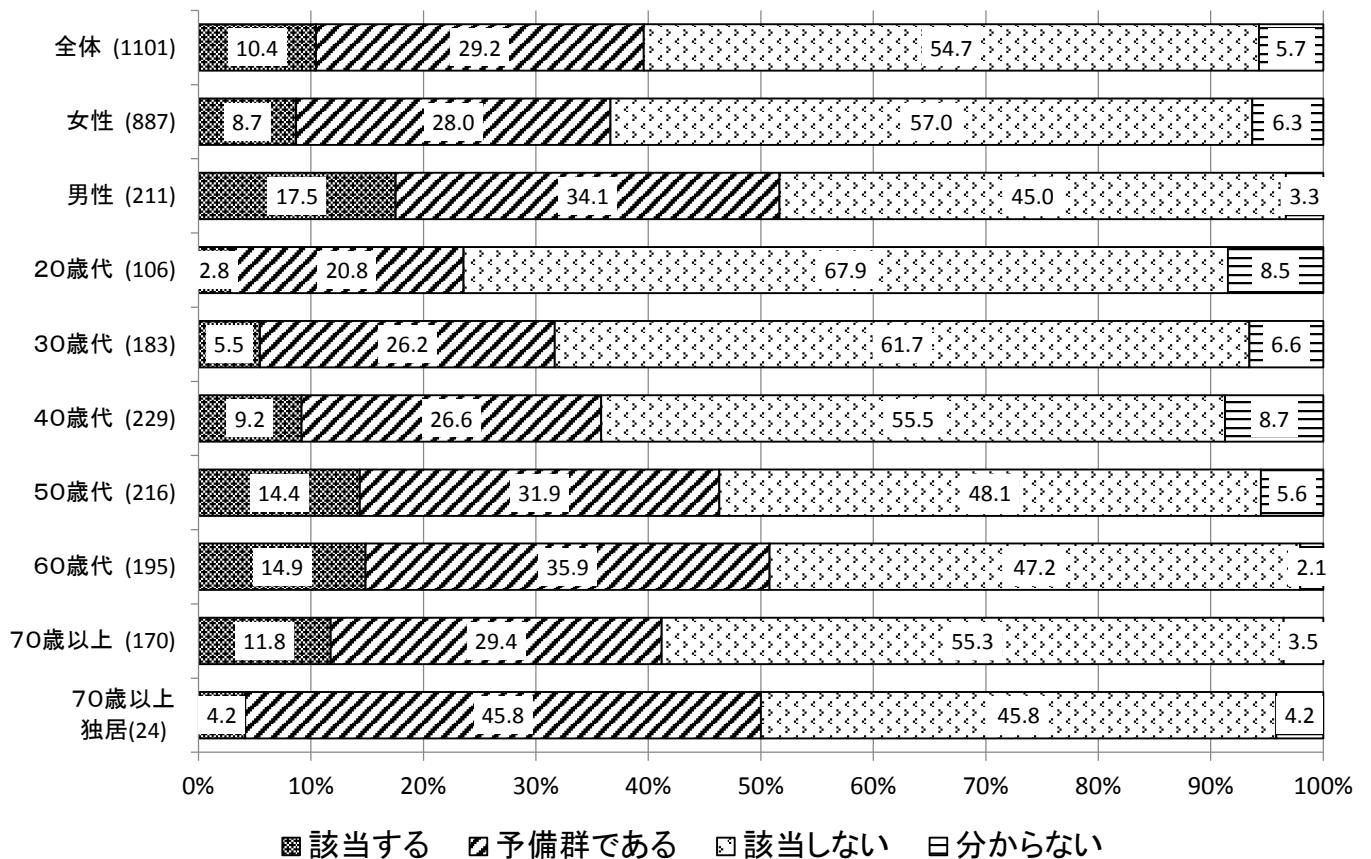
図2-17-1



性別では、男性で「該当」または「予備群」との回答割合が5割を超えているのに対して、女性では「該当しない」が6割近くに達しており、男女間で大きな差が認められる。

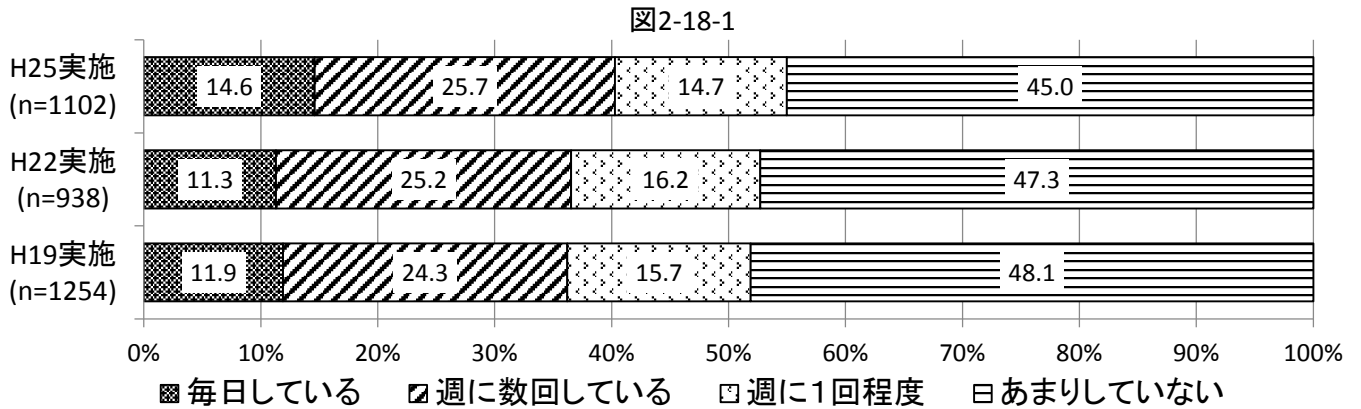
世代別では、20代から60代まで「該当」および「予備群」の割合が世代を上がるごとに高まっている。70代以上のひとり暮らしでは、「予備群」の割合が他世代に比べて高い。

図2-17-2



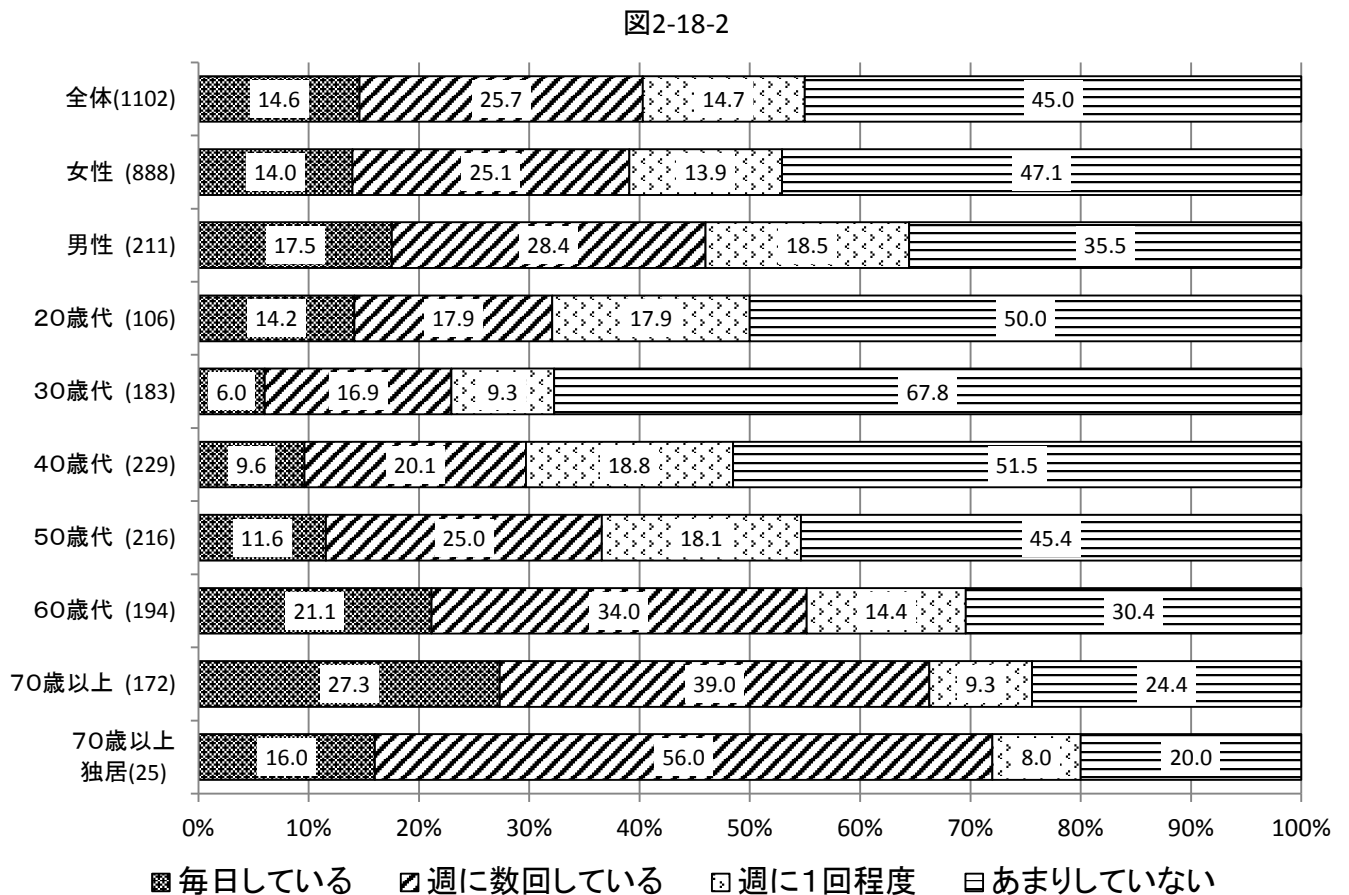
問18 あなたは散歩や水泳など、定期的に運動をしていますか？(1つに○)

定期的な運動の割合は、「毎日」と「週に数回」でわずかではあるが上昇して、4割を超えている。



性別では、「毎日」および「週に数回」の割合が男性で高く、男性の方が女性に比べて運動への関心がやや高い。

世代別では、30代で定期名運動の割合が最も低く、「あまりしていない」が3分の2を超えている。しかし、40代以降では世代が上がるごとに定期的に運動をする者の割合が高くなっている。70代以上のひとり暮らしでは大半が「週に数回」の運動を行っている。

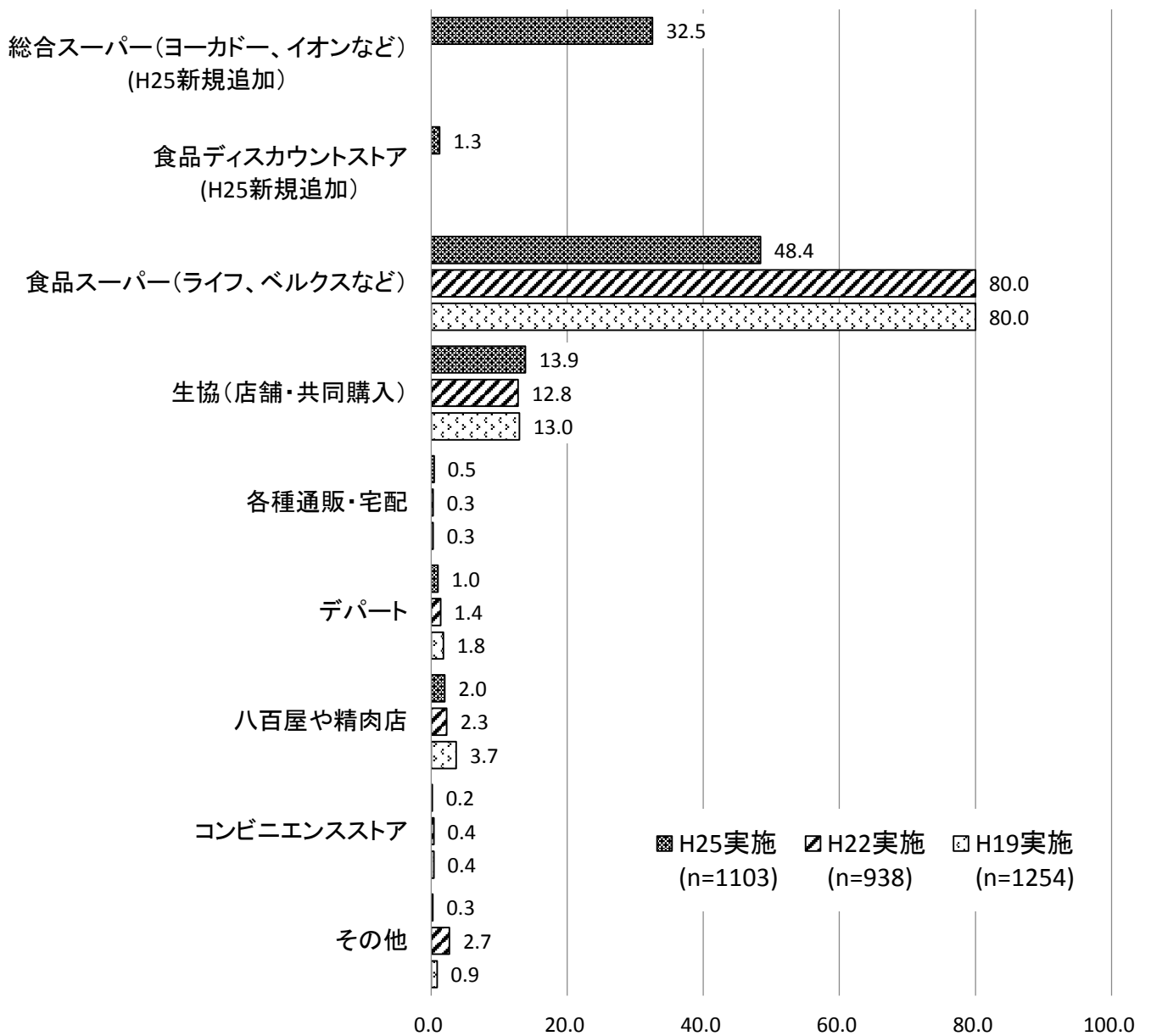


第4節 環境問題への意識

問19 普段、生鮮食品は主にどこで購入していますか？(1つに○)

生鮮食品は主にどこで購入先については、「食品スーパー」が最も高くなっており、「総合スーパー」の割合を加えると8割を超えており、購入先に関して大きな変化はない。

図2-19-1



性別にみると、女性では「生協」での購入割合が高いのに対して、男性では低くなっているが、全体として生協での購入割合は大きくはない。

世代別では、「食品スーパー」での購入割合が若い世代では高いが、年代が上がるほどその購入割合が低下する傾向がある。これに対して、生協の利用割合は、世代が上がるほど高くなる傾向にある。しかし、70代以上のひとり暮らしでは生協の割合が低下し、「八百屋や精肉店」などの専門店での購入割合が最も高くなっている。

表 1-5

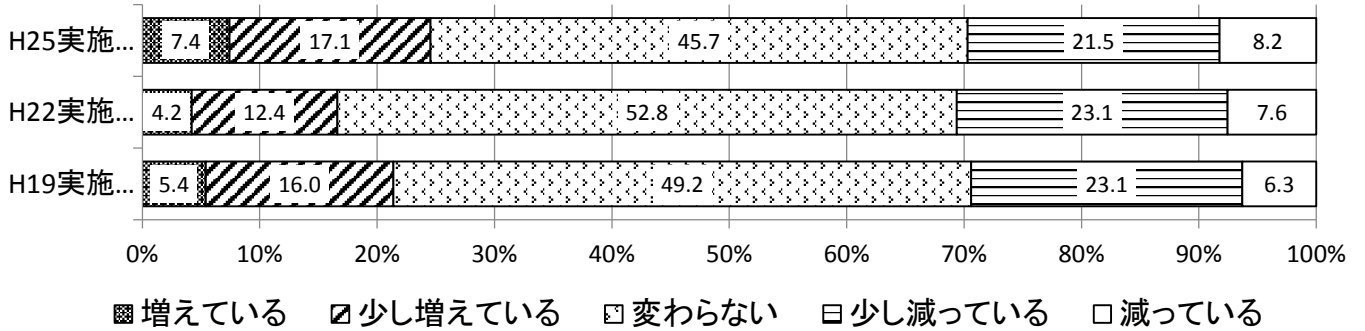
(%)

	全体（人）	総合スーパー（ヨドカドー、イオンなど）	食品スーパー（ライフ、ベルクスなど）	食品ディスカウントストア	生協（店舗・共同購入）	各種通販・宅配	デパート	八百屋や精肉店	コンビニ	その他
全体	1103	32.5	48.4	1.3	13.9	0.5	1.0	2.0	0.2	0.3
女性	890	30.9	48.4	0.8	15.6	0.4	1.1	2.2	0.1	0.3
男性	210	39.5	48.6	3.3	6.7	0.0	0.5	1.0	0.5	0.0
20歳代	106	39.6	<b>54.7</b>	0.9	3.8	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0
30歳代	183	28.4	<b>58.5</b>	0.5	9.8	1.6	0.0	0.5	0.5	0.0
40歳代	229	32.3	<b>52.0</b>	1.3	10.9	0.4	1.7	0.4	0.0	0.9
50歳代	215	29.8	<b>47.9</b>	0.9	17.2	0.0	0.0	3.7	0.0	0.5
60歳代	196	30.1	<b>41.8</b>	1.5	23.0	0.0	1.5	2.0	0.0	0.0
70歳以上	172	<b>39.0</b>	37.2	2.3	14.0	0.6	1.7	4.7	0.6	0.0
70歳以上（独居）	25	<b>48.0</b>	28.0	0.0	8.0	0.0	0.0	16.0	0.0	0.0

問20 以前(概ね5年前)に比べて、自宅1人当たりの家庭ごみの量は変わりましたか？(1つに○)

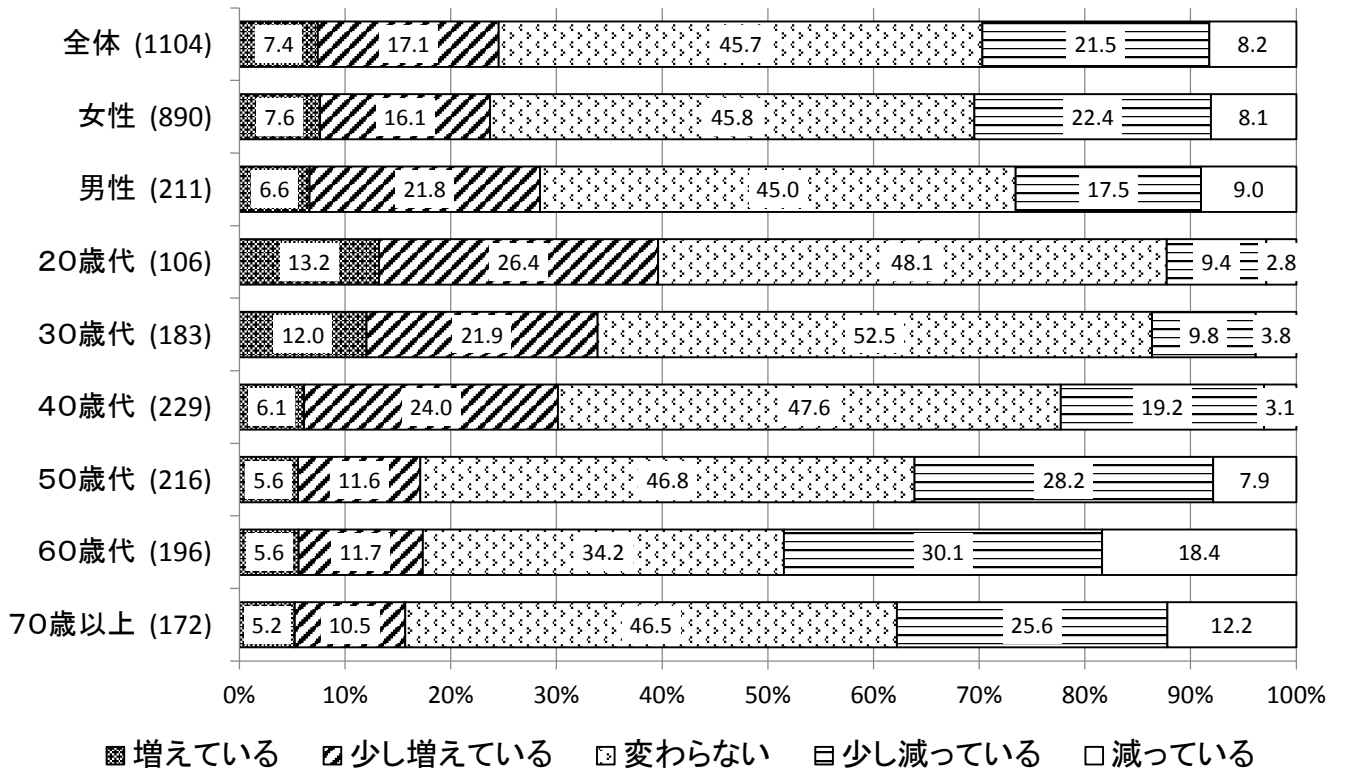
家庭ごみの排出量の変化については、「変わらない」との回答割合が最も高いが、増加したとの回答割合はおよそ4分の1となっている。

図2-20-1



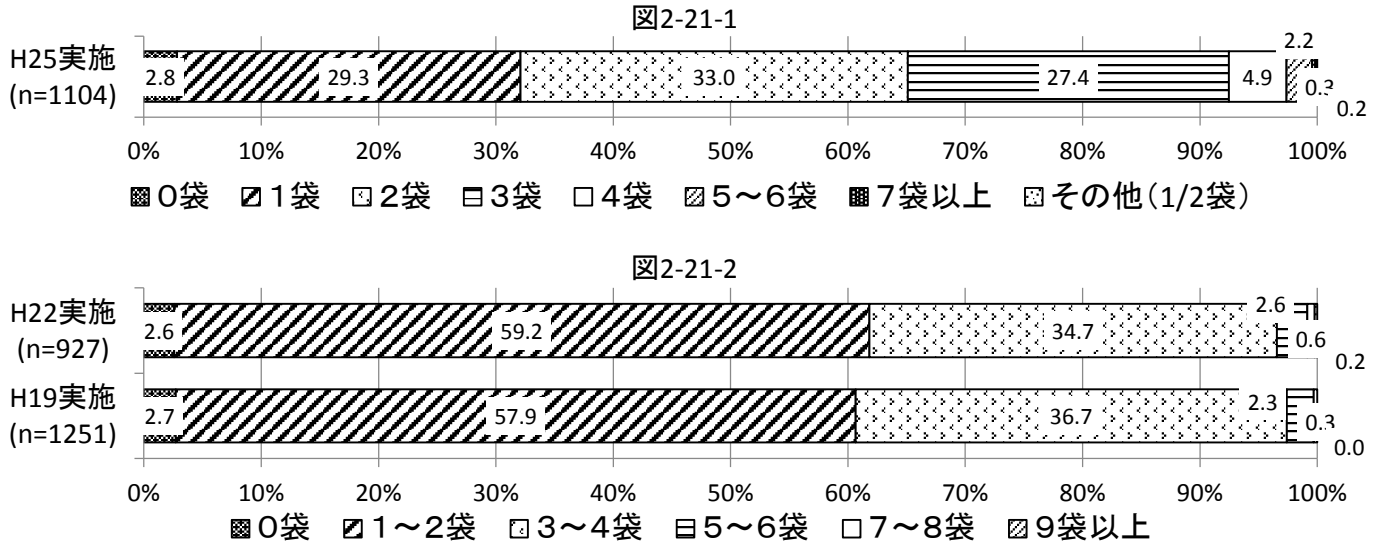
性別では、男性で「少し増加」との回答が2割を超え、女性に比べてやや高くなっている。  
 世代別では、若い世代と中高年世代で違いがみられる。20代では「増加」との回答割合が4割近いのに対して、50代以上の中高年世代では、「増加」は2割に達しない。

図2-20-2



問21 お宅では燃やせるごみを週に何袋(市指定の紙袋に換算)ぐらい出していますか？(1つに○)

ごみの排出量については、「1袋」から「2袋」が6割を超えており、過去の調査と比べて若干増えている。



性別にみると、女性では「2袋」が3分の1と最も高く(34.4%)、男性では「1袋」が最も多い(31.4%)。世代別では、20代で「3袋」、40代では「1袋」が最も多くなっているが、それ以外の世代では「2袋」が最も多い。70代以上のひとり暮らしでは半数以上が「1袋」となっている。

表 1-6 (％)

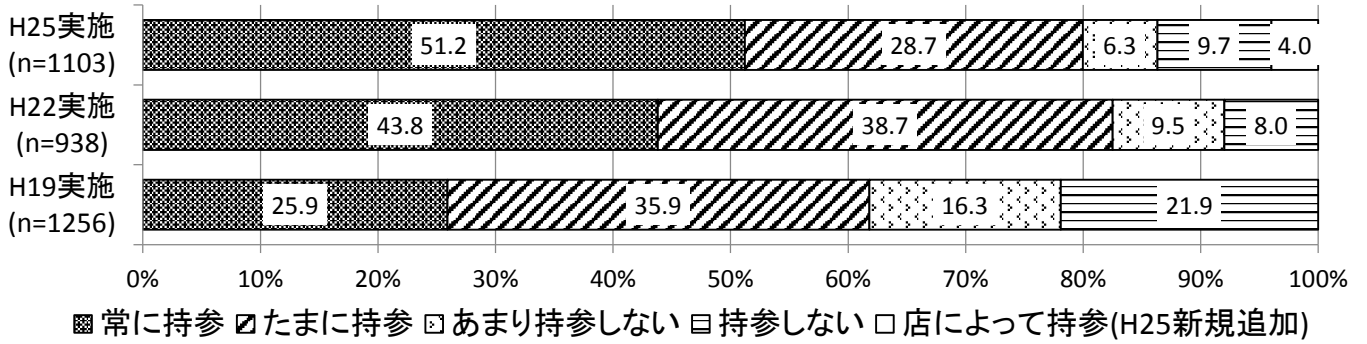
	全体 (人)	0袋	1袋	2袋	3袋	4袋	5 ~ 6袋	7袋 以上	その他 (1 / 2袋)
全体	1100	2.8	29.3	33.0	27.4	4.9	2.2	0.3	0.2
女性	887	2.6	28.7	34.4	27.4	4.4	2.1	0.1	0.2
男性	210	3.8	31.4	27.6	27.1	6.7	2.4	1.0	0.0
20歳代	105	4.8	28.6	22.9	<b>31.4</b>	8.6	2.9	0.0	1.0
30歳代	183	2.2	21.9	<b>36.6</b>	31.1	5.5	2.7	0.0	0.0
40歳代	229	1.7	<b>32.8</b>	30.6	28.4	4.4	2.2	0.0	0.0
50歳代	215	1.9	28.4	<b>31.2</b>	29.8	5.1	2.8	0.9	0.0
60歳代	196	3.6	29.6	<b>35.7</b>	26.0	3.6	1.0	0.0	0.5
70歳以上	170	4.1	34.1	<b>38.2</b>	17.6	3.5	1.8	0.6	0.0
70歳以上 (独居)	23	13.0	<b>52.2</b>	30.4	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0



問22 普段の買い物のとき、買い物袋(マイバッグ)は持参しますか？(1つに○)

マイバッグの持参割合は、調査の実施のたびに増加しており、今回調査では5割を越える回答者が「常に持参」している。

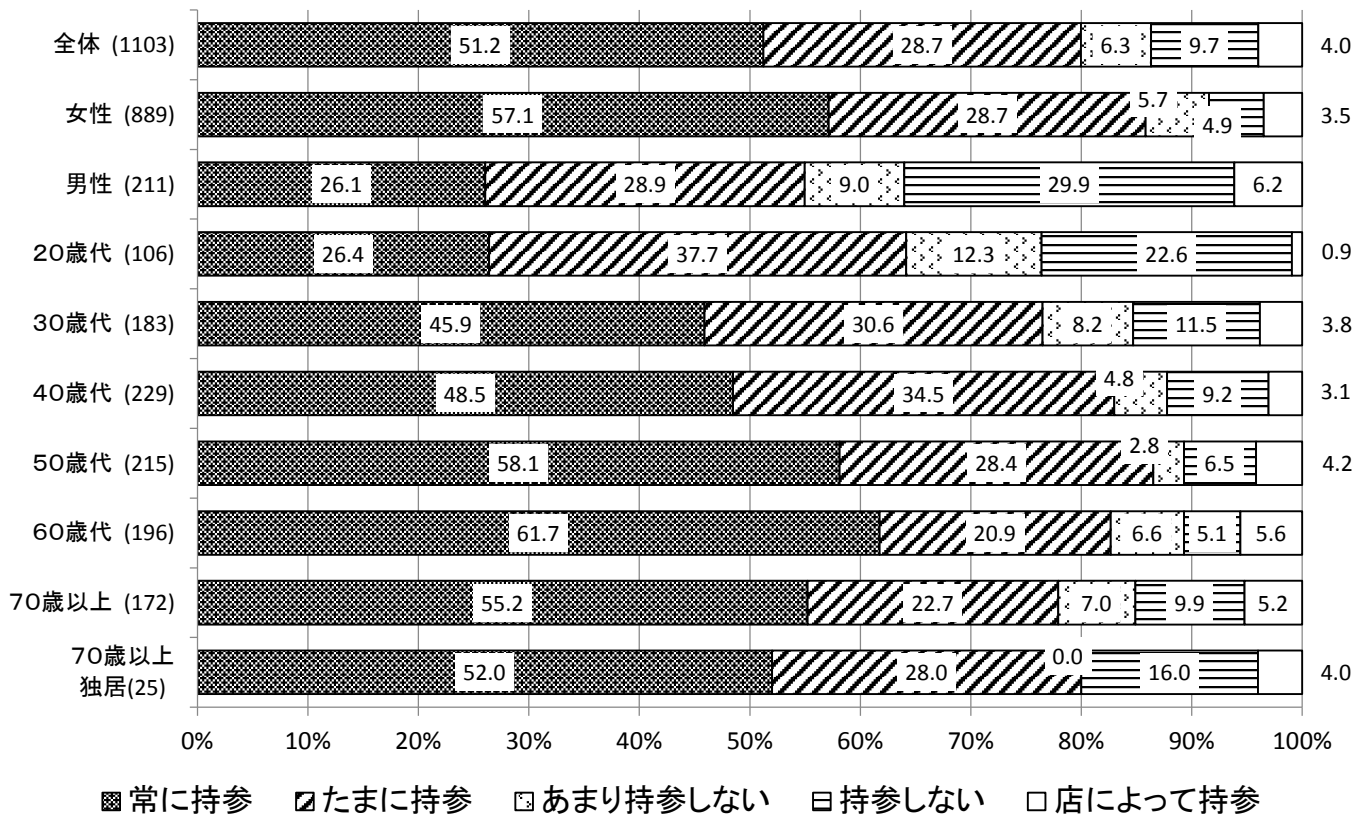
図2-22-1



性別では、女性では6割近くが「常に持参している」のに対して、男性では4分の1程度にとどまっております。男女間で差が大きい。

世代別にみると、「常に持参している」割合は20代では26.1%程度であるが、60代までは世代が高くなるほど高くなっている。しかし、70代以上のひとり暮らしでは、「たまに持参」、ないしは「持参しない」との回答が、同世代に比べて高い。

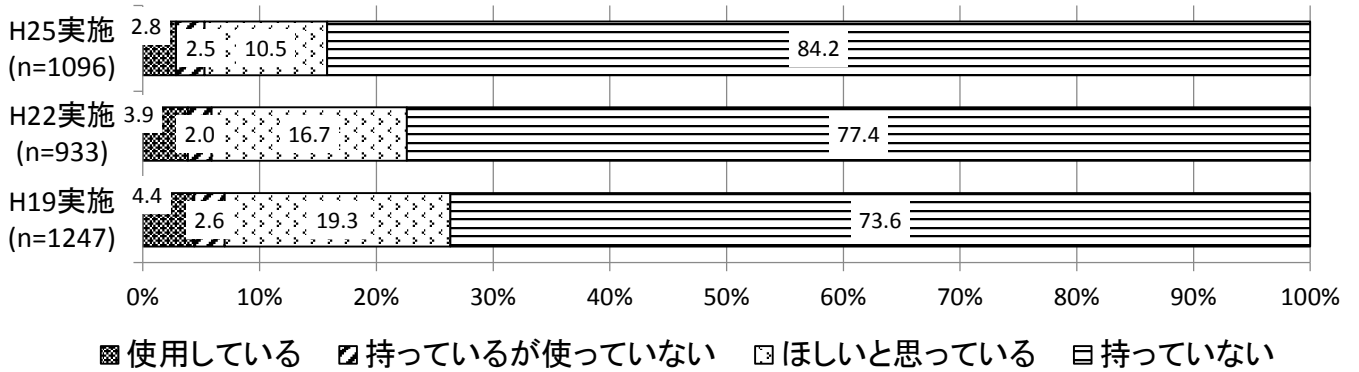
図2-22-2



問23 あなたは生ごみ処理容器(コンポスト)等を使用していますか？(1つに○)

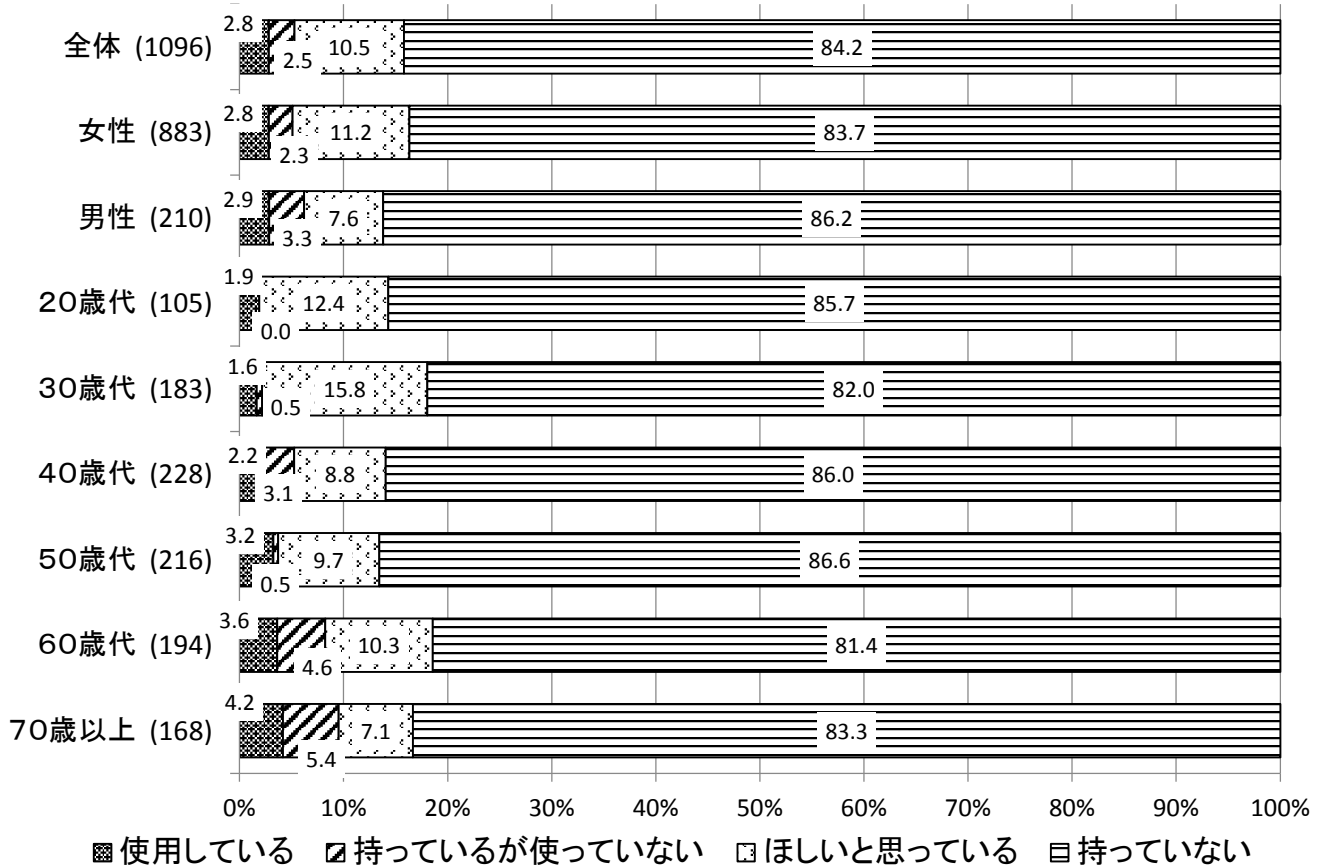
生ごみ処理器の使用割合は、過去の調査からみると、「使用している」割合は毎回減少し、「ほしいと思っている」回答者の割合も減少している。

図2-23-1



性別や世代間での顕著な変化みられないが、高齢者世代でわずかに使用割合が高くなる傾向がある。

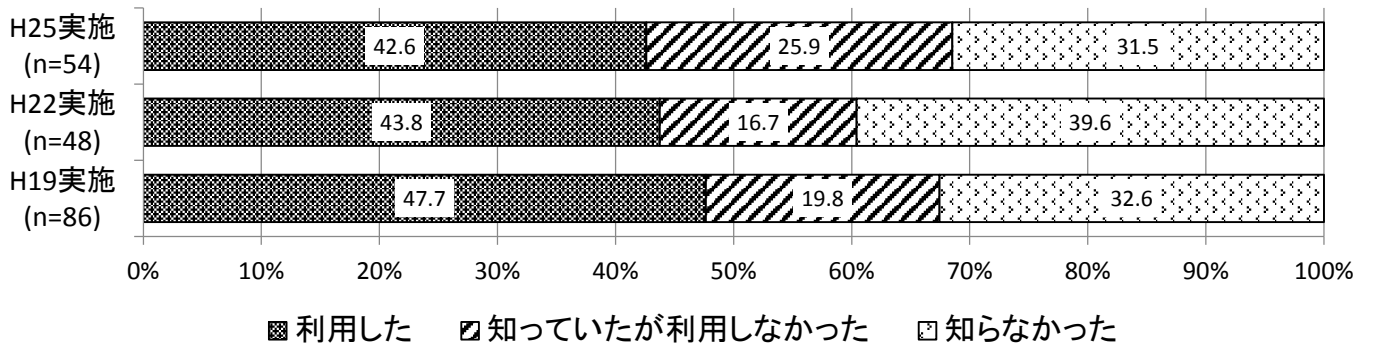
図2-23-2



問24 持っている方にお聞きします。購入の際に市の補助金制度を利用しましたか？(1つに○)

生ゴミ処理器の使用者が、市の補助金制度を利用したかどうかについて聞くと、「利用した」は4割程度であるが、「知っていたが利用しなかった」は今回大きく増え、4分の1に達している。

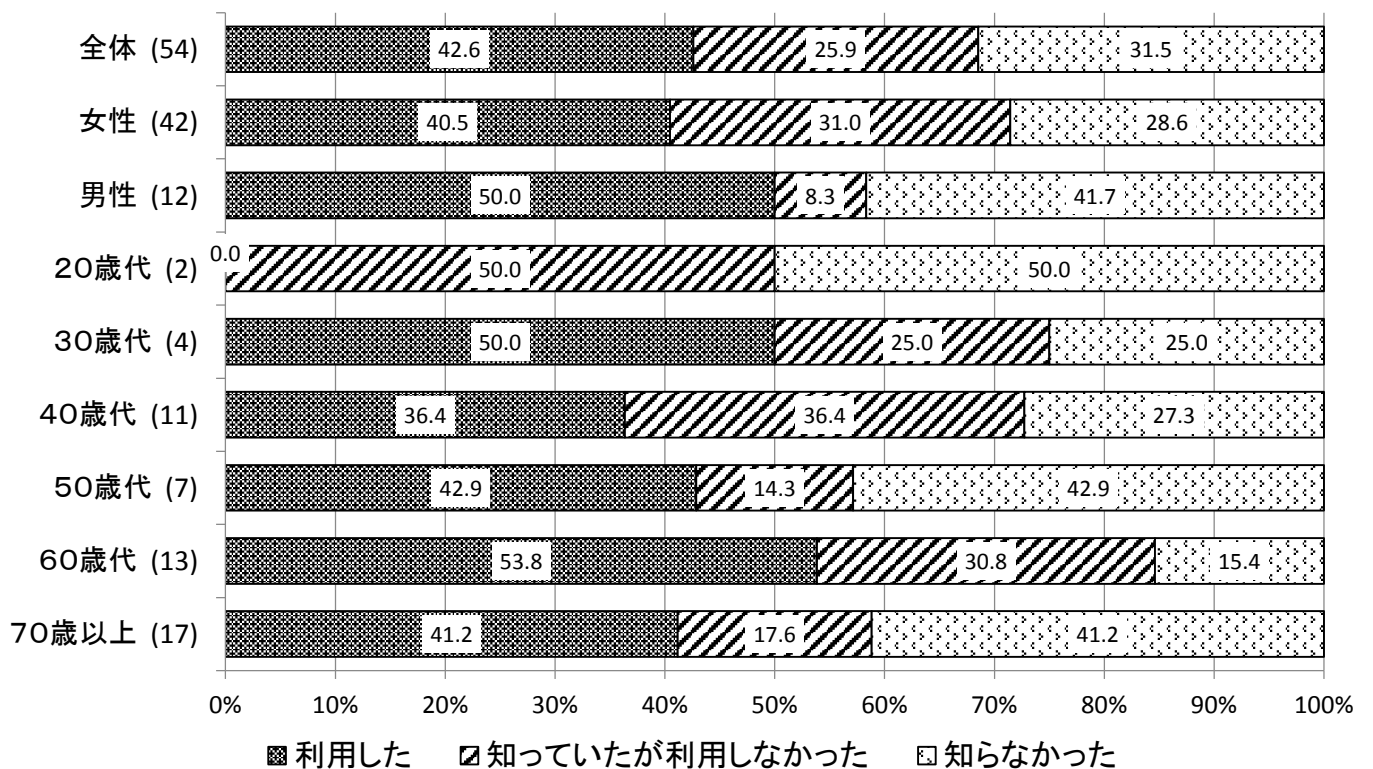
図2-24-1



性別では、男性の利用割合が5割に達しているのに対して女性は4割で、「知っているが利用しなかった」は3割を超えており、男女間で利用の差が大きい。

世代間でも、違いが大きく、60代では53.8%、30代では5割が利用しているのに対して、20代では利用者はみられなかった。

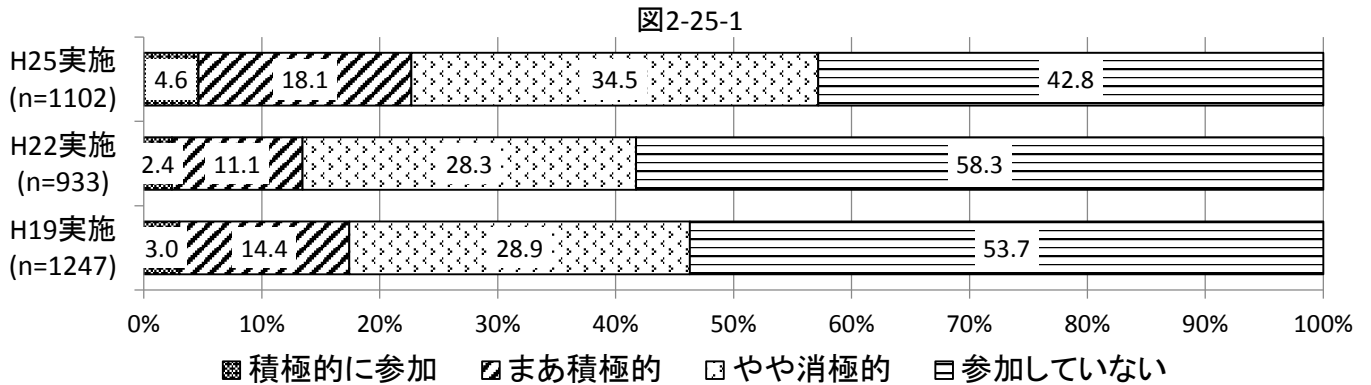
図2-24-2



第5節 地域社会への意識

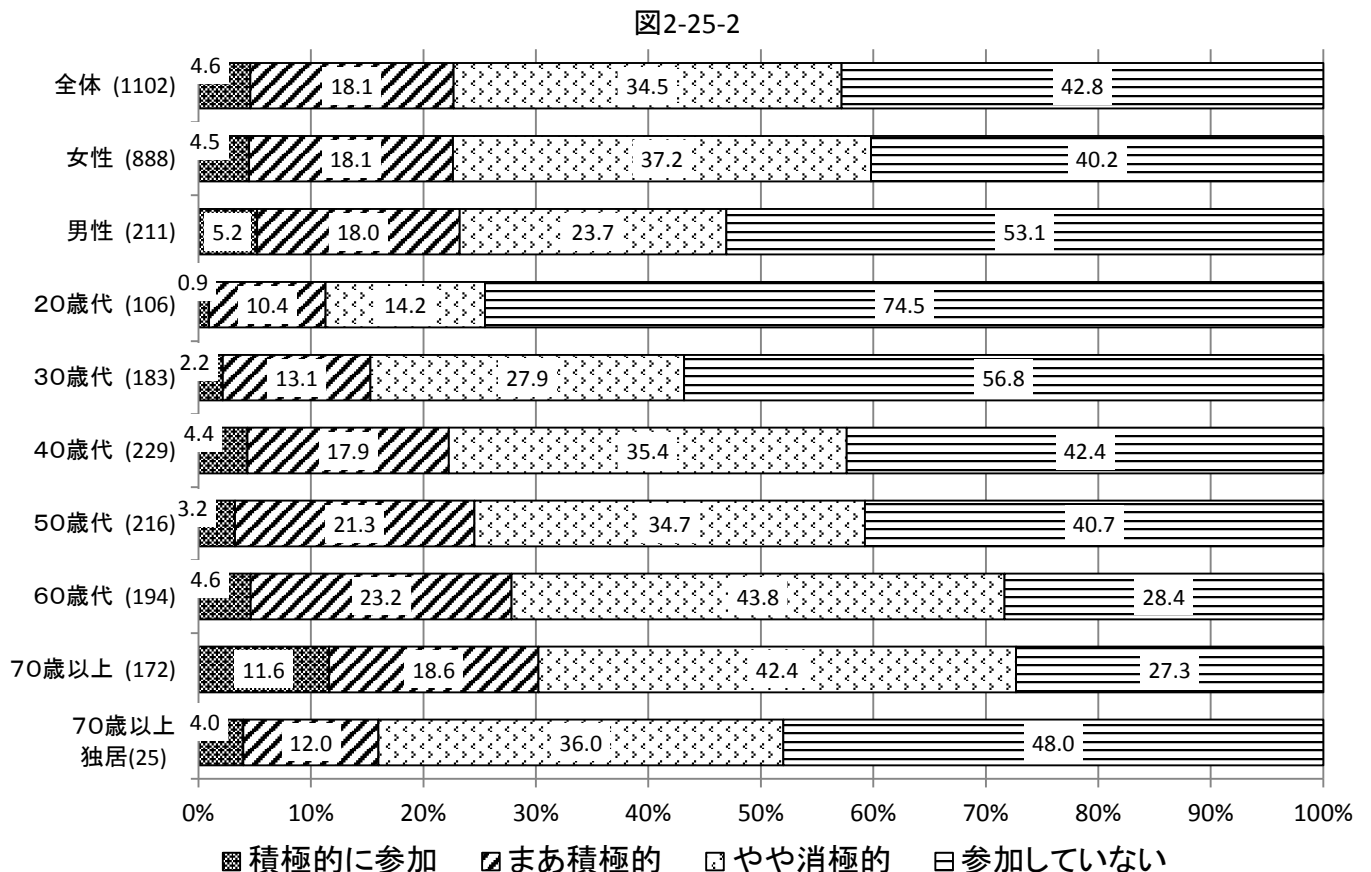
問25 あなたは地域の活動(町内会など)に参加していますか？(1つに○)

地域の活動への参加状況は、参加しない割合が過去の調査に比べて減少し、「やや消極的参加」も含めて参加割合は増加している。



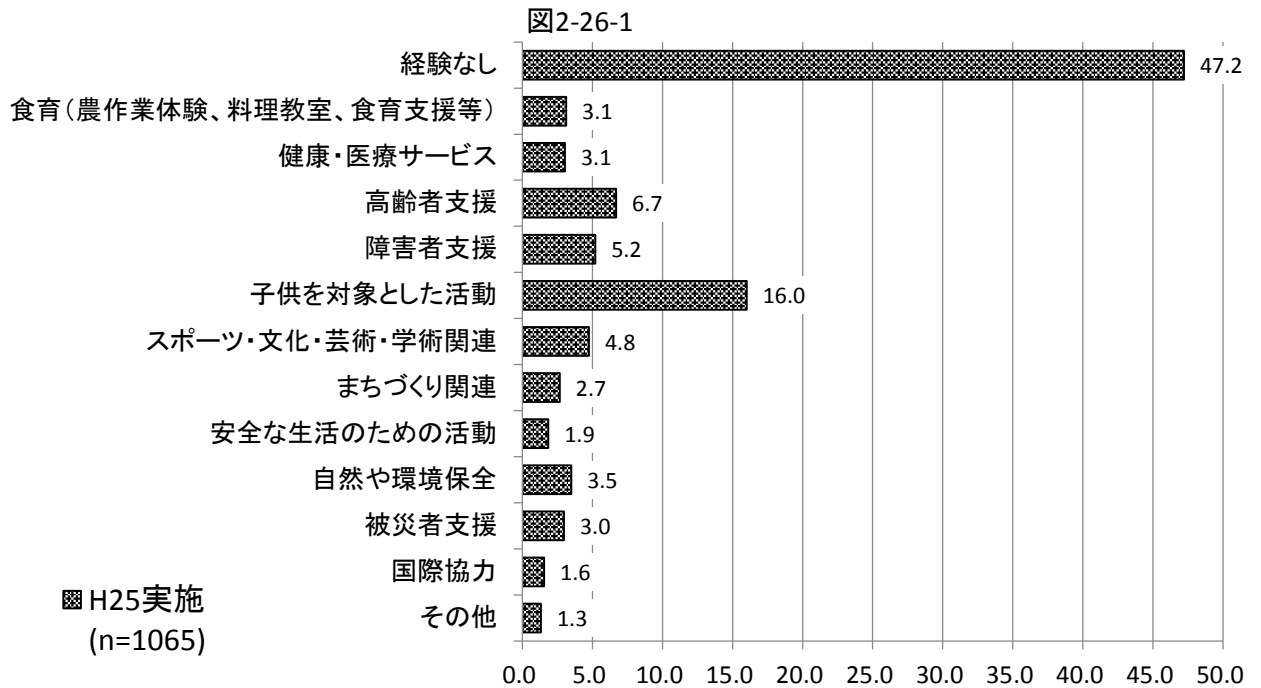
性別では、やや消極的ながらも参加している割合が6割を占めているのに対して、男性は参加しない割合が半数を超えており、男女間での差がみられる。

世代間での違いは、顕著で20代では4分の3が参加していないのに対して、世代が上がるにつれて参加割合は上昇し、高年世代では7割以上が参加している。



問26 これまでボランティアの経験(現在実施中含む)がありますか？ (該当するもの全てに○)

ボランティアの経験については、5割近くが「経験なし」と回答している(47.2%)。経験者では、子供を対象とした活動が最も目立っている。



性別でみると、女性で子供を対象とした活動で経験割合が高く、割合は小さいが男性ではスポーツ等で割合が高い。世代別では、20代では自然や環境保全でその割合が高く、40代・50代の中年世代では子供を対象とした活動で高くなっている。

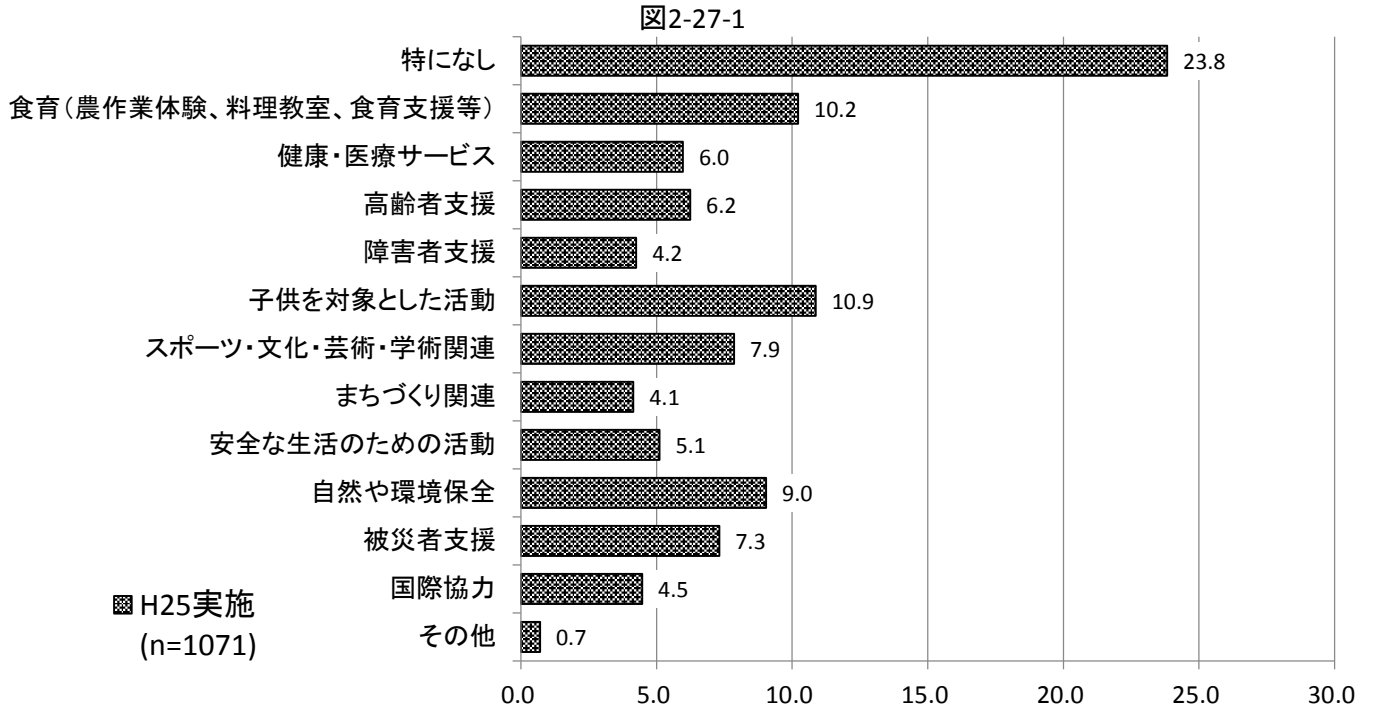
表 1-7

(%)

	全体(人)	経験なし	食育(農作業体験、料理教室、食育支援等)	健康・医療サービス	高齢者支援	障害者支援	子供を対象とした活動	スポーツ・文化・芸術・学術関連	まちづくり関連	安全な生活のための活動	自然や環境保全	被災者支援	国際協力	その他
全体	1065	47.2	3.1	3.1	6.7	5.2	16.0	4.8	2.7	1.9	3.5	3.0	1.6	1.3
女性	860	46.4	3.1	3.3	7.2	5.5	17.7	3.9	2.2	1.8	2.8	3.0	1.7	1.5
男性	202	50.0	3.1	2.0	4.7	3.9	9.0	8.6	4.7	2.3	6.6	3.1	1.2	0.8
20歳代	101	<b>38.2</b>	4.6	3.8	7.6	6.1	13.7	7.6	1.5	1.5	8.4	4.6	1.5	0.8
30歳代	179	<b>54.2</b>	2.3	2.8	6.9	8.8	12.5	3.2	0.5	1.4	2.8	1.9	2.3	0.5
40歳代	220	<b>47.2</b>	2.6	3.0	3.7	4.1	19.9	4.8	4.1	3.3	2.6	4.1	0.0	0.7
50歳代	211	<b>41.4</b>	1.5	4.6	5.7	5.3	24.0	4.9	1.9	0.8	3.4	3.4	1.1	1.9
60歳代	157	<b>46.9</b>	3.9	1.6	7.1	4.3	13.4	5.5	2.8	2.4	3.5	3.5	3.1	2.0
70歳以上	163	<b>52.9</b>	4.9	2.9	10.7	3.4	9.2	3.4	4.9	1.5	2.4	0.5	1.5	1.9

問27 やってみたいボランティアはありますか？(該当するもの全てに○)

希望するボランティアは、「特になし」が最も多いが、希望する活動では、子供を対象とした活動、食育、自然や環境保全が最も人気のある活動である。



性別では、大きな差はみられない。世代別では、子供を対象とした活動で20代から40代まで1割を超える割合であるのに対して、高世代ではそれが低い。

表 1-8 (％)

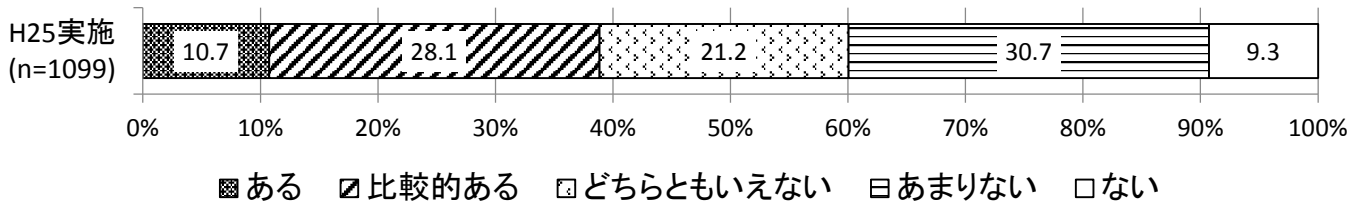
	全体 (人)	特になし	食育(農作業体験、料理教室、食育支援等)	健康・医療サービス	高齢者支援	障害者支援	子供を対象とした活動	スポーツ・文化・芸術・学術関連	まちづくり関連	安全な生活のための活動	自然や環境保全	被災者支援	国際協力	その他
全体	1071	23.8	10.2	6.0	6.2	4.2	10.9	7.9	4.1	5.1	9.0	7.3	4.5	0.7
女性	862	22.7	10.7	6.3	6.7	4.7	11.7	7.2	3.2	5.1	8.7	7.6	4.6	0.8
男性	206	28.4	8.3	4.7	4.4	2.1	7.1	10.7	8.6	5.0	10.4	6.2	3.8	0.3
20歳代	105	11.7	12.2	5.2	3.8	3.3	<b>14.1</b>	12.2	4.2	3.3	12.7	10.8	6.6	0.0
30歳代	182	<b>19.0</b>	12.0	6.2	4.8	4.5	16.0	7.3	5.0	3.6	7.3	8.1	5.6	0.6
40歳代	225	<b>18.7</b>	11.2	6.8	5.4	4.4	12.4	9.4	4.7	4.7	8.0	8.2	5.9	0.2
50歳代	210	<b>23.4</b>	9.9	6.3	7.0	3.9	8.1	8.1	3.1	6.3	9.9	8.6	4.7	0.8
60歳代	163	<b>33.3</b>	8.5	4.9	7.3	4.9	8.1	4.5	4.5	6.9	10.6	3.3	1.6	1.6
70歳以上	1654	<b>42.2</b>	6.1	5.7	10.0	4.3	4.8	5.2	3.0	6.1	7.0	3.5	0.9	1.3
70歳以上 (独居)	23	<b>63.6</b>	4.5	9.1	9.1	4.5	4.5	4.5	0.0	4.5	4.5	4.5	4.5	0.0

## 第6節 生活のゆとり・農作業・食育政策に関する意識

問28 あなたの現在の生活に時間的なゆとりはありますか？(1つに○)

生活面の時間的なゆとりに関しては、「あまりない」が約3割、次いで「比較的ある」あるとする回答が28.1%とほぼ分かれている。

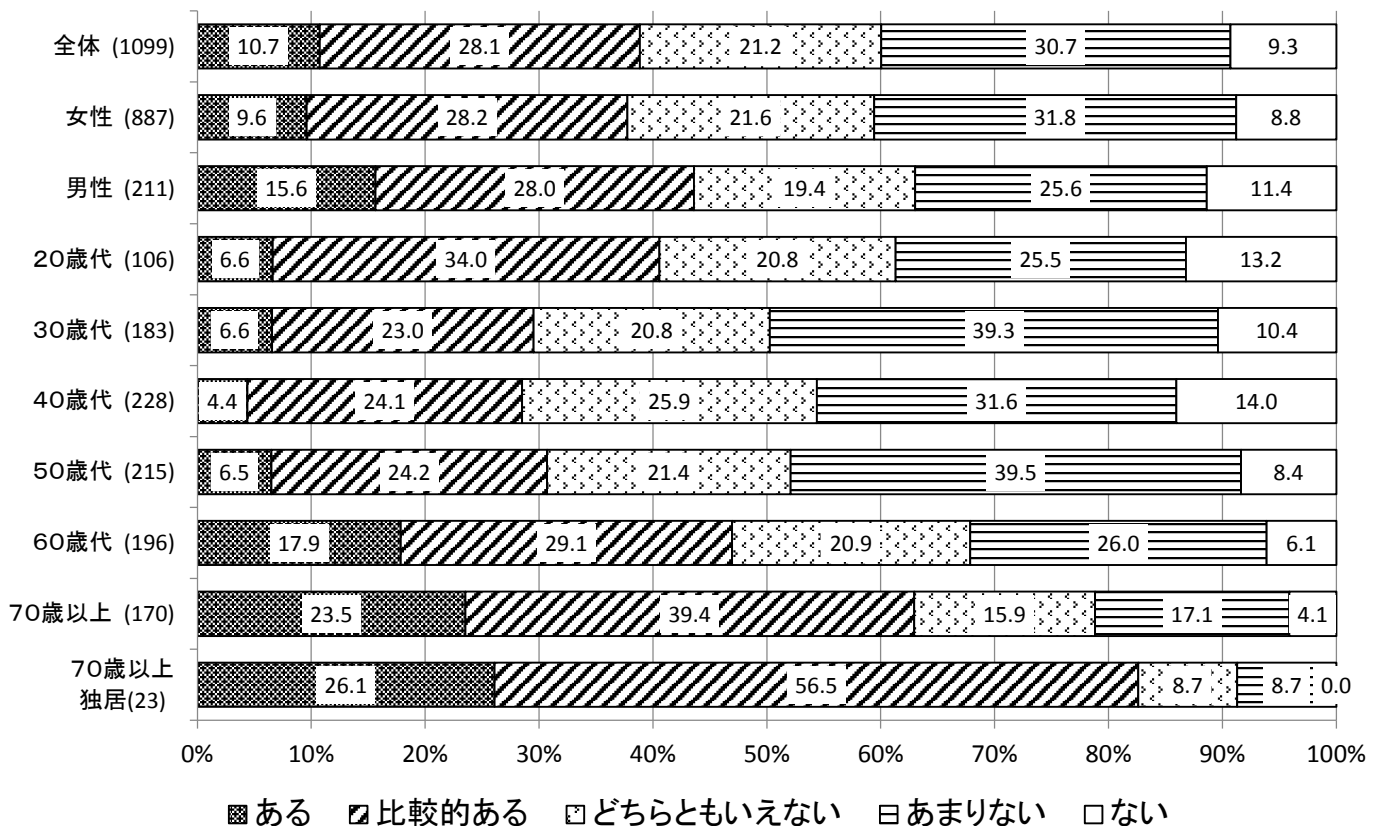
図2-28-1



性別でみると、男性の方ではゆとりが「ある」とする回答割合が高く(43.6%)、女性では「あまりない」とする割合が3割を超えており、女性の方が忙しさを感じているといえる。

世代別では、退職後の世代である60代と70代以上でゆとりのあるとする回答割合が最も高く、次いで学生や独身の割合が高い20代で4割となっている。勤労世代であるその中間の世代のゆとりの割合は当然ながら低い。

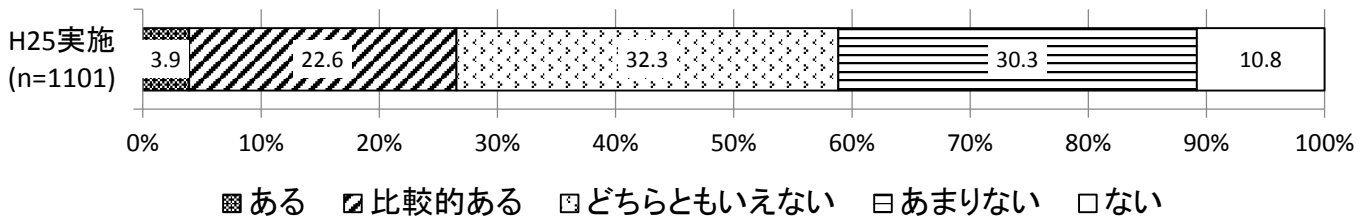
図2-28-2



問29 同様に、あなたの現在の生活に経済的なゆとりはありますか？(1つに○)

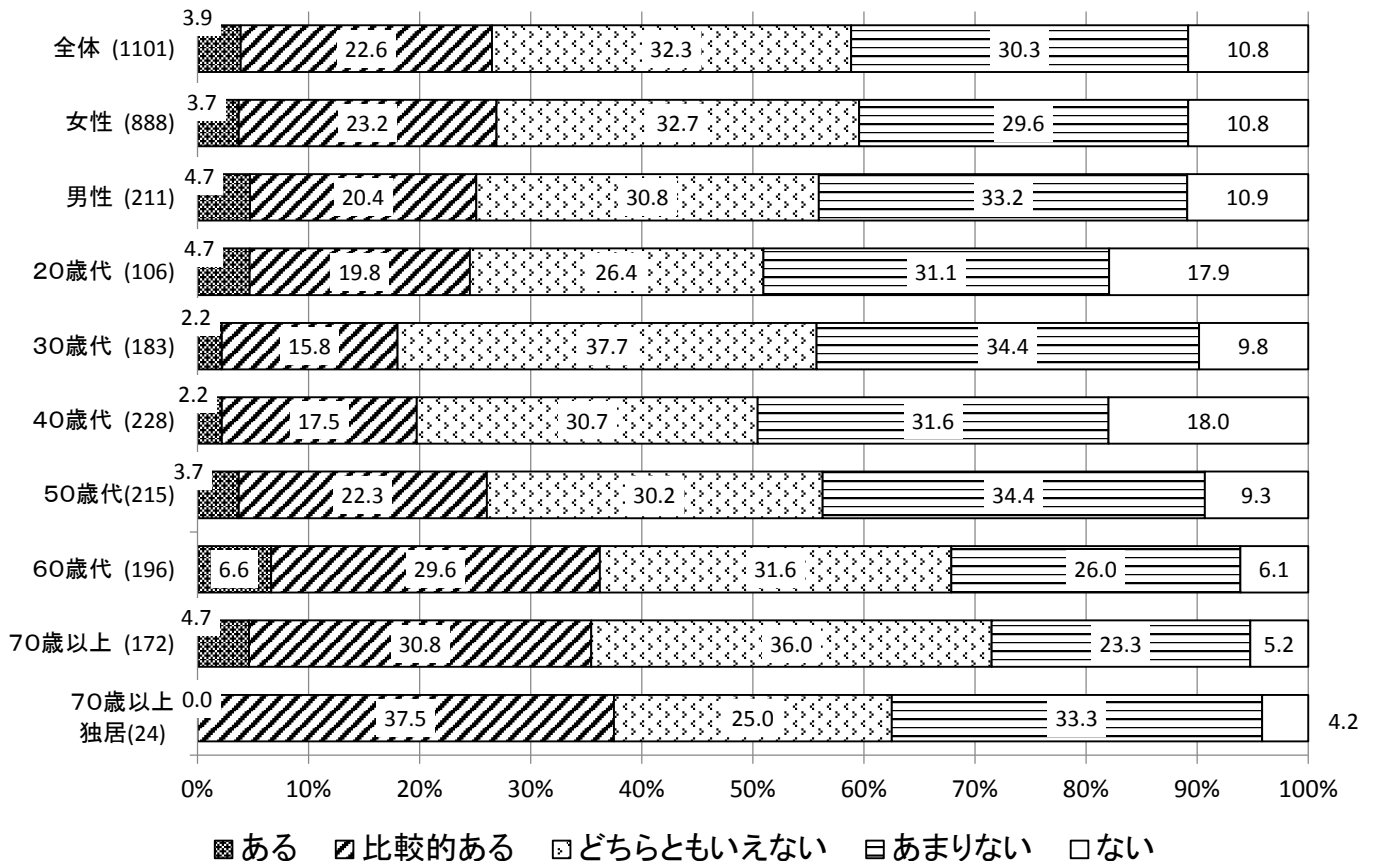
経済的なゆとりに関しては、「どちらともいえない」が最も多く(32.3%)、次いで「あまりない」が 30.3%となっており、「ある」・「比較的ある」で4分1程度となっている。

図2-29-1



性別では顕著な差はみられないが、「あまりない」とする回答割合が男性でやや高い。世代間の違いをみると、時間的ゆとりの場合と同様な傾向がみられる。つまり、リタイア世代では「ある」・「比較的ある」とする回答が3割を超えているものの、30代・40代の勤労世代では、2割に達しておらず、「あまりない」とする割合が3割を超えている。

図2-29-2

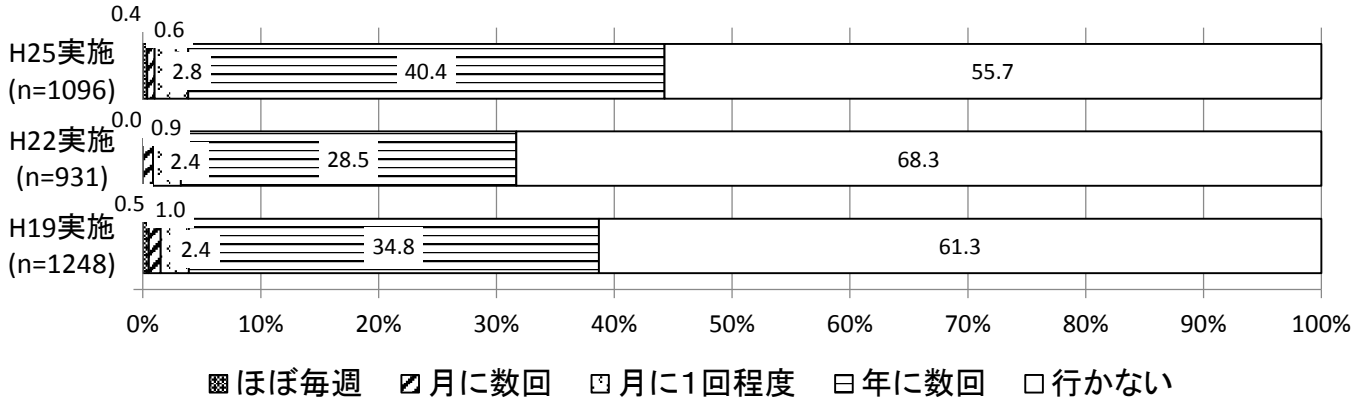




問30 旅行やキャンプなどで、家族や友人と農山漁村へ行くことはありますか？(1つに○)

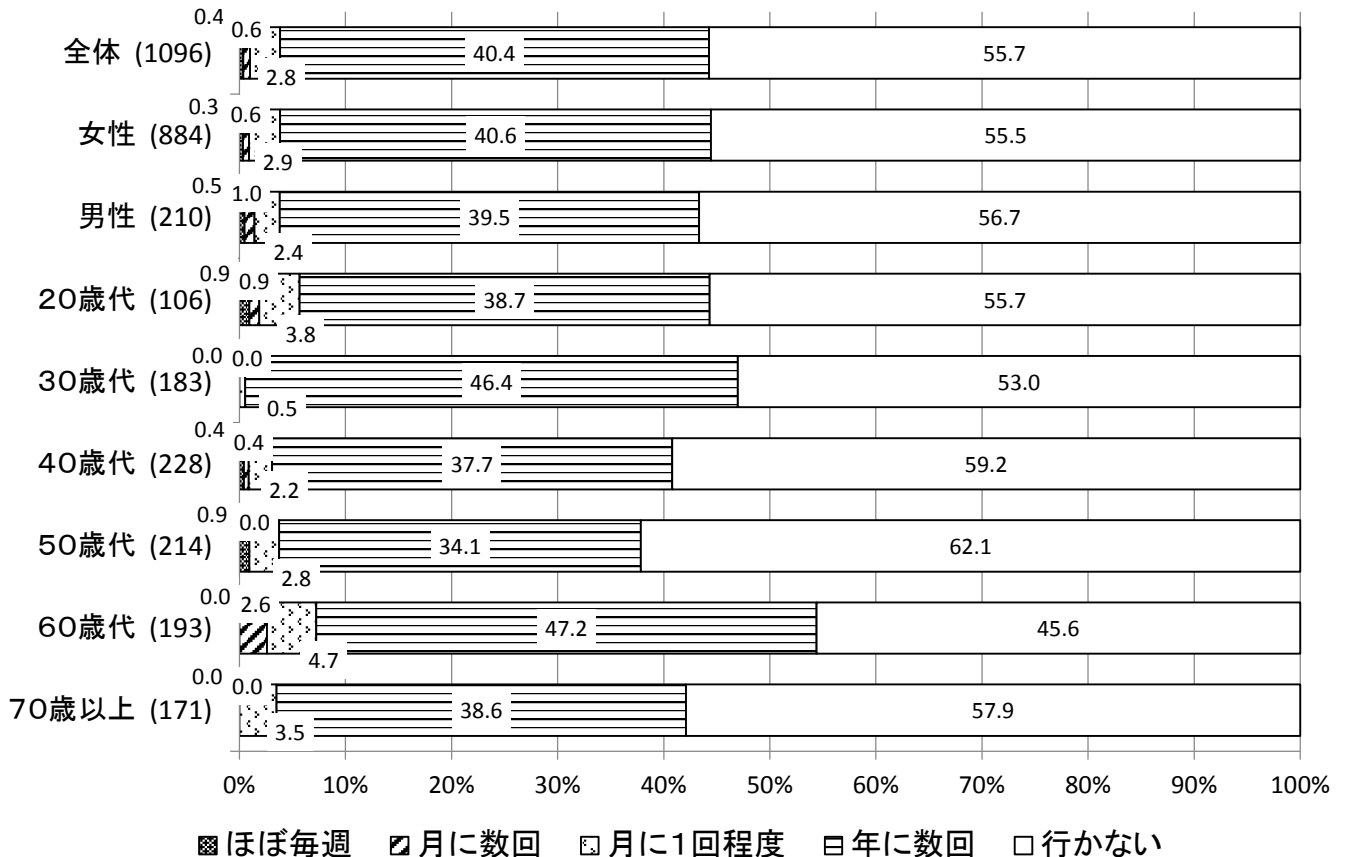
農山漁村への旅行・キャンプについては、過去の調査結果に比べて「年に数回」の実施割合が4割に増加している。

図2-30-1



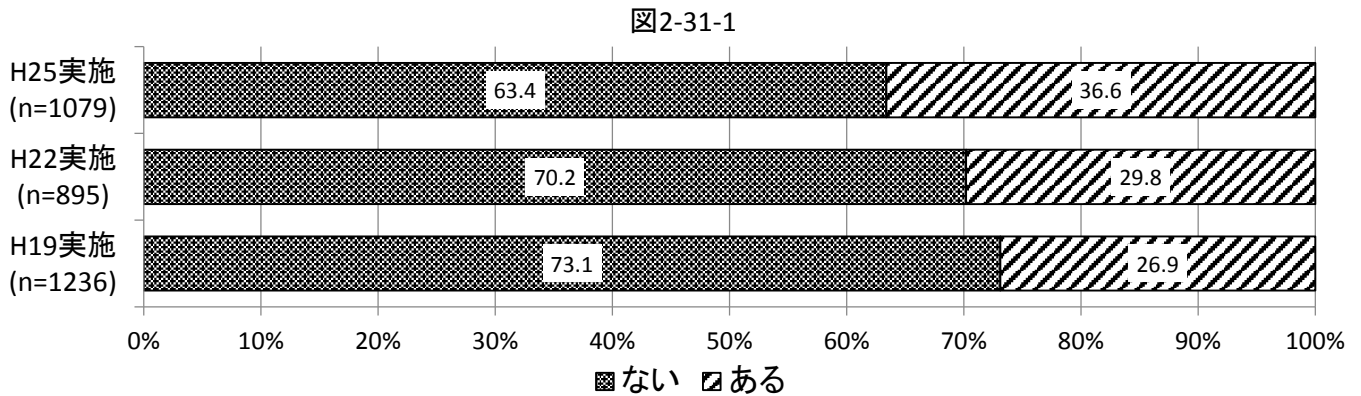
性別での違いはみられない。世代間では、退職後と考えられる60代で実施割合が最も高く「年に数回」の実施が5割近くに達している。つまり、時間と経済に余裕のある60代は旅行世代といえる。

図2-30-2



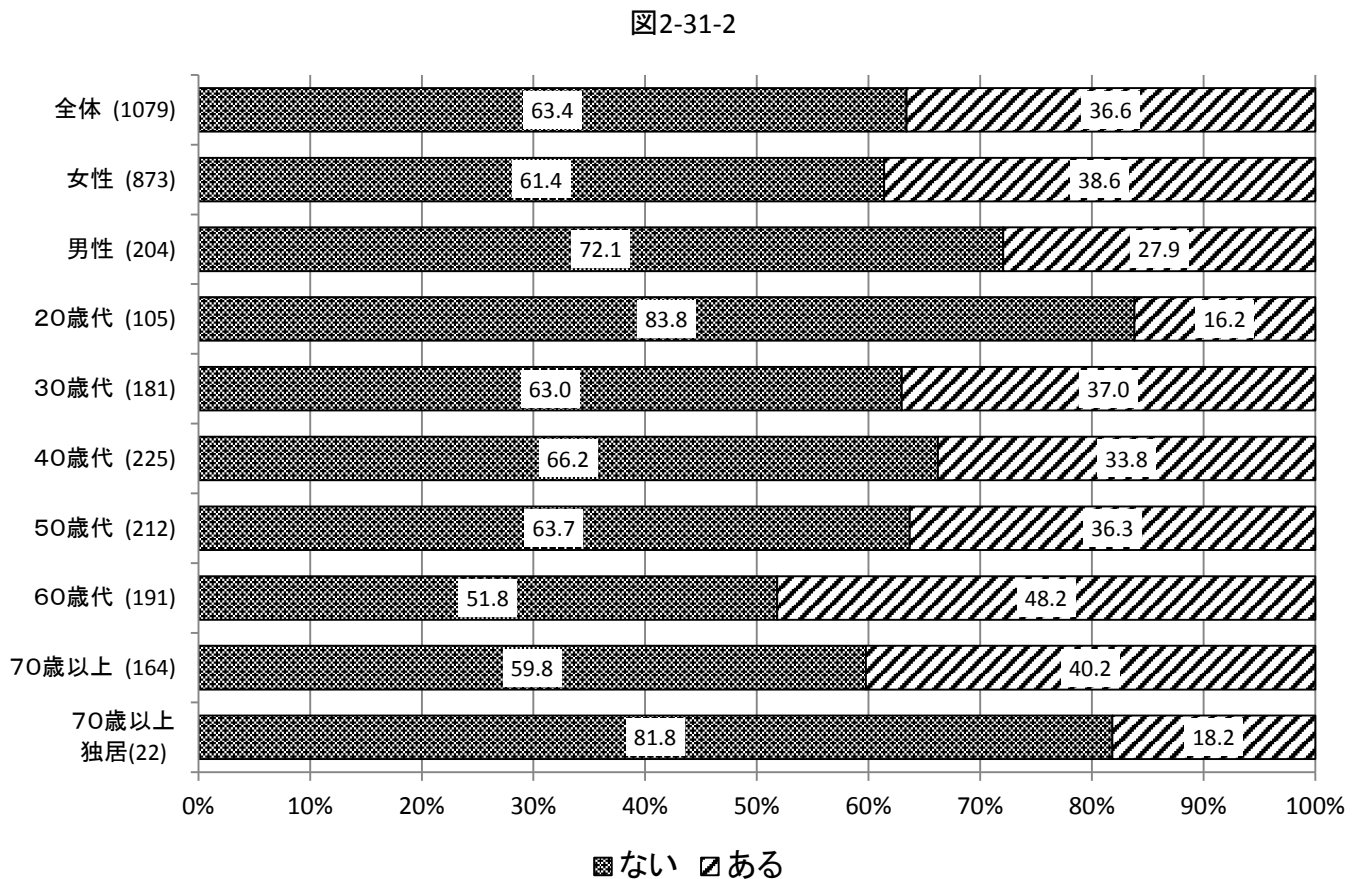
問31 あなたは趣味として、野菜や果物の栽培などの農作業をすることはありますか？(1つに○)

農作業の経験は、「ない」とする回答者が6割を超えているものの、過去の調査結果と比べると今回は、3分の1以上で経験を有している。



性別でみると、女性で経験している割合が4割近い(38.6%)のに対して、男性では3割に達していない(27.9%)。

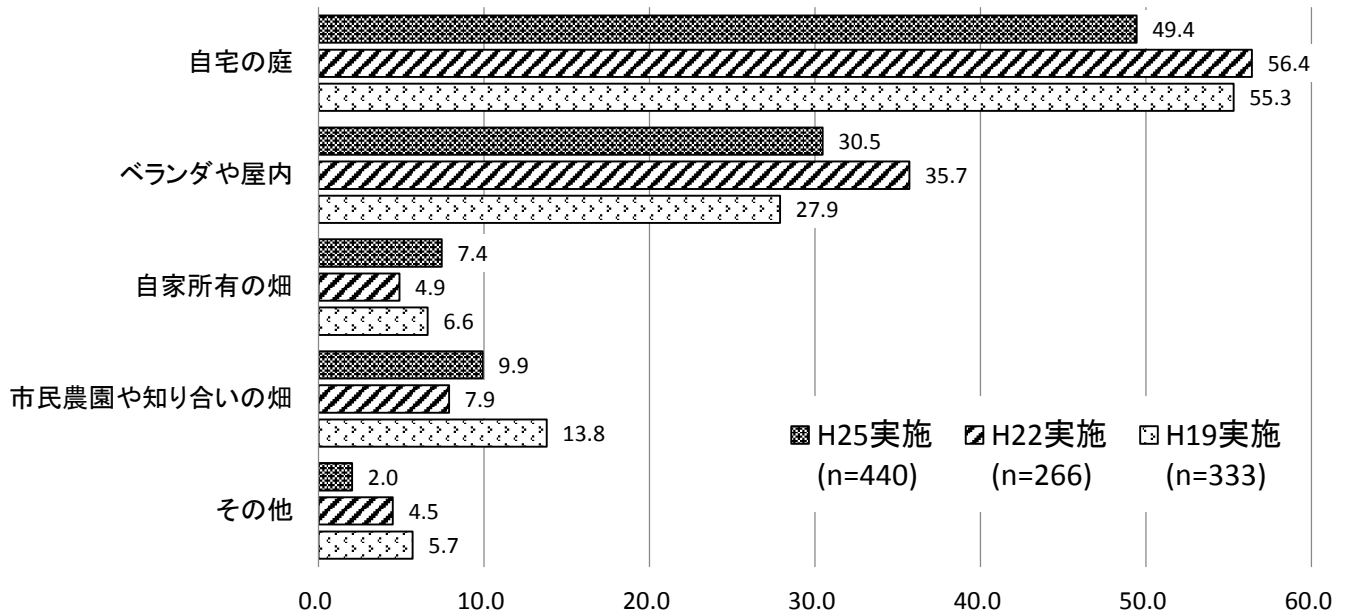
世代間では、20代では8割以上で経験を有していないが、世代が上がるにつれて、経験者の割合が高くなっており、特に60代では5割近く(48.2%)で経験している。しかし、70代以上ではその割合が低下し、特に70代以上のひとり暮らしでは、経験者は2割に達しない。



問32 農作業の場所はどのようなところですか？（該当場所 全てに○）

農作業の場所は、「自宅の庭」が最も多く、次いで「ベランダや屋内」という順位に変化はみられない。

図2-32-1



性別では、女性は「自宅の庭」や「ベランダや屋内」での割合が高いのに対して、男性は「自家所有の畑」での作業の割合が高い。世代間でも差がみられるのは興味深い。つまり、20代では「ベランダや屋内」での割合が顕著に高い（65.0%）であるのに対して、中高年世代では、「自宅の庭」の割合が最も高くなっている。

表 1-9

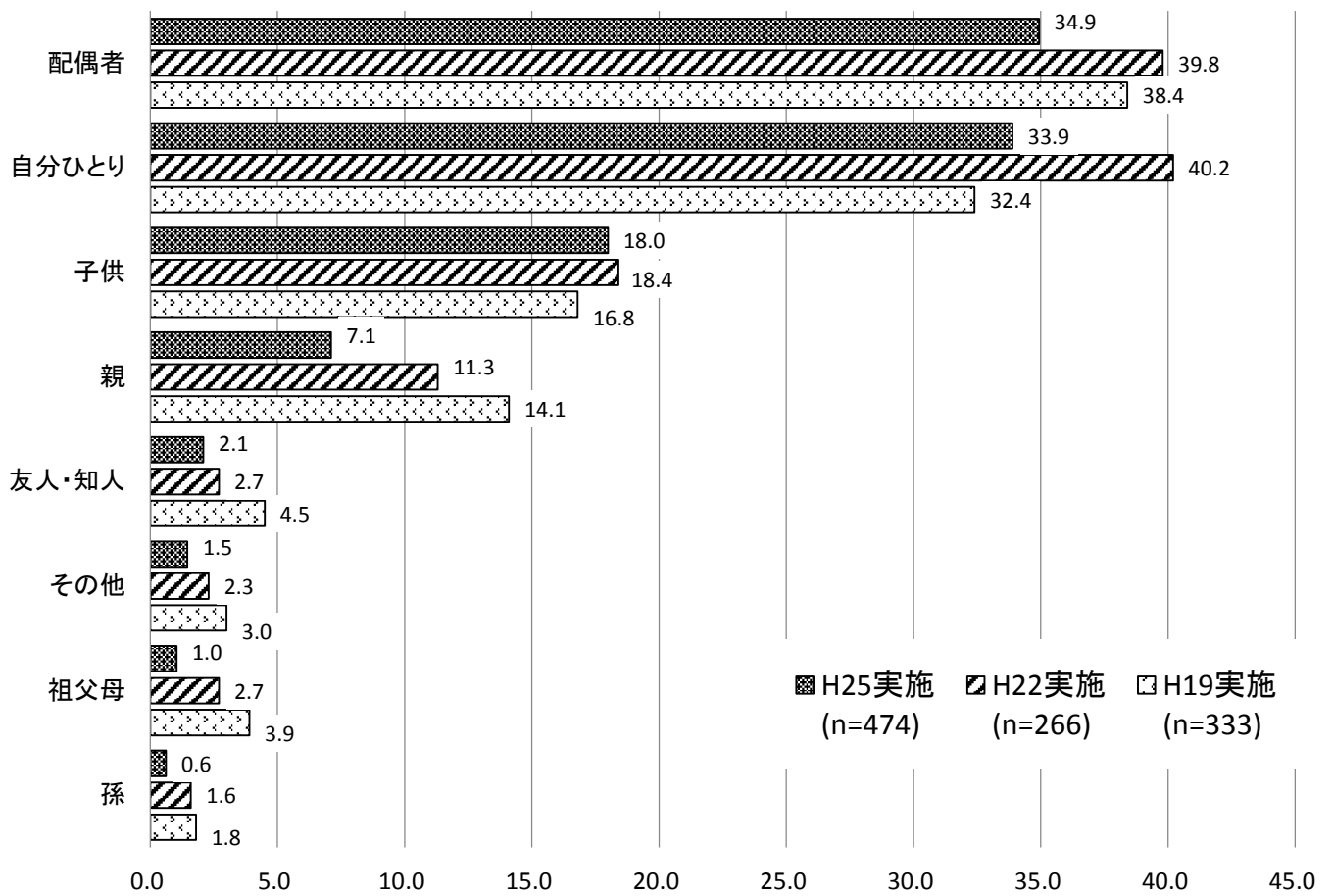
(%)

	全体 (人)	自宅 の 庭	ベ ラ ン ダ や 屋 内	自 家 所 有 の 畑	市 民 農 園 や 知 り 合 い の 畑	そ の 他
全体	1101	49.8	30.7	7.5	10.0	2.0
女性	886	50.7	32.1	5.0	9.8	2.4
男性	211	45.2	22.6	22.6	9.7	0.0
20歳代	106	15.0	<b>65.0</b>	10.0	10.0	0.0
30歳代	182	<b>55.4</b>	36.5	2.7	2.7	2.7
40歳代	227	<b>50.6</b>	38.6	2.4	8.4	0.0
50歳代	213	<b>47.6</b>	34.1	12.2	6.1	0.0
60歳代	196	<b>50.0</b>	17.9	12.3	14.2	5.7
70歳以上	170	<b>54.7</b>	21.3	5.3	17.3	1.3

問33 誰と一緒に作業していますか？(該当者 全てに○)

誰と一緒に作業するのかという点に関しては、「配偶者」、「自分ひとり」が最も一般的で順位に変化はないが、今回調査では親との作業の割合が目立って減少している。

図2-33-1



性別で見ると、女性では「子供」との作業の割合が男性に比べて高い（20.0%）のに対して、男性では「配偶者」、「自分ひとり」の割合で高い傾向にある。

世代別にみると、20代は「親」や「祖父母」との作業の割合が高く、30代・40代では「子供」との作業の割合が高い。そして、60代では「配偶者」との作業割合が5割近い（49.4%）が、50代と70代以上では「自分ひとり」での作業の割合が高くなる。ライフサイクルによる違いが現れているといえる。

表 1-10

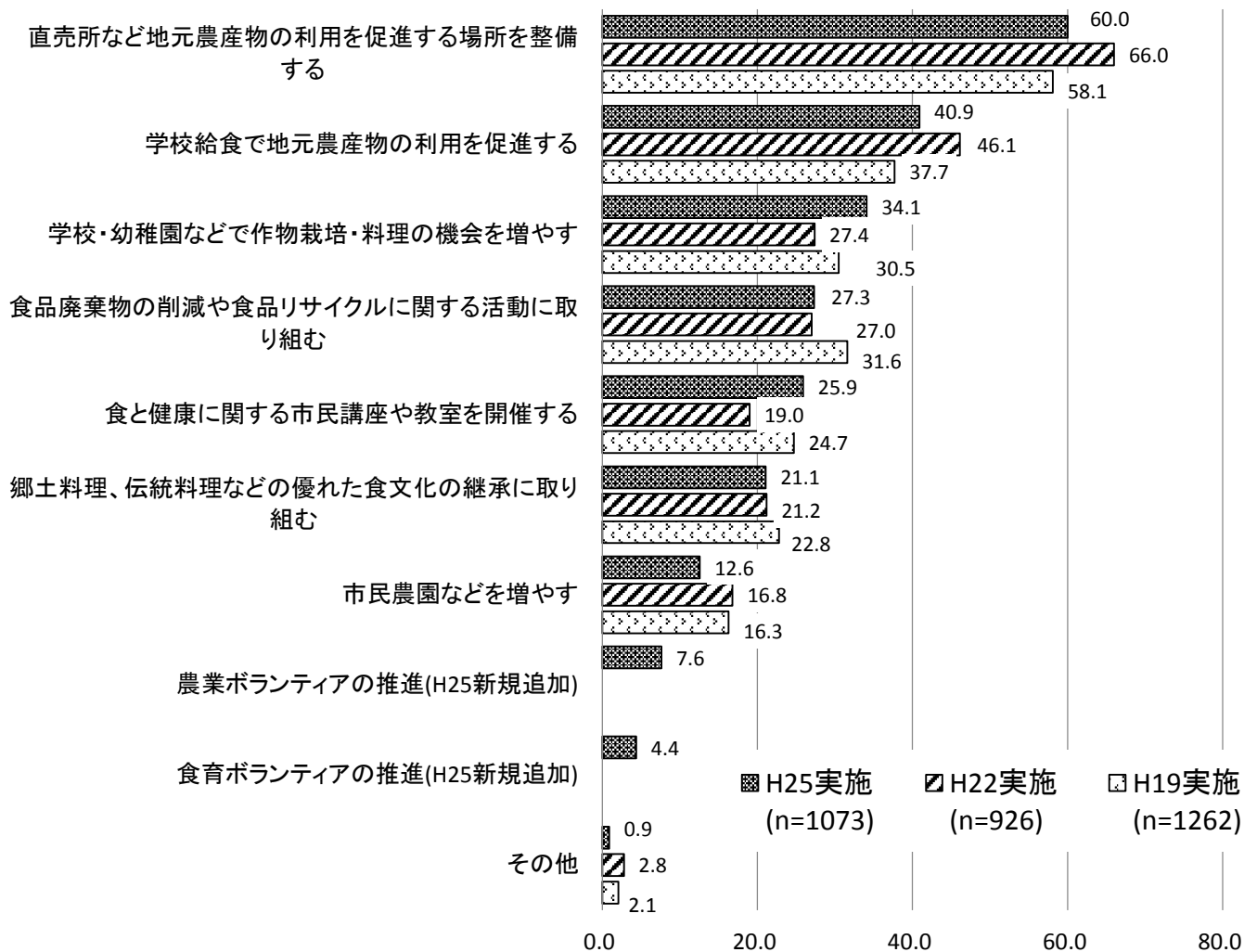
(%)

	全体 (人)	配偶者	子供	孫	友人・知人	自分ひとり	親	祖父母	その他
全体	1100	35.2	18.1	0.6	2.1	34.2	7.2	1.1	1.5
女性	880	34.9	20.0	0.7	1.5	33.2	7.1	1.2	1.5
男性	210	38.1	6.3	0.0	6.3	39.7	7.9	0.0	1.6
20歳代	106	<b>27.3</b>	18.2	0.0	4.5	22.7	22.7	4.5	0.0
30歳代	180	29.5	<b>36.8</b>	0.0	1.1	11.6	16.8	3.2	1.1
40歳代	227	<b>32.3</b>	29.3	0.0	0.0	31.3	5.1	1.0	1.0
50歳代	212	32.2	9.2	0.0	1.1	<b>49.4</b>	6.9	0.0	1.1
60歳代	194	<b>45.2</b>	9.6	1.9	2.9	36.5	1.9	0.0	1.9
70歳以上	162	38.8	0.0	1.5	6.0	<b>50.7</b>	0.0	0.0	3.0

問34 食育に関して市に期待する施策は何ですか？(3つまで○)

期待する施策に関する順位に変化はない。最も期待が高いのは、「直売所などの地元農産物の利用を促進する場所の整備」(60.0%)で、次いで「学校給食で地元農産物利用の促進を図る」(40.9%)という順位になっている。

図2-34-1



性別では大きな差はみられない。世代間では、子育て世代の30代では学校などで作物栽培・料理の機会を増やすことに対する期待が高い(22.5%)。直売所などの整備は世代が上がる程高くなっている。

表 1-11

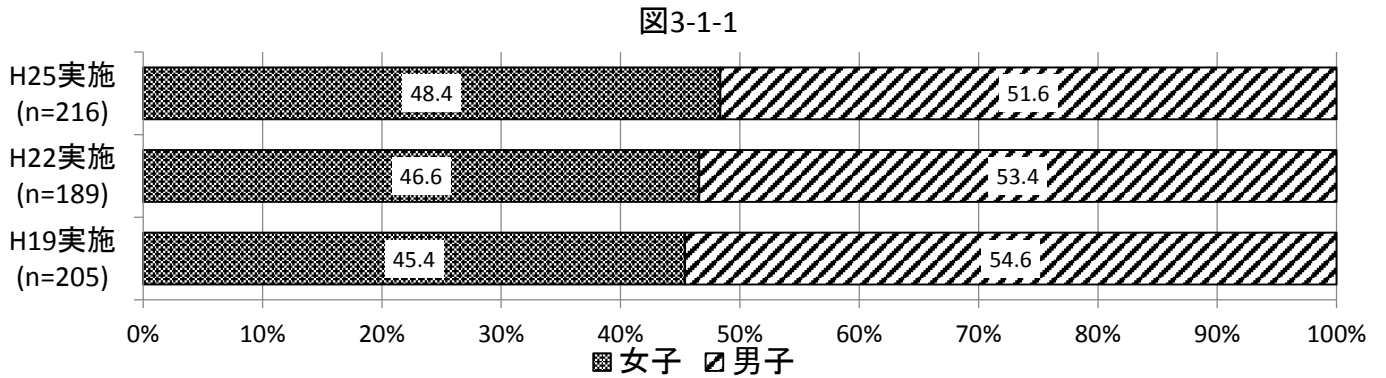
(%)

	全体 (人)	市民講座や教室の開催	学校給食で地元農産物の利用促進	直売所などの整備	市民農園の増加	学校などで作物栽培・料理の機会を増やす	活動など	食品廃棄物の削減やリサイクル	食文化の継承	農業ボランティアの推進	食育ボランティアの推進	その他
全体	1073	11.0	17.3	25.4	5.3	14.5	11.6	8.9	3.2	1.9	0.9	
女性	870	11.1	17.6	25.4	4.7	14.7	12.1	8.4	3.2	1.9	0.9	
男性	201	10.7	15.9	25.3	7.9	13.5	9.4	11.4	3.5	1.5	0.9	
20歳代	75	7.0	19.1	16.0	7.0	<b>19.5</b>	10.5	13.2	4.7	1.6	1.6	
30歳代	180	10.2	17.8	20.8	4.4	<b>22.5</b>	10.0	10.0	1.9	1.4	1.2	
40歳代	225	8.6	19.4	<b>24.5</b>	5.4	17.8	10.5	9.7	3.0	0.9	0.2	
50歳代	185	12.3	16.5	<b>26.2</b>	4.4	13.5	10.9	9.1	4.8	1.6	0.8	
60歳代	165	12.1	17.2	<b>29.4</b>	6.8	6.3	13.8	7.5	2.8	3.3	0.9	
70歳以上	172	15.0	13.7	<b>33.0</b>	4.5	7.9	14.2	5.3	2.6	2.6	1.1	

第7節 子どもの生活と食育に関する意識

問45 お子様(2人以上いる場合には小学生以上で一番下のお子様)の性別と年齢をお教え下さい。

子供の性別はほぼ半々である。



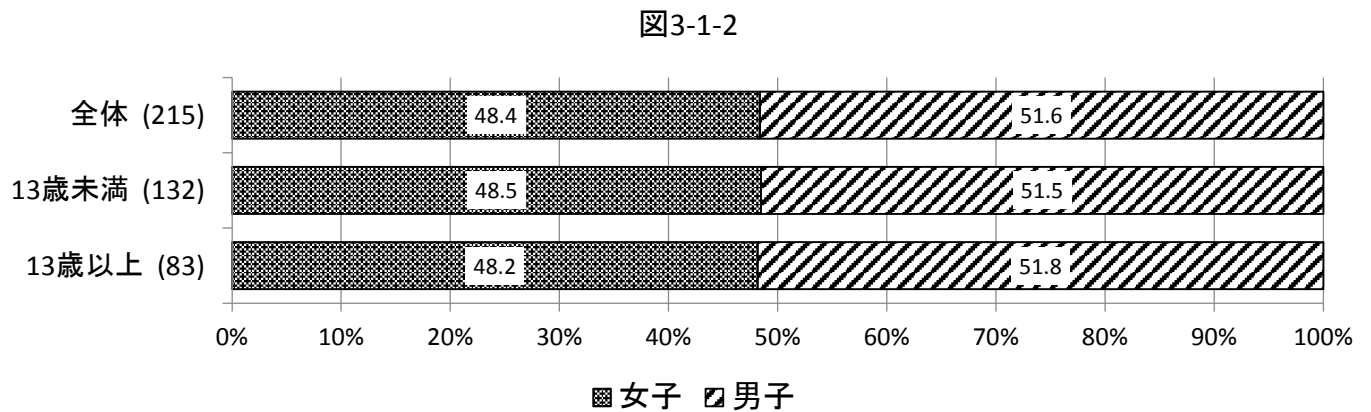
※H25(n=216)一組の男女の双子を含む

全均年齢についても11歳で男女差はない。

(歳)

	全体	女子	男子
平均	11.3	11.4	11.3

13歳未満と以上で区分しても、構成比は変わらない。





問46 そのお子様の体格について教えてください。(1つに○)

子供の体格に関しては、「ちょうどよい」が半数を超えており(52.8%)、次いで「痩身」(30.4%)で「肥満」・「やや肥満」は1割に満たない。

図3-2-1

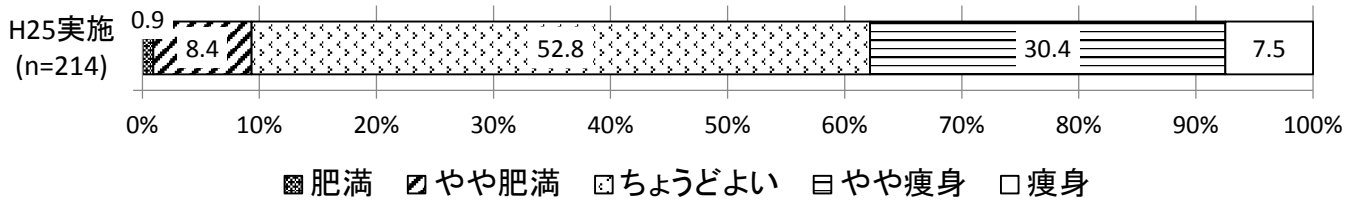
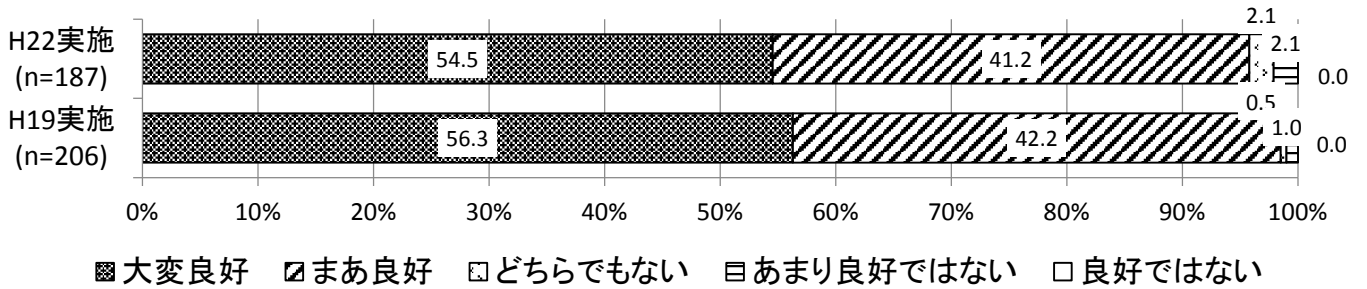
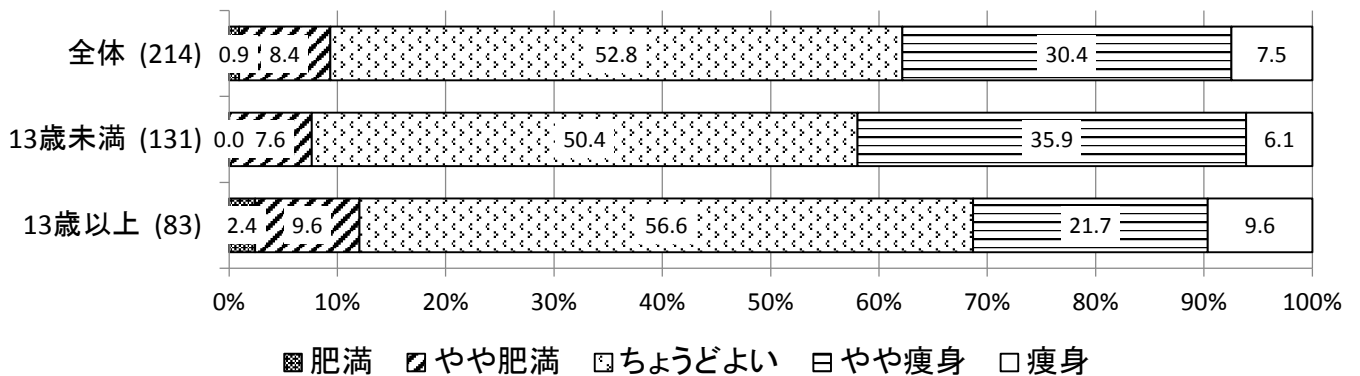


図3-2-2



13歳以上では、13歳未満と比べて「やや痩身」が減って、「ちょうどよい」が増加している。

図3-2-3



問47 そのお子様の性格についてお教え下さい。(1つに○)

子供の性格について聞くと、半数以上は「問題なし」と回答している(52.6%)。次いで、「やや内向的」(17.8%)、「やや落ち着きがない」(16.4%)、「やや反抗的」(13.1%)の順となっている。

図3-3-1

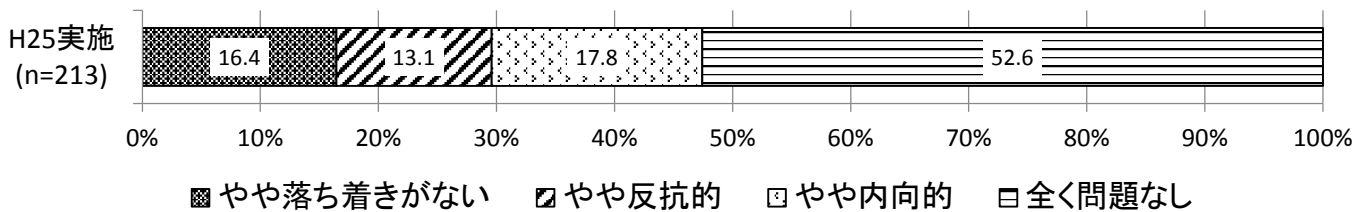
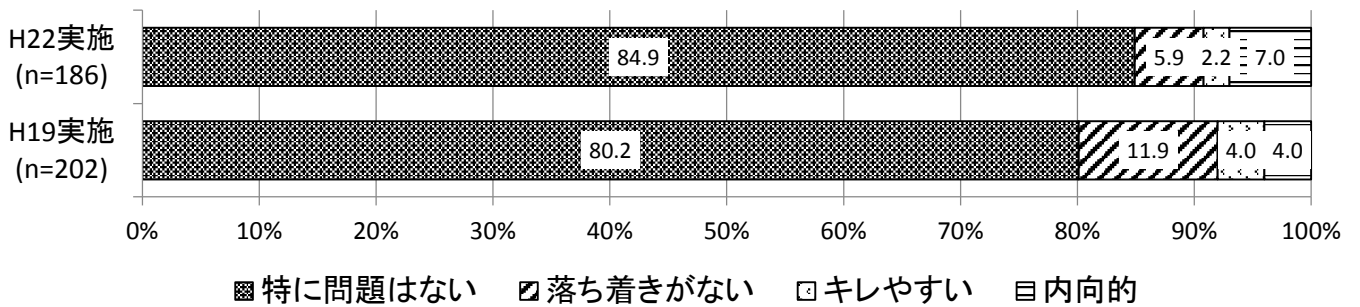
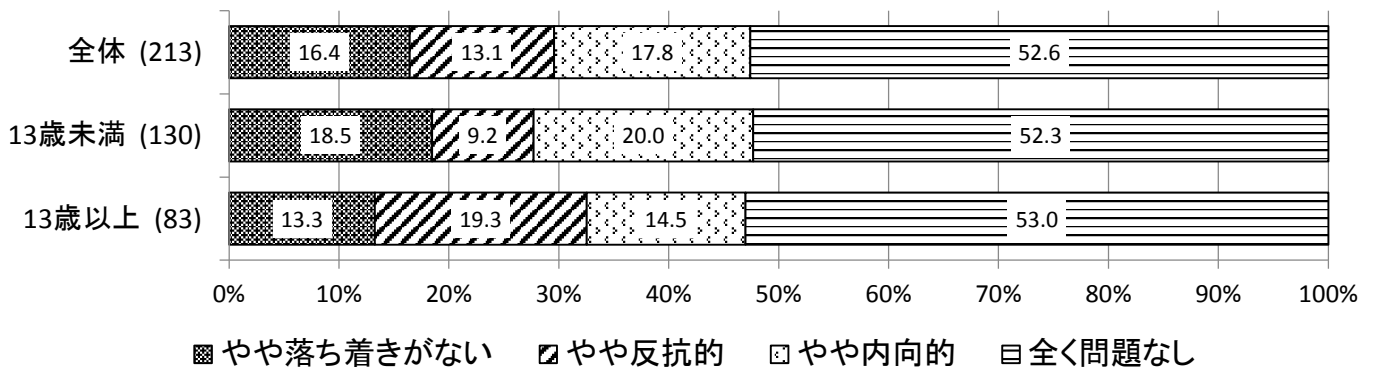


図3-3-2



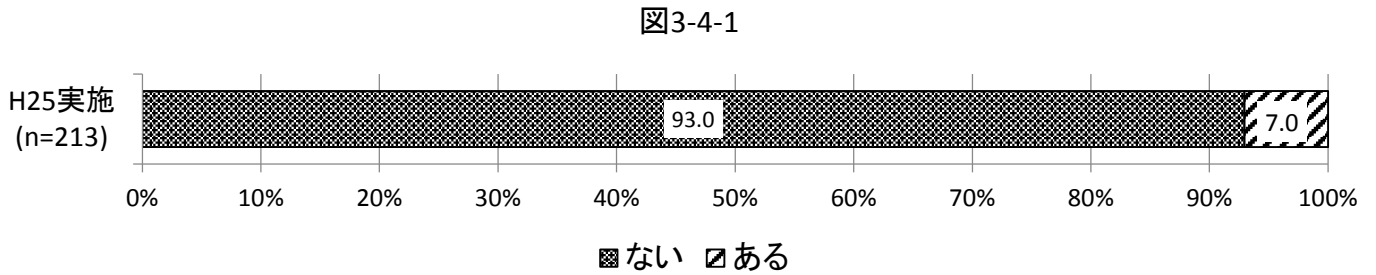
子供の年齢区分では、13歳以上で「やや反抗的」が増えている。思春期特有の反抗期が現れている。

図3-3-3

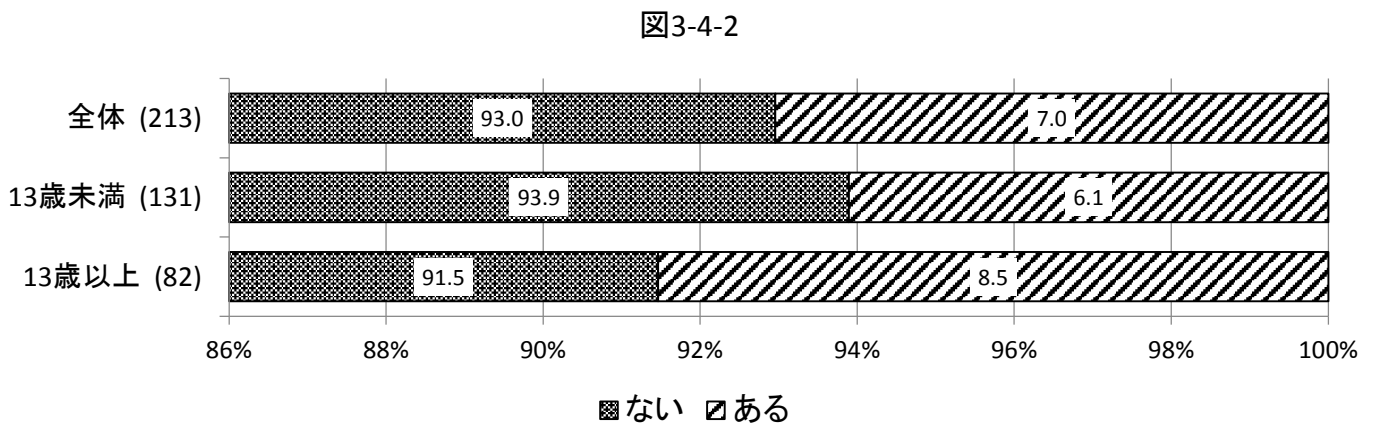


問48 そのお子様は食品に関するアレルギーをお持ちですか？(1つに○)

子供の食品アレルギーについては、今回初めて質問を加えた。結果をみると、9割以上で「なし」と回答している(93.0%)が、残り7.0%でアレルギーが「ある」と回答している。



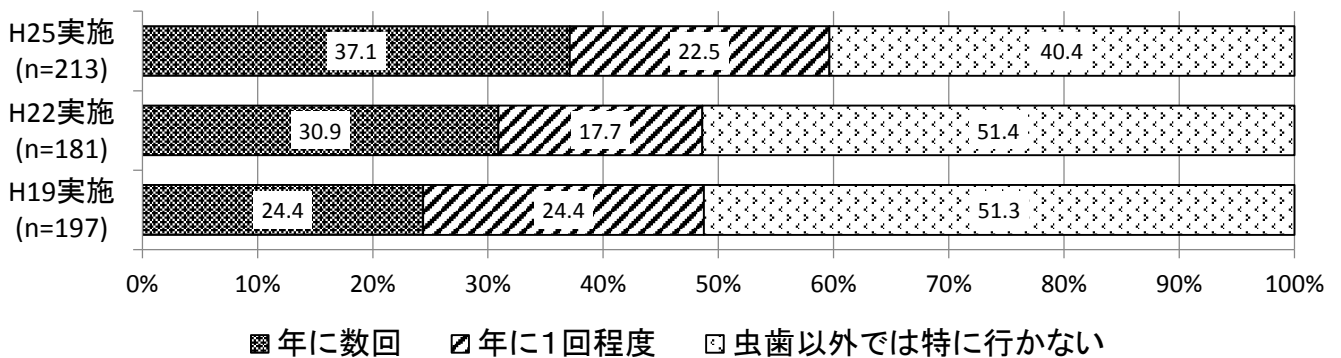
子供の年齢区分では、13歳未満では食品アレルギーを有しているのは6.1%であるが、13歳以上になると、8.5%とわずかに増加している。



問49 そのお子様の歯科検診の頻度(学校での検診を除く)についてお教え下さい。(1つに○)

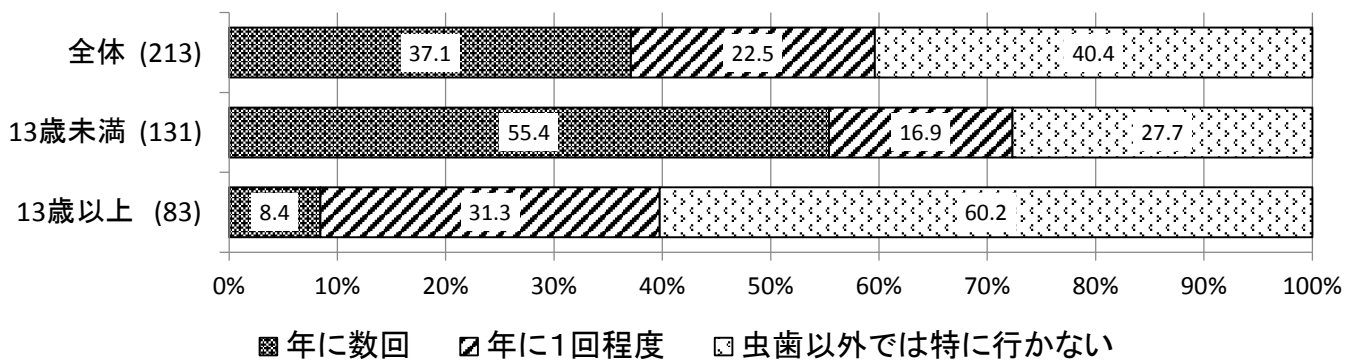
子供の歯科検診については、過去の調査では半数以上が「虫歯以外では特に行かない」と回答していたが、今回の調査では年に数回の割合が増加しており(37.1%)、平成25年8月より中学生にも医療費助成が開始したためと思われる。

図3-5-1



子供の年齢区分による違いが大きく現れている。13歳未満では半数以上(55.4%)が「年に数回」歯科検診しているのに対して、13歳以上になると1割未満に低下(8.4%)し、「虫歯以外では特に行かない」場合が6割に達しており、検診意識に大きな違いがみられる。

図3-5-2

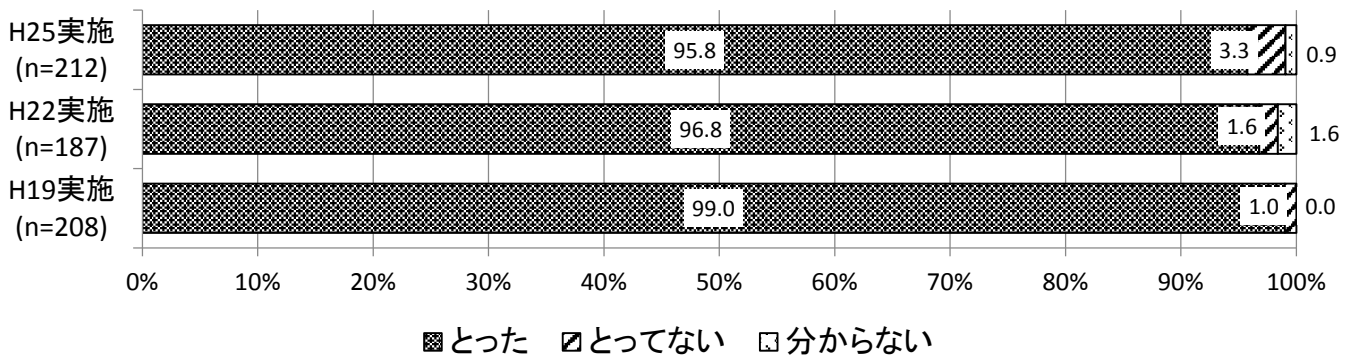


問50 そのお子様の食事について教えてください。今日が週末の場合直近の平日でお願いします。

・今日の朝食:

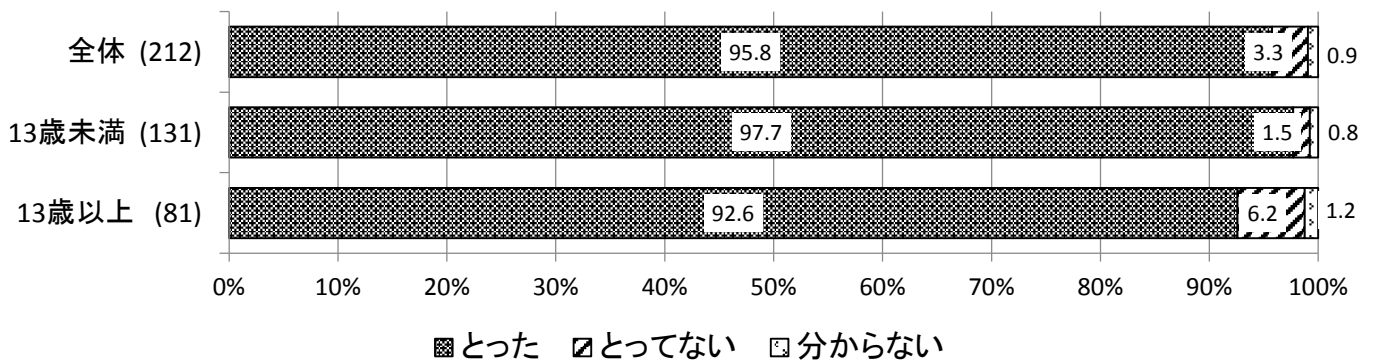
子供の朝食摂取については、ほぼ全員が「摂取している」との回答で、過去の調査結果から変化はない。

図3-6-1



子供の年齢を小学生と中学生の区分を念頭に置いて、13歳未満と以上で区分すると、13歳以上では朝食を取らない割合が上昇している。

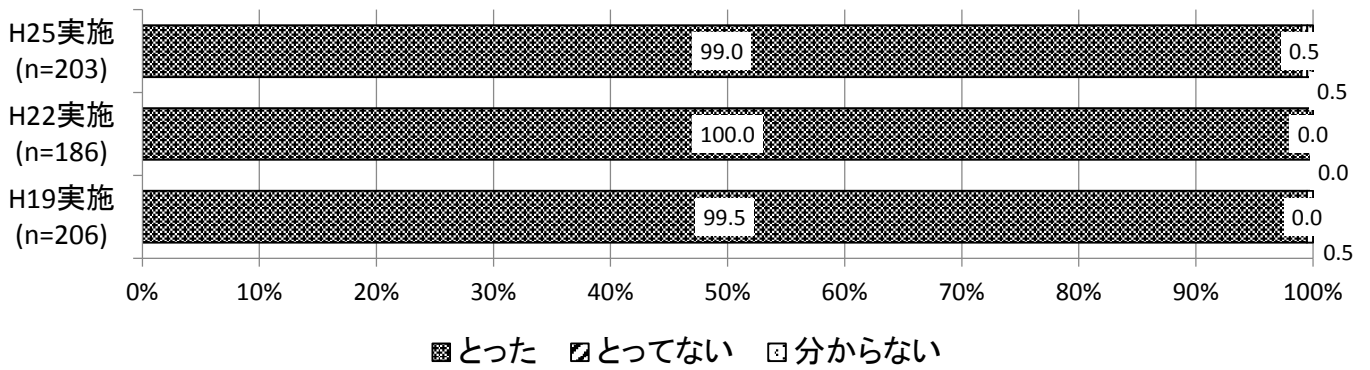
図3-6-2



・昨日の夕食:

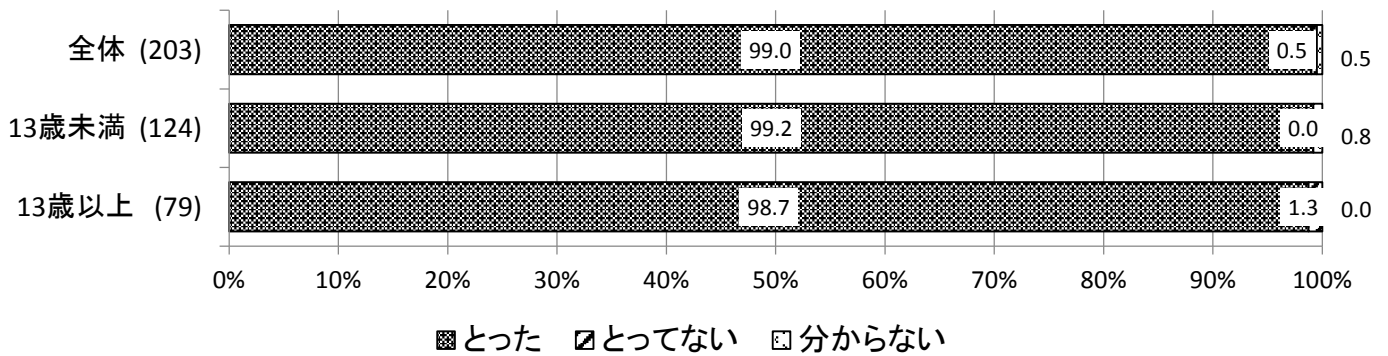
夕食の摂取率もほとんど全員で取っており、年次間でも変化はない。

図3-6-3



13歳以上では夕食摂取の割合がわずかに低下している。

図3-6-4



・品目数

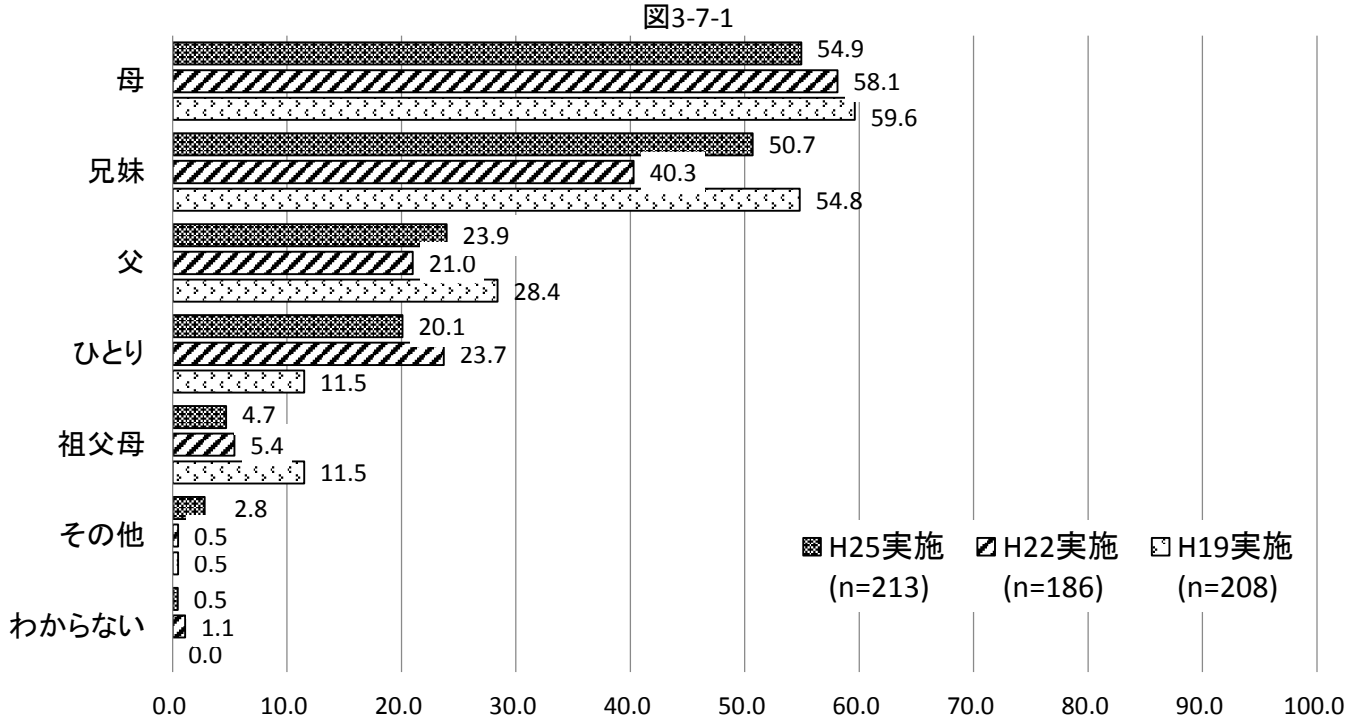
品目数をみると、平均で朝食では約4品目、夕食では6品目を取っている。年齢別では、13歳以上で品目数がわずかに減少している。

区分	朝食	夕食
全体	3.9	6.0
13歳未満	4.3	6.3
13歳以上	3.6	5.8

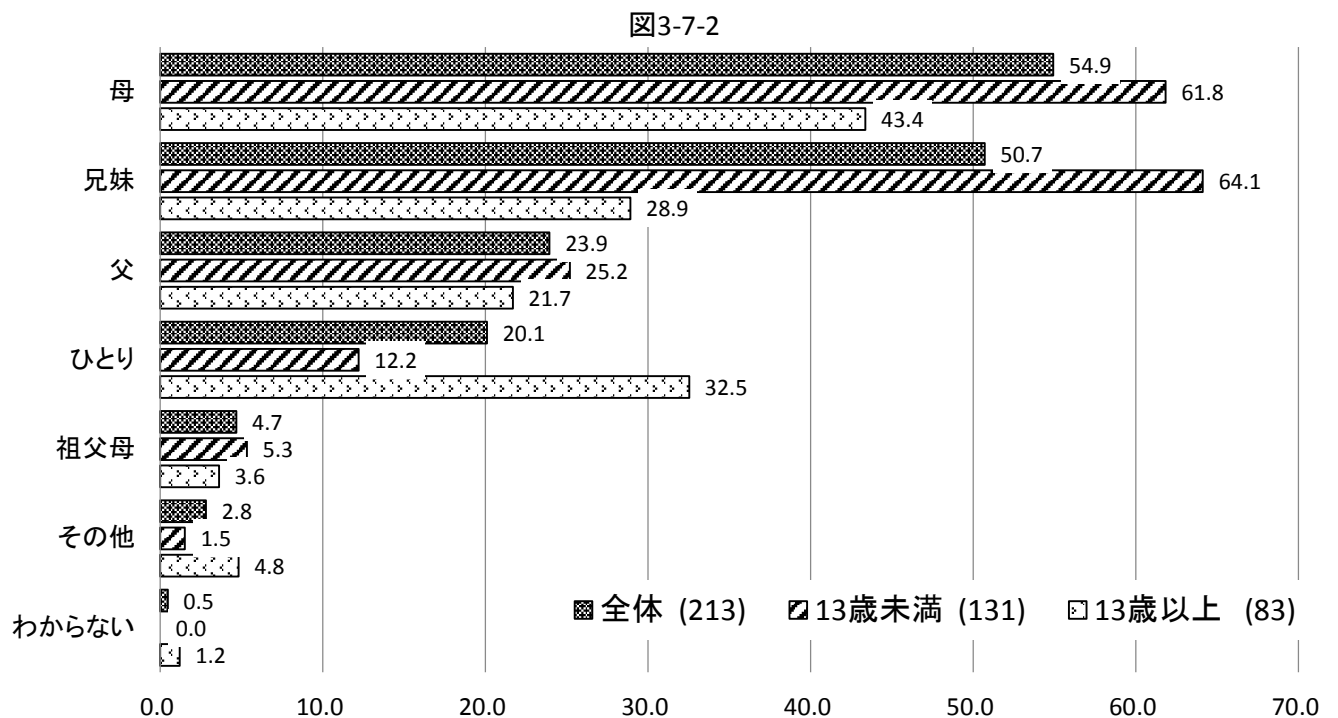
問51 そのお子様は平日は誰と一緒に食べていますか？(それぞれ該当するもの 全てに○)

・朝食

朝食を一緒に取る相手は、母、次いで兄妹の順位に変化はない。



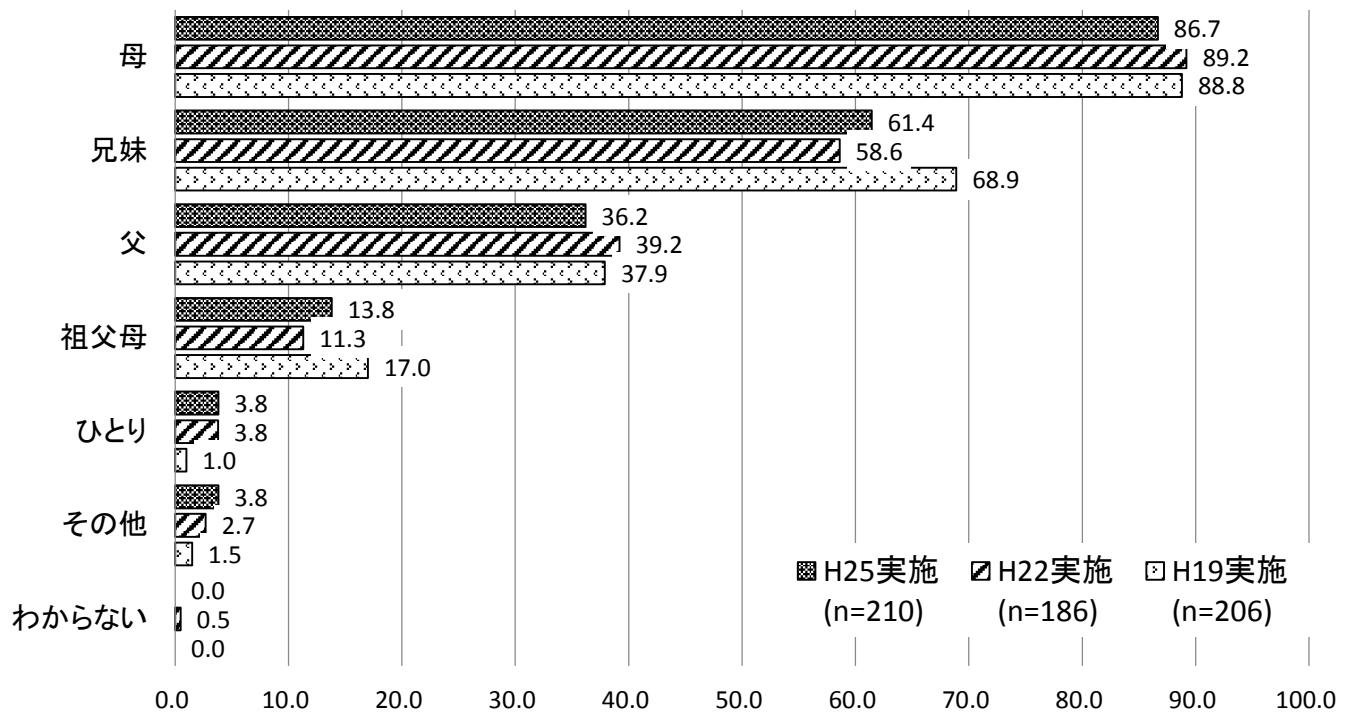
年齢別にみると、13歳以上では母、兄妹と一緒に食べる割合が低下して、一人で食べる割合が大きく増加している (32.5%)



・夕食

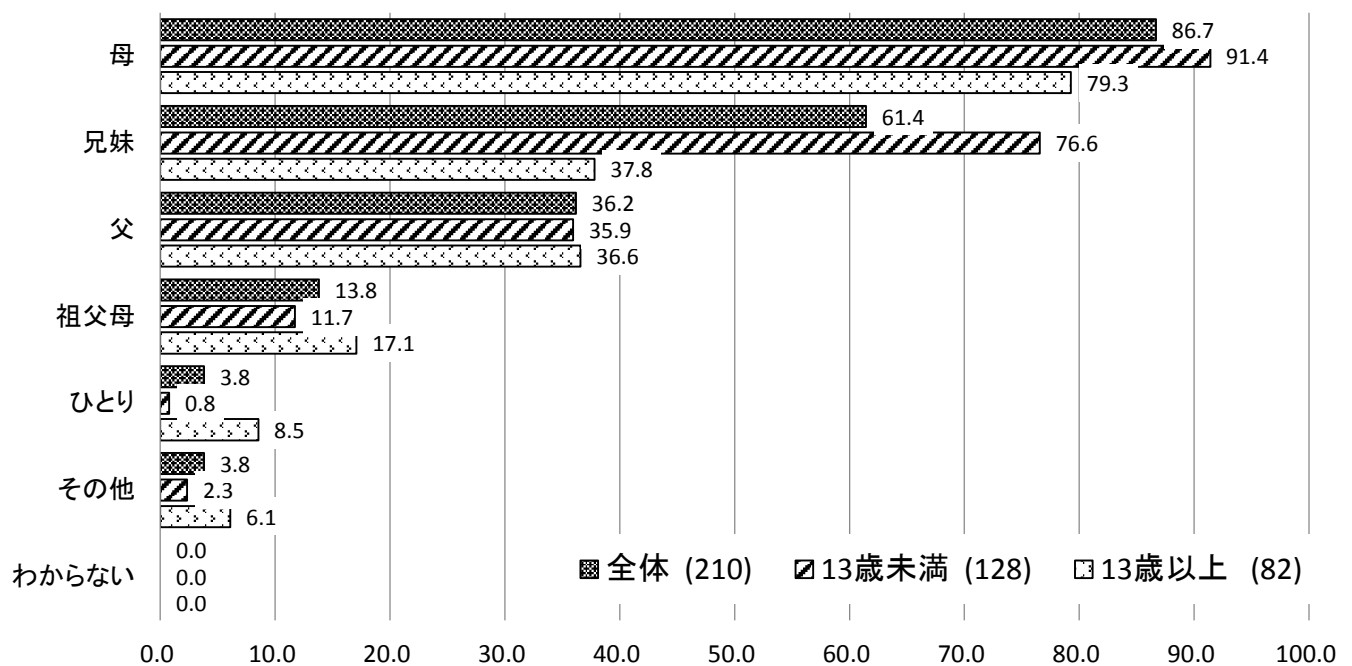
夕食を一緒に食べる相手は、朝食と同様の傾向にあるが、朝食に比べて父親の割合と一緒に取る割合が高くなっている(37.9%)傾向には変化はない。

図3-7-3



年齢別にみると、13歳以上では、今回、兄妹と一緒に食べる割合が大きく低下している(37.8%)。

図3-7-4



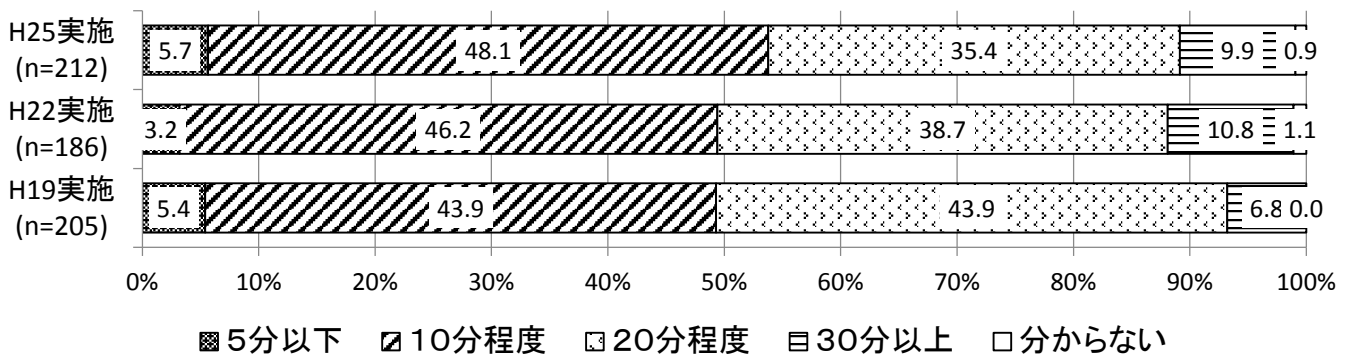


問52 平日の食事にどの程度時間をかけていますか？(それぞれ1つに○)

・朝食

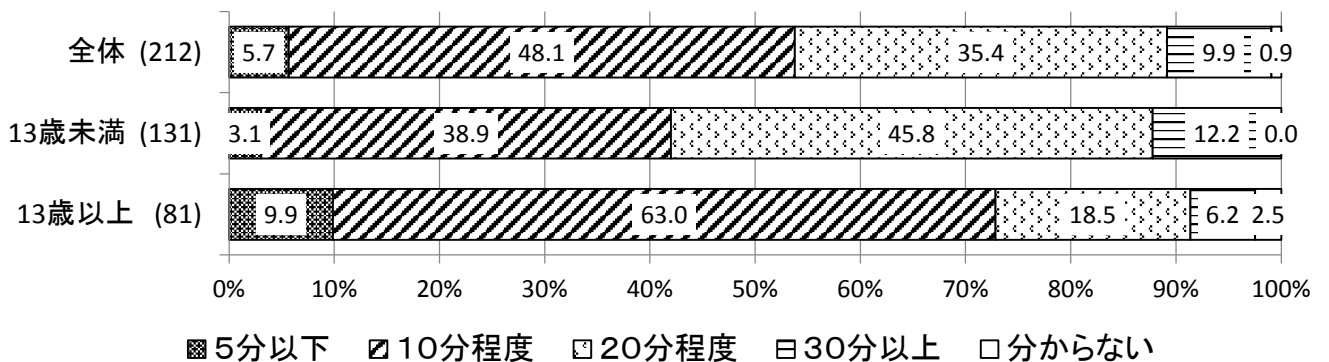
平日の朝食にかける時間は、10分程度が最も多く5割近い(48.1%)。次いで20分程度(35.4%)の順になっており、順位変化はない。

図3-8-1



年齢別では、13歳未満では20分程度が45.8%であるのに対して、13歳以上では10分程度が6割を超え(63.0%)大半を占めており、短時間化している。

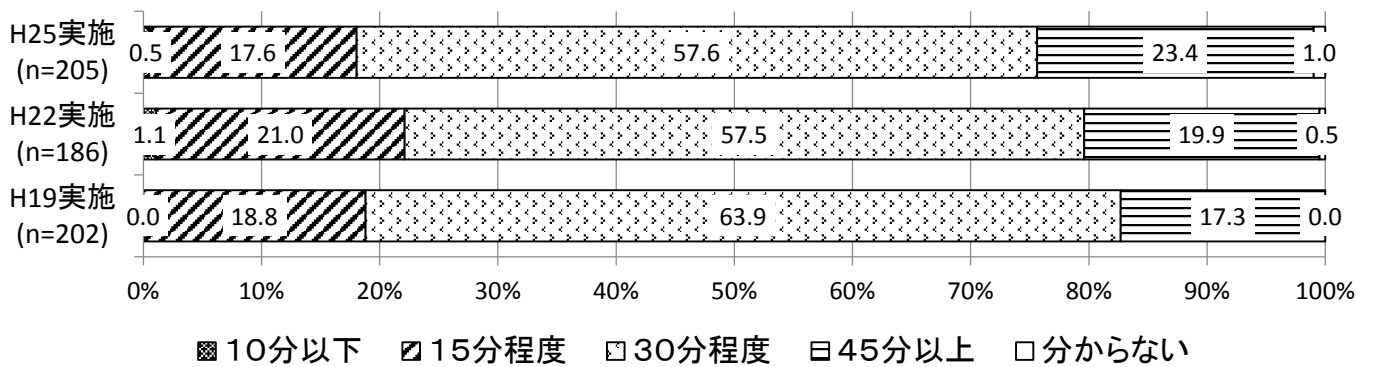
図3-8-2



・夕食

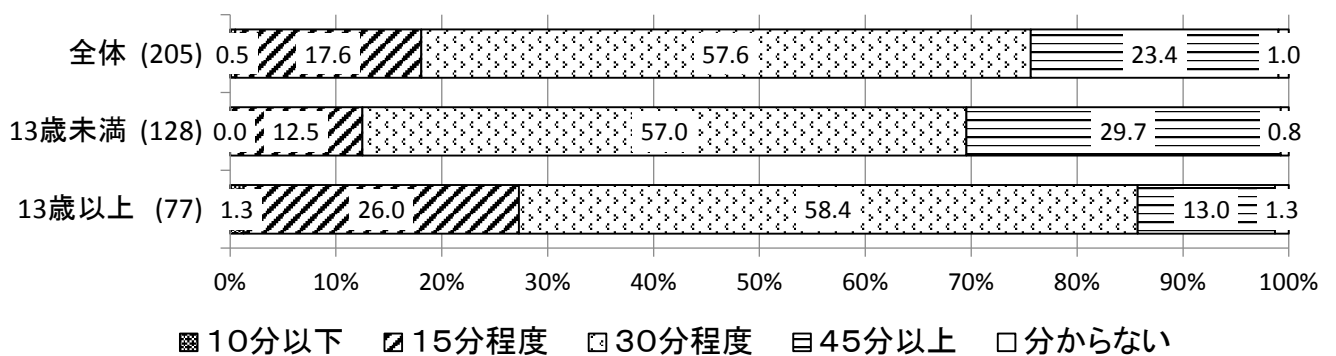
夕食にかける時間は、30分程度が6割近くを占め（57.6%）、年次間でみると、45分以上の割合が増え2位となっている（23.4%）。

図3-8-3



年齢別でみると、13歳未満では45分以上が3割近いのに対して、13歳以上では15分程度が26%あり、夕食においても短時間化している。

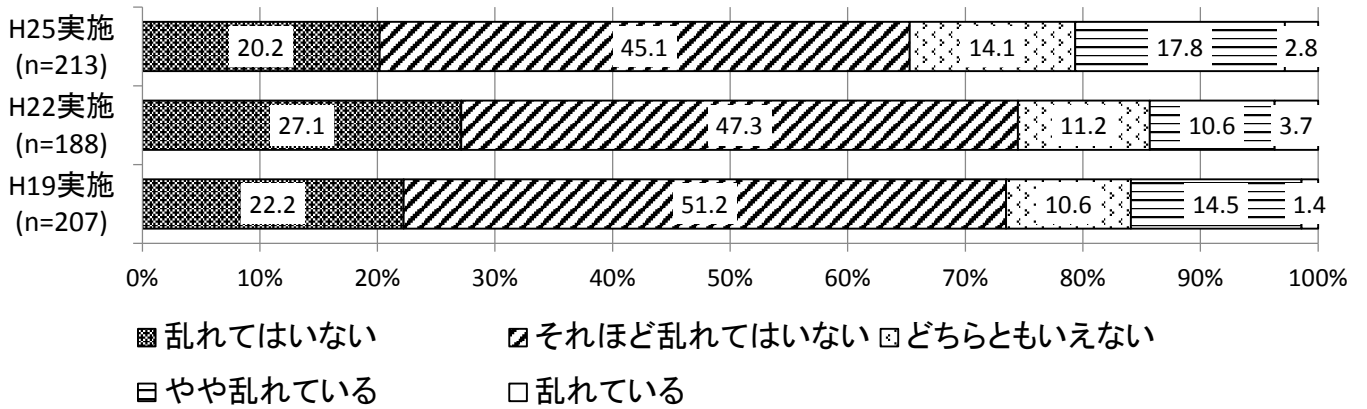
図3-8-4



問53 あなたのお子様の食は乱れているとお考えですか？(1つに○)

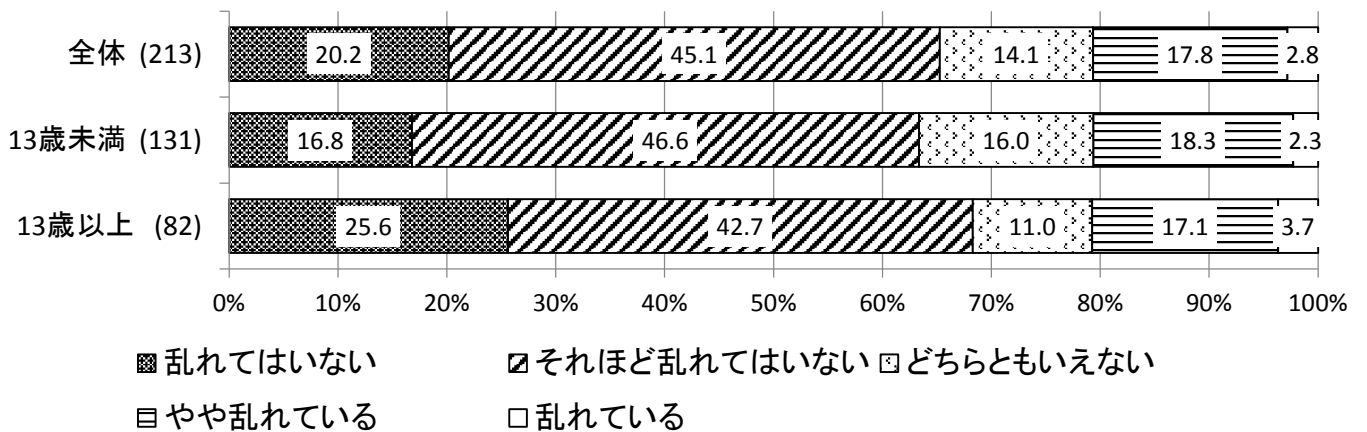
子供の食の乱れに対する回答では、今回の調査結果では「やや乱れている」とする回答が増え(17.8%)、「乱れていない」とする回答が、前回調査結果と比べて低下している(20.2%)。

図3-9-1



年齢別で見ると、13歳以上で「乱れていない」とする回答が13歳未満の場合に比べて高くなっている(25.6%)。

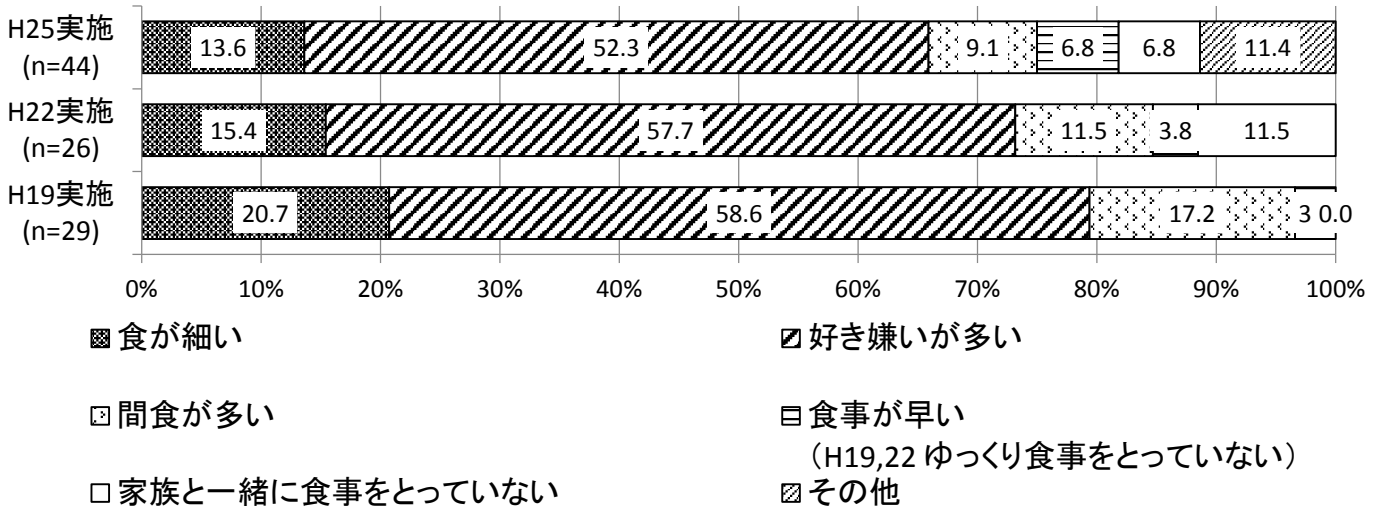
図3-9-2



問54 乱れている、やや乱れていると答えた方にお聞きます。どのような点で食事の乱れを感じますか？(1つに○)

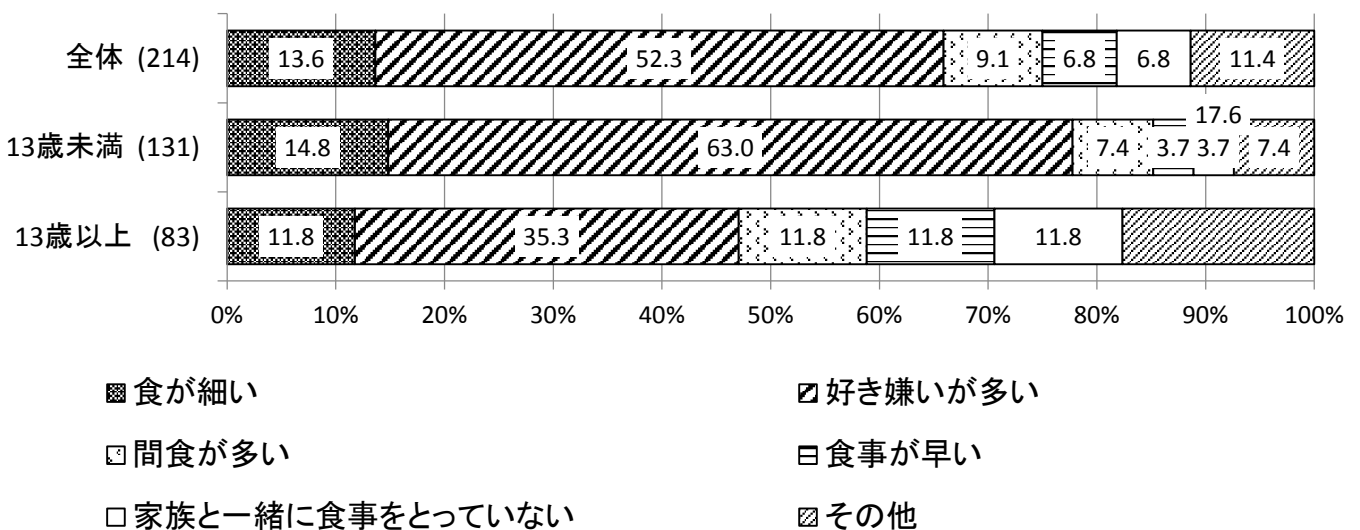
食の乱れを感じる点は、「好き嫌が多い」が半数以上を占めており、次いで「食が細かい」(13.6%)の順となっている。

図3-10-1



年齢別では、13歳未満では「好き嫌が多い」が6割を超している(63.0%)のに対して、13歳以上では35.3%に減少しており、代わって「間食が多い」、「食事が早い」、「家族と一緒に食事をとらない」など、の問題が挙げられている。

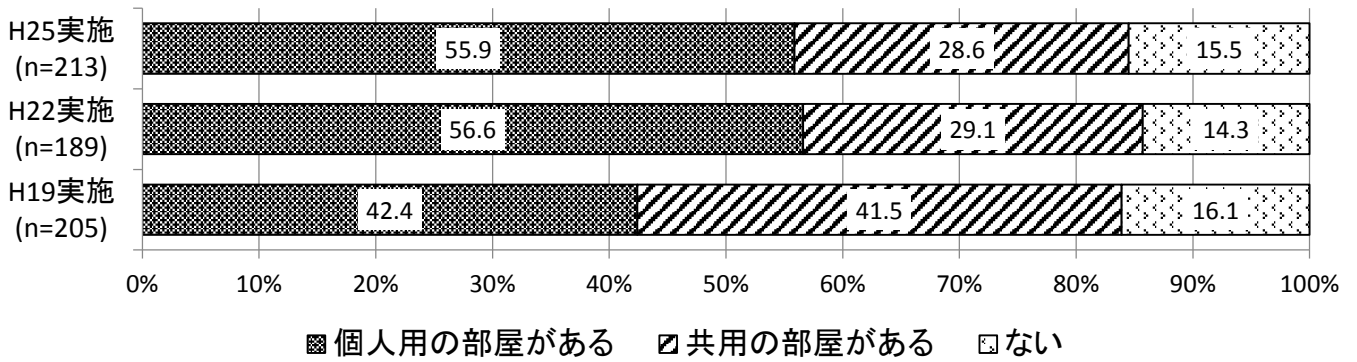
図3-10-2



問55 子供部屋はありますか？(1つに○)

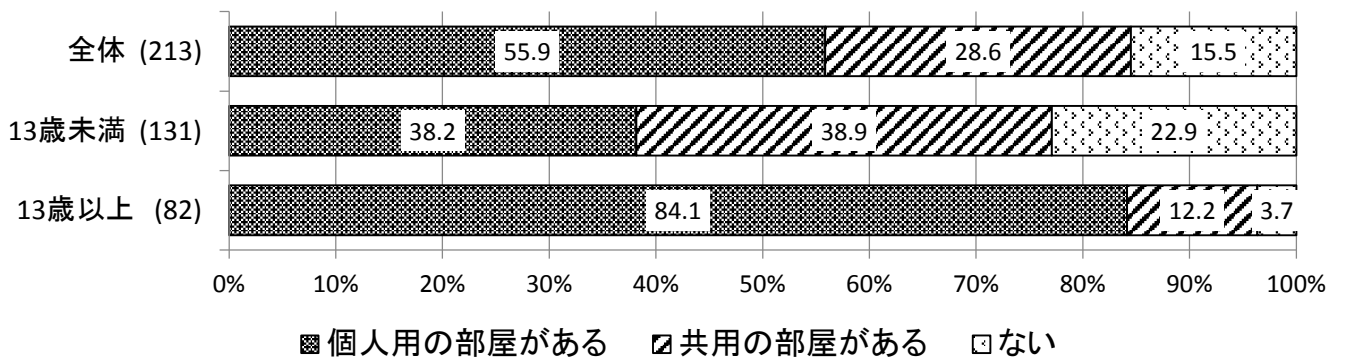
子供部屋を有しているとの回答は半数を超え（55.9%）、前回調査結果から変化はない。

図3-11-1



年齢別では、13歳未満で個人用の部屋を有する者は4割弱であるが、13歳以上では8割を超えている。

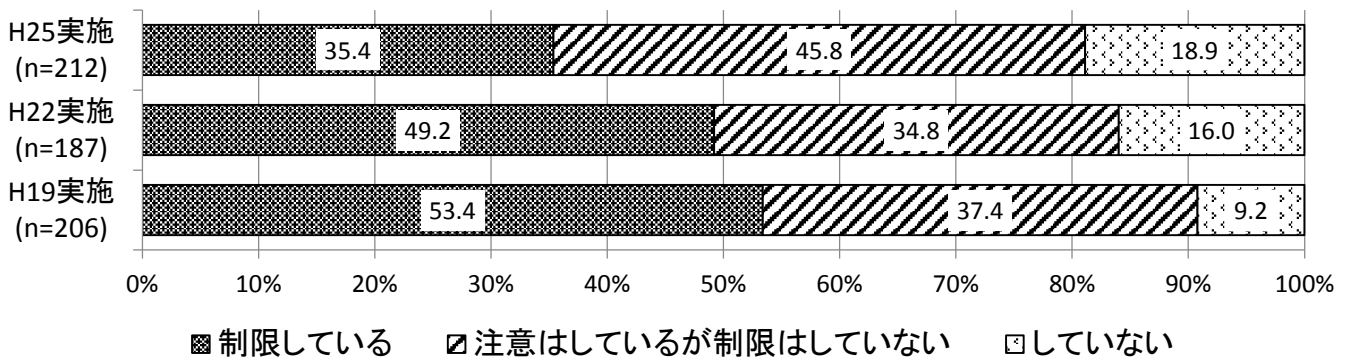
図3-11-2



問56 インスタントラーメンや炭酸飲料、菓子類の摂取量を制限していますか？(1つに○)

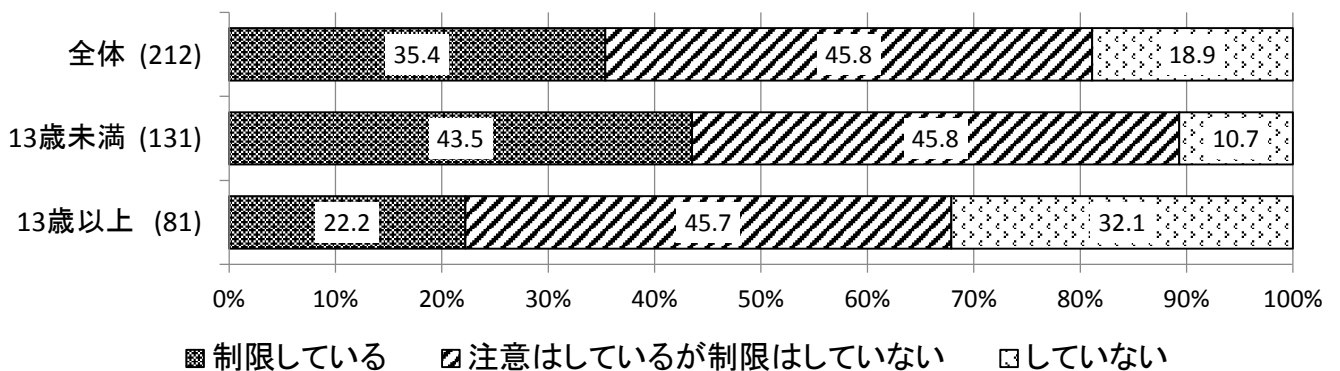
いわゆるジャンクフードに対する制限の有無を聞くと、「制限している」との回答は次第に減少してきている(35.4%)。言い換えると、制限は次第に一般的なものではなくなっている。ジャンクフードへの抵抗が薄れてきていることも考えられる。

図3-12-1



年齢別では、13歳未満では制限している割合が4割を超えている(43.5%)が、13歳以上では2割程度へと減少する。

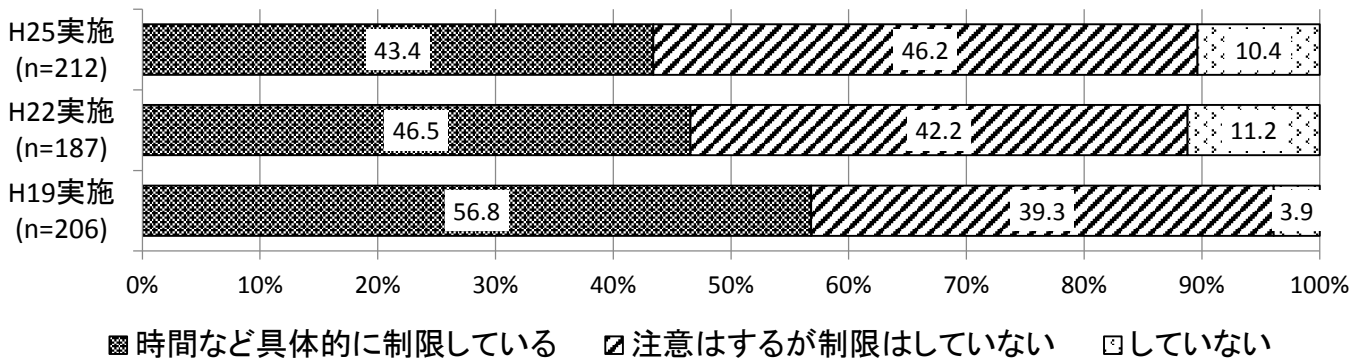
図3-12-2



問57 テレビや漫画、ゲーム、スマホ、インターネット等について制限をしていますか？(1つに○)

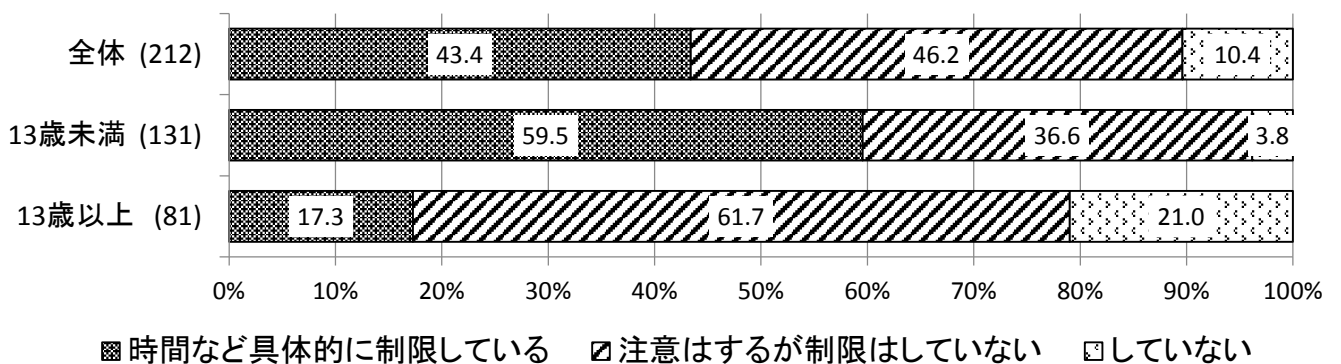
テレビ、漫画、ゲーム、スマホ、ネットなどの制限については、年次を追うごとに低下しており(43.4%)、今回調査で最も多い対応は「注意はするが制限はしていない」という対応である(46.2%)。

図3-13-1



年齢別にみると、13歳未満では「制限している割合」が6割となっているが、13歳以上では6割が「注意するが制限はしていない」と回答している。子供成長に応じた対応が取られていることが分かる。

図3-13-2



問58 お子様の就寝時刻と起床時刻をお聞きます。(平日の時刻を直接記入)

子供の平均就寝時間は、22時9分で調査開始以来で初めて午後10時を過ぎている。また起床時間は午前6時半前になり、このことから、睡眠時間は、平均で8時間は確保されているものの、前回調査結果から約30分程度短くなっている。

	※平均	(H22 実施)	(H19 実施)
・就寝時間 :	22時09分	21時43分	21時25分
・起床時間 :	6時26分	6時33分	6時45分

年齢別にみると、就寝時間に大きな差が現れている。13歳未満では9時間の睡眠時間が確保されているが、13歳以上では夜更かしの傾向が強くなっており、2時間短い7時間程度となっている。

区分	就寝時間	起床時間
全体	22時09分	6時26分
13歳未満	21時26分	6時27分
13歳以上	23時19分	6時25分

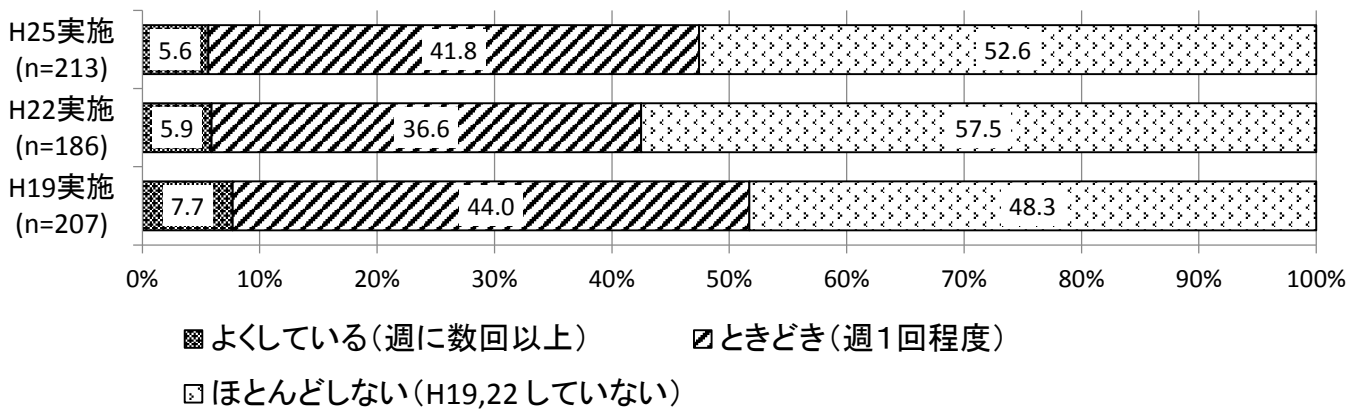


問59 お子様の家事への参加状況をお教え下さい。(それぞれ1つに○)

・調 理 :

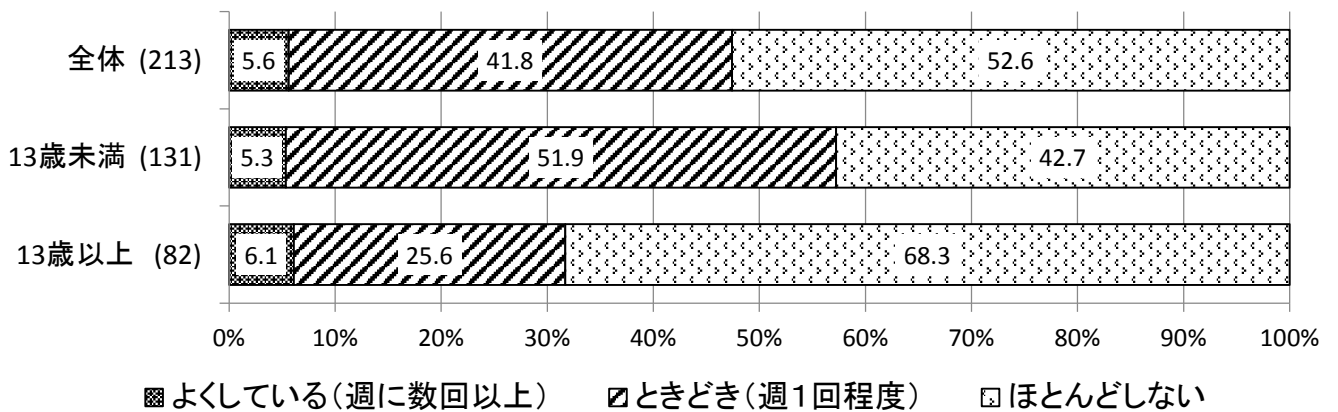
子供の家事への参加状況は、調理に関しては大きな変化はない。

図3-14-1



年齢別にみると、13歳未満では「ときどき」が半数で51.9%であるが、13歳以上になると「ほとんどしない」が7割近くに達している(68.3%)。

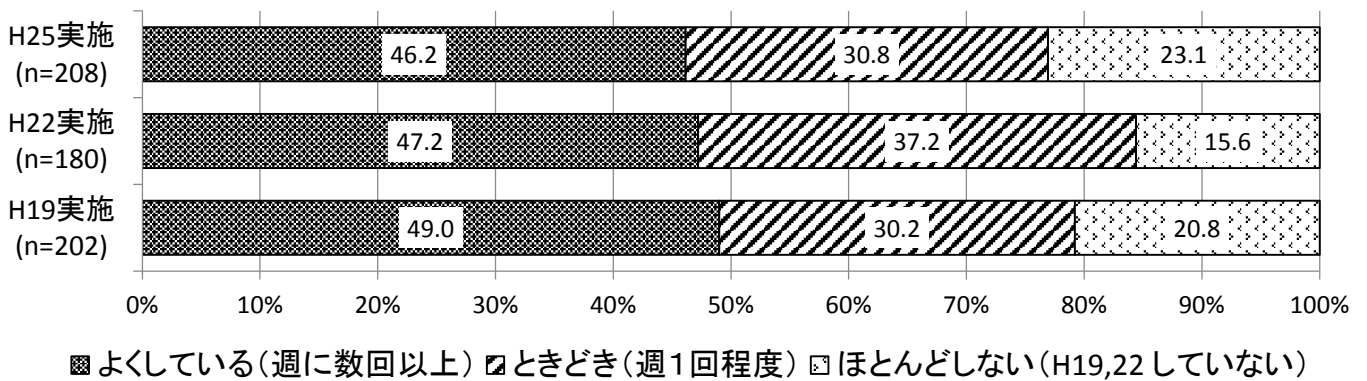
図3-14-2



・食事の準備、後片付け：

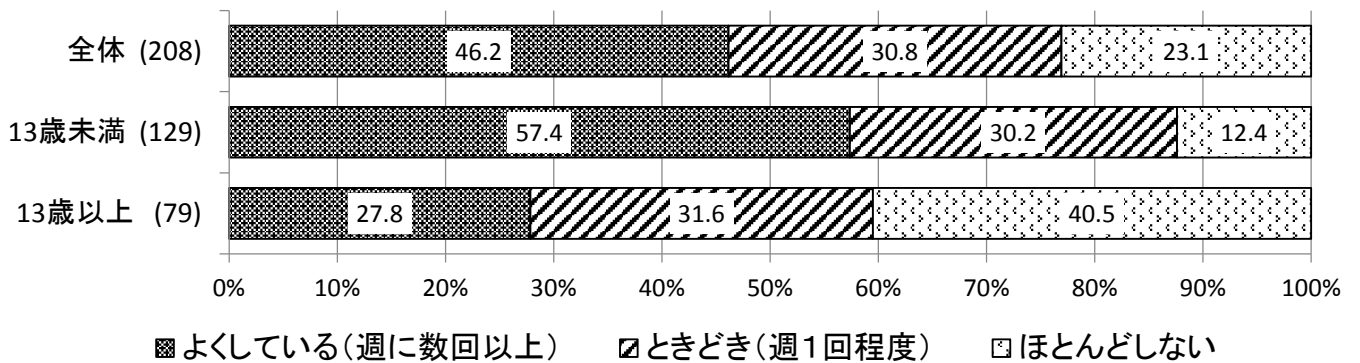
食事の準備・後片付けに関しては、毎回の調査で4割以上が「よくしている」と回答している。

図3-14-3



年齢別では、13才未満では「よくしている」場合が半数以上(57.4%)であるのに対して、13歳以上では「ほとんどしない」が4割(40.5%)と対照的である。受験、部活動が影響していることが考えられる。」

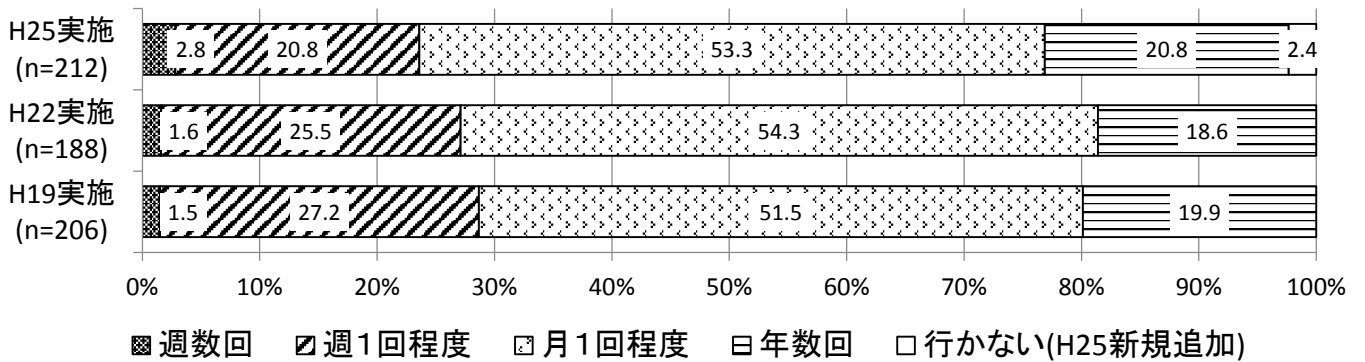
図3-14-4



問60 お子様と一緒に外食をされる頻度についてお聞かせ下さい。(1つに○)

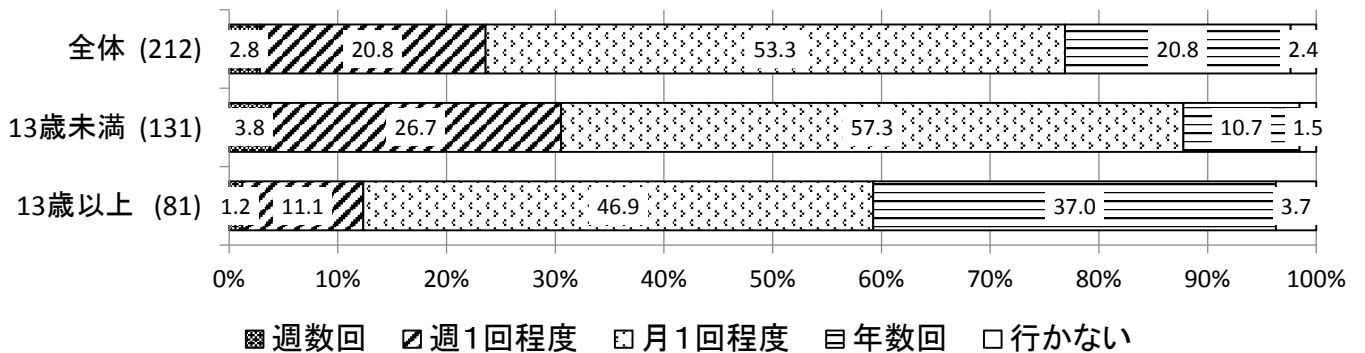
子供と一緒に外食に出かける頻度で最も一般的であるのは、「月1回程度」(53.3%)であるが、「週1回程度」の割合は、年次ごとに減少してきている(20.8%)。

図3-15-1



年齢別で見ると、13歳未満では「月1回程度」が最も一般的で6割近い(57.3%)が、13歳以上になるとその割合は5割を切り、代わりに「年数回」が増加している(37.0%)。

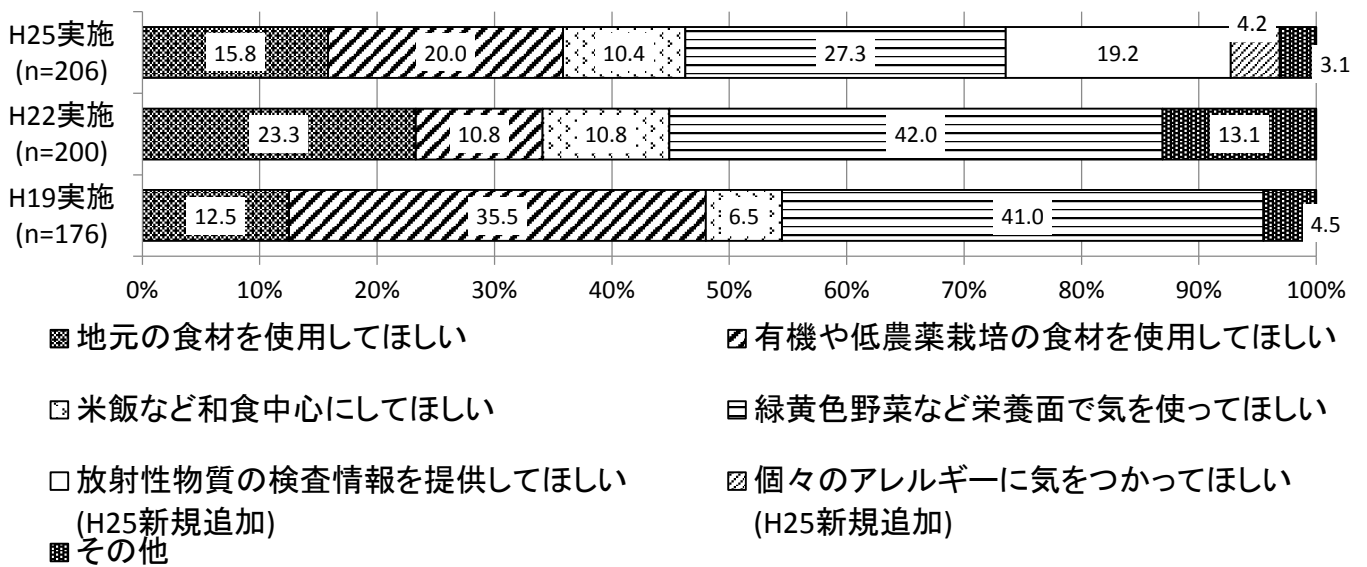
図3-15-2



問61 学校給食の食材についてのご意見をお聞かせ下さい。(全てに○)

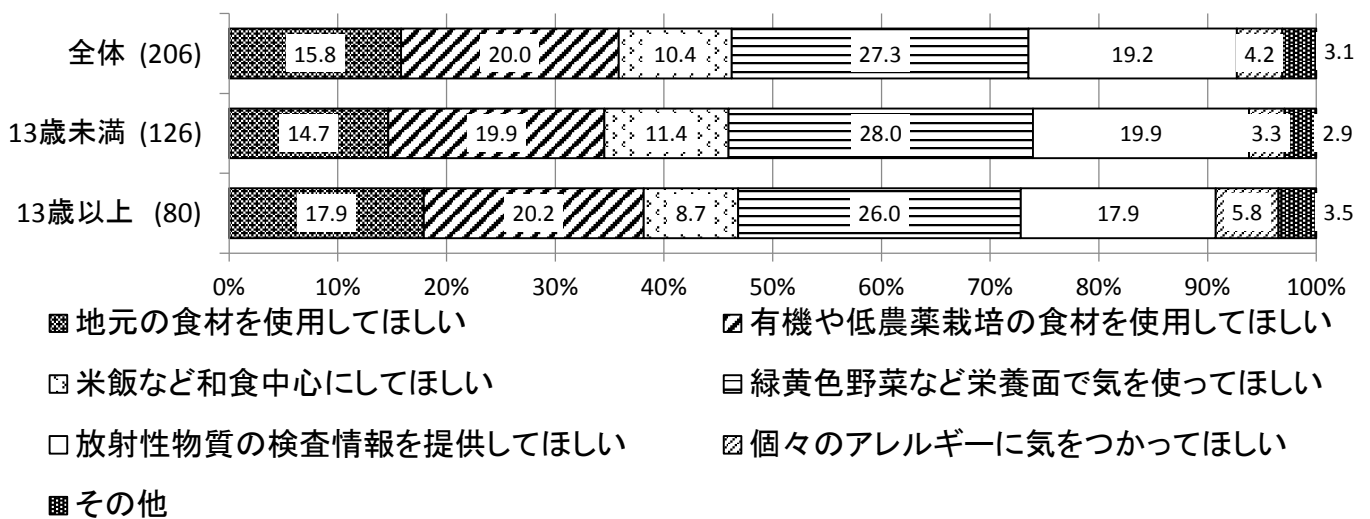
学校給食の食材についての意見は、今回の調査では新たに加えた「放射性物質の検査情報の提供」が2割近くを占めている。

図3-16-1



年齢別には、大きな差は認められなかった。

図3-16-2



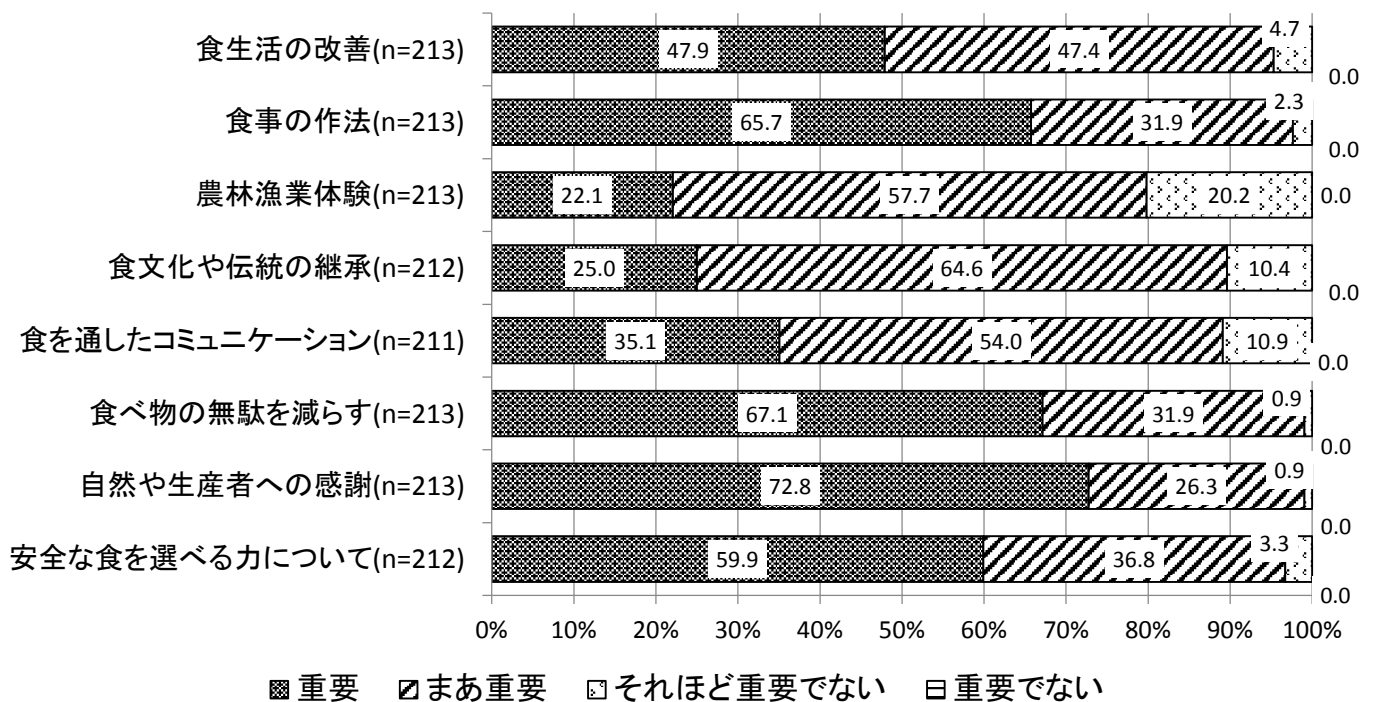
問62 子供に対する以下の食育については、どのくらい重要だと思いますか？(それぞれ1つに○)

子供に対する食育で重要な項目については、「自然や生産者への感謝」で重要とする割合が回答者の7割以上(72.8%)を占めており、次いで「食べものの無駄を減らす」(67.1%)、「食事の作法」(65.7%)の順で、これについては過去の調査結果とも大きな違いがない。今回新たに加えた「安全な食を選べる力」はおよそ6割(59.9%)の回答者が重要と考えている。

次に、「まあ重要」としている項目は、「食文化や伝統の継承」(64.6%)、「農林漁業体験」(57.7%)、「食を通じたコミュニケーション」(54.0%)となっている。

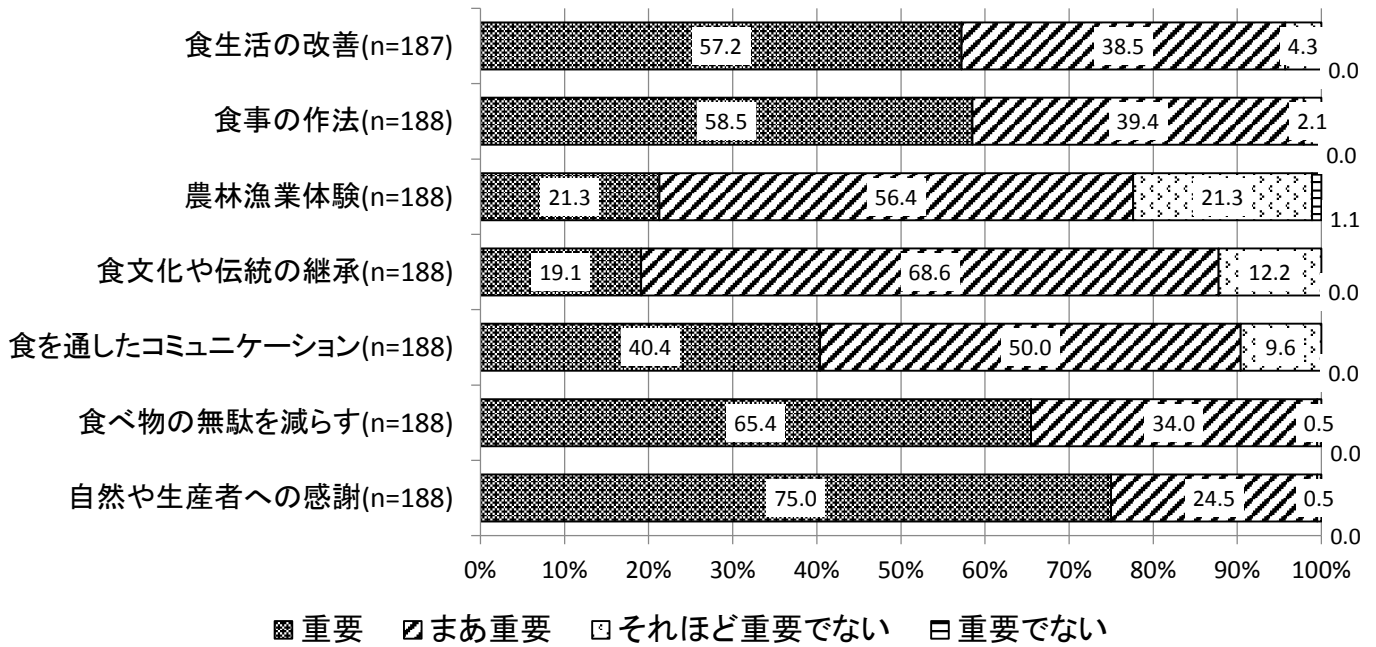
【H25年実施】

図3-17-1



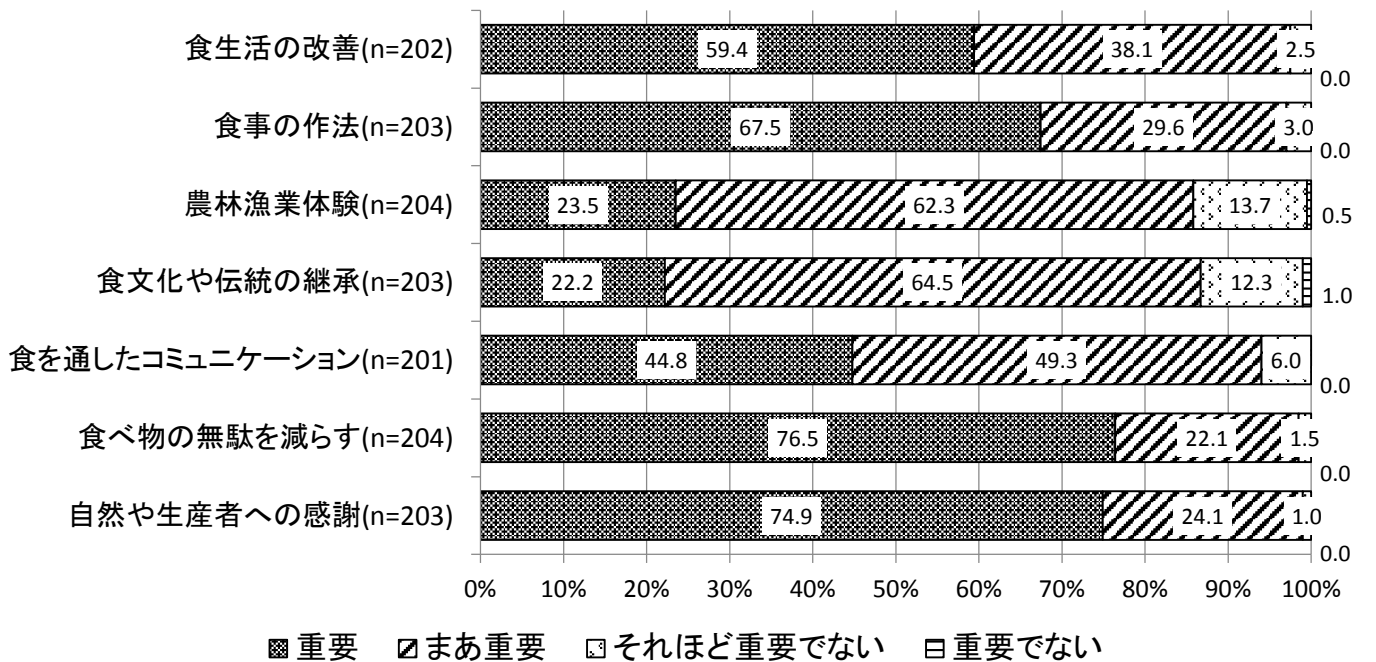
【H22 年実施】

図3-17-2



【H19 年実施】

図3-17-3



各項目ごとに、性別、世代別および子供の年齢別の集計結果についてみよう。項目ごとに以下の様な違いが現れている。

まず、食生活の改善では、男性で「重要」と考える割合が高く（60.0%）、年代別では40歳未満で「まあ重要」とする回答割合が高い(55.8%)。食事の作法に関しては、男性と40歳未満で「重要」と考える割合がやや高い。

農林漁業体験に関しては、男性が「まあ重要」とする割合がやや高いほか、40歳未満で「重要」とする割合が高く、子供が13歳未満の場合には、「まあ重要」とする割合が高い。

食文化や伝統の継承に関しては、男性では「重要」とする割合が低く（15.0%）、40歳以上では「まあ重要」とする割合が高い(70.0%)。

【食生活の改善】

表 2-1

(%)

	全体 (人)	重要	まあ重要	それほど重要でない	重要でない	
全体	213	47.9	47.4	4.7	0.0	
女性	193	46.6	48.7	4.7	0.0	
男性	20	60.0	35.0	5.0	0.0	
40歳未満	52	42.3	<b>55.8</b>	1.9	0.0	
40歳以上	161	<b>49.7</b>	44.7	5.6	0.0	
子ども	13歳未満	131	47.3	<b>48.9</b>	3.8	0.0
	13歳以上	82	<b>48.8</b>	45.1	6.1	0.0

【食事の作法】

表 2-2

(%)

	全体 (人)	重要	まあ重要	それほど重要でない	重要でない	
全体	213	65.7	31.9	2.3	0.0	
女性	193	65.3	32.1	2.6	0.0	
男性	20	70.0	30.0	0.0	0.0	
40歳未満	52	<b>69.2</b>	30.8	0.0	0.0	
40歳以上	161	<b>64.6</b>	32.3	3.1	0.0	
子ども	13歳未満	131	<b>65.6</b>	32.1	2.3	0.0
	13歳以上	82	<b>65.9</b>	31.7	2.4	0.0

【農林漁業体験】

表 2-3

(%)

	全体 (人)	重要	まあ重要	それほど重要でない	重要でない	
全体	213	22.1	57.7	20.2	0.0	
女性	193	22.8	57.0	20.2	0.0	
男性	20	15.0	65.0	20.0	0.0	
40歳未満	52	30.8	<b>57.7</b>	11.5	0.0	
40歳以上	161	19.3	<b>57.8</b>	23.0	0.0	
子ども	13歳未満	131	24.4	<b>61.8</b>	13.7	0.0
	13歳以上	82	18.3	<b>51.2</b>	30.5	0.0

【食文化や伝統の継承】

表 2-4

(%)

	全体 (人)	重要	まあ重要	それほど重要でない	重要でない
全体	212	25.0	64.6	10.4	0.0
女性	192	26.0	64.1	9.9	0.0
男性	20	15.0	70.0	15.0	0.0
40歳未満	52	28.8	<b>57.7</b>	13.5	0.0
40歳以上	160	23.8	<b>66.9</b>	9.4	0.0
子ども	130	26.2	<b>63.8</b>	10.0	0.0
	82	23.2	<b>65.9</b>	11.0	0.0

食を通したコミュニケーションでは、男性では「まあ重要」とする割合が高く（60.0%）、40歳未満で「重要」とする割合がやや高い（42.3%）。

食べ物の無駄を減らすでは、男性が「まあ重要」とする割合が高く（50.0%）、13歳未満で「重要」と考える割合が高い（74.0%）。自然や生産者への感謝に関しては、男性で「まあ重要」の割合が高く（45.0%）、13歳未満では「重要」とする割合が高い（77.9%）。

安全な食を選べる力については、女性と40歳以上で「重要」とする割合が高い（各60.9%、62.5%）。

【食を通したコミュニケーション】

表 2-5

(%)

	全体 (人)	重要	まあ重要	それほど重要でない	重要でない	
全体	211	35.1	54.0	10.9	0.0	
女性	191	36.6	53.4	9.9	0.0	
男性	20	20.0	60.0	20.0	0.0	
40歳未満	52	42.3	<b>46.2</b>	11.5	0.0	
40歳以上	159	32.7	<b>56.6</b>	10.7	0.0	
子ども	13歳未満	129	37.2	<b>51.2</b>	11.6	0.0
	13歳以上	82	31.7	<b>58.5</b>	9.8	0.0

【食べ物の無駄を減らす】

表 2-6

(%)

	全体 (人)	重要	まあ重要	それほど重要でない	重要でない	
全体	213	67.1	31.9	0.9	0.0	
女性	193	68.9	30.1	1.0	0.0	
男性	20	50.0	50.0	0.0	0.0	
40歳未満	52	<b>69.2</b>	28.8	1.9	0.0	
40歳以上	161	<b>66.5</b>	32.9	0.6	0.0	
子ども	13歳未満	131	<b>74.0</b>	24.4	1.5	0.0
	13歳以上	82	<b>56.1</b>	43.9	0.0	0.0

【自然や生産者への感謝】

表 2-7

(%)

	全体 (人)	重要	まあ重要	それほど重要でない	重要でない	
全体	213	72.8	26.3	0.9	0.0	
女性	193	74.6	24.4	1.0	0.0	
男性	20	55.0	45.0	0.0	0.0	
40歳未満	52	<b>73.1</b>	26.9	0.0	0.0	
40歳以上	161	<b>72.7</b>	26.1	1.2	0.0	
子ども	13歳未満	131	<b>77.9</b>	21.4	0.8	0.0
	13歳以上	82	<b>64.6</b>	34.1	1.2	0.0

【安全な食を選べる力】

表 2-8

(%)

	全体 (人)	重要	まあ重要	それほど重要でない	重要でない	
全体	212	59.9	36.8	3.3	0.0	
女性	192	60.9	35.9	3.1	0.0	
男性	20	50.0	45.0	5.0	0.0	
40歳未満	52	<b>51.9</b>	42.3	5.8	0.0	
40歳以上	160	<b>62.5</b>	35.0	2.5	0.0	
子ども	13歳未満	131	<b>60.3</b>	34.4	5.3	0.0
	13歳以上	81	<b>59.3</b>	40.7	0.0	0.0



第8節 歯科の健康に関する意識

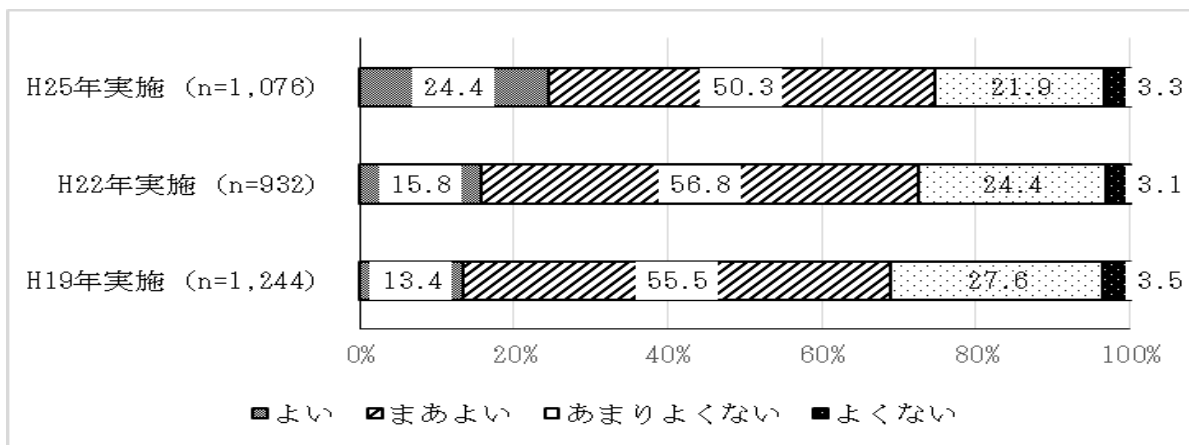
I. 現在の口腔と全身の健康状態

問64 あなたの現在のお口と全身の健康状態はどうか？

・お口の健康状態

口腔の健康状態は、「まあよい」と「よい」を合わせると、約 75%が健康状態がよいと感じている。過去 2 回の調査との推移をみると、「まあよい」の割合が減少し、「よい」と感じる割合が増加し、「まあよい」と「よい」を合わせた割合は、若干増加している。

図 4-1-1

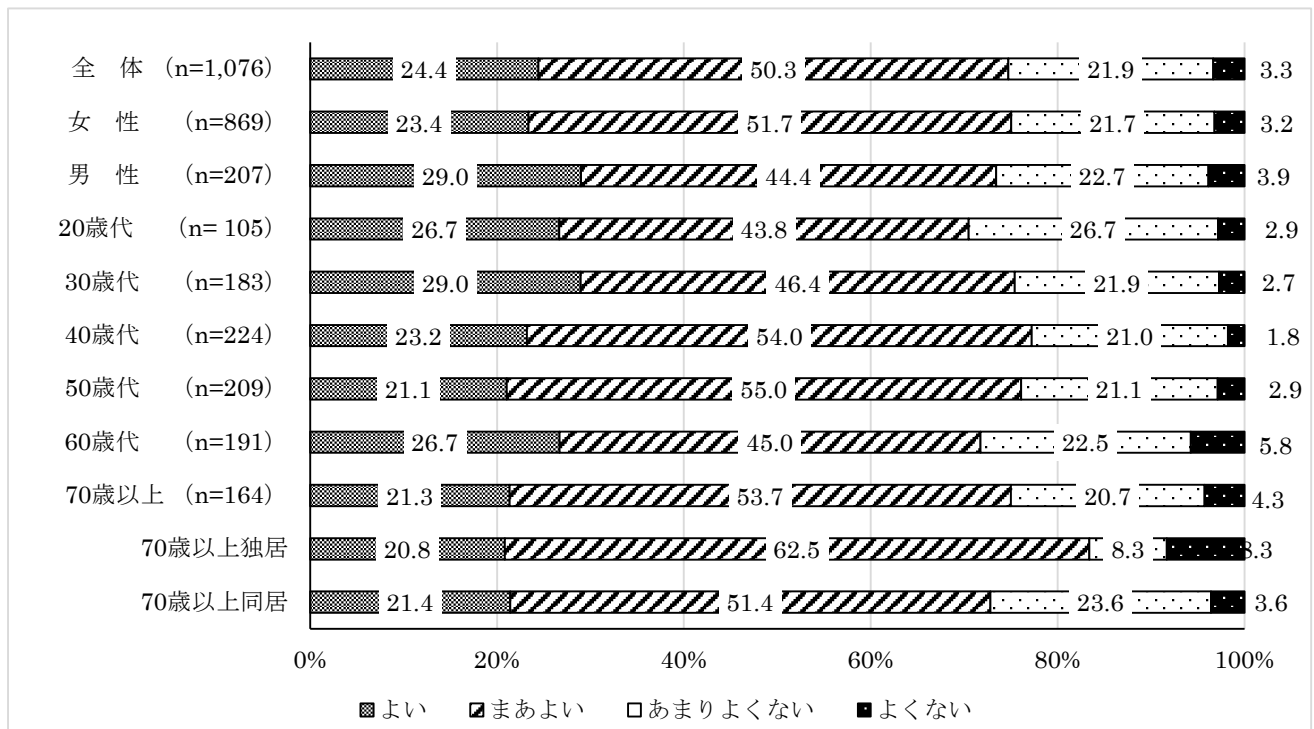


該当する(はい)割合 (%)	世代別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上	
口腔の健康状態がよい(よい+まあよい)	73.6	75.1	ns
口腔の健康状態がよい(よいのみの割合)	28.1	23.1	ns

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

性別では、口腔の健康状態がよい(「よい」+「まあよい」)には差がなく、年齢別では、40歳代において口腔の健康状態をよいと感じる割合が最も多かった。20歳代、60歳代でよいと感じる割合は低いものの、約7割は、よいと感じている。

図 4-1-2



該当する(はい)割合 (%)	世代別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上	
全身の健康状態がよい(よい+まあよい)	84.2	83.4	ns
全身の健康状態がよい(よいのみの割合)	28.5	22.6	*

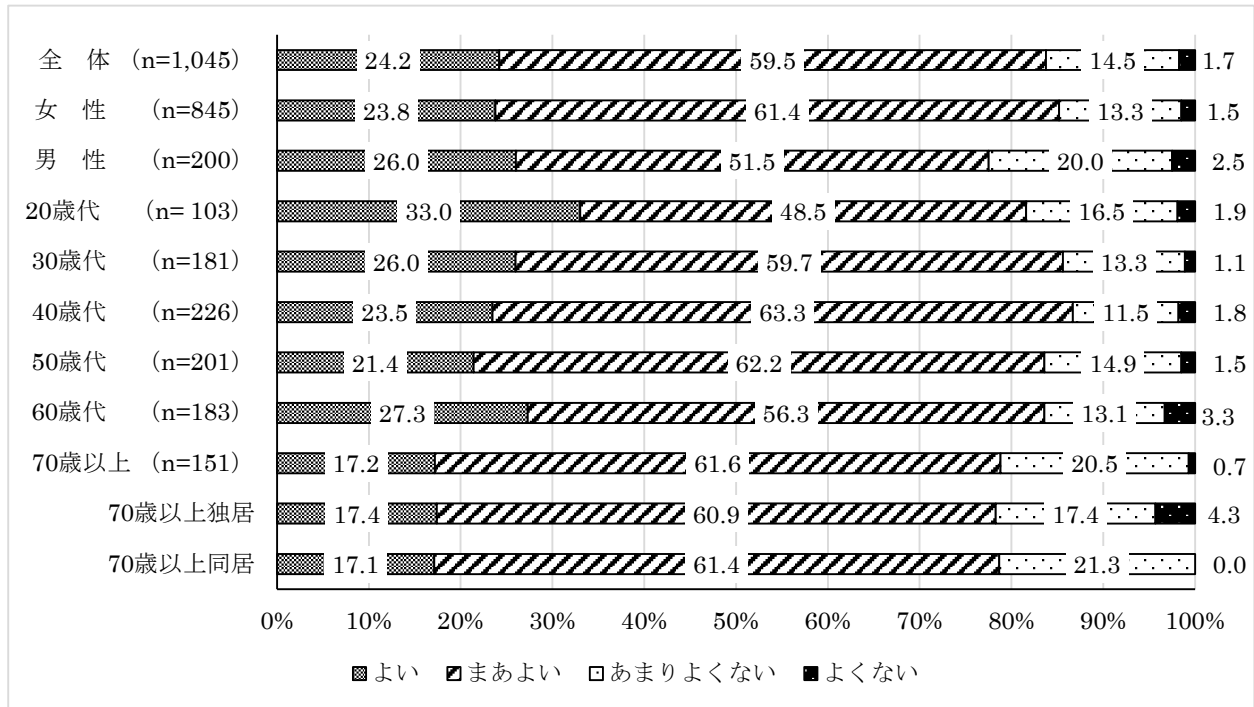
注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

・全身の健康状態ー

全身の健康状態は、全体でよい(「まあよい」+「よい」)と、8割以上が健康状態がよいと感じている。女性の方が男性より7%高い結果となった。また、年齢別においては、30歳代と40歳代で健康状態がよいと感じている割合が高かった。

全体として口腔内の健康状態と比較し、全身の健康状態がよい(「よい」のみ)と感じる割合が多い結果となった。

図 4-1-3



該当する(はい)割合(%)	世代別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上	
全身の健康状態がよい(よい+まあよい)	84.2	83.4	ns
全身の健康状態がよい(よいのみの割合)	28.5	22.6	*

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

該当する(はい)割合(%)	統計学的検定結果		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	口腔	全身	
健康状態がよい(よい+まあよい)	74.7	83.7	***
健康状態がよい(よいのみの割合)	24.4	24.2	ns

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

II. 歯の健康診査の有無

問65 前回、いつ歯科治療および歯の健康診査を受けましたか？

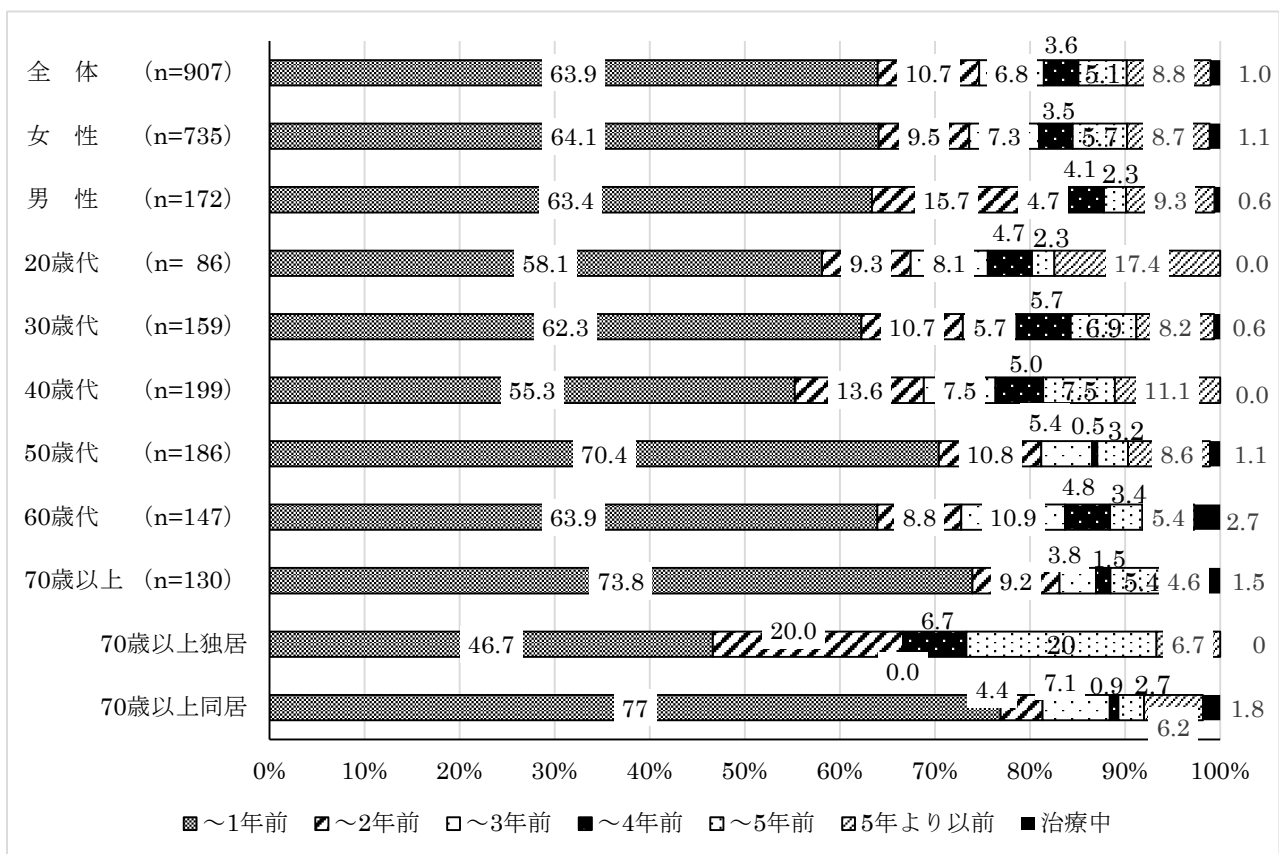
・前回からの歯科治療の間隔の平均は、1年10か月となっている。  
過去報告との推移をみると、歯科治療の間隔がH25年調査で明らかに短くなった。

- およそ 1年10か月 (H25年実施 平均)
- およそ 2年10か月 (H22年実施 平均)
- およそ 2年3か月 (H19年実施 平均)

性別にみると、性差はほとんどみられない。

年齢別においては、50歳代、70歳以上では約7割が1年以内に治療を行っている。

図 4-2-1



・歯科健診

・健康診査の間隔の平均は、1年2か月となっている。

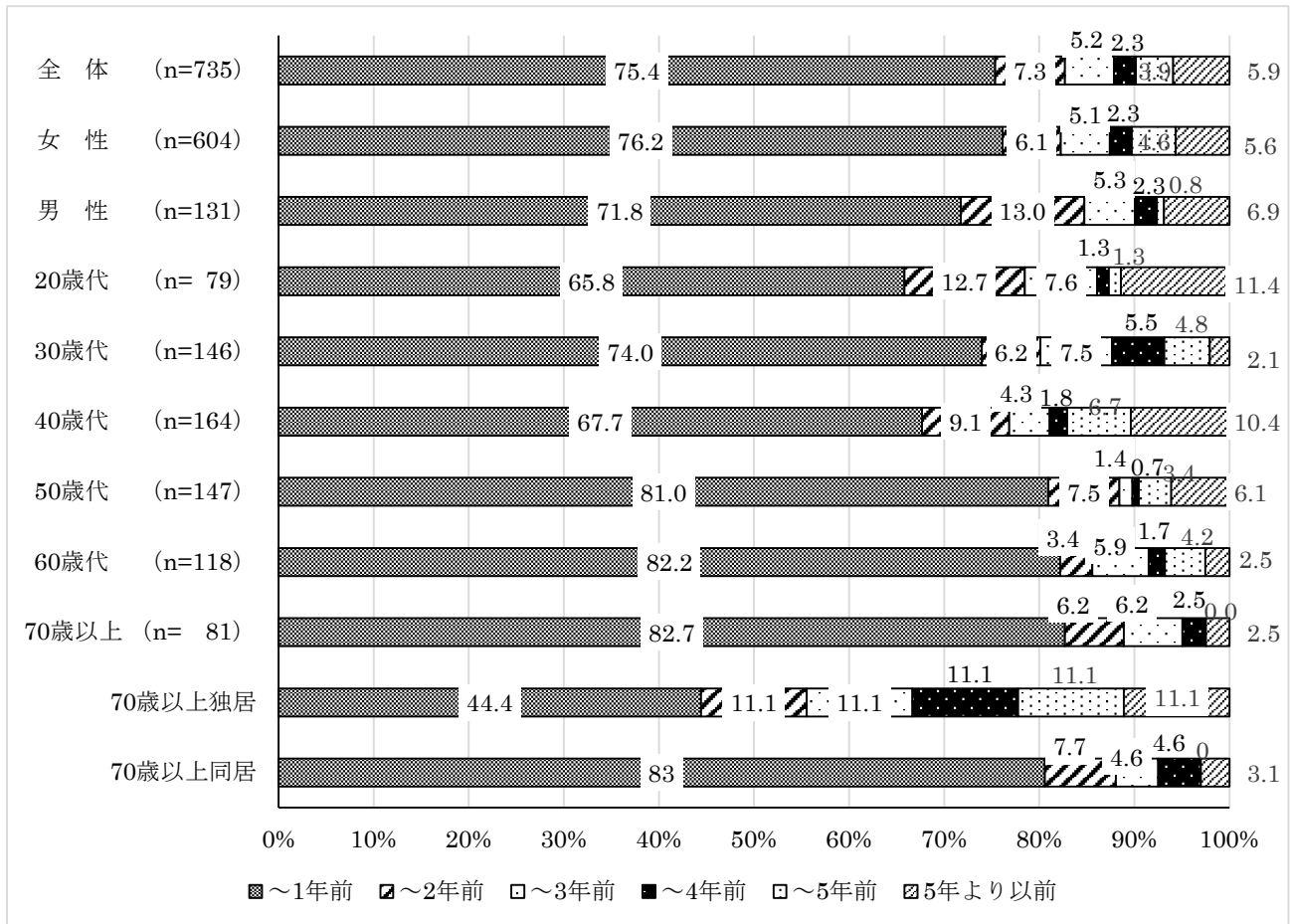
過去報告では調査時点で「この1年間に歯の健康診査を受けましたか」において、「受けた」の割合が48.4%となっており、本調査では約75%であることから1年以内での歯の健康診査受診は増加しており定期受診の増加傾向がみられる。

およそ 1 年 2 ヶ月 (H25年実施 平均)

性別にみると、女性は男性と比較し健康診査受診率が高いが大きな差は認められない。

年齢別においては、50歳以上では8割以上が1年以内に歯の健康診査を受けている。20歳代が低いものの約65%が受診しており、過去の調査と比較し各年代20%以上高くなっている。

図 4-2-2

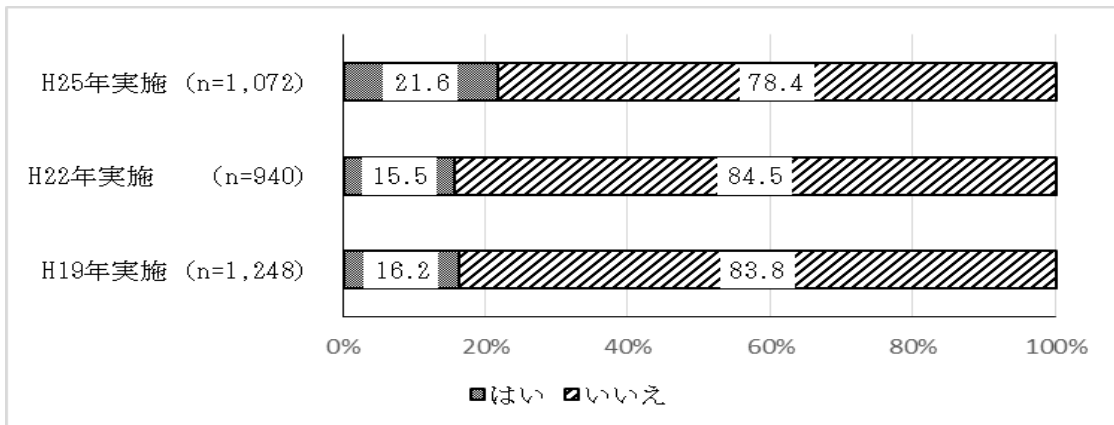


Ⅲ. 入れ歯使用の有無

問66 あなたは入れ歯を使用していますか？

入れ歯を使用している割合は、20%を超えていた。  
過去2回の調査と比較し、使用割合は増加している。

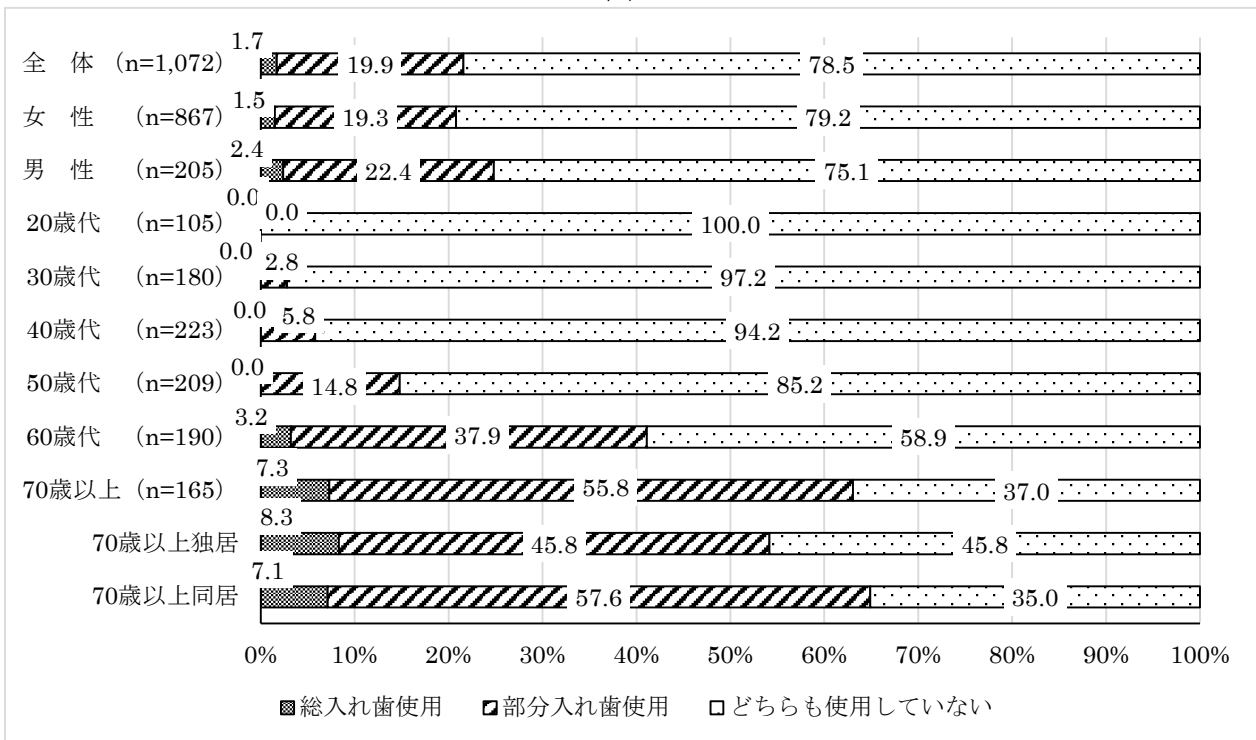
図 4-3-1



本調査から、入れ歯の使用について、総入れ歯であるのか、部分入れ歯であるのかを項目としてあげているが、部分入れ歯の使用割合が多かった。

性別では、男性の部分入れ歯の割合が多少高く、年齢別では、増齢と比例し入れ歯使用割合が増加している。特に70歳以上では6割以上が入れ歯を使用していたが、20歳代では使用者がいなかった。

図 4-3-2



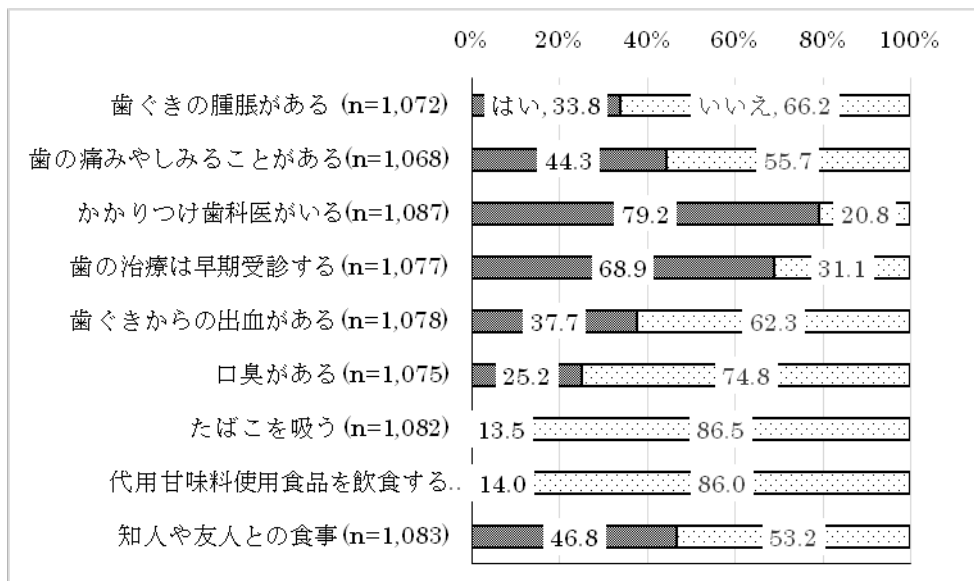
IV. 口腔内の健康状態

問67 あなたのお口の健康状態と歯科医療について質問します。

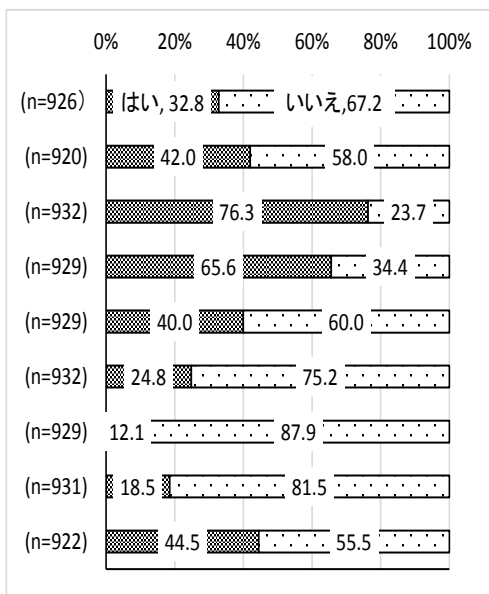
口腔内の健康状態について、項目ごとに聞いたところ、約 8 割が「かかりつけ歯科医」を持っている。また、「歯の治療の早期受診」は約 7 割であった。

平成 22 年調査との推移をみると、「歯ぐきからの出血」と「代用甘味料使用食品の飲食」を除き、平成 25 年調査の方が、「はい」の割合が増加している。

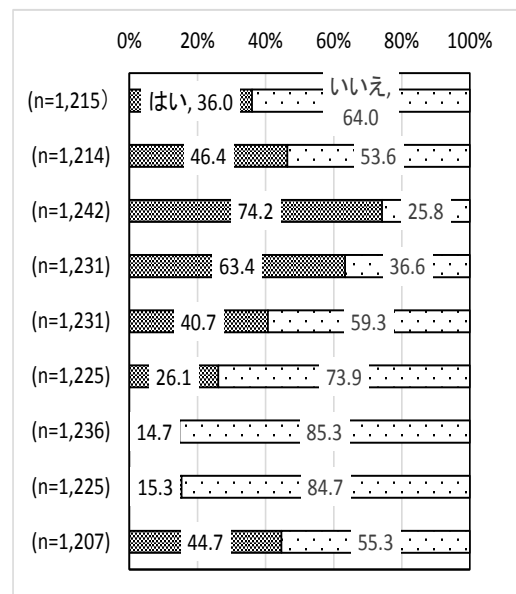
【平成 25 年実施】 図 4-4-1



【平成 22 年実施】 図 4-4-2



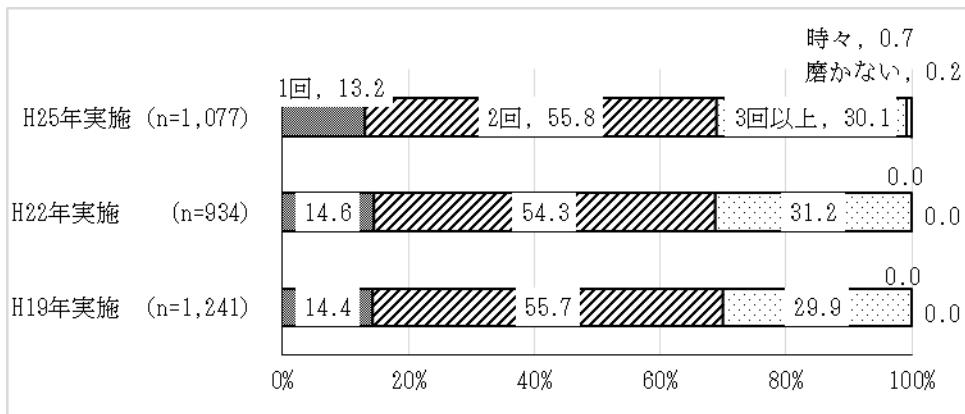
【平成 19 年実施】 図 4-4-3



歯磨きについて、1日2回磨く割合が50%以上と多く、ほぼ全員が毎日1回以上歯磨きを行っている。また1日2回以上磨く割合が約85%であった。間食については、1日0~1回が75%を超えており、過去の調査と比較し間食回数は減少している。

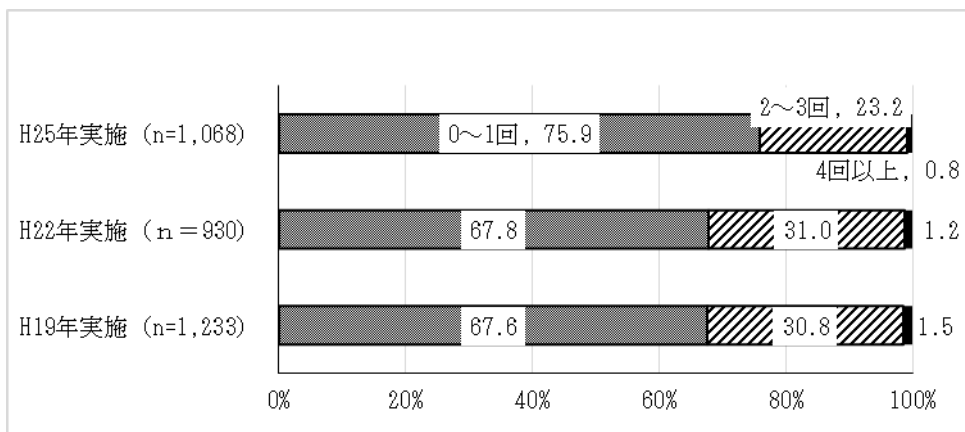
【歯磨き回数】

図 4-4-4



【間食回数】

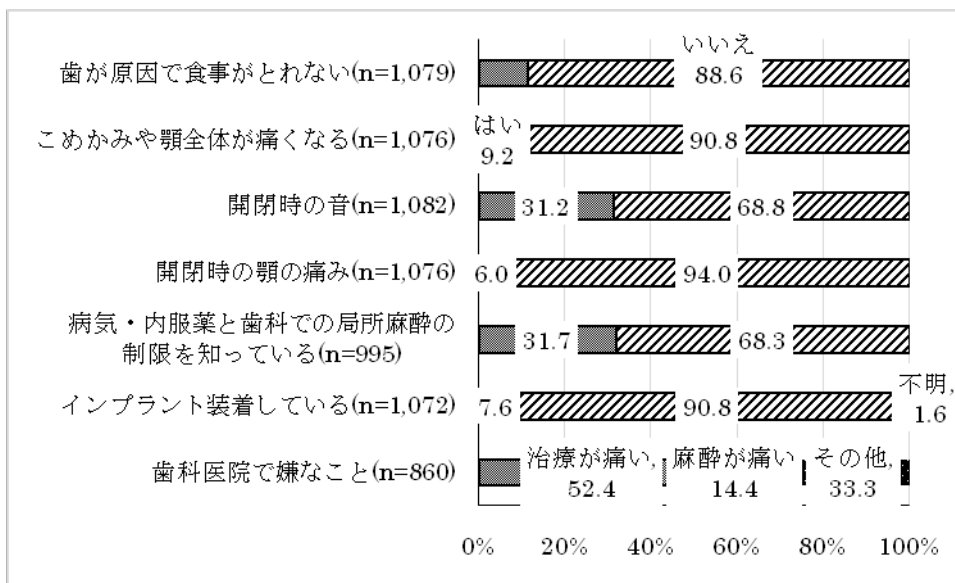
図 4-4-5





平成 25 年実施においては、7 項目について新たに調査に追加した。歯科医院で嫌なこととして「治療が痛い」が 50%を超えていた。インプラント装着割合は、1 割に満たなかった。開閉時の顎の痛みは多くなかったが、開閉時に顎の音がする割合は、30%以上であった。

図 4-4-6



該当する(はい)割合 (%)	年度別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	H25実施	H22実施	
1日2回以上	85.9	85.5	ns

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

性別では、女性が男性よりも「かかりつけ歯科医がいる」、「歯の治療は早期受診する」、「一日の歯磨き回数が2回以上」が30%以上高い結果となった。男性は「たばこを吸う」が女性に比較し約3倍となっている。顎関節の痛み、音は、女性より低い結果であった。

年齢別では、年齢とともに「かかりつけ歯科医がいる」、「歯の治療は早期に受診する」、「歯が原因で食事がとれない」が増加する傾向にある。20歳代では、「歯ぐきからの出血がある」、「代用甘味料使用食品を飲食する」が他の年代に比較し高くなっている。「インプラント装着」は60歳代が高く続いて70歳代であった。

性別・年齢別（「はい」の割合（%））

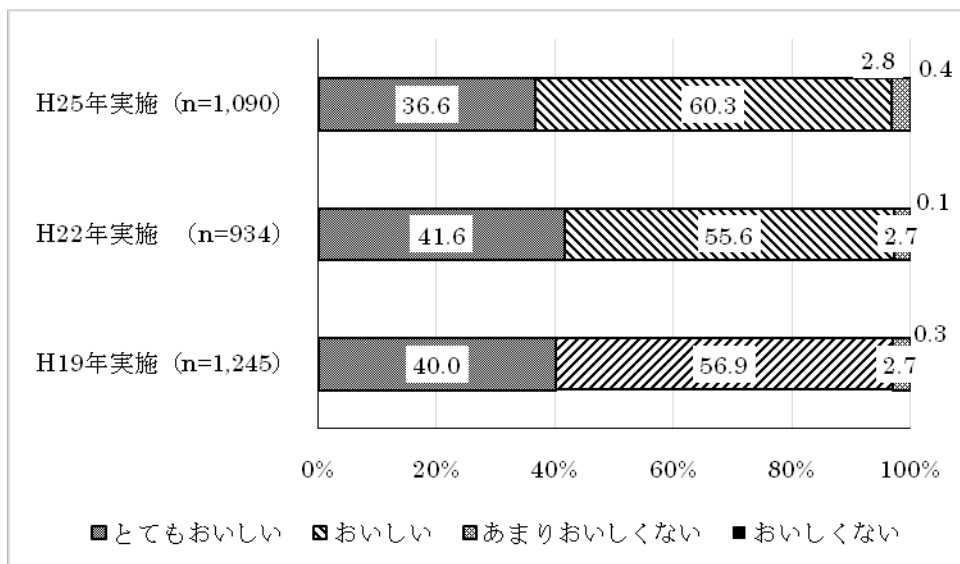
	歯ぐきの腫脹がある	歯の痛みやしみる ことがある	かかりつけ 歯科医がいる	早期受診する	歯ぐきからの 出血がある	口臭がある	たばこを吸う	代用甘味料使用 食品を飲食する	知人や友人との 食事	一日の歯磨き回数 (2回以上)	一日の間食回数 (2回以上)	歯が原因で食事 がとれない	こめかみや顎全体 が痛くなる	開閉時の顎の音	開閉時の顎の痛み	病気・内服薬と歯科 での局所麻酔の 制限を知っている	インプラント装着 している	歯科医院で嫌なこと (治療が痛い)
全体	33.8	44.3	79.2	68.9	37.7	25.2	13.5	14.0	46.8	85.9	24.0	11.3	9.2	31.2	6.0	31.7	7.6	52.4
女性	34.3	44.1	80.6	70.5	36.2	24.2	10.1	13.0	46.1	92.1	25.6	11.0	9.5	32.0	6.4	31.9	7.7	52.2
男性	31.6	45.1	73.4	62.0	41.7	29.6	28.0	18.5	49.8	59.5	17.3	12.6	7.8	28.1	4.4	30.5	6.9	51.6
20歳代	34.9	53.8	58.5	52.4	60.4	17.1	16.0	29.2	59.4	82.5	29.4	5.7	6.7	44.8	4.8	25.0	1.9	61.4
30歳代	30.8	50.0	72.1	66.7	42.3	25.7	13.7	18.7	40.4	87.7	21.5	6.0	14.8	41.4	10.5	24.4	3.9	49.7
40歳代	29.1	46.0	76.7	65.9	39.1	27.9	16.3	15.9	46.3	89.4	24.4	7.5	10.6	35.2	7.9	27.7	6.7	58.9
50歳代	41.9	50.7	83.8	69.4	42.4	29.2	13.4	8.6	44.3	86.5	25.6	13.3	10.6	30.5	4.8	35.5	6.7	56.1
60歳代	36.2	34.2	84.6	71.2	28.1	27.5	13.9	8.3	44.3	85.5	28.9	15.3	5.3	26.8	3.2	39.2	14.1	48.5
70歳以上	29.6	32.5	91.6	82.8	20.9	18.4	7.4	10.0	52.7	80.8	15.4	19.0	5.5	11.7	4.3	34.4	10.0	34.0
70歳以上独居	33.3	38.1	91.3	83.3	17.4	4.5	17.4	12.5	75	84	16.7	21.7	0	9.1	4.3	50	16	33.3
70歳以上同居	29	31.7	92.2	83.5	21.4	20	5	9.5	48.9	78.9	15.2	18.6	6.4	12.1	4.3	31.6	8.9	24.2

V. 食事の満足度

問68 食事がおいしいと感じていますか？

食事がおいしいと感じているかについては、95%以上が食事に満足感(「とてもおいしい」+「おいしい」)を得ていた。過去2回の調査と比較しても差はみられなかった。しかし「とてもおいしい」については減少した。

図 4-5-1

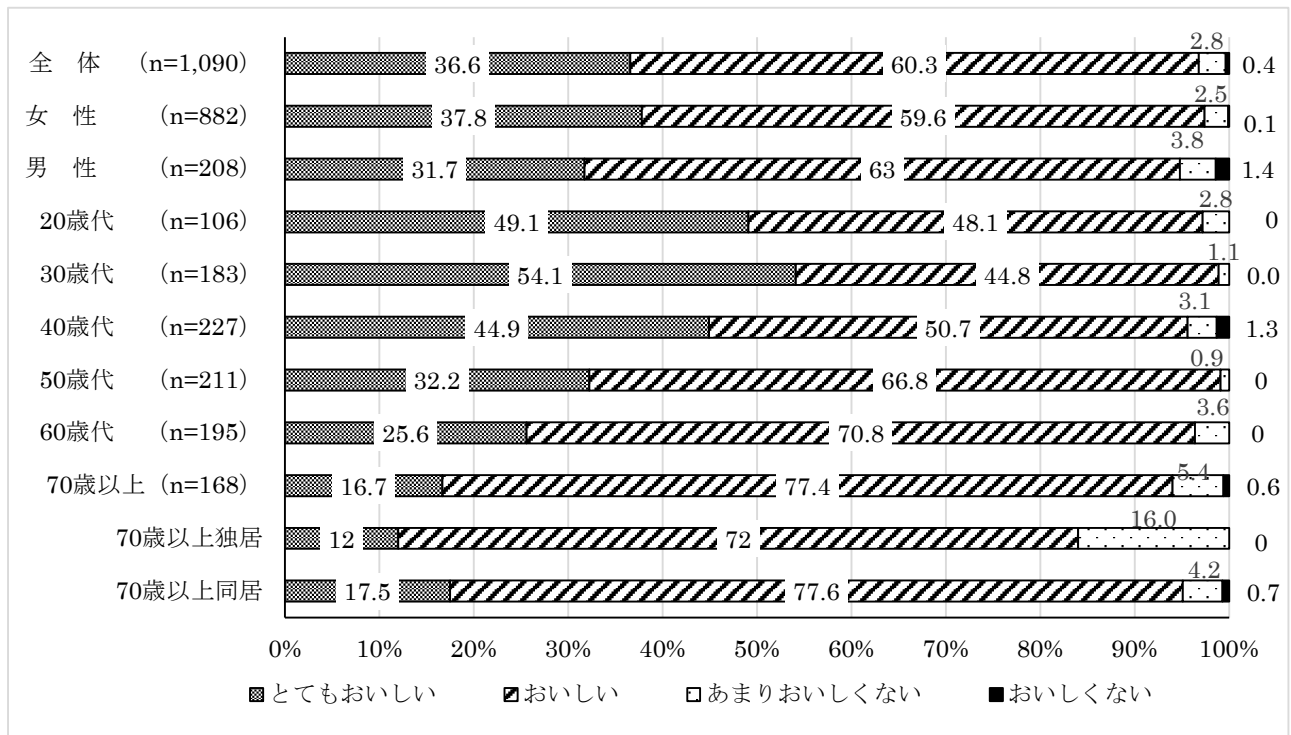


該当する(はい)割合 (%)	年度別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	H25実施	H22実施	
食事がおいしいですか(とてもおいしい+おいしい)	96.9	97.2	ns
食事がとてもおいしい(とてもおいしいのみの割合)	36.6	41.6	***

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

性別で見ると、満足感(「とてもおいしい」+「おいしい」)に男女差は認められない。  
 年齢別では、各年代とも高い食事の満足感が得られている。30歳代で「とてもおいしい」の割合が多くなっているが、その後加齢に伴い、その割合が減少している。

図 4-5-2



該当する(はい)割合 (%)	世代別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上	
食事がおいしいですか(とてもおいしい+おいしい)	98.3	97.0	ns
食事がとてもおいしい(とてもおいしいのみの割合)	52.2	31.6	***

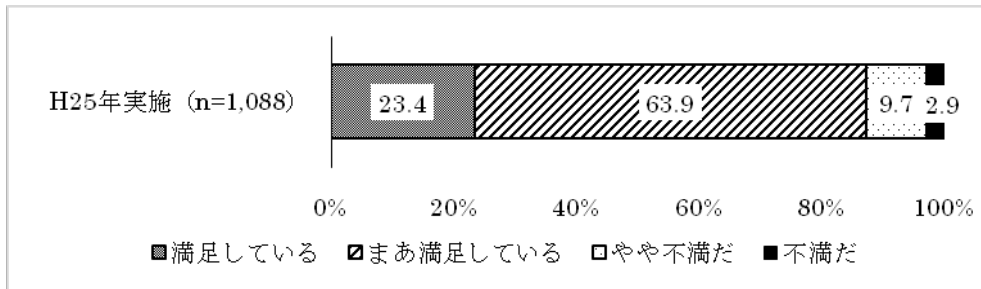
注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

VI. 生活の満足度

問69 現在の生活に満足していますか？

生活の満足度は、「満足している」と「まあ満足している」を合わせて約9割が満足している。

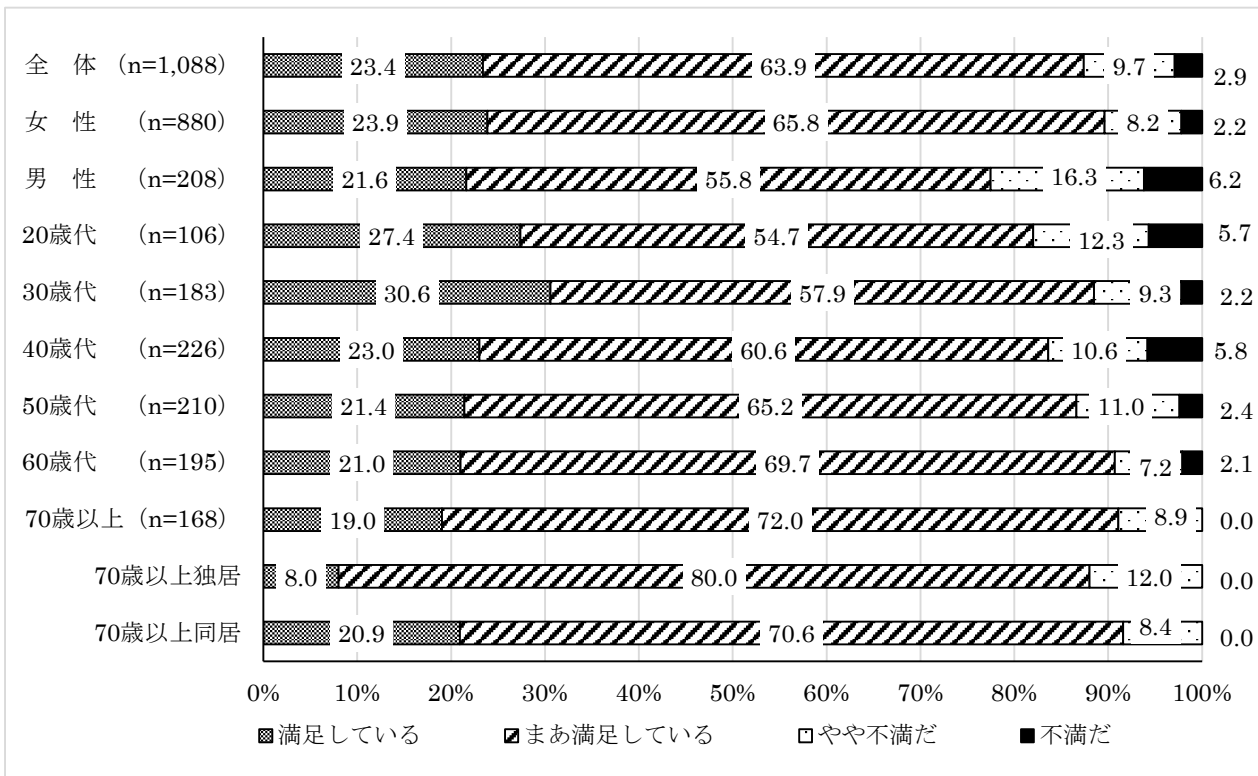
図 4-6-1



性別においては、女性の方が男性より満足度(「満足している」+「まあ満足している」)が10%以上も高い結果となった。

年齢別においては、20歳代、30歳代で若干満足度が低いですが8割以上は満足している。70歳以上が最も満足度が高かった。

図 4-6-2



VII. 現在歯数

問70 あなたの歯の本数は現在何本ですか？

現在の歯の本数は、平均で26.7本であった。

過去の調査結果からの推移をみると、大きな差はみられない。

26.7 本 (H25年 平均)

27.1 本 (H22年 平均)

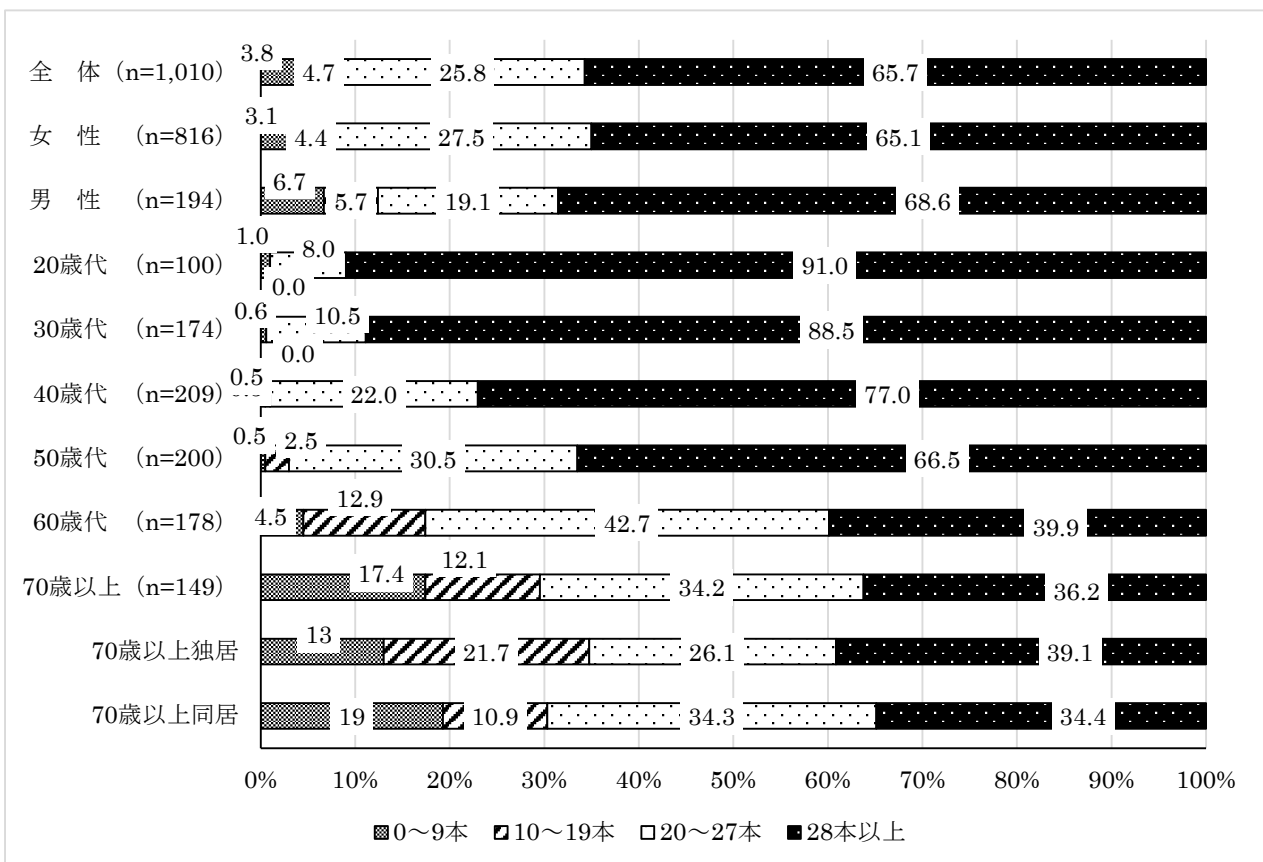
27.3 本 (H19年 平均)

性別では、大差はみられない。

年齢別では、20歳代と30歳代において約9割が28本以上自分の歯を持っており、30歳代においても約9割となった。年齢とともに減少しており、60歳代以降になると減少割合が大きい。

一人平均  
26.8本

図 4-7-1

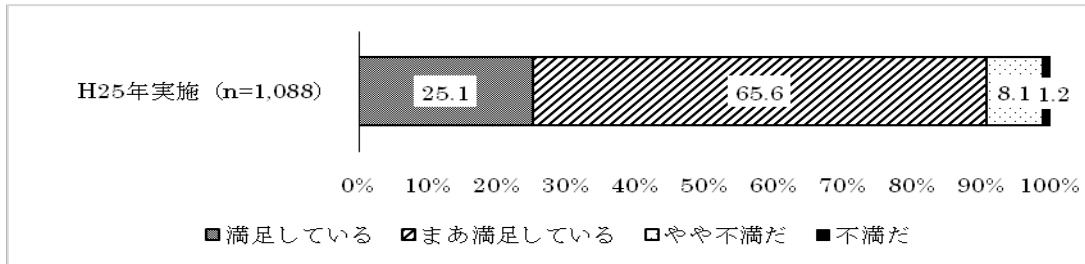


問71 食事に関して

・現在の食生活に満足していますか？

食生活の満足度は、「満足している」と「まあ満足している」を合わせて9割を超えて満足している。

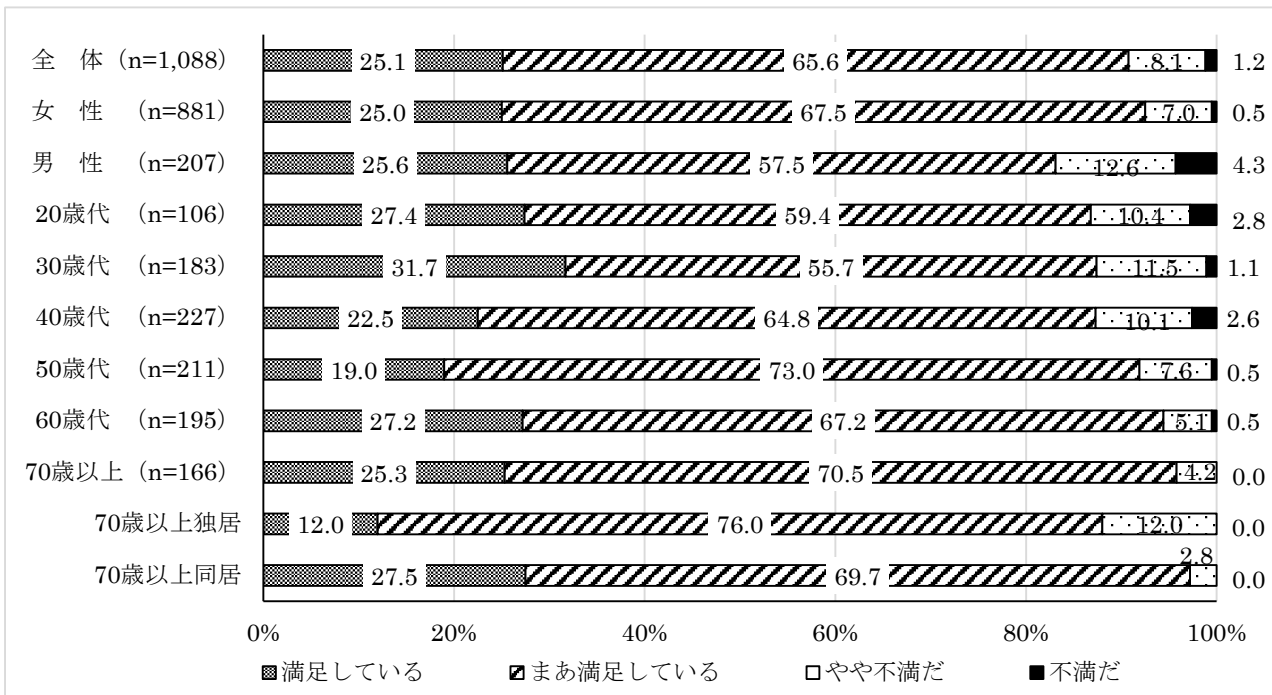
図 4-8-1



性別では、女性の方が男性より満足度(「満足している」+「まあ満足している」)が約10ポイント高い結果となった。

年齢別においては、20歳代、30歳代で若干満足度が低いですが8割以上は満足している。増齢に従い満足度が高い結果であった。

図 4-8-2



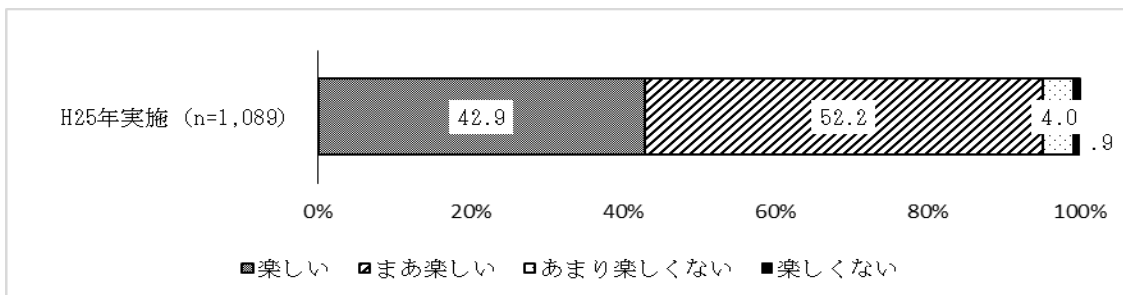
該当する(はい)割合 (%)	世代別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上	
食生活に満足(満足+まあ満足)	90.3	92.6	ns
食生活に満足(満足のみの割合)	30.1	23.3	*

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

・食事は楽しいですか？

食事を楽しんでいるかについては、「楽しい」と「まあ楽しい」を合わせて約95%で食事を楽しんでいる。

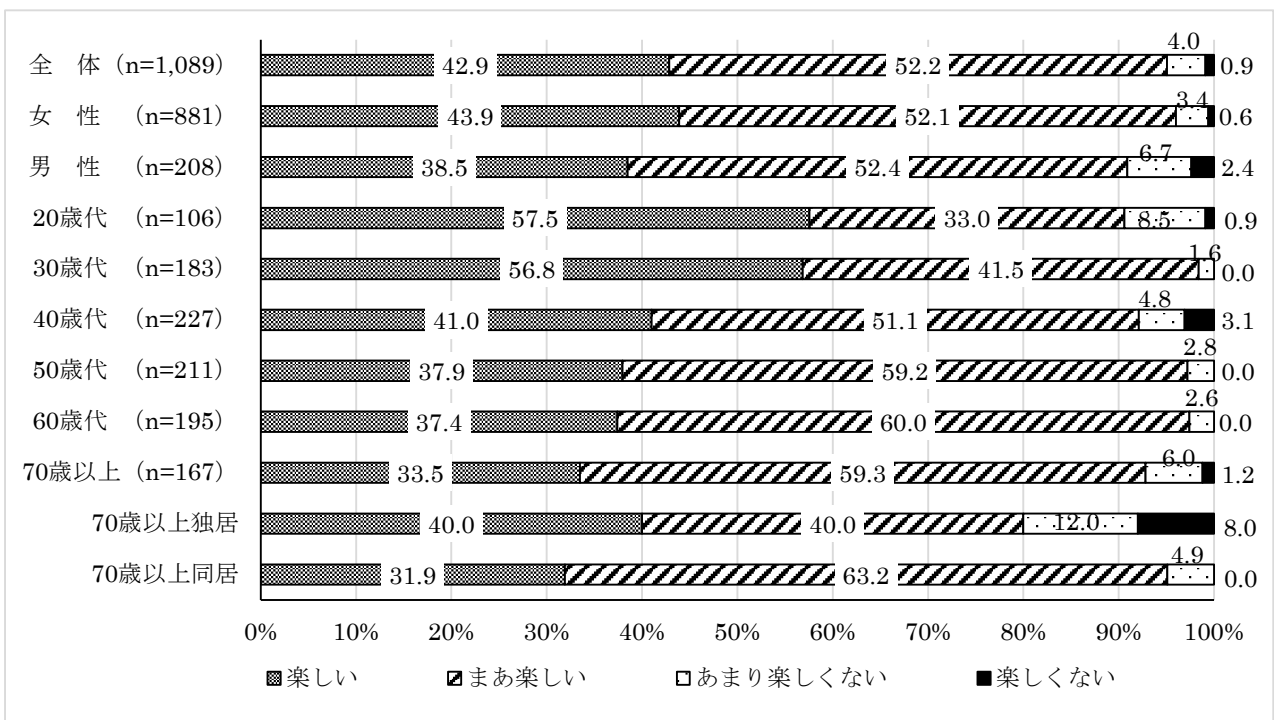
図 4-8-3



性別では、女性が楽しんでいる割合は多少高い。

年齢別では、20歳代、30歳代で「楽しい」の割合が5割を超えている。各年齢別ともに9割以上が食事を楽しんでいる(楽しい+まあ楽しい)。

図 4-8-4



該当する(はい)割合 (%)	世代別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上	
食事が楽しい(楽しい+まあ楽しい)	96.2	94.9	ns
食事が楽しい(楽しいのみの割合)	57.1	37.8	***

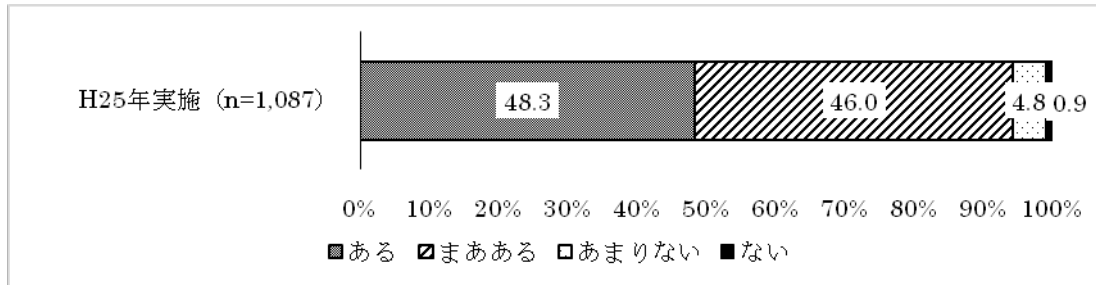
注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す



・栄養に関心がありますか？

栄養に関心がある割合が、「ある」と「まあある」と合わせて9割を超えている。

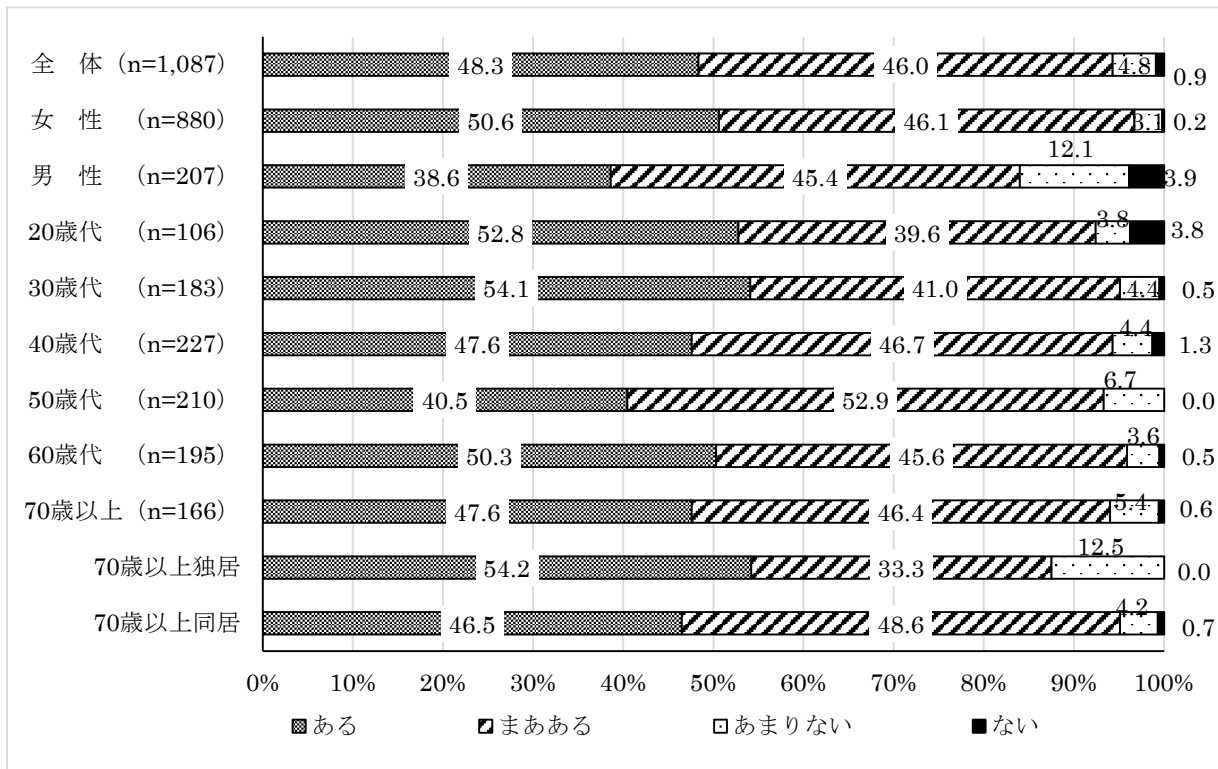
図 4-8-5



性別における栄養への関心度(「ある」+「まあある」)は、男女で10%以上の差があり、女性の方が高い関心を寄せている。

年齢別では、各年代共に関心度の差がみられなかったが、「ある」については20歳代、30歳代、70歳以上が50%を超えていた。

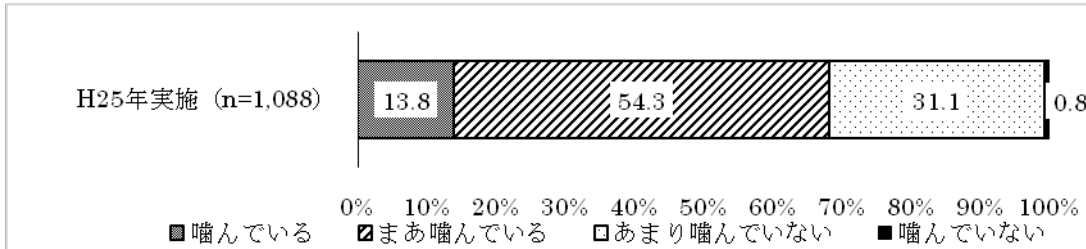
図 4-8-6



・ゆっくり噛んで食事をしますか？

ゆっくり噛んで食事しているかについては、「噛んでいる」と「まあ噛んでいる」を合わせて60%を超えていた。

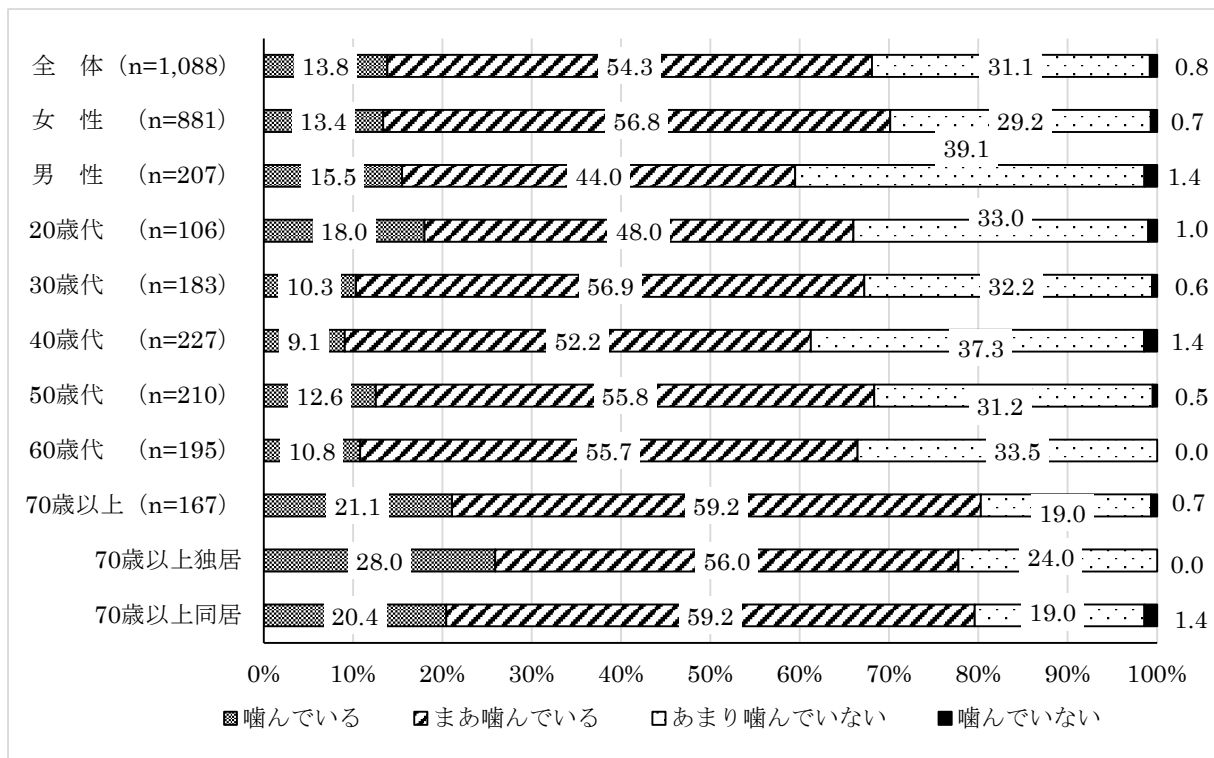
図 4-8-7



性別では、女性が男性に比較してよく噛んでおり（「噛んでいる」＋「まあ噛んでいる」）、10%以上の差がみられた。男性は4割で「噛んでいない」となった。

年齢別では、70歳以上で噛んでいる（「噛んでいる」＋「まあ噛んでいる」）が8割を超えているが、他の年代では「あまり噛んでいない」＋「噛んでいない」が3割以上で、特に40歳代では、約4割認められた。

図 4-8-8



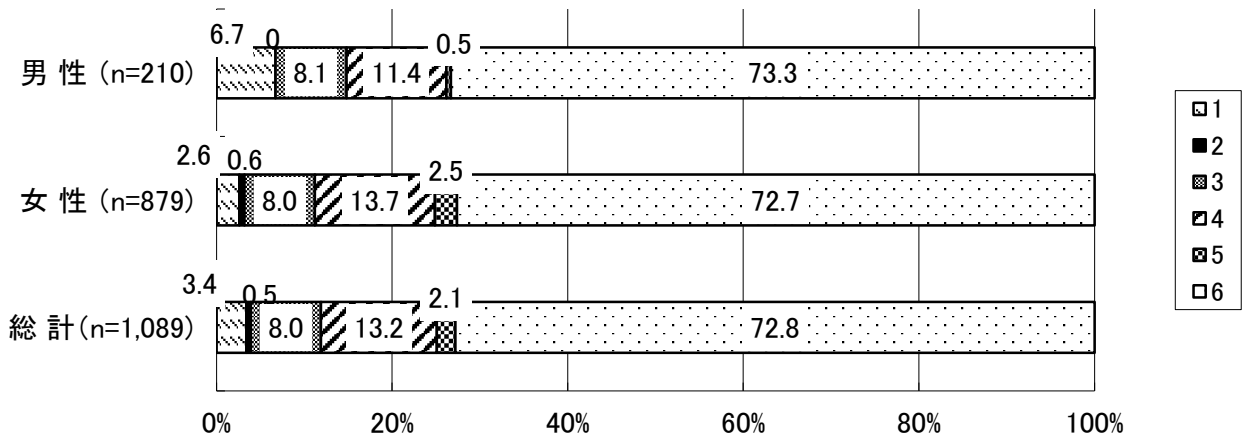
問72 食品の咀嚼(そしゃく)について

噛みにくい食品は何ですか？

食べられる食品は何ですか？

山本式咀嚼能率判定食品の分類により咀嚼能率判定(スコアが高値ほど咀嚼能率が高い)を行い、噛める食品の評価点(噛みにくい食品のスコア最低点未満を評価点とする)を各回答者のスコアとした。全体の約73%が最高点で問題なく噛めると回答していた。性別についても差がみられなかった。20歳代～40歳代では最高値(6点)であるスコア割合は30歳代が最も多く、50歳代からスコアは低下し、60歳代以上になると7割以下であった。また60歳代以上になるとスコアは低下し、低スコアの割合が増加する傾向を示した。

図 4-9-1



咀嚼能率指数	1	2	3	4	5	6
20歳代 (n=106)	0.9	0.9	9.4	8.5	3.8	76.4
30歳代 (n=182)	1.1	0.5	5.5	12.1	0.5	80.2
40歳代 (n=227)	1.8	0.4	3.5	14.5	2.2	77.5
50歳代 (n=210)	2.4	0.5	12.9	11.4	1	71.9
60歳代 (n=196)	6.1	0	8.7	15	5.1	65.3
70歳代 (n=168)	7.7	0.6	8.9	16.1	0.6	66.1

(%)

該当する割合 (%)	世代別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上	
6点以上の割合	78.8	70.7	**

山本式咀嚼能率判定食品の分類により咀嚼能率判定(スコアが高値ほど咀嚼能率が高い)

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

内田らの咀嚼能力評価法（岩医大歯誌, 32 : 105-111, 2007）にもとづき 20 種類の食品のうち「普通に食べられる」と回答された割合を摂取可能率とした（割合が高いほど咀嚼能力が高い）。  
 摂取可能率が9割近くの高率で、性差も認められなかった。年代別では、20歳代～50歳代までは9割を超える高率であるが、60歳代、70歳代と低下していた。

図 4-9-2

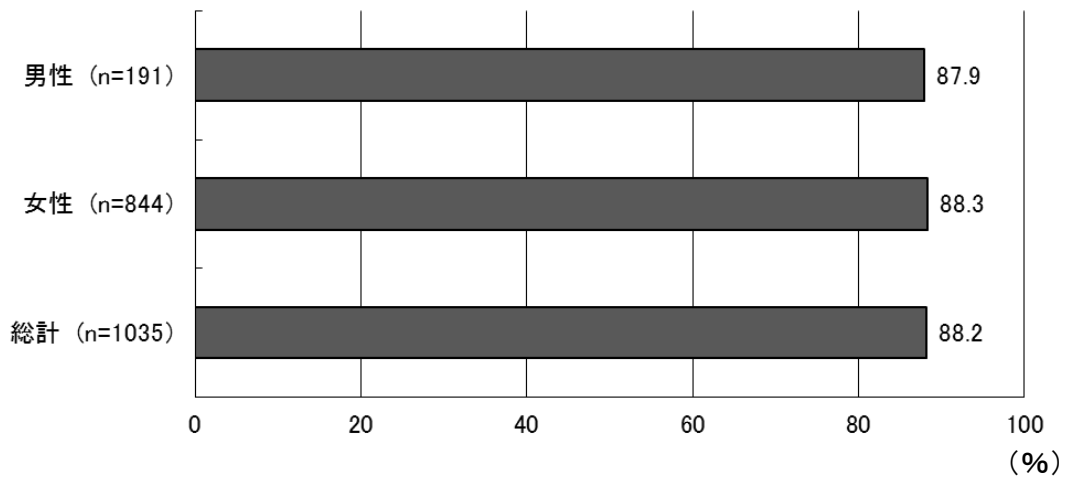
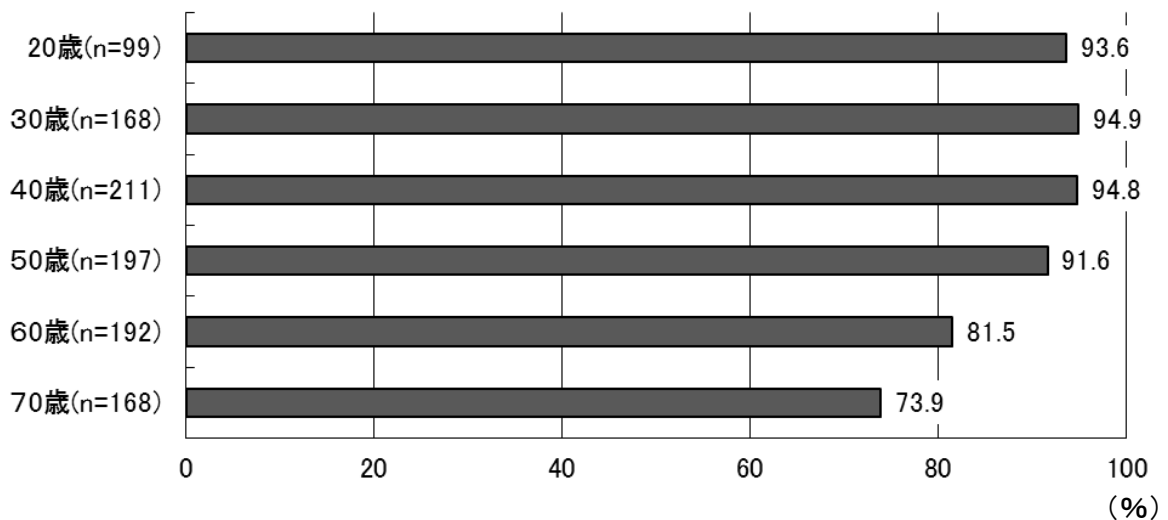


図 4-9-3



該当する割合 (%)	世代別		統計学的検定結果 ( $\chi^2$ 検定)
	40歳未満	40歳以上	
食べられる割合	94.9	85.9	***

注)\*\*\*, \*\*, \*は各0.1%, 1%, 5%の有意水準, nsは統計学的に有意な差がないことを示す

## 第3章 質問と回答(単純集計結果)

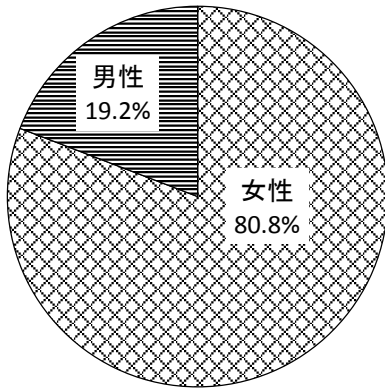


・回収結果

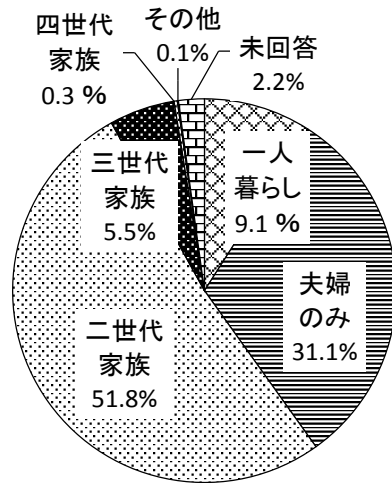
回収結果	H25	H22	H19
調査票配布数	3000	3000	3000
調査票回収数	1104	948	1262
回収率	36.8%	31.6%	42.1%

・回答者の基本属性

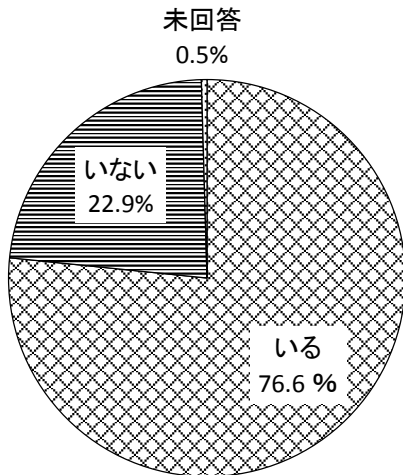
【性別】



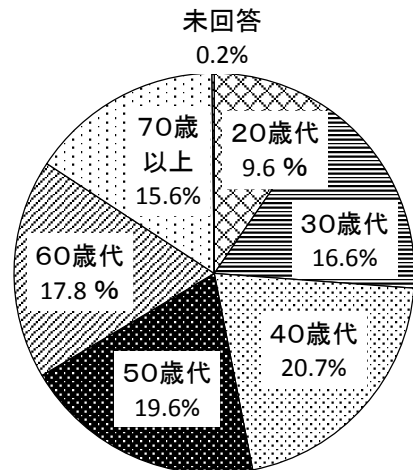
【同居世代】



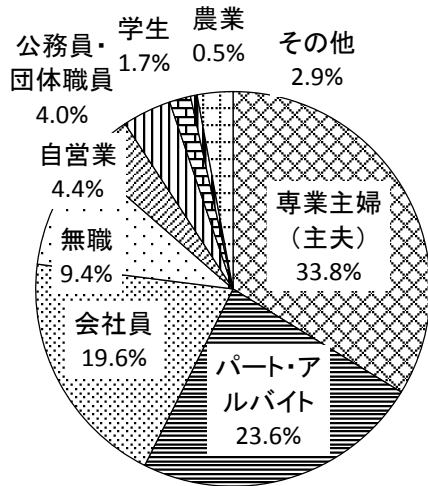
【配偶者の有無】



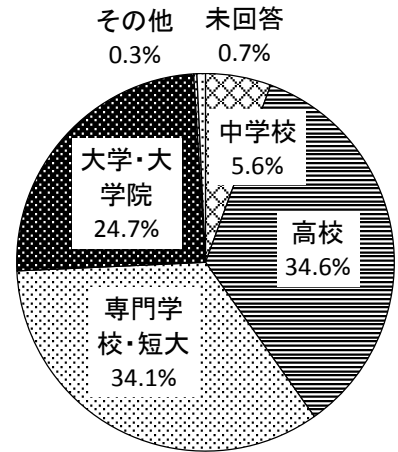
【年齢】



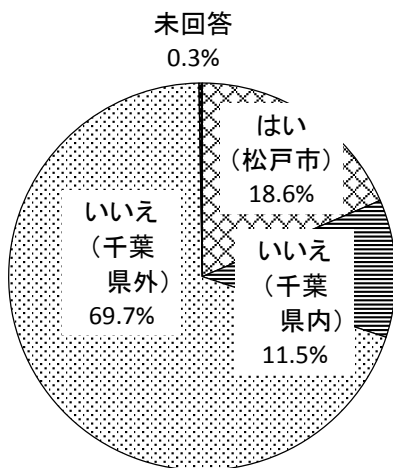
【職業】



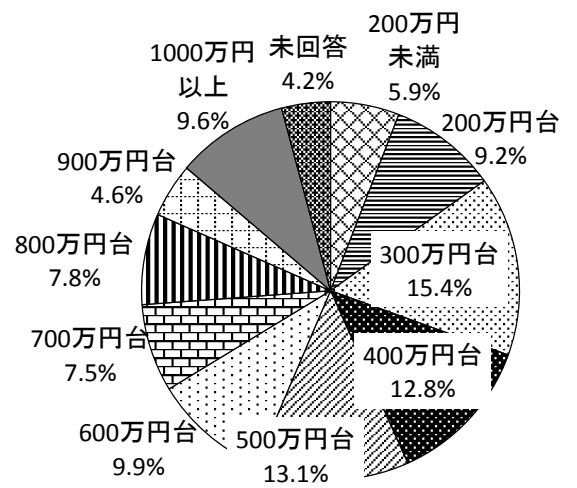
【学歴】



【出身地】



【所得】





問1 あなたは「食育」という言葉の意味を知っていますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
知っている	503	45.6	—	—
やや知っている	349	31.6	—	—
あまり知らない	156	14.1	—	—
知らない	53	4.8	—	—
未回答	43	3.9	—	—
計	1104	100.0	—	—

問2 あなたはこうした「食育」に関心がありますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
ある	345	31.3	31.6	36.9
どちらかといえばある	577	52.3	51.4	47.7
どちらかといえばない	128	11.6	8.4	9.6
ない	30	2.7	2.3	1.8
分からない	13	1.2	2.8	2.9
未回答	11	1.0	3.4	1.1
計	1104	100.0	100.0	100.0

問3 問2で「ある」「どちらかといえばある」と答えた方にお聞きします。「食育」に関心がある理由は何ですか(3つまで○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
心身の健全な発育	579	52.6	60.9	62.6
食生活の乱れ	292	26.5	39.8	42.3
肥満・痩身の増加	171	15.5	17.3	16.1
生活習慣病の予防	537	48.8	48.0	49.3
食の安全確保	463	42.1	45.5	48.2
食文化や地域の伝統	127	11.5	11.8	10.2
食料自給率の低下	80	7.3	14.2	11.9
生産者との交流	12	1.1	0.9	1.3
自然と調和した食料生産	60	5.5	5.6	5.9
食べ物の無駄	124	11.3	16.8	15.2
食や自然に対する感謝	168	15.3	17.4	17.3
その他	7	0.6	1.8	0.8
未回答	4	0.4	0.3	-
計	2624	100.0	100.0	100.0

問4 「食育」に関するボランティアに参加したことがありますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
ある	34	3.1	3.3	2.5
ないが機会があれば参加したい	623	56.4	55.2	58.2
興味がない	415	37.6	38.8	35.6
未回答	32	2.9	2.7	3.6
計	1104	100.0	100.0	100.0

問5 問4で「ある」「ないが、機会があれば参加してみたい」と答えた方にお聞きします。どのような活動に参加したことがありますか？あるいは参加してみたいですか？(3つまで○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
食文化継承活動	232	26.6	40.0	35.4
農林漁業等に関する体験活動	145	16.6	24.7	18.0
食生活の改善に関する活動	228	26.2	34.4	39.7
生活習慣病予防などのための料理教室	370	42.5	51.4	53.2
食品廃棄やリサイクルに関する活動	131	15.0	22.0	21.2
食品の安全や表示に関する活動	202	23.2	30.0	34.7
食育に関する国際交流活動	83	9.5	15.1	12.5
その他	6	0.7	1.1	1.1
分からない	16	1.8	1.3	2.4
未回答	12	1.4	2.3	-
計	1425	100.0	100.0	100.0

問6 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
毎日とっている	944	85.5	81.8	83.9
平日のみ	27	2.4	3.8	3.2
週に2~3日	65	5.9	6.1	6.1
ほとんどとらない	62	5.6	7.9	6.5
未回答	6	0.5	0.4	0.2
計	1104	100.0	100.0	100.0

問7 このアンケートの表紙にある食事バランスガイドを参考に食生活を送っていますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
参考にしている	118	10.7	5.3	11.2
まあまあ参考にしている	405	36.7	23.9	38.3
知っているが参考にはしていない	386	35.0	30.1	33.8
知らなかった	180	16.3	39.8	16.2
以前は参考にしていた	6	0.5	-	-
未回答	9	0.8	0.9	0.6
計	1104	100.0	100.0	100.0

問8 普段、食品を購入するときに、もっとも気をつけていることは何ですか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
栄養	223	20.2	19.0	18.7
安全性	493	44.7	45.7	44.5
味や好み	197	17.8	17.1	16.5
価格	171	15.5	14.3	13.5
見た目(色や形)H25新規追加	14	1.3	-	-
料理の手間(H19,25)	-	-	2.6	4.0
未回答	6	0.5	1.3	2.9
計	1104	100.0	100.0	100.0

問9 食品に放射性物質が含有されているかどうかを心配していますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
している	311	28.2	-	-
ややしている	391	35.4	-	-
どちらともいえない	154	13.9	-	-
あまりしていない	196	17.8	-	-
していない	46	4.2	-	-
未回答	6	0.5	-	-
計	1104	100.0	-	-

問10 野菜や肉などの生鮮食品の購入時に産地はチェックしていますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
常にしている	660	59.8	62.2	64.2
ときどきしている	386	35.0	31.1	29.6
していない	53	4.8	6.2	5.6
未回答	5	0.5	0.4	0.6
計	1104	100.0	100.0	100.0

問11 地元産(松戸産を含む千葉県産)の食材を購入していますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
積極的に購入している	146	13.2	14.3	16.1
目につけば購入している	499	45.2	42.3	42.2
少しでも高ければ購入しない	152	13.8	15.8	12.4
地元かどうか気にしていない	291	26.4	26.9	28.4
その他	7	0.6	—	—
未回答	9	0.8	0.6	0.9
計	1104	100.0	100.0	100.0

問12 以下の行事食を伴う伝統的な行事のうち、ご自宅で行っている行事全てに○をつけて下さい。

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
正月	1031	15.6	—	—
節分	801	12.1	—	—
桃の節句	556	8.4	—	—
春分の日	294	4.4	—	—
端午の節句	486	7.3	—	—
七夕	122	1.8	—	—
土用	597	9.0	—	—
お盆	289	4.4	—	—
十五夜	205	3.1	—	—
秋分の日	375	5.7	—	—
七五三	201	3.0	—	—
冬至	617	9.3	—	—
大晦日	998	15.1	—	—
その他	41	0.6	—	—
未回答	0	0.0	—	—
計	6613	100.0	—	—

問13 あなたは冷凍食品をどの程度の頻度で利用していますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
ほぼ毎日	86	7.8	—	—
週数回	347	31.4	—	—
週1回	267	24.2	—	—
月1回	170	15.4	—	—
年数回	137	12.4	—	—
使わない	76	6.9	—	—
未回答	21	1.9	—	—
計	1104	100.0	—	—

問14 冷凍食品をどのような場面で利用していますか？（いくつでも○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
普段の朝食	60	4.7	—	—
普段の昼食（お弁当を除く）	289	22.6	—	—
普段の夕食	423	33.0	—	—
お弁当	440	34.4	—	—
行事	38	3.0	—	—
その他	8	0.6	—	—
未回答	22	1.7	—	—
計	1280	100.0	—	—

問15 子供達への食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要だと思いますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
学校	25	2.3	2.6	0.5
やや学校	42	3.8	2.1	1.2
学校と家庭と同じくらい	412	37.3	30.9	25.9
やや家庭	275	24.9	23.9	25.4
家庭	319	28.9	37.6	45.0
未回答	31	2.8	2.8	2.0
計	1104	100.0	100.0	100.0

問16 あなたは、メタボリックシンドロームの意味を正確に理解していましたか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
理解していた	286	25.9	42.7	40.6
大体理解していた	699	63.3	48.7	48.6
少し誤解していた	105	9.5	6.8	8.2
誤解していた	10	0.9	0.5	1.3
言葉も意味も知らなかった	-	-	0.8	1.0
未回答	4	0.4	0.4	0.3
計	1104	100.0	100.0	100.0

問17 あなたご自身はメタボリックシンドロームに該当すると思いますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
該当する	115	10.4	8.3	10.2
予備群である	321	29.1	26.5	30.3
該当しない	602	54.5	59.7	53.6
分からない	63	5.7	5.1	5.5
未回答	3	0.3	0.4	0.5
計	1104	100.0	100.0	100.0

問18 あなたは散歩や水泳など、定期的に運動をしていますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
毎日している	161	14.6	11.2	11.8
週に数回している	283	25.6	25.0	24.2
週に1回程度	162	14.7	16.0	15.6
あまりしていない	496	44.9	46.8	47.8
未回答	2	0.2	0.9	0.6
計	1104	100.0	100.0	100.0

問19 普段、生鮮食品は主にどこで購入していますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
総合スーパー(ヨーカドー、イオンなど)(H25)	359	32.5	—	—
食品スーパー(ライフ、ベルクスなど)(H25)	534	48.4	—	—
食品スーパー(H19,22)	—	—	79.5	78.1
食品ディスカウントストア(H25)	14	1.3	—	—
生協(店舗・共同購入)	153	13.9	12.8	12.7
各種通販・宅配	5	0.5	0.3	0.3
デパート	11	1.0	1.4	1.7
八百屋や精肉店	22	2.0	2.3	3.6
コンビニ	2	0.2	0.4	0.4
その他	3	0.3	2.6	0.9
未回答	1	0.1	0.6	2.4
計	1104	100.0	100.0	100.0

問20 以前(概ね5年前)に比べて、自宅1人当たりの家庭ごみの量は変わりましたか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
増えている	82	7.4	4.1	5.3
少し増えている	189	17.1	12.1	15.8
変わらない	505	45.7	51.6	48.8
少し減っている	237	21.5	22.6	22.9
減っている	91	8.2	7.4	6.3
未回答	0	0.0	2.2	0.9
計	1104	100.0	100.0	100.0



問21 お宅では燃やせるごみを週に何袋(市指定の紙袋に換算)ぐらい出していますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
0袋	31	2.8	2.5	2.7
1袋	322	29.2	(1～2袋)	(1～2袋)
2袋	363	32.9	58.1	57.3
3袋	301	27.3	(3～4袋)	(3～4袋)
4袋	54	4.9	34.1	36.4
5～6袋	24	2.2	2.5	2.3
7袋以上	3	0.3	0.8	0.3
その他(1/2袋)	2	0.2	—	—
未回答	4	0.4	1.9	1.0
計	1104	100.0	100.0	100.0

問22 普段の買い物のとき、買い物袋(マイバッグ)は持参しますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
常に持参	565	51.2	43.4	25.8
たまに持参	317	28.7	38.3	35.7
あまり持参しない	70	6.3	9.4	16.2
持参しない	107	9.7	7.9	21.8
店によって持参	44	4.0	—	—
未回答	1	0.1	1.1	0.5
計	1104	100.0	100.0	100.0

問23 あなたは生ごみ処理容器(コンポスト)等を使用していますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
使用している	31	2.8	3.8	4.4
持っているが使っていない	27	2.4	2.0	2.6
ほしいと思っている	115	10.4	16.5	19.1
持っていない	923	83.6	76.2	72.7
未回答	8	0.7	1.6	1.2
計	1104	100.0	100.0	100.0

問24 持っている方にお聞きます。購入の際に市の補助金制度を利用しましたか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
利用した	23	38.3	38.2	46.6
知っていたが利用しなかった	14	23.3	14.5	19.3
知らなかった	17	28.3	34.5	31.8
未回答	6	10.0	12.7	2.3
計	60	100.0	100.0	100.0

問25 あなたは地域の活動(町内会など)に参加していますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
積極的に参加	51	4.6	2.3	2.9
まあ積極的	199	18.0	10.9	14.2
やや消極的	380	34.4	27.7	28.6
参加していない	472	42.8	57.2	53.1
未回答	2	0.2	1.9	1.2
計	1104	100.0	100.0	100.0

問26 これまでボランティアの経験(現在実施中含む)がありますか？（該当するもの全てに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
経験なし	634	45.9	—	—
食育(農作業体験、料理教室、食育支援等)	42	3.0	—	—
健康・医療サービス	41	3.0	—	—
高齢者支援	90	6.5	—	—
障害者支援	70	5.1	—	—
子供を対象とした活動	215	15.6	—	—
スポーツ・文化・芸術・学術関連	64	4.6	—	—
まちづくり関連	36	2.6	—	—
安全な生活のための活動	25	1.8	—	—
自然や環境保全	47	3.4	—	—
被災者支援	40	2.9	—	—
国際協力	21	1.5	—	—
その他	18	1.3	—	—
未回答	39	2.8	—	—
計	1382	100.0	—	—

問27 やってみたいボランティアはありますか？(該当するもの全てに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
特になし	443	23.4	—	—
食育(農作業体験、料理教室、食育支援等)	190	10.0	—	—
健康・医療サービス	111	5.9	—	—
高齢者支援	116	6.1	—	—
障害者支援	79	4.2	—	—
子供を対象とした活動	202	10.7	—	—
スポーツ・文化・芸術・学術関連	146	7.7	—	—
まちづくり関連	77	4.1	—	—
安全な生活のための活動	95	5.0	—	—
自然や環境保全	168	8.9	—	—
被災者支援	136	7.2	—	—
国際協力	83	4.4	—	—
その他	13	0.7	—	—
未回答	33	1.7	—	—
計	1892	100.0	—	—

問28 あなたの現在の生活に時間的なゆとりはありますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
ある	118	10.7	—	—
比較的ある	309	28.0	—	—
どちらともいえない	233	21.1	—	—
あまりない	337	30.5	—	—
ない	102	9.2	—	—
未回答	5	0.5	—	—
計	1104	100.0	—	—

問29 同様に、あなたの現在の生活に経済的なゆとりはありますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
ある	43	3.9	—	—
比較的ある	249	22.6	—	—
どちらともいえない	356	32.2	—	—
あまりない	334	30.3	—	—
ない	119	10.8	—	—
未回答	3	0.3	—	—
計	1104	100.0	—	—

問30 旅行やキャンプなどで、家族や友人と農山漁村へ行くことはありますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
ほぼ毎週	4	0.4	0.0	0.5
月に数回	7	0.6	0.8	1.0
月に1回程度	31	2.8	2.3	2.4
年に数回	443	40.1	28.0	34.4
行かない	611	55.3	67.1	60.6
未回答	8	0.7	1.8	1.1
計	1104	100.0	100.0	100.0

問31 あなたは趣味として、野菜や果物の栽培などの農作業をすることはありますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
ない	684	62.0	66.2	71.6
ある	395	35.8	28.2	26.4
未回答	25	2.3	5.6	2.1
計	1104	100.0	100.0	100.0

問32 農作業の場所はどのようなところですか？（該当場所全てに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
自宅の庭	219	49.4	56.2	55.3
ベランダや屋内	135	30.5	35.6	27.9
自家所有の畑	33	7.4	4.9	6.6
市民農園や知り合いの畑	44	9.9	7.9	13.8
その他	9	2.0	45.3	5.7
未回答	3	0.7	0.4	-
計	443	100.0	100.0	100.0

問33 誰と一緒に作業していますか？（該当者全てに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
配偶者	167	34.9	38.2	38.4
子供	86	18.0	17.6	16.8
孫	3	0.6	1.5	1.8
友人・知人	10	2.1	2.6	4.5
自分ひとり	162	33.9	38.6	32.4
親	34	7.1	10.9	14.1
祖父母	5	1.0	2.6	3.9
その他	7	1.5	2.2	3.0
未回答	4	0.8	4.1	-
計	478	100.0	100.0	100.0

問34 食育に関して市に期待する施策は何ですか？（3つまで○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
市民講座や教室の開催	278	25.9	18.6	24.7
学校給食で地元農産物の利用促進	439	40.9	45.0	37.7
直売所などの整備	644	60.0	64.5	58.1
市民農園の増加	135	12.6	16.5	16.3
学校などで作物栽培・料理の機会を増やす	366	34.1	26.8	30.5
食品廃棄物の削減やリサイクルに関する活動	293	27.3	26.4	31.6
食文化の継承	226	21.1	20.7	22.8
農業ボランティアの推進	82	7.6	8.5	8.7
食育ボランティアの推進	47	4.4	—	—
その他	22	2.1	—	—
未回答	31	2.9	2.3	2.1
計	2563	100.0	100.0	100.0

問35 あなたの性別は次のどちらですか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
女性	890	80.6	80.8	81.1
男性	211	19.1	19.1	18.5
未回答	3	0.3	0.1	0.4
計	1104	100.0	100.0	100.0

問36 あなたの年齢は次のどれに該当しますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
20歳代	106	9.6	12.9	13.5
30歳代	183	16.6	22.8	23.1
40歳代	229	20.7	19.3	17.9
50歳代	216	19.6	22.6	24.9
60歳代	196	17.8	22.3	20.0
70歳以上	172	15.6	—	—
未回答	2	0.2	0.2	0.6
計	1104	100.0	100.0	100.0

問37 配偶者(妻、または夫)はおられますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
いる	846	76.6	76.2	75.8
いない	253	22.9	23.4	23.7
未回答	5	0.5	0.4	0.6
計	1104	100.0	100.0	100.0

問38 あなたの出生地は松戸市ですか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
はい(松戸市)	205	18.6	—	—
いいえ(千葉県内)	127	11.5	—	—
いいえ(千葉県外)	769	69.7	—	—
未回答	3	0.3	—	—
計	1104	100.0	—	—

問39 あなたの主な職業は以下のどれに該当しますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
会社員	215	19.5	23.7	23.8
公務員・団体職員	44	4.0	3.6	4.7
自営業	48	4.3	4.9	5.1
農業	6	0.5	0.3	0.7
パート・アルバイト	259	23.5	21.9	20.6
専業主婦(主夫)	370	33.5	32.7	32.7
学生	19	1.7	1.6	1.5
無職	103	9.3	8.4	7.6
その他	32	2.9	2.4	2.6
未回答	8	0.7	0.4	3.5
計	1104	100.0	100.0	100.0

問40 あなたが最後に卒業した学校は以下に該当しますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
中学校	62	5.6	—	—
高校	382	34.6	—	—
専門学校・短大	376	34.1	—	—
大学・大学院	273	24.7	—	—
その他	3	0.3	—	—
未回答	8	0.7	—	—
計	1104	100.0	—	—

問41 あなたを除いた同居家族の人数を記入して下さい。

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
0人	100	9.1	—	—
1人	281	25.5	—	—
2人	269	24.4	—	—
3人	292	26.4	—	—
4人	95	8.6	—	—
5人	30	2.7	—	—
6人	13	1.2	—	—
7人	5	0.5	—	—
8人	2	0.2	—	—
9人	0	0.0	—	—
14人	1	0.1	—	—
未回答	16	1.4	—	—
計	1104	100.0	—	—



## 18歳未満の同居家族の人数

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
0人	739	66.9	—	—
1人	160	14.5	—	—
2人	163	14.8	—	—
3人	28	2.5	—	—
4人	3	0.3	—	—
5人	1	0.1	—	—
6人	1	0.1	—	—
未回答	9	0.8	—	—
計	1104	100.0	—	—

## 75歳以上の同居家族の人数

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
0人	940	85.1	—	—
1人	131	11.9	—	—
2人	19	1.7	—	—
3人	2	0.2	—	—
4人	0	0.0	—	—
5人	0	0.0	—	—
6人	0	0.0	—	—
未回答	12	1.1	—	—
計	1104	100.0	—	—

## 問42 あなたの世帯で何世代が同居していますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
一人暮らし	100	9.1	8.2	8.7
夫婦のみ	343	31.1	31.1	27.6
二世世代家族	572	51.8	53.3	54.6
三世世代家族	61	5.5	5.0	5.0
四世代家族	3	0.3	0.0	0.4
その他	1	0.1	—	—
未回答	24	2.2	2.4	3.7
計	1104	100.0	100.0	100.0

問43 あなたの世帯全体の所得(年金を含む手取り)は以下のどれに該当しますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
200万円未満	65	5.9	—	—
200万円台	102	9.2	—	—
300万円台	170	15.4	—	—
400万円台	141	12.8	—	—
500万円台	145	13.1	—	—
600万円台	109	9.9	—	—
700万円台	83	7.5	—	—
800万円台	86	7.8	—	—
900万円台	51	4.6	—	—
1000万円以上	106	9.6	—	—
未回答	46	4.2	—	—
計	1104	100.0	—	—

問44 あなたの世帯の1月あたりの食費(外食を含む)は以下のどれに該当しますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
2万円未満	25	2.3	—	—
2万円台	35	3.2	—	—
3万円台	129	11.7	—	—
4万円台	172	15.6	—	—
5万円台	238	21.6	—	—
6万円台	145	13.1	—	—
7万円台	90	8.2	—	—
8万円台	93	8.4	—	—
9万円台	43	3.9	—	—
10万以上	101	9.1	—	—
未回答	33	3.0	—	—
計	1104	100.0	—	—

問45 お子様(2人以上いる場合には小学生以上で一番下のお子様)の性別と年齢をお教え下さい。

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
女子	104	48.4	46.6	45.4
男子	111	51.6	53.4	54.6
計	215	100.0	100.0	100.0

(男女の双子1組を含む)

問46 そのお子様の体格についてお教え下さい。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
肥満	2	0.9	—	—
やや肥満	18	8.4	—	—
ちょうどよい	113	52.8	—	—
やや痩身	65	30.4	—	—
痩身	16	7.5	—	—
未回答	0	0.0	—	—
計	214	100.0	—	—

問47 そのお子様の性格についてお教え下さい。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
やや落ち着きがない	35	16.4	5.8	11.5
やや反抗的 (H19,22キレやすい)	28	13.1	2.1	3.8
やや内向的	38	17.8	6.9	3.8
全く問題なし	112	52.3	83.6	77.9
未回答	1	0.5	1.6	2.9
計	214	100.0	100.0	100.0

問48 そのお子様は食品に関するアレルギーをお持ちですか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
ない	198	92.5	—	—
ある	15	7.0	—	—
未回答	1	0.5	—	—
計	214	100.0	—	—

問49 そのお子様の歯科検診の頻度（学校での検診を除く）についてお教え下さい。（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
年に数回	79	36.9	29.6	23.1
年に1回程度	48	22.4	16.9	23.1
虫歯以外では特に行かない	86	40.2	49.2	48.6
未回答	1	0.5	4.2	5.3
計	214	100.0	100.0	100.0

問50 そのお子様の食事についてお教え下さい。今日が週末の場合直近の平日でお願いします。

お子様は朝食をとりましたか？

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
とった	203	94.9	95.2	99.0
とってない	7	3.3	1.6	1.0
分からない	2	0.9	1.6	0.0
未回答	2	0.9	1.6	0.0
計	214	100.0	100.0	100.0

朝食の品目数

品目数	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
1	8	3.7	-	-
2	42	19.6	-	-
3	64	29.9	-	-
3.5	1	0.5	-	-
4	35	16.4	-	-
5	20	9.3	-	-
6	5	2.3	-	-
7	5	2.3	-	-
8	7	3.3	-	-
9	1	0.5	-	-
10	4	1.9	-	-
11	1	0.5	-	-
12	3	1.4	-	-
13	0	0.0	-	-
14	0	0.0	-	-
15	1	0.5	-	-
未回答	17	7.9	-	-
計	214	100.0	-	-

お子様は夕食をとりましたか？

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
とった	201	93.9	96.3	98.6
とってない	1	0.5	0.5	0.0
分からない	1	0.5	0.0	0.5
未回答	11	5.1	3.2	1.0
計	214	100.0	100.0	100.0

夕食の品目数

品目数	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
1	2	0.9	-	-
2	8	3.7	-	-
3	34	15.9	-	-
4	46	21.5	-	-
5	35	16.4	-	-
6	14	6.5	-	-
7	13	6.1	-	-
8	6	2.8	-	-
9	5	2.3	-	-
10	8	3.7	-	-
11	3	1.4	-	-
12	6	2.8	-	-
13	2	0.9	-	-
14	1	0.5	-	-
15	6	2.8	-	-
16	1	0.5	-	-
17	1	0.5	-	-
18	2	0.9	-	-
19	0	0.0	-	-
20	0	0.0	-	-
30	1	0.5	-	-
未回答	20	9.3	-	-
計	214	100.0	-	-

問51 そのお子様は平日は誰と一緒に食べていますか？(それぞれ該当するもの全てに○)

お子様は平日誰と食事(朝食)をしていますか？(複数回答)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
ひとり	43	20.1	23.3	11.5
父	51	23.8	20.6	28.4
母	117	54.7	57.1	59.6
兄妹	108	50.5	39.7	54.8
祖父母	10	4.7	5.3	11.5
その他	6	2.8	0.5	0.5
わからない	1	0.5	1.1	0.0
未回答	1	0.5	1.6	-
計	337	100.0	100	100

お子様は平日誰と食事(夕食)をしていますか？(複数回答)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
ひとり	8	3.8	3.7	1.0
父	76	36.0	38.6	37.9
母	182	86.3	87.8	88.8
兄妹	129	61.1	57.7	68.9
祖父母	29	13.7	11.1	17.0
その他	8	3.8	2.6	1.5
わからない	0	0.0	0.5	0.0
未回答	4	1.9	1.6	-
計	436	100.0	100.0	100.0

問52 平日の食事にどの程度時間をかけていますか？（それぞれ1つに○）

平日の朝食にかける時間はどれくらいですか？

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
5分以下	12	5.6	3.2	5.3
10分程度	102	47.7	45.5	43.3
20分程度	75	35.0	38.1	43.3
30分以上	21	9.8	10.6	6.7
分からない	2	0.9	1.1	0.0
未回答	2	0.9	1.6	1.4
計	214	100.0	100.0	100.0

平日の夕食にかける時間はどれくらいですか？

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
10分以下	1	0.5	1.1	0.0
15分程度	36	16.8	20.6	18.4
30分程度	118	55.1	56.6	62.6
45分以上	48	22.4	19.6	17.0
分からない	2	0.9	0.5	0.0
未回答	9	4.2	1.6	1.9
計	214	100.0	100.0	100.0

問53 あなたのお子様の食は乱れているとお考えですか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
乱れてはいない	43	20.1	27.0	22.1
それほど乱れてはいない	96	44.9	47.1	51.0
どちらともいえない	30	14.0	11.1	10.6
やや乱れている	38	17.8	10.6	14.4
乱れている	6	2.8	3.7	1.4
未回答	1	0.5	0.5	0.5
計	214	100.0	100.0	100.0



問54 「やや乱れている」「乱れている」と答えた方にお聞きます。どのような点で食事の乱れを感じますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
食が細い	6	13.6	14.8	18.2
好き嫌いが多い	23	52.3	55.6	51.5
間食が多い	4	9.1	11.1	15.2
食事が早い	3	6.8	3.7	3.0
家族と一緒に食事をとっていない	3	6.8	11.1	0.0
その他	5	11.4	-	-
未回答	0	0.0	3.7	12.1
計	44	100.0	100.0	100.0

問55 子供部屋はありますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
個人用の部屋がある	119	55.6	56.6	42.4
共用の部屋がある	61	28.5	29.1	41.5
ない	33	15.4	14.3	16.1
未回答	1	0.5	-	-
計	214	100.0	100.0	100.0

問56 インスタントラーメンや炭酸飲料、菓子類の摂取量を制限していますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
制限している	75	35.0	48.7	52.9
注意はしているが制限はしていない	97	45.3	34.4	37.0
していない	40	18.7	15.9	9.1
未回答	2	0.9	1.1	1.0
計	214	100.0	100.0	100.0

問57 テレビや漫画、ゲーム、スマホ、インターネット等について制限をしていますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
時間など具体的に制限している	92	43.0	46.0	56.3
注意はするが制限はしていない	98	45.8	41.8	38.9
していない	22	10.3	11.1	3.8
未回答	2	0.9	1.1	1.0
計	214	100.0	100.0	100.0

問58 お子様の就寝時刻と起床時刻をお聞きます。（平日の時刻）

子供の就寝時間

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
1930	1	0.5	-	-
2000	3	1.4	-	-
2015	1	0.5	-	-
2030	9	4.2	-	-
2040	1	0.5	-	-
2100	43	20.1	-	-
2110	1	0.5	-	-
2115	1	0.5	-	-
2130	33	15.4	-	-
2140	1	0.5	-	-
2150	1	0.5	-	-
2200	31	14.5	-	-
2230	17	7.9	-	-
2245	1	0.5	-	-
2300	23	10.7	-	-
2330	14	6.5	-	-
2400	24	11.2	-	-
2430	1	0.5	-	-
2500	5	2.3	-	-
未回答	3	1.4	-	-
計	214	100.0	-	-
平均		22:09	-	-

## 子供の起床時間

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
530	6	2.8	-	-
540	1	0.5	-	-
545	4	1.9	-	-
550	3	1.4	-	-
600	54	25.2	-	-
610	2	0.9	-	-
615	5	2.3	-	-
620	5	2.3	-	-
625	1	0.5	-	-
630	70	32.7	-	-
635	1	0.5	-	-
640	8	3.7	-	-
645	5	2.3	-	-
650	4	1.9	-	-
655	1	0.5	-	-
700	34	15.9	-	-
705	1	0.5	-	-
710	3	1.4	-	-
720	1	0.5	-	-
730	2	0.9	-	-
800	1	0.5	-	-
未回答	2	0.9	-	-
計	214	100.0	-	-
平均		6:26	-	-

問59 お子様の家事への参加状況をお教え下さい。(それぞれ1つに○)

子供の家事への参加状況(調理)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
よくしている(週に数回以上)	12	5.6	5.8	7.7
ときどき(週1回程度)	89	41.6	36.0	43.8
ほとんどしない	112	52.3	56.6	48.1
未回答	1	0.5	1.6	0.5
計	214	100.0	100.0	100.0

子供の家事への参加状況（食事の準備・片づけ）

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
よくしている(週に数回以上)	96	44.9	45.0	47.6
ときどき(週1回程度)	64	29.9	35.4	29.3
ほとんどしない	48	22.4	14.8	20.2
未回答	6	2.8	4.8	2.9
計	214	100.0	100.0	100.0

問60 お子様と一緒に外食をされる頻度についてお聞かせ下さい。(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
週数回	6	2.8	1.6	1.5
週1回程度	44	20.6	25.5	27.2
月1回程度	113	52.8	54.3	51.5
年数回	44	20.6	18.6	19.9
行かない	5	2.3	-	-
未回答	2	0.9	-	-
計	214	100.0	100.0	100.0

問61 学校給食の食材についてのご意見をお聞かせ下さい。(全てに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
地元の食材を使用してほしい	76	15.6	23.3	12.5
有機や低農薬栽培の食材を使用してほしい	96	19.7	10.8	35.5
米飯など和食中心にしてほしい	50	10.2	10.8	6.5
緑黄色野菜など栄養面で気を使ってほしい	131	26.8	42.0	41.0
放射性物質の検査情報を提供してほしい	92	18.9	-	-
個々のアレルギーに気をつけてほしい	20	4.1	-	-
その他	15	3.1	13.1	4.5
未回答	8	1.6	-	-
計	488	100.0	100.0	100.0

問62 子供に対する以下の食育については、どのくらい重要だと思いますか？(それぞれ1つに○)

食生活の改善について

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
重要	102	47.7	56.6	57.7
まあ重要	101	47.2	38.1	37.0
それほど重要でない	10	4.7	4.2	2.4
重要でない	0	0.0	0.0	0.0
未回答	1	0.5	1.1	2.9
計	214	100.0	100.0	100.0

食事の作法について

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
重要	140	65.4	58.2	65.9
まあ重要	68	31.8	39.2	28.8
それほど重要でない	5	2.3	2.1	2.9
重要でない	0	0.0	0.0	0.0
未回答	1	0.5	0.5	2.4
計	214	100.0	100.0	100.0

農林漁業体験について

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
重要	47	22.0	21.2	23.1
まあ重要	123	57.5	56.1	61.1
それほど重要でない	43	20.1	21.2	13.5
重要でない	0	0.0	1.1	0.5
未回答	1	0.5	0.5	1.9
計	214	100.0	100.0	100.0

食文化や伝統の継承について

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
重要	53	24.8	19.0	21.6
まあ重要	137	64.0	68.3	63.0
それほど重要でない	22	10.3	12.2	12.0
重要でない	0	0.0	0.0	1.0
未回答	2	0.9	0.5	2.4
計	214	100.0	100.0	100.0

食を通じたコミュニケーションについて

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
重要	74	34.6	40.2	43.3
まあ重要	114	53.3	49.7	47.6
それほど重要でない	23	10.7	9.5	5.8
重要でない	0	0.0	0.0	0.0
未回答	3	1.4	0.5	3.4
計	214	100.0	100.0	100.0

食べ物の無駄を減らすについて

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
重要	143	66.8	65.1	75.0
まあ重要	68	31.8	33.9	21.6
それほど重要でない	2	0.9	0.5	1.4
重要でない	0	0.0	0.0	0.0
未回答	1	0.5	0.5	1.9
計	214	100.0	100.0	100.0

自然や生産者への感謝について

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
重要	155	72.4	74.6	73.1
まあ重要	56	26.2	24.3	23.6
それほど重要でない	2	0.9	0.5	1.0
重要でない	0	0.0	0.0	0.0
未回答	1	0.5	0.5	2.4
計	214	100.0	100.0	100.0

安全な食を選べる力について

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
重要	127	59.3	-	-
まあ重要	78	36.4	-	-
それほど重要でない	7	3.3	-	-
重要でない	0	0.0	-	-
未回答	2	0.9	-	-
計	214	100.0	-	-

問64 あなたの現在のお口と全身の健康状態はどうですか？(それぞれ1つに○)

お口の健康状態

項目	回答数	構成比(%)	H22実施	H19実施
よい	263	23.8	15.5	13.2
まあよい	541	49.0	55.8	54.7
あまりよくない	239	21.6	23.9	27.2
よくない	36	3.3	3.1	3.5
未回答	25	2.3	1.7	1.4
計	1104	100.0	100.0	100.0

全身の健康状態

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
よい	253	22.9	-	-
まあよい	623	56.4	-	-
あまりよくない	153	13.9	-	-
よくない	18	1.6	-	-
未回答	57	5.2	-	-
計	1104	100.0	-	-

問65 前回、いつ歯科治療および歯の健康診査を受けましたか？（数字を記入）

歯科治療

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
過去1年以内	579	52.4	-	-
過去1年～2年以内	97	8.8	-	-
過去2年～3年以内	62	5.6	-	-
過去3年～4年以内	33	3.0	-	-
過去4年～5年以内	47	4.3	-	-
過去5年より以前	80	7.2	-	-
治療中	9	0.8	-	-
未回答	197	17.8	-	-
計	1104	100.0	-	-
平均		1年10ヶ月	2年10ヶ月	2年3ヶ月



## 歯科検診

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
過去1年以内	554	50.2	-	-
過去1年～2年以内	54	4.9	-	-
過去2年～3年以内	38	3.4	-	-
過去3年～4年以内	17	1.5	-	-
過去4年～5年以内	29	2.6	-	-
過去5年より以前	43	3.9	-	-
未回答	369	33.4	-	-
計	1104	100.0	-	-
平均		1年2ヶ月	-	-

問66 あなたは入れ歯を使用していますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
総入れ歯を使っている	19	1.7	-	-
部分入れ歯を使っている	213	19.3	-	-
どちらも使っていない	843	76.4	-	-
未回答	29	2.6	-	-
計	1104	100.0	-	-

問67 あなたのお口の健康状態と歯科医療について質問します。(それぞれ1つに○)

歯ぐきが腫れることがありますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	365	33.1	32.1	34.6
いいえ	710	64.3	65.6	61.6
未回答	29	2.6	2.3	3.7
計	1104	100.0	100.0	100.0

歯が痛んだり、しみたりすることがありますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	475	43.0	40.7	44.6
いいえ	596	54.0	56.3	51.6
未回答	33	3.0	3.0	3.8
計	1104	100.0	100.0	100.0

かかりつけの歯医者さんはいますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	864	78.3	75.0	73.0
いいえ	226	20.5	23.3	25.4
未回答	14	1.3	1.7	1.6
計	1104	100.0	100.0	100.0

歯の治療は早めに受けるようにしていますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	743	67.3	64.2	61.8
いいえ	337	30.5	33.8	35.7
未回答	24	2.2	2.0	2.5
計	1104	100.0	100.0	100.0

歯ぐきから血が出ることがありますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	408	37.0	39.2	39.7
いいえ	673	61.0	58.8	57.8
未回答	23	2.1	2.0	2.5
計	1104	100.0	100.0	100.0

口臭が強い(ある)という自覚はありますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	272	24.6	24.4	25.4
いいえ	806	73.0	73.9	71.7
未回答	26	2.4	1.7	2.9
計	1104	100.0	100.0	100.0

たばこを吸いますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	146	13.2	11.8	14.4
いいえ	939	85.1	86.2	83.5
未回答	19	1.7	2.0	2.1
計	1104	100.0	100.0	100.0

代用甘味料使用の食品を好んで飲食しますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	151	13.7	18.1	43.2
いいえ	929	84.1	80.1	54.0
未回答	24	2.2	1.8	2.7
計	1104	100.0	100.0	100.0

知人や友人とよく食事をしますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	507	45.9	-	-
いいえ	579	52.4	-	-
未回答	18	1.6	-	-
計	1104	100.0	-	-

歯のせいで食事がうまくとれないことがありますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	123	11.1	-	-
いいえ	959	86.9	-	-
未回答	22	2.0	-	-
計	1104	100.0	-	-

こめかみやあごの全体が痛くなることがありますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	100	9.1	-	-
いいえ	979	88.7	-	-
未回答	25	2.3	-	-
計	1104	100.0	-	-

顎関節の異常についてお聞きします。

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	338	30.6	-	-
いいえ	744	67.4	-	-
未回答	22	2.0	-	-
計	1104	100.0	-	-

口を大きく開け閉めした時、あごの音がしますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	65	5.9	-	-
いいえ	1014	91.8	-	-
未回答	25	2.3	-	-
計	1104	100.0	-	-

病気や内服薬で、歯科医の局所麻酔に制限があることを知っていますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	316	28.6	-	-
いいえ	682	61.8	-	-
未回答	106	9.6	-	-
計	1104	100.0	-	-

間食は1日何回とりますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
0～1回	814	73.7	66.6	66.1
2～3回	248	22.5	30.4	30.1
4回以上	9	0.8	1.2	1.5
未回答	33	3.0	1.9	2.3
計	1104	100.0	100.0	100.0

歯みがきは何回しますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
1日1回	142	12.9	14.3	14.2
1日2回	603	54.6	53.5	54.8
1日3回以上	325	29.4	30.7	29.4
時々みがく(みがかない日もある)	8	0.7	-	-
みがかない	2	0.2	-	-
未回答	24	2.2	1.5	1.7
計	1104	100.0	100.0	100.0

現在、インプラント(人工歯根)が入っていますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
はい	82	7.4	-	-
いいえ	975	88.3	-	-
わからない	18	1.6	-	-
未回答	29	2.6	-	-
計	1104	100.0	-	-

歯科医院で嫌なことはどれですか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
治療が痛い	452	40.9	-	-
麻酔が痛い	124	11.2	-	-
その他	287	26.0	-	-
未回答	241	21.8	-	-
計	1104	100.0	-	-

問68 食事がおいしいと感じていますか？(1つに○)

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
とてもおいしい	400	36.2	41.0	39.5
おいしい	658	59.6	54.7	56.2
あまりおいしくない	31	2.8	2.6	2.7
おいしくない	4	0.4	0.1	0.3
未回答	11	1.0	1.5	1.3
計	1104	100.0	100.0	100.0

問70 あなたの歯の数は現在何本ですか？なお、成人の歯は、親知らずが4本はえて全部で32本です（右の図を参考にして下さい）。なお、かぶせた歯（金歯、銀歯など）、さし歯、根だけ残っている歯は含みますが、入れ歯などの歯根がない部分は除きます。（括弧内に本数を数字でご記入下さい）

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
0～9本	39	3.5	-	-
10～19本	47	4.3	-	-
20～27本	261	23.6	-	-
28本以上	665	60.2	-	-
未回答	92	8.3	-	-
計	1104	100.0	-	-
平均		26.7 本	27.3 本	27.1 本

問69 現在の生活に満足していますか？（1つに○）

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
満足している	255	23.1	-	-
まあ満足している	698	63.2	-	-
やや不満だ	106	9.6	-	-
不満だ	32	2.9	-	-
未回答	13	1.2	-	-
計	1104	100.0	-	-

問71 食事に関する以下のことについてお聞きします。（それぞれ1つに○）

現在の食生活に満足していますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
満足している	274	24.8	-	-
まあ満足している	716	64.9	-	-
やや不満だ	88	8.0	-	-
不満だ	13	1.2	-	-
未回答	13	1.2	-	-
計	1104	100.0	-	-

食事は楽しいですか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
楽しい	468	42.4	-	-
まあ楽しい	570	51.6	-	-
あまり楽しくない	44	4.0	-	-
楽しくない	10	0.9	-	-
未回答	12	1.1	-	-
計	1104	100.0	-	-

栄養に関心がありますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
ある	527	47.7	-	-
まあある	501	45.4	-	-
あまりない	52	4.7	-	-
ない	10	0.9	-	-
未回答	14	1.3	-	-
計	1104	100.0	-	-

ゆっくり噛んで食事をしますか？

項目	回答数	構成比(%)	H22 実施	H19 実施
噛んでいる	151	13.7	-	-
まあ噛んでいる	593	53.7	-	-
あまり噛んでいない	338	30.6	-	-
噛んでいない	9	0.8	-	-
未回答	13	1.2	-	-
計	1104	100.0	-	-



## 第4章 自由記述



自由記入欄の回答

1. 庭で作っているトマト・ナス・キュウリを中心に夏を過ごしました。年齢的にお肉はあまり食べたくなくなりましたが、少しは食べた方が体力的には良いように感じています。
2. 小さい時から食べ物大切さを知って欲しいので、家庭と学校と市と協力して教えて欲しい。まだ「食」だけでなく全ての「物」に対しても同じということも教えて欲しい。そして特に食品廃棄やゴミ問題も重要だと考えます。
3. なるべく地産のものを食べたい。そういう場所が増えるといい。スーパーなどにもそういうコーナーがあるといい。できれば農作業の手伝い等したいと思っている。
4. 学校給食について、松戸市では各小学校で栄養士の方がメニューを決めているのでしょうか？同じようなメニューが多く、食品も問6 1に書いたようにピーナッツを月に何回食べるのかしら・・・という感じで、偏っていて、子供達も飽きてしまうと思います。市で公立小学校のメニューは統一して作り、もっといろいろな食材を使って安全で美味しく食べ残しの少ない給食を作っていただきたいです。
5. 放射性物質には心配はありますが、あまり過敏になりすぎると風評被害などもあり、地元の農家さん等が安心して出荷出来、気持ち良く買える、活性化も必要だと思います。頭でっかちになるのもどうかとテレビを見ていて思います。
6. 老人の一人暮らしで、買い物に出られなくなったら・・・と心配しています。公共の食事（弁当）や食材の配布制度を期待します（有料で）。
7. 子供に料理を教えたいのですが、学校から帰り宿題をすませていると時間が遅くなるので、平日には教えられません。土日たまに教えると、次やる時には忘れていたので大丈夫かと心配になります。
8. 余り理解できませんでした（本人知的障がい者の為 知能小学生4～5年生程度）
9. 食について関心があります。スーパーなどでも安いだけの野菜より、少し値が上がっても新鮮なものだったり、状態の良い物を買うようにしています。特にスーパーに置いてある地元の農家さんの朝採りコーナーなどのお野菜など好きです。加工食品などを購入する時は、添加物などの表示をできるだけ見るようにし、あまり色々と多く使われているものは買わないようにしています。
10. 給食は栄養価等についてはコントロールされていると思う。しかし、家庭ではなかなか難しい。家庭での食育をさらに向上するためにも情報量を増やしてもらいたい。PTA の活用を図ることも一

方法と思う。

11. 一人暮らしで高齢となって、心配なことは自炊をしていつまで暮らせるかと、気がかりです。
12. 地元野菜を使った料理教室があれば参加してみたい
13. 安全な食の確保に留意してもらいたい
14. 食育を勉強している子育てでしたが、千葉はあまり食育が進んでなかった。
15. 食べ物の無駄を減らす。食事の作法を知っているようで知らない。三角食べと教わったけど、今は野菜から食べるとかいうし、困っている。テレビ放送で、食べ比べや早食い等が見られるが、食を大切にしていなと思えるし、世界で食べに困っている人がいるので、やめてほしいし、無駄に思える。
16. 放射能が一番恐いので学校でも自宅でも気を付けている。
17. 心身ともに健康な体を維持するためにはバランスの良い食事が大切であり、バランスがとれた食事を摂取するには、食に関する知識が必要だと思うので、食育は疎かにできない重要な課題だと思う。
18. まずは家庭での食育が第一だと思うが、それが難しくなっている家庭が増えているので、給食を通して食育をすすめていかなければならない現実がある。
19. 「食育」に対するアンケートであると思うが、内容が幅広く、視点があいまいに思う。大学の研究資料か？
20. 健康で過ごすには、子供の頃からの食習慣が大切だと思います。
21. 「食育」はとても大切なことですが、だからこそ余り堅苦しくとらえずに皆が身構えることの無いように取り組める方法を探したいです。例：食事の楽しさ、固定観念を植え付けすぎない（孤食はダメとかはいかがなものか？）
22. 一人暮らしの老人が増えているが、食事の支度ができず、外食や中食が多いと聞く。生活習慣病を防ぐため、高齢者（特に男性）の食育の場があるとよいと思う。
23. 子供が小さい頃から学校でも食育教育に力を入れてほしい。砂糖摂取の害も伝えてほしい。

24. 子供の頃の味覚は一生を通して大切だと感じています。食事で健康な体や心を育て、社会性も身につけてくると思います。
25. 松戸市・柏市など、放射性物質のホットスポットになっている為、地元の（他関東地方）食材の購入は控えています。
26. 小学校の時からもっと食育について学べる時間がほしかったと今になって思います。なので、もっと地域と協力して食育について学ぶ時間を小学校などでとってほしいです。
27. 戦中をすごした者には、・・・
28. 学校での「生活」の授業で、専門の教諭（管理栄養士など）に調理実習を受け持ってもらい、食に関する知識を増やしてほしい。調理実習回数も増やしてほしい。小5の第一回の調理実習は「お湯をわかしてお茶を飲む」でした。二回目は味噌汁づくり（出し汁はとらない）でした。このペー  
スと内容では、子供に食育は伝えられない・教えられない。
29. 安売りをする食品、野菜。生物、その他の食材・・・はとくに安全であってほしい！
30. 「食育」という言葉を聞いたのは、ここ数年前からだと思います。子供3人も成人しており、次の世代にきちんと伝えていきたいと思います。24時間いつでもどこでも物が買える時代、とても便利ですが、食生活の乱れ、作法の乱れなど、きちんとしてほしい。
31. 単純な知識だけで食生活を考えていましたが、「食育のアンケート」をいただき、色々考えさせられました。
32. スポーツを頑張っている子供用に夕飯の献立や何を食べたらよいかを教えてくださいたいです。
33. 行政がしっかりと行動しないとダメだと思う！学校給食や授業なども・・・。
34. 教科書に多く取り入れて欲しい（小学2年生あたりから）。食育は日本は先進国の中でも遅れている大切な学習のひとつだと思う。食育教育に力を日本は入れて欲しいです。
35. 欧米と比較し、日本食が優れている所など、食文化・食全般について、知ることができる企画を小学校でも計画していただきたい。
36. 共稼ぎ夫婦でも（子育て中の）、簡単で美味しく楽しい「うちごはん」ができる工夫を教えてくださいたい。専業主婦でも家事（特に食事作り）が上手な人ばかりではありません。新米ママは家事全般やるのも一苦労な人が多いです（娘がそうです）。また情報に振り回されている方達もいます。

「食べる」ことが楽しい・大切と思えるような情報提供をして下さい。

37. 若い方達、子供達のファーストフード利用が多い様に感じます。若いお母さん達が外で働く事は良いが、食事内容が雑に成っている気がします。学校によっては、栄養士さんによって素晴らしい給食を作っている学校がある様ですが、見習ってみるのも良いと思います。

38. 何を食べるか、という事は個人の問題であり、国や自治体が口出しすべき事項ではないと思われれます

39. 24時間のコンビニや夜中近くまでやっているスーパー等によって、いつでもなんでも手に入る時代。豊かな生活の様ですが、ていねいな生活ができなくなっていると思います。便利さばかりを求めているのでしょうか。24時間コンビニ(とお笑いブーム)が私達世代が残す「負の遺産」の気がしてなりません。

40. 食育、子供はもちろんの事、大人・親の食育が大切かと思えます。

41. 最近「里山資本主義」を読みましたが、この思想を広くひろめる必要があると思えます。

42. 外食時、食事作法の悪さが目につく。お店でサービスする方のはしや茶碗・味噌汁の置き場所が反対だったり、中年であっても、肘をついて食事をしていたりする事。家庭のしつけの大切さ。

43. 男児二人祖父の作る無農薬野菜を中心に収穫の喜びや感謝の気持ち、美味しさを感じ育て、元気な虫歯知らずに成長しました。そんな思いを子供達皆が感じられると良いと思えます。

44. 家庭生活の中で食育は育てられると思えます。毎日の食事づくりは簡単に思いのこもった食事でも楽しい生活も心も身体もつくることができます。子供が小さい時は経済的に苦しい時は美味しいものはお家で作るといことばが合言葉でした。苦しい?より楽しい思い出です。

45. 水さえ購入している現状で、食の安全などありえるのか疑問です。食育以前の問題だと思えます。数年後の子供達の健康が本当に心配です。

46. 松戸市は都心に近いのに田畑も多く、また千葉大学園芸学部もあり、土をいじり、食について学べる場所がたくさんあるのに、農業活動を行っている小学校が一枚と少ないことが勿体ないと感じます。子供のうちにたくさんの食に関する経験を重ねる事が大人になった時に生かせるのではないかと考えます。食=命、「命をいただく」という考えが、今の大人に備わっていないと感じる今日、子供のみならず、大人から教育しなくては、今後、日本の食文化を守っていけないと思えます。子供の学校における農業活動は、親・子、共に食を知るいい体験なので、市で推進していけたらいいのではないのでしょうか。

47. 農林漁業体験を通して、作ることの大切さ、素晴らしさを子供達に知ってほしい。家事の手伝いは楽しさ、喜びを体感し、食べる意欲が出てくるので、家庭（母親）での対応も大切だと思う。
48. 学校給食が昔より整ってきているとは思いますが、家庭での食生活（栄養のバランス）をないがしろにしているせいか、相変わらず「切れる子」等、親の方の指導が大事だと思う。
49. 地元農産物の直売所は少ない。市民農園などでもっと積極的に情報提供してほしい。
50. 種まきから収穫までのプロセスを子供達に理解させる。
51. 日本人は食品添加物について知らなすぎると思う。欧米などでは規制されえるものが出回っていても、知らずにいる。子供が好きなソーセージなどには発がん性物質の亜硝酸ナトリウムが使用されている。こういったことをもっと伝えるべき。企業を守って、人を守らないのはおかしいと思う。ガンは二人に一人がかかる時代と言われているが、自分や子供たちがそうならないためにも食育の中にぜひ取り入れてほしい。
52. 自分で作物を育てたり、料理をする経験は大事だと思います。なるべく残さず食べたり、無駄を減らしたりする気持ちにつながると思います。
53. 働く若いお母さんが出来合いの食品を買っている姿を多々見かけますが、なるべくその形の食材を調理して出来上がる過程を子供たちに教えて欲しいと思います。
54. 私も妻も病院にお世話になって初めて食育を考え出したが、それを娘に指摘されるとつらい
55. 生きることは食べること。食べることは生きること。身体・心の為に、食べることを大切にしたい。若いお母さんは働いている方が多く忙しいと思います。生協のカタログも出来合いのおかずが多くなっています。手がこんでなくても手作りを大切にしたいです。
56. 直売所など地元農産物を購入できる場所をいくつか作って欲しい。
57. 免疫力をつけるには食事は重要です。見分ける力をつけて口に入れるものを選んでいきたい。
58. 食育について視点を広げて考えるなら、現在の食料自給率低下を心配しています。災害また政治的環境が変化する可能性も考えれば現在のままで大丈夫なのか、輸入頼りで安定した供給ができるのか・・・と思います。
59. 食育と言っても時間も手間もかかるのでできているものを買って食べてしまう。おいしいけれど、油分も塩分も多いので難しい

60. 松戸市は意外と農業が盛ん。地元でそれを理解して応援していただけるよう情報提供してほしい。
61. 食育の具体的な内容はこのアンケートを行うまで、分からなかったもので、まずは周知で活動を願います。
62. 食育に対する意識改革のために学校行事、学習の機会を増やし、親子、家族参加型のイベント等を実施してほしいです。
63. 松戸市における食育の指針について提示し、内外に公開してほしい。
64. 知人に小学校に入学した子供が野菜嫌いで、給食がまともに食べられず、先生に無理に食べさせられることに文句を言うという人がいました。野菜嫌いにしたのは家庭での食育がなされなかったためであり、そこを考えないのが不思議でした。
65. 体験する事は大切だと思います。自分で育てると興味もわき大切さもわかると思います。
66. 食育とは違うが、食糧自給率が世界と比べてもとても低いので、心配しています。食は体や心を作っていく中で重要なので、子供の頃から食材や食事をとる事を大切に思う気持ちが大事だと思います。
67. 安定した毎日を過ごすには規則正しい食事は重要なポイントです。
68. 小さい子供がいるので、食品の放射性物質についてとても気になる。スーパーで買いたい食品があるのに、上記心配があり、買えないことが多々ある。
69. 学校に色々求めず、家庭教育が大事だと思います。家庭教育があってはじめて学校生活が成り立つと思います。家庭教育の充実を伝えていくことが重要だと思います。
70. 輸入品の安全性（特に国によって基準が異なる農薬）等、また食品アレルギーについても広く知識が必要だと思う。
71. そもそも家庭で行うこと。「食育」なんて言葉を作り、大々的にしているが、食べ物を大切にすること、感謝することを家庭でしっかり伝えればよいこと。しつけ。だから、そういうことを子供達に伝えられない保護者が問題。保護者がしっかりと子供達に野菜や魚や肉などが食卓に届くまでにはどんな過程を経てきたか、など。食物や生産者や・・・自然への感謝の心を持てるように推進して下さい。
72. 家庭で教えられることは（作法等）教えるようにしていますが。まだ低学年と幼児の為、簡単



なことしかやらせておりません。小学校もお弁当なので出来る限りバランスをとるように心がけてはいますが、完璧ではありません。小学校も完全給食となり、家庭同様に食育に関心を持ってくれるようになって欲しいです。

73. 子供のころに苦手でも、食卓に出して親が食べていると年齢がくると食べられるようになってきました。

74. 食育を含め、学校給食で好き嫌いを無くす為、強行に食べさせる等ありました。発達障害で好き嫌いが多く、今もトラウマになっている子がいます。親の申し入れで無理強いしないで欲しいと言っても、実際には聞き入れてくれていませんでした。食育の名の下に、全て一緒に考える画一的な所を無くして欲しいです。

75. 子供のより良い成長には食育はとても大切と考える。家庭でできることはどんなことでも取り組んでいきたいと思っている。

76. 食事のバランスは人間ドッグの栄養指導により気を使って作っています。ただ、魚介類・海藻類が以前のように食べるのが怖いので、かなり以前より控えています。食材何品目より、食の安全性の方に気を使う様になりました。魚の安全性についての具体的な表記が望まれます。

77. 家庭での食育の意識が低くなっているので、学校でしっかり教える必要があると思います。

78. 小学校のアレルギー対応がまだまだ出来ていないと思う。先生にアレルギーの知識がない。

79. 私には子供はいませんが母が安全なもの 添加物等に気をつけて買い物をしていたので一緒に見ていたので自然と学んでいたと思う。手作りのもの、食品1つ1つに感謝して食べることができるようになったので、子供の時から自然に学ぶことはとても大切だと思う。

80. 食品添加物について気を付けています。

81. 食品添加物についてもっと時間をかけて授業に取り入れてほしい。何世代にも関係するので。

82. 三世代で生活していますが、孫たちの様子を見ると、とても好き嫌が多く、野菜、酢、においのあるものは特に食べません。せっかく作ってくれた料理も、それには手をつけず、自分達好みに走っている様で困ったものです。

83. これから消費税などがあがり生活も苦しくなる方向で健全な食生活など可能なのだろうか？安い食品に少しでも買おうとするのが人情でしょう。そこに食育など役にたつわけがないです。他にやる事があるでしょう。

84. 学校給食で千葉県の食材を使う日があったのは、とても良いことだったと思います。
85. 私は主婦ですが農地も有りますので、そこでいろいろな野菜を作っています。なるだけ、地元（松戸市）のものを食べています。
86. 学生の時に少しは学ぶと思いますが、今食生活での問題多くでているので、もっと力を入れてこれからの子供達に教えるべきではないかと思ひます。
87. 家庭で、朝食、夕食を旬の材料で親がしっかり調理をして家族と一緒に食事をする事が大切だと思ひます
88. 以前気になったが、材料系の冷凍食品を購入している人は生のものが多く、おかず系の購入者は加熱や調理を要しないジャンクのものが多かった。知識は高まってもあまり効果が出ないのは二極化しているからなのだろうか？（断層のように…）また、食品表示や表現（簡単!!・パパッと・～しないで）を気にして調理していると”省く”というより“手を抜く”意識が高まって逆に関心がなくなっていそうです。
89. 食育には家庭の役割が大きいと思ひれます。若い親たちへの教育が大切だと思ひます。若い方々を市が中心になって、導いていただきたいと存じます。
90. 安全な食品を安心して購入できるように。
91. 安全な食を選べる力（日本は食料自給率が、約40%と低い。先進国の中で最低です。「安全な食」を考える時、「効率的」を優先して、輸入に依存している現在、「遺伝子組み換え食品」、添加物、消毒薬（防虫剤）、科学肥料等「食材」「食品」を口にする時、いつも不安です。伝染病、ガン、食物アレルギー等「命を守る」食品からの病気が心配です。
92. 今後、TPP等で、輸入食品が入ってきた場合に備えて食育を考える必要がある。
93. 食は家庭です。まずは親・祖父母の教育と、強度に根付いている料理の掘りおこしと継承。できなければ、本でも何でもいいから残しておくことです。そうでなければ、食は消えます。舌で覚えることは最も重要です。
94. 子供の頃から、食物がどの様に体や健康に係るか、又、気をつけなければいけないかを、教えてほしい。又、食事の作法（みなさんに不快を与えない）なども教育して欲しいと思ひます。
95. 夫が腎臓病なので、食事にはすごく気をつけています。子供たちが小さいうちに、子供自身に食について教えることは、とても意義あることだと思ひます。大人になって生活習慣病になる人

が減れば医療費も削減されると思います。

96. 食育という意識はありませんでしたが、我が家の子ども達は好き嫌いなく、何でもよく食べ育ってくれました。自然のめぐみを大切に無駄にせず、MOTTAINAI の精神をもって「食べること」を真剣に考える機会を多く増やしていただきたい。

97. 健康に過ごすためには食べるのが1番だと思いますので特にテレビ雑誌等で耳をかたむけて食育には感心があります。

98. 野菜中心の和食型、安全性に最も重く配慮（添加物の怖さ）自然農法の野菜推進 地球と環境にやさしい食生活の実施。自然農法は環境にも良く、又その野菜に含まれるビタミン類など、慣行農法や有機栽培のものに比して、けた違いに高く、今後はすべて自然農法にとり組んで頂きたいです。又国内での自給自足の方針と大気汚染によってもたらさる近頃の集中豪雨や竜巻の被害、子孫にクリーンな地球環境を遺産として残せるよう、我々大人たちが心して、諸問題を前向きに物質文明から精神性重視の文明へと移行するよう、心がけていきたいと強く思います。少なくとも負の遺産を子孫に遺しませんように！地球は今、待ったなしの危機に瀕しています。

99. 千葉県民の放射能汚染（食材）に対する意識の希薄さが、不思議でなりません。（特に千葉北部は汚染度が高いのに!!）

100. 食育について学校、市立病院等で大いに活動してほしい。千葉県産、特に松戸産の農産物等の直売所をもっと増やしてほしい。

101. 近くの畑では今だに高い放射数が出ています。松戸産のものが食べられる（安心安全なもの）が早く戻ってほしいです

102. 野菜を栽培することで、旬を知り、どのような過程を経て実を結ぶのか、実際にやってみることが大切であると思う。そこから食に興味をもってもらうことで、肉を食べるとは動物の命をいただくことであり、どの食べ物も無駄なく大切に頂くものであり感謝の気持ちをもって「いただきます」の言葉を忘れないなどの食育を推進してほしい。体験しない限り、曲がったり、形の良くない野菜が収穫できることも、天候により影響されることも知らずに、自然や生産者への感謝の気持ちは生まれにくいだろう。

103. ◎私達世代の子供も40代50代になり、現在の学校給食時の教育はわかりませんが、

- ・栄養以外の 有害添加物、保存料 の食育を。
- ・せめて病院の売店だけでも、添加物・保存料のないおにぎりや弁当を。

◎食料の半分にも満たない自給率。本当に頼りないと思う。国をあげて増産を…。

◎「もったいない」という気持ちを子供の頃から教える食育を…。

104. 家庭科の調理実習の時間に父兄が講師になり、各家庭の料理や、出身地の郷土料理を教えるのも楽しいかと思います。

105. 個人的に、食育は祖母や母親から子供に向けられるもので理想的にはそれを受け継いで欲しいと思いますが、我が家は一人息子なので、結婚相手に望みます。

106. 放射能が気になります。よく、かむことを注意していますが、性格で「早食い」です。

107. 学校給食に必ず牛乳がついてくるのは疑問です。和食に牛乳は合いません。子供の味覚も心配です。

## 付録 調査票・関連資料



# 「食育」に関する市民アンケート調査 ご協力をお願い

日頃より、市民の皆様には松戸市政にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、松戸市では市民の皆様「食」の大切さと郷土の素晴らしさを再認識し、健康な生活を送っていただくため、松戸市食育推進会議を設け、「食育推進計画」を策定し、食育の推進を図って参りました。現在、松戸市の第2期「食育推進計画」の策定に向けて議論を行っております。

そこで、松戸市としてより総合的に食育を推進するため、市内の4大学(千葉大学、聖徳大学、流通経済大学、日本大学松戸歯学部)と連携し、共同で市民の皆様「食」に関するお考えや家庭での環境などをお聞きし、今後の第2期「食育推進計画」の策定や施策へ反映させることを目的に、本調査を実施することといたしました。

なお、この調査票は、住民基本台帳をもとに20歳以上の市民3,000人を無作為に抽出し、お送りさせていただきました。このデータは市の食育推進および学術目的に利用するのみで、他の用途には使用いたしません。また、皆様の回答は全て統計的に処理されますので、個人の情報を公表するなどプライバシーを侵害することはありません。

以上の趣旨をご理解いただき、市民の皆様には本調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

平成25年9月

松戸市長 本郷谷 健次

## ご記入にあたっての注意

- ・この調査は、普段、食材を購入したり、料理を作っている方にお願いするものです。もし、宛名の方以外の方(配偶者など)が主に担当している場合は、その方が記入して下さい。
- ・後半のお子様についての質問には、複数のお子様がいる場合は、もっとも年齢の低いお子様(ただし、小学生以上)について回答して下さい。
- ・ご記入が済みましたら、お手数ですがこの調査票(直接記入して下さい)を同封の返信用封筒に入れて返送して下さい。切手は不要です。匿名式調査ですので差出人の記入も不要です。
- ・誠に勝手ながら、平成25年9月30日(月)までに投函して下さいますようお願いいたします。

\* 記入上のご不明な点、調査のお問い合わせは、下記までお願いいたします。

### ・松戸市健康福祉部健康福祉政策課

電話:047-704-0055/FAX:047-704-0251

Eメール:mckenhuku@city.matsudo.chiba.jp

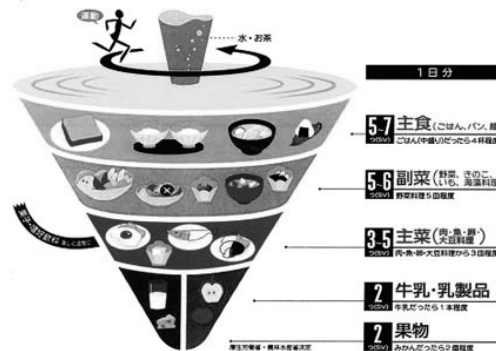
### ・千葉大学園芸学部・助教

霜浦森平(しもうらしんぺい)

電話・FAX:047-308-8915

Eメール:shimoura@faculty.chiba-u.jp

### 食事バランスガイド



問1 あなたは「食育」という言葉の意味を知っていますか？(ア～エのうち、該当するもの1つに○)

- ア 知っている      イ やや知っている      ウ あまり知らない      エ 知らない

「食育」とは、様々な経験を通じて「食に関する知識」と「食を選択する力」を身につけ、健全な食生活を実践することができる人間を育てることです。松戸市では、(健康分野だけでなく)地球環境や松戸の歴史・文化など、幅広い視点で食育を推進しています。

問2 あなたはこうした「食育」に関心がありますか？(1つに○)

- ア ある      イ どちらかといえばある      ウ どちらかといえばない      エ ない      オ 分からない

問3 「ア」、「イ」と答えた方にお聞きします。食育に関心がある理由は何ですか？(3つまで○)

- ア 心身の健全な発育      イ 食生活の乱れ      ウ 肥満・痩身の増加      エ 生活習慣病の予防  
 オ 食の安全確保      カ 食文化や地域の伝統      キ 食料自給率の低下      ク 生産者との交流  
 ケ 自然と調和した食料生産      コ 食べ物の無駄      サ 食や自然に対する感謝      シ その他

問4 食育に関するボランティアに参加したことがありますか？(1つに○)

- ア ある      イ ないが、機会があれば参加してみたい      ウ 興味がない

問5 「ア」、「イ」と答えた方にお聞きします。どのような活動に参加したことがありますか？

あるいは参加してみたいですか？(3つまで○)

- ア 郷土料理、伝統料理等の食文化継承活動      イ 農林漁業等に関する体験活動  
 ウ 食生活の改善に関する活動      エ 生活習慣病予防などのための料理教室  
 オ 食品廃棄や食品リサイクルに関する活動      カ 食品の安全や表示に関する活動  
 キ 食育に関する国際交流活動      ク その他(\_\_\_\_\_)      ケ 分からない

問6 あなたは朝食をどの程度の頻度でとっていますか？(1つに○)

- ア 毎日とっている      イ 平日のみ      ウ 週に2～3日      エ ほとんどとらない

問7 このアンケートの表紙にある食事バランスガイドを参考に食生活を送っていますか？(1つに○)

- ア 参考にしている      イ まあまあ参考にしている  
 ウ 知っているが参考にはしていない      エ 知らなかった      オ 以前は参考にしていた

問8 普段、食品を購入するときに、もっとも気をつけていることは何ですか？(1つに○)

- ア 栄養      イ 安全性      ウ 味や好み      エ 価格      オ 見た目(色や形)

問9 食品に放射性物質が含有されているかどうかを心配していますか？(1つに○)

- ア している      イ ややしている      ウ どちらともいえない      エ あまりしていない      オ していない

問10 野菜や肉などの生鮮食品の購入時に産地はチェックしていますか？(1つに○)

- ア 常にしている      イ ときどきしている      ウ していない

問11 地元産(松戸産を含む千葉県産)の食材を購入していますか？(1つに○)

- ア 積極的に購入するようにしている      イ 目につけば購入するようにしている  
 ウ 少しでも高ければ購入しない      エ 地元かどうか気にしていない

問12 以下の行事食を伴う伝統的な行事のうち、ご自宅で行っている行事全てに○をつけて下さい。

- |                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| ア 正月(1月:おせち、お雑煮、七草粥など) | イ 節分(2月:まめ、恵方巻きなど) |
| ウ 桃の節句(3月:ひな菓子、五目ずしなど) | エ 春分の日(3月:ぼた餅など)   |
| オ 端午の節句(5月:ちまき、かしわ餅など) | カ 七夕(7月:素麺など)      |
| キ 土用(7月:うなぎ、もちなど)      | ク お盆(8月:団子など)      |
| ケ 十五夜(9月:月見団子など)       | コ 秋分の日(9月:おはぎなど)   |
| サ 七五三(11月:千歳飴など)       | シ 冬至(12月:かぼちゃ料理など) |
| ス 大晦日(12月:そばなど)        | セ その他(_____)       |



問13 あなたは冷凍食品をどの程度の頻度で利用していますか？(1つに○)

ア ほぼ毎日 イ 週数回 ウ 週1回 エ 月1回 オ 年数回 カ 使わない

問14 冷凍食品をどのような場面で利用していますか？(いくつでも○)

ア 普段の朝食 イ 普段の昼食(お弁当を除く) ウ 普段の夕食 エ お弁当 オ 行事

問15 子供達への食育の場として、学校と家庭とではどちらが重要だと思いますか？(1つに○)

ア 学校の方 イ やや学校の方 ウ 同じくらい エ やや家庭の方 オ 家庭の方

メタボリックシンドローム(通称:メタボ)とは、内臓脂肪が蓄積することによって、血圧、血糖が高くなったり、血中の脂質異常を起こしたりして、食事や運動などの生活習慣を改善しなければ心筋梗塞や脳卒中などが起こりやすくなる状態のことで、腹囲が基準より小さくても該当する場合があります。

問16 あなたは、メタボリックシンドロームの意味を正確に理解していましたか？(1つに○)

ア 理解していた イ 大体理解していた ウ 少し誤解していた エ 誤解していた

問17 あなたご自身はメタボリックシンドロームに該当すると思いますか？(1つに○)

ア 該当する イ 予備群である ウ 該当しない エ 分からない

問18 あなたは散歩や水泳など、定期的に運動をしていますか？(1つに○)

ア 毎日している イ 週に数回している ウ 週に1回程度 エ あまりしていない

問19 普段、生鮮食品は主にどこで購入していますか？(1つに○)

ア 総合スーパー(ヨーカドー、イオンなど) イ 食品スーパー(ライフ、ベルクスなど)  
ウ 食品ディスカウントストア エ 生協(店舗・共同購入) オ 各種通販・宅配  
カ デパート キ 八百屋や精肉店 ク コンビニ ケ その他(\_\_\_\_\_)

問20 以前(概ね5年前)に比べて、自宅1人当たりの家庭ごみの量は変わりましたか？(1つに○)

ア 増えている イ 少し増えている ウ 変わらない エ 少し減っている オ 減っている

問21 お宅では燃やせるごみを週に何袋(市指定の紙袋に換算)ぐらい出していますか？(1つに○)

ア 0袋 イ 1袋 ウ 2袋 エ 3袋 オ 4袋 カ 5~6袋 キ 7袋以上

問22 普段の買い物とき、買い物袋(マイバッグ)は持参しますか？(1つに○)

ア 常に持参 イ たまに持参 ウ あまり持参しない エ 持参しない オ 店によって持参

問23 あなたは生ごみ処理容器(コンポスト)等を使用していますか？(1つに○)

ア 使用している イ 持っているが使っていない ウ ほしいと思っている エ 持っていない

問24 持っている方にお聞きします。購入の際に市の補助金制度を利用しましたか？(1つに○)

ア 利用した イ 知っていたが利用しなかった ウ 知らなかった

問25 あなたは地域の活動(町内会など)に参加していますか？(1つに○)

ア 積極的に参加 イ まあ積極的 ウ やや消極的 エ 参加していない

**問26 これまでボランティアの経験(現在実施中含む)がありますか？(該当するもの全てに○)**

- ア 経験なし      イ 食育(農作業体験、料理教室、食育支援等)に関係した活動  
ウ 健康・医療サービス関連      エ 高齢者支援      オ 障害者支援  
カ 子供を対象とした活動      キ スポーツ・文化・芸術・学術関連      ク まちづくり関連  
ケ 安全な生活のための活動      コ 自然や環境保全      サ 被災者支援      シ 国際協力  
ス その他( )

**問27 やってみたいボランティアはありますか？(該当するもの全てに○)**

- ア 特になし      イ 食育(農作業体験、料理教室、食育支援等)に関係した活動  
ウ 健康・医療サービス関連      エ 高齢者支援      オ 障害者支援  
カ 子供を対象とした活動      キ スポーツ・文化・芸術・学術関連      ク まちづくり関連  
ケ 安全な生活のための活動      コ 自然や環境保全      サ 被災者支援      シ 国際協力  
ス その他( )

**問28 あなたの現在の生活に時間的なゆとりはありますか？(1つに○)**

- ア ある      イ 比較的ある      ウ どちらともいえない      エ あまりない      オ ない

**問29 同様に、あなたの現在の生活に経済的なゆとりはありますか？(1つに○)**

- ア ある      イ 比較的ある      ウ どちらともいえない      エ あまりない      オ ない

**問30 旅行やキャンプなどで、家族や友人と農山漁村へ行くことはありますか？(1つに○)**

- ア ほぼ毎週      イ 月に数回      ウ 月に1回程度      エ 年に数回      オ 行かない

**問31 あなたは趣味として、野菜や果物の栽培などの農作業をすることはありますか？(1つに○)**

- ア ない      イ ある      問32 農作業の場所はどのようなところですか？(該当場所全てに○)

- ア 自宅の庭      イ ベランダや屋内      ウ 自家所有の畑  
エ 市民農園や知り合いの畑      オ その他( )

**問33 誰と一緒に作業していますか？(該当者全てに○)**

- ア 配偶者      イ 子供      ウ 孫      エ 友人・知人      オ 自分ひとり  
カ 親      キ 祖父母      ク その他( )

**問34 食育に関して市に期待する施策は何ですか？(3つまで○)**

- ア 食と健康に関する市民講座や教室を開催する  
イ 学校給食で地元農産物の利用を促進する  
ウ 直売所など地元産農産物を購入できる場所を整備する  
エ 市民農園などを増やす  
オ 学校・幼稚園などでの作物栽培・料理の機会を増やす  
カ 食品廃棄物の削減や食品リサイクルに関する活動に取り組む  
キ 郷土料理、伝統料理などの優れた食文化の継承に取り組む  
ク 農業ボランティアの推進  
ケ 食育ボランティアの推進  
コ その他( )

ここからは、あなたご自身のことについて、お聞きします。

**問35 あなたの性別は次のどちらですか？(1つに○)**

- ア 女性      イ 男性

問36 あなたの年齢は次のどれに該当しますか？(1つに○)

ア 20歳代 イ 30歳代 ウ 40歳代 エ 50歳代 オ 60歳代 カ 70歳以上

問37 配偶者(妻、または夫)はおられますか？(1つに○)

ア いる イ いない

問38 あなたの出生地は松戸市ですか？(1つに○)

ア はい(松戸市) イ いいえ(千葉県内) ウ いいえ(千葉県外)

問39 あなたの主な職業は以下のどれに該当しますか？(1つに○)

ア 会社員 イ 公務員・団体職員 ウ 自営業 エ 農業 オ パート・アルバイト  
カ 専業主婦(主夫) キ 学生 ク 無職 ケ その他(\_\_\_\_\_)

問40 あなたが最後に卒業した学校は以下に該当しますか？(1つに○)

ア 中学校 イ 高校 ウ 専門学校・短大 エ 大学・大学院 オ その他(\_\_\_\_\_)

問41 あなたを除いた同居家族の人数を以下の( )の中に直接記入して下さい。

・同居家族:( )人 →このうち18歳以下の家族:( )人、75歳以上の家族:( )人

問42 あなたの世帯で何世代が同居していますか？(1つに○)

ア 一人暮らし イ 夫婦のみ ウ 二世帯家族 エ 三世帯家族 オ 四世代以上

問43 あなたの世帯全体の所得(年金を含む手取り)は以下のどれに該当しますか？(1つに○)

ア 200万円未満 イ 200万円台 ウ 300万円台 エ 400万円台 オ 500万円台  
カ 600万円台 キ 700万円台 ク 800万円台 ケ 900万円台 コ 1,000万円以上

問44 あなたの世帯の1月あたりの食費(外食を含む)は以下のどれに該当しますか？(1つに○)

ア 2万円未満 イ 2万円台 ウ 3万円台 エ 4万円台 オ 5万円台  
カ 6万円台 キ 7万円台 ク 8万円台 ケ 9万円台 コ 10万円以上

ここでは、小学生から高校生(または18歳)までのお子様のいらっしゃる方に、お聞きします。該当しない方は、問63までお進みください。

問45 お子様(2人以上いる場合には小学生以上で一番下のお子様)の性別と年齢をお教え下さい。

ア 女子(\_\_\_\_\_歳) イ 男子(\_\_\_\_\_歳)

問46 そのお子様の体格についてお教え下さい。(1つに○)

ア 肥満 イ やや肥満 ウ ちょうどよい エ やや痩身 オ 痩身

問47 そのお子様の性格についてお教え下さい。(1つに○)

ア やや落ち着きがない イ やや反抗的 ウ やや内向的 エ 全く問題なし

問48 そのお子様は食品に関するアレルギーをお持ちですか？(1つに○)

ア ない イ ある→(主に\_\_\_\_\_,\_\_\_\_\_,\_\_\_\_\_)

問49 そのお子様の歯科検診の頻度(学校での検診を除く)についてお教え下さい。(1つに○)

ア 年に数回 イ 年に1回程度 ウ 虫歯以外では特に行かない

問50 そのお子様の食事についてお教え下さい。今日が週末の場合直近の平日でお願いします。

- ・今日の朝食： ア とった(品目数 \_\_\_\_\_)      イ とっていない      ウ 分からない  
・昨日の夕食： ア とった(品目数 \_\_\_\_\_)      イ とっていない      ウ 分からない

問51 そのお子様は平日は誰と一緒に食べていますか？(それぞれ該当するもの 全てに○)

- ・朝食： ア ひとりで      イ 父      ウ 母      エ 兄妹      オ 祖父母      カ その他      キ 分からない  
・夕食： ア ひとりで      イ 父      ウ 母      エ 兄妹      オ 祖父母      カ その他      キ 分からない

問52 平日の食事にどの程度時間をかけていますか？(それぞれ 1つに○)

- ・朝食： ア 5分以下      イ 10分程度      ウ 20分程度      エ 30分以上      オ 分からない  
・夕食： ア 10分以下      イ 15分程度      ウ 30分程度      エ 45分以上      オ 分からない

問53 あなたのお子様の食は乱れているとお考えですか？(1つに○)

- ア 乱れてはいない      イ それほど乱れてはいない      ウ どちらともいえない  
エ やや乱れている      オ 乱れている

問54 「エ」「オ」と答えた方にお聞きます。どのような点で食事の乱れを感じますか？(1つに○)

- ア 食が細い      イ 好き嫌いが多い      ウ 間食が多い      エ 食事が早い  
オ 家族と一緒に食事をとっていない      カ その他(\_\_\_\_\_)

問55 子供部屋はありますか？(1つに○)

- ア 個人用の部屋がある      イ 共用の部屋がある      ウ ない

問56 インスタントラーメンや炭酸飲料、菓子類の摂取量を制限していますか？(1つに○)

- ア 制限している      イ 注意はするが制限はしていない      ウ していない

問57 テレビや漫画、ゲーム、スマホ、インターネット等について制限をしていますか？(1つに○)

- ア 時間など具体的に制限している      イ 注意はするが制限はしていない      ウ していない

問58 お子様の就寝時刻と起床時刻をお聞きます。(平日の時刻を直接記入)

- ・就寝時刻：(\_\_\_\_)時(\_\_\_\_)分ごろ      ・起床時刻：(\_\_\_\_)時(\_\_\_\_)分ごろ

問59 お子様の家事への参加状況をお教え下さい。(それぞれ1つに○)

- ・調理： ア よくしている(週に数回以上)      イ ときどき(週1回程度)      ウ ほとんどしない  
・食事の準備・後片付け：      ア よくしている      イ ときどき(週1回程度)      ウ ほとんどしない

問60 お子様と一緒に外食をされる頻度についてお聞かせ下さい。(1つに○)

- ア 週数回      イ 週1回程度      ウ 月1回程度      エ 年数回      オ 行かない

問61 学校給食の食材についてのご意見をお聞かせ下さい。(全てに○)

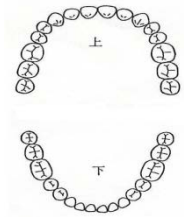
- ア 地元の食材を使用してほしい      イ 有機や低農薬栽培の食材を使用してほしい  
ウ 米飯など和食中心にしてほしい      エ 緑黄色野菜など栄養面で気を使ってほしい  
オ 放射性物質の検査情報を提供してほしい  
カ 個々のアレルギーに気をつけてほしい      キ その他(具体的に \_\_\_\_\_)

**問62 子供に対する以下の食育については、どのくらい重要だと思いますか？(それぞれ1つに○)**

- |                  |      |        |             |         |
|------------------|------|--------|-------------|---------|
| ・食生活の改善:         | ア 重要 | イ まあ重要 | ウ それほど重要でない | エ 重要でない |
| ・食事の作法:          | ア 重要 | イ まあ重要 | ウ それほど重要でない | エ 重要でない |
| ・農林漁業体験:         | ア 重要 | イ まあ重要 | ウ それほど重要でない | エ 重要でない |
| ・食文化や伝統の継承:      | ア 重要 | イ まあ重要 | ウ それほど重要でない | エ 重要でない |
| ・食を通じたコミュニケーション: | ア 重要 | イ まあ重要 | ウ それほど重要でない | エ 重要でない |
| ・食べ物の無駄を減らす:     | ア 重要 | イ まあ重要 | ウ それほど重要でない | エ 重要でない |
| ・自然や生産者への感謝:     | ア 重要 | イ まあ重要 | ウ それほど重要でない | エ 重要でない |
| ・安全な食を選べる力:      | ア 重要 | イ まあ重要 | ウ それほど重要でない | エ 重要でない |

**問63 食育についてご意見やご要望がございましたら、ご自由にご記入下さい。**

最後に、あなたの口腔の健康状態についてお聞きします。



問64 あなたの現在のお口と全身の健康状態はどうですか？(それぞれ1つに○)

- ・お口の健康状態: ア よい      イ まあよい      ウ あまりよくない      エ よくない
- ・全身の健康状態: ア よい      イ まあよい      ウ あまりよくない      エ よくない

問65 前回、いつ歯科治療および歯の健康診査を受けましたか？(数字を記入)

- ・歯科治療:      およそ(      )年(      )ヶ月(      )週前
- ・歯の健康診査:      およそ(      )年(      )ヶ月(      )週前

問66 あなたは入れ歯を使用していますか？(1つに○)

- ア 総入れ歯を使っている      イ 部分入れ歯を使っている      ウ どちらも使っていない

問67 あなたのお口の健康状態と歯科医療について質問します。(それぞれ1つに○)

- ・歯ぐきが腫れることがありますか？      ア はい      イ いいえ
- ・歯が痛んだり、しみたりすることがありますか？      ア はい      イ いいえ
- ・かかりつけの歯医者さんはいますか？      ア はい      イ いいえ
- ・歯の治療は早めに受けるようにしていますか？      ア はい      イ いいえ
- ・歯ぐきから血が出ることがありますか？      ア はい      イ いいえ
- ・口臭が強い(ある)という自覚はありますか？      ア はい      イ いいえ
- ・たばこを吸いますか？      ア はい      イ いいえ
- ・代用甘味料使用の食品を好んで飲食しますか？      ア はい      イ いいえ
- ・知人や友人とよく食事をしますか？      ア はい      イ いいえ
- ・歯のせいで食事がうまくとれないことがありますか？      ア はい      イ いいえ
- ・こめかみやあごの全体が痛くなることがありますか？      ア はい      イ いいえ
- ・顎関節の異常についてお聞きします。  
 口を大きく開け閉めした時、あごの音がしますか？      ア はい      イ いいえ  
 口を大きく開け閉めした時、あごの痛みがありますか？      ア はい      イ いいえ
- ・病気や内服薬で、歯科医の局所麻酔に制限があることを知っていますか？      ア はい      イ いいえ
- ・間食は1日何回とりますか？      ア 0~1回      イ 2~3回      ウ 4回以上
- ・歯みがきは何回しますか？      ア 1日1回      イ 1日2回      ウ 1日3回以上  
 エ 時々みがく(みがかない日もある)      オ みがかない
- ・現在、インプラント(人工歯根)が入っていますか？      ア はい      イ いいえ      ウ わからない
- ・歯科医院で嫌なことはどれですか？      ア 治療が痛い      イ 麻酔が痛い      ウ その他 (      )

問68 食事がおいしいと感じていますか？(1つに○)

- ア とてもおいしい      イ おいしい      ウ あまりおいしくない      エ おいしくない

問69 現在の生活に満足していますか？(1つに○)

- ア 満足している      イ まあ満足している      ウ やや不満だ      エ 不満だ

問70 あなたの歯の数は現在何本ですか？なお、成人の歯は、親知らずが4本はえて全部で32本です(右の図を参考にして下さい)。なお、かぶせた歯(金歯、銀歯など)、さし歯、根だけ残っている歯は含みますが、入れ歯などの歯根がない部分は除きます。(括弧内に本数を数字でご記入下さい)

(      )本

問71 食事に関する以下のことについてお聞きします。(それぞれ1つに○)

- ・現在の食生活に満足していますか？  
 ア 満足している      イ まあ満足している      ウ やや不満だ      エ 不満だ
- ・食事は楽しいですか？  
 ア 楽しい      イ まあ楽しい      ウ あまり楽しくない      エ 楽しくない
- ・栄養に関心がありますか？  
 ア ある      イ まあある      ウ あまりない      エ ない
- ・ゆっくり噛んで食事をしますか？  
 ア 噛んでいる      イ まあ噛んでいる      ウ あまり噛んでいない      エ 噛んでいない

問72 下の食品についてお聞きします。

(1)下の食品のうち、噛(か)みにくい食品の場合、※印の欄に○印を付けて下さい。

(2)次に、下のすべての食品について、下記のア～オの中から一つ選んで、どれか一つに○を記入して下さい。

- ア 容易に食べられる      イ 困難だが食べられる      ウ 食べられない      エ きらいだから食べない
- オ 義歯になってから食べたことがない

(記入例)

食品	※	ア	イ	ウ	エ	オ
バナナ	○	○				

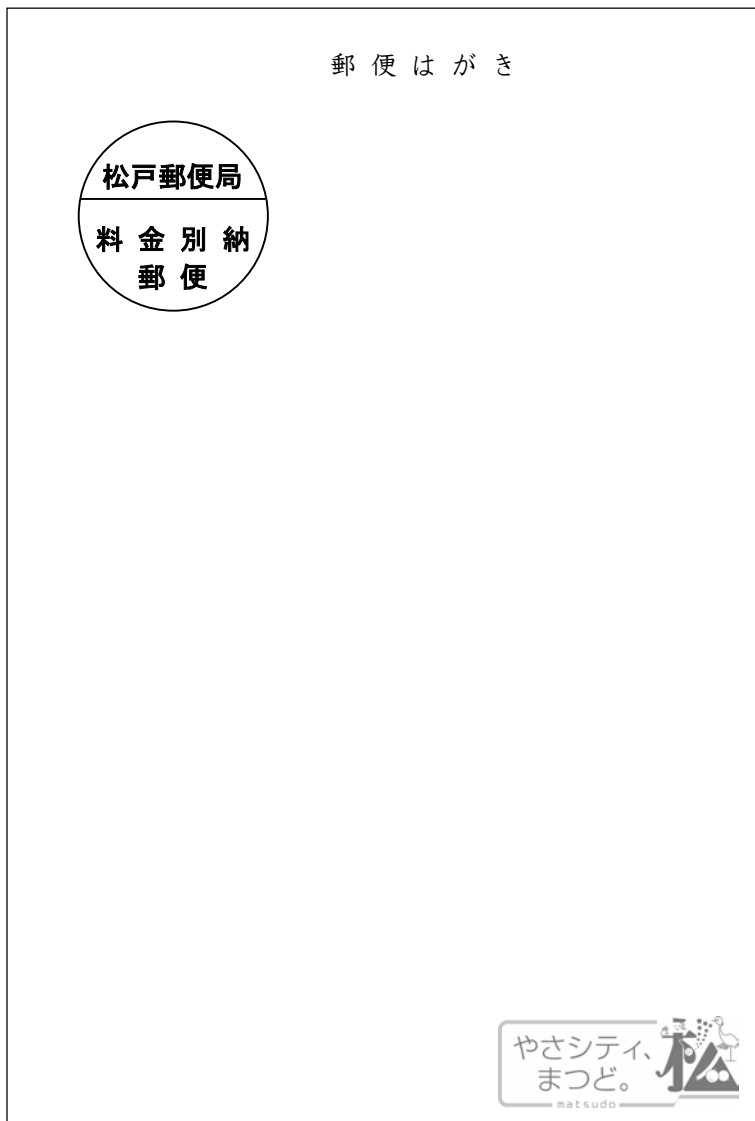
食品	※	ア	イ	ウ	エ	オ	食品	※	ア	イ	ウ	エ	オ	食品	※	ア	イ	ウ	エ	オ
ごはん							イチゴ						クラゲ							
おこわ							みかんの袋						イカ刺身							
あられ							(生)人参						まぐろ刺身							
雑煮もち							(煮)人参						(生)あわび							
揚げせんべい							(生)きゅうり						(生)なまこ							
堅焼きせんべい							(生)きゃべつ						くらげの酢の物							
おこし							(ゆで)きゃべつ						酢ダコ							
ピーナッツ							(煮)たまねぎ						とり貝							
枝豆							(ゆで)ホウレンソウ						はんぺん							
甘栗							(煮)さといも						ちくわ							
ドーナツ							(焼)鳥肉						カマボコ							
フランスパン							(煮)鳥肉						ハム							
固いビスケット							(揚)鳥肉						(漬)大根							
チューイングガム							(焼)豚肉						(漬)なす							
プリン							トンカツ						らっきょう							
スープ							(煮)牛肉						(古漬)たくあん							
おかゆ							ビーフステーキ						こんにゃく							
とうふ							煮魚						あぶら揚げ							
バナナ							うなぎかばやき						貝柱の干物							
りんご							(焼)いか						佃煮こんぶ							
りんご丸かじり							スルメ													

以上で質問は終了です。ありがとうございました。

同封の封筒で 9月30日(月)までにご投函下さい(切手は不要です)。

督促礼状

表面





裏面

「食育」に関する市民アンケート調査  
ご協力のお礼とお願い

拝啓

時下ますますご清祥のことと存じあげます。

先日お願いいたしました「食育」に関する市民アンケート調査につきましては、お忙しいところご協力いただき誠にありがとうございました。

なお、重ねて恐縮ではございますが、まだご回答いただいていない方には、ご記入の上、ぜひ返送くださいますようお願い申し上げます。

末筆ながら皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

敬具

平成 25 年 1 0 月

【問い合わせ先】

松戸市役所 健康福祉部健康福祉政策課  
電話 047-704-0055

千葉大学園芸学部 助教 霜浦森平  
電話 047-308-8915

発行 松戸市

健康福祉部 健康福祉政策課  
松戸市根本387番地の5  
電話：047-366-1111(代表)